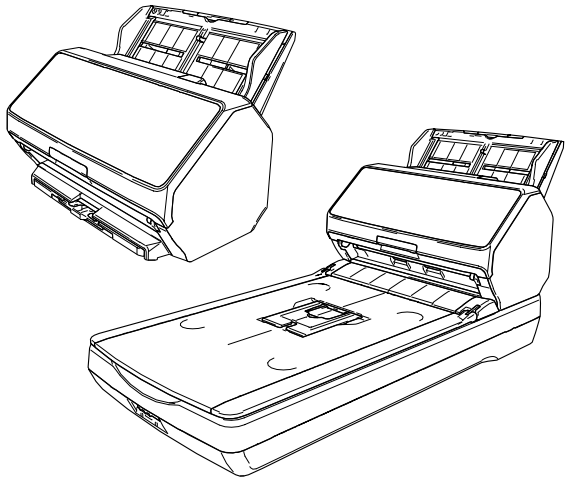
P3PC-6982-10Z2

RICOH

Image Scanner

fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U

オペレーターガイド



目次

はじめに 11

本製品の概要 11
マニュアルの種類 11
商標および登録商標 19
開発・販売元 19
発行日・発行責任 19
安全にお使いいただくために 19
本書で使用している記号 20
本書での略記 21
連続する操作の表記 22
本書に掲載している画面 22
お願い 22

スキャナーをお使いになる前に 23

特長 23
運用形態 26
各部の名称と働き［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 28
各部の名称と働き［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 32
各部の名称と働き［機種共通］ 37
スキャナーのソフトウェア 41
ソフトウェアの概要 41
動作環境 44

スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されていない場合） 45

スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する 47
スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 49
スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 52
スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 55
スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 59

ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） **63**

ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） **67**

Network Setup Tool を起動する［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ **73**

スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） 73

IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） 74

Button Event Manager を起動する（Network Setup Tool の場合） 75

スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されている場合） 76

コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ **79**

コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ **84**

コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する **89**

PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ **93**

PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ **97**

Network Setup Tool for fi Series を起動する［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ ... **102**

スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） 102

IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） 103

Button Event Manager を起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） 104

基本的な使い方 105

電源の投入/切断 **105**

電源の投入 105

電源の切断 106

省電力モードへの移行と復帰 **108**

ADF の開閉 **110**

ADF の開け方 110

ADF の閉じ方 111

ドキュメントカバーの開閉［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ **112**

ドキュメントカバーの開け方 112

ドキュメントカバーの閉じ方 113

ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 **114**

スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ **115**

原稿の長さが、A4 縦以上の場合 115

原稿の長さが、A4 縦より短い場合 116

サイズの違う原稿を混載して読み取る場合 118

スタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 120

原稿の長さが、A5 縦以上の場合 120

原稿の長さが、A5 縦より短い場合 123

サイズの違う原稿を混載して読み取る場合 124

基本的な読み取り方 126

画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する 128

スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る 130

コンピューターでボタンを設定する（USB 接続の場合） 135

ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 138

ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8150/fi-8250］ 142

原稿のセット方法 143

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする 143

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 143

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 145

フラットベッドに原稿をセットする［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 148

読み取りできる原稿 149

原稿のサイズ 149

原稿の種類 149

原稿の厚さ 150

うまく読み取れない場合がある原稿 150

読み取れない原稿 150

事前の注意 152

セットできる原稿の枚数 155

穴を開けてはいけない領域 156

原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件 157

混載条件 159

自動用紙サイズ検出を行うための条件 163

A3 キャリアシートを使用する場合の条件 164

写真キャリアシートを使用する場合の条件 167

冊子キャリアシートを使用する場合の条件 169

操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 171

操作パネルをお使いになる前に 171

操作パネルの名称と働き 171

液晶ディスプレイの表示内容 173
インジケーターの説明 176

メニュー選択の操作方法 179
ガイダンスの確認 182
インフォメーションの確認 184
スキャナー情報の確認 186
スキャナーの動作設定 188
枚数カウンタの確認およびクリア 190
原稿枚数のカウント 192

メニュー選択で設定できる項目 194

機能選択の操作方法 202

機能選択で設定できる項目 204

操作パネルの操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ 205

操作パネルをお使いになる前に 205
操作パネルの名称と働き 205
ファンクションナンバーディスプレイの表示内容 207

いろいろな読み取り方 209

幅の違う原稿を読み取りたいとき 209

幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき 211

2 つ折りの原稿を読み取りたいとき 214

封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき 218

パスポートなどの冊子を読み取りたいとき 221

A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき 224

写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき 227

パスポートなどの冊子を保護して読み取りたいとき 229

長尺帳票を読み取りたいとき 231

フラットベッドで本を読み取りたいとき［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 232

フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 234

手差しで原稿を読み取りたいとき 236

決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき 240
操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 241
操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ 245

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 247
操作方法 247

日常のお手入れ 249

清掃用品 **249**

清掃箇所と清掃頻度 **251**

スキャナー外部の清掃 **252**

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパーによる場合） **254**

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合） **257**

スキャナー内部（フラットベッド内部）の清掃【fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U】 **264**

キャリアシートの清掃 **265**

消耗品の交換 266

消耗品と交換周期 **266**

ブレーキローラの交換 **268**

ピックローラの交換 **272**

困ったときには 280

原稿づまりが発生したときは **280**

エラーについて **282**

インプリンタ異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 288

メモリー異常/LSI 異常 289

スキャナー内部通信異常 290

フラットベッドキャリア走行異常［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 290

光量異常（フラットベッド）［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 291

光量異常（ADF） 291

操作パネル異常 292

EEPROM 異常 293

画像メモリー RW エラー 293

裏当て切替え異常 294

モーター系異常 294

インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 295

ランプ系異常 296

原稿保護 297

原稿づまり/ピックエラー 297

原稿づまり（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 298

マルチフィード 299

センサーよごれ 300

センサー異常 300

モジュール異常 301

ネットワーク設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 302
Scanner Central Admin Server 設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 304
サーバー設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 305
認証失敗［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 307
輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 307
ADF オープン 308
インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 309
プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 310
読み取り領域指定異常（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 310
印字領域異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 311
他で使用中 312
スキャナーが原稿枚数カウントモードです［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 312
原稿なし 312
緊急停止 312
一時停止中 313
読み取り領域指定異常（コンピューター運用する場合） 313
異常コマンド 314
インターフェイス異常 314
ユニットアテンション 314

トラブルと対処方法 315

電源が投入されない 317
液晶ディスプレイの表示、［Scan/Enter］ボタンの点灯が消える［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 318
ファンクションナンバーディスプレイの表示、［Scan/Stop］ボタンの点灯が消える［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ 319
スキャナーとコンピューターをネットワークで接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 320
スキャナーとコンピューターを USB で接続できない 325
PaperStream NX Manager 運用のスキャナーから、IP アドレスで指定したサーバーに接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 327
PaperStream NX Manager 運用のスキャナーから、ホスト名で指定したサーバーに接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 331
読み取りが開始されない 336
原稿の読み取りに時間がかかる 338
絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する 339
文字や線の読み取り結果が良くない 340
画像がゆがむまたは鮮明ではない 341
画像に縦線（縦筋）が出る 343
スキャナーに電源が投入されたあとで、液晶ディスプレイにエラーコード「U0:10」、「U4:40」、または「U5:4A」が表示されている［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ 344
スキャナーに電源が投入されたあとで、ファンクションナンバーディスプレイにエラーコード「E」またはそのほかの数字や文字が表示されている［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ 345

頻繁に原稿が重なって搬送される....346
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる....349
原稿保護が頻繁に起こる....351
原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる....353
画像が間延びする....355
画像の先端または後端に影がある....357
原稿に黒い跡が残る....358
キャリアシートがうまく送られない/つまる....359
キャリアシートで読み取ると画像が欠ける....361
工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる....362

お問い合わせの前に....363
お問い合わせの前に行うこと....363
お問い合わせの前に確認すること....363

装置ラベルの確認....365

スキャナー設定（Software Operation Panel） 366

Software Operation Panel の起動....366

Software Operation Panel の閲覧モード設定....368
「閲覧モード」の設定....369
「閲覧モード」の設定解除....371
パスワードの設定....373
パスワードの変更....374
パスワードの設定解除....375
パスワードを紛失したときの対応....376

設定項目....377
装置設定....377
装置設定 2....379

枚数カウンタに関する設定....382
枚数カウンタの確認....382
枚数カウンタのクリア....384
消耗品交換/清掃指示メッセージ....385
スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）....386
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）....387

読み取りに関する設定....388
読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）....388
画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF）・縁消し（FB）[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]）....390
指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）....393
読み取り時間の短縮（プレピックモード）....394
給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）....395

原稿送りの設定（ピック速度）.....396
画像の端数の設定（自動用紙サイズ検出時のバウンダリ）.....397
原稿を保護する機能の設定（ペーパープロテクション）.....398
原稿を保護する機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル）.....400
低解像度でゆっくり読み取る機能の設定（低速搬送モード）.....402
高地で読み取る機能の設定（高地モード）.....403
読み取るときの画質の設定（画質モード）.....404
原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する設定（オーバースキャン読み取り制御）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］.....405

原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定.....407
原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）.....407
原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定）.....409
決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）.....415

待機時間に関する設定.....417
手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し）.....417
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）.....419

スキャナーとコンピューターの接続に関する設定.....421
USB 動作の設定（USB）［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］.....421
USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］.....422

電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定.....423
電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）.....423
スキャナーの消費電力を抑える設定（ECO モード）.....424

スキャナーの保守に関する設定.....425
縦筋を検知する機能の設定（縦筋検知設定）.....425
縦筋を検知する機能の感度設定（縦筋検知レベル）.....426
スキャナーの保守・点検周期の設定（保守・点検周期設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］.....427

ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ 428

fi Series ネットワーク設定の起動.....428

設定項目.....431

スキャナー情報.....433
スキャナー情報.....433

ネットワーク.....434
スキャナー名.....434
スキャナーコード.....435
有線 LAN.....436

セキュリティ.....438

通信の暗号化 438

サーバー連携 439

プロキシサーバー 439

PaperStream NX Manager 441

Scanner Central Admin Server 442

メンテナンス 443

管理者パスワード 443

スキャナー設定情報の移出 444

スキャナー設定情報の移入 445

工場出荷設定に戻す 446

ライセンス 447

付録 448

スキャナー基本仕様 448

設置諸元 452

外形寸法 454

外形寸法［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ 454

外形寸法［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ 455

スキャナーのオプション 456

ソフトウェアのアンインストール手順 459

e-文書法に適合した電子文書の作成 461

IPv6 を使用する場合の留意事項【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250】 463

PaperStream NX Manager 運用する場合の補足事項【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250】 464

スキャナー設定情報の移出 464

Scanner Central Admin Server からアップデートモジュールを配付するときの留意事項 465

修理・お問い合わせ 466

トラブル対処 466

修理サービスのご案内 466

お問い合わせ窓口 468

サプライ用品の購入先 469

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品の概要

本製品とは、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の 8 機種のスキャナーのことです。
すべての機種は、両面読み取りが可能な ADF（Automatic Document Feeder）を搭載しており、USB で接続して使用できます。
さらに、機種によっては、フラットベッドを搭載している機種や、有線 LAN で接続して使用できる機種があります。
各機種の違いは、次の一覧で確認してください。

機種名	スキャナータイプ		インターフェイス		読み取り速度（*2）
	ADF	フラットベッド（*1）	USB	有線 LAN	
fi-8190	○	—	○	○	毎分 90 枚/180 面（*3）
fi-8290	○	○	○	○	毎分 90 枚/180 面
fi-8170	○	—	○	○	毎分 70 枚/140 面
fi-8270	○	○	○	○	毎分 70 枚/140 面
fi-8150	○	—	○	○	毎分 50 枚/100 面
fi-8250	○	○	○	○	毎分 50 枚/100 面
fi-8150U	○	—	○	—	毎分 50 枚/100 面
fi-8250U	○	○	○	—	毎分 50 枚/100 面

○：搭載

—：非搭載

***1**：フラットベッドでは、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿を読み取りできます。

***2**：解像度 200/300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。
USB 接続したときと有線 LAN 接続したときの読み取り速度は同じです。

***3**：インプリンタ搭載時の読み取り速度は、毎分 80 枚/160 面となります。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。
必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意（紙、PDF）（*1）	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本製品をお使いになる前に必ずお読みください。 PDF 版は Setup DVD-ROM でも提供されています。
スタートアップガイド（紙）	スキャナーの梱包品の確認、保護用部材の取り外し、使用前の準備を説明しています。
オペレーターガイド（本書）（HTML）（*1）	スキャナーのセットアップ方法、基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。 Setup DVD-ROM でも提供されています。
fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイド（PDF）（*1）	fi-819PRB の基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。 Setup DVD-ROM でも提供されています。
PaperStream Capture ユーザーズガイド（HTML）	PaperStream Capture の概要、導入方法、設定方法、原稿の読み取り方法、便利な設定、画面項目を説明しています。 Setup DVD-ROM でも提供されています。
PaperStream IP ヘルプ	PaperStream IP ドライバーの使い方や設定方法を説明しています。 Setup DVD-ROM でも提供されています。
Network Setup Tool ヘルプ	スキャナーをネットワークに接続して使用するための各種ツールの使い方を説明しています。
Network Setup Tool for fi Series ヘルプ	スキャナーをネットワークに接続して使用するための各種ツールの使い方を説明しています。 Setup DVD-ROM で提供されています。
PaperStream ClickScan ヘルプ	PaperStream ClickScan の使い方や設定方法を説明しています。 Setup DVD-ROM でも提供されています。
fi Series Online Update ヘルプ	fi Series Online Update の使い方や設定方法を説明しています。 Setup DVD-ROM でも提供されています。

***1：**ソフトウェアのインストールで、マニュアルをインストールすると、マニュアルを参照できます。ソフトウェアのインストール方法は、次を参照してください。

Setup DVD-ROM が添付されていない場合

- ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） (63 ページ)
- ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)

Setup DVD-ROM が添付されている場合

- コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (79 ページ)
- コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (84 ページ)
- コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (89 ページ)
- PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (93 ページ)
- PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (97 ページ)

インストールされたマニュアルは、次の手順で参照できます。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「fi Series」→「安全上のご注意 - fi-8190 fi-8290 fi-8170 fi-8270 fi-8150 fi-8250 fi-8150U fi-8250U」、「オペレーターガイド - fi-8190 fi-8290 fi-8170 fi-8270 fi-8150 fi-8250 fi-8150U fi-8250U」、または「インプリンタオペレーターガイド - fi-819PRB」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「安全上のご注意 - fi-8190 fi-8290 fi-8170 fi-8270 fi-8150 fi-8250 fi-8150U fi-8250U」、「オペレーターガイド - fi-8190 fi-8290 fi-8170 fi-8270 fi-8150 fi-8250 fi-8150U fi-8250U」、または「インプリンタオペレーターガイド - fi-819PRB」をクリックします。

これらのほかに、使用するソフトウェアに応じて、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
ソフトウェアの詳細は、ソフトウェアの概要 (41 ページ)を参照してください。

- **スキャナーをセットアップするときの参照マニュアル**

スキャナーをセットアップするときの運用形態ごとの作業とマニュアルは、次のとおりです。必要に応じてお読みください。
運用形態については、運用形態 (26 ページ)を参照してください。



コンピューター運用の場合

作業		参照先
開梱～使用前の準備		スタートアップガイド
スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されていない場合）	接続方法の設定	オペレーターガイド  スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (47 ページ)  スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (49 ページ)  スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (52 ページ) ● ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)
スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されている場合）	接続方法の設定	オペレーターガイド

作業		参照先
		 コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (79 ページ)  コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (84 ページ)  コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (89 ページ) ● ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)
サーバーの構築	DNS サーバーの環境設定（Scanner Central Admin Agent を使用するときに、DNS サーバーを使用する場合）	使用している DNS サーバーのマニュアル
	プロキシサーバーの環境設定（Scanner Central Admin Agent を使用するときに、プロキシサーバーを経由する場合）	使用しているプロキシサーバーのマニュアル
	Scanner Central Admin の導入～運用（Scanner Central Admin Agent を使用する場合）	Scanner Central Admin ユーザーズガイド ● 第 2 章 Scanner Central Admin の導入 ● 第 3 章 Scanner Central Admin Server を利用した運用 ● 第 4 章 メール通知を利用した運用

作業		参照先
		● 第 5 章 統合管理システムと連携した運用
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド ● 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (128 ページ) ● スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)
	読み取り設定	● スキャナードライバーのヘルプ ● 画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプ
	スキャナーの動作設定	オペレーターガイド ● 操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (171 ページ) ● スキャナー設定（Software Operation Panel） (366 ページ)



PaperStream NX Manager 運用の場合

作業		参照先
開梱～使用前の準備		スタートアップガイド
スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されていない場合）	接続方法の設定	オペレーターガイド  スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (55 ページ)  スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを手動で設

作業		参照先
		定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (59 ページ)
スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されている場合）	接続方法の設定	オペレーターガイド  PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (93 ページ)  PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (97 ページ)
サーバーの構築	DNS サーバーの環境設定（DNS サーバーを使用する場合）	使用している DNS サーバーのマニュアル
	プロキシサーバーの環境設定（プロキシサーバーを経由する場合）	使用しているプロキシサーバーのマニュアル
	PaperStream NX Manager の導入～運用	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド ● 導入～運用までの流れ ● 導入 ● 設定 ● 運用
	Scanner Central Admin の導入～運用（Scanner Central Admin Server を使用する場合）	Scanner Central Admin ユーザーズガイド ● 第 2 章 Scanner Central Admin の導入 ● 第 3 章 Scanner Central Admin Server を利用した運用
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド

作業		参照先
		● ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (138 ページ) ● ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8150/fi-8250］ (142 ページ)
	読み取り設定	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド ● 設定
	スキャナーの動作設定	オペレーターガイド ● 操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (171 ページ) ● スキャナー設定（Software Operation Panel） (366 ページ)

商標および登録商標

ISIS は、Open Text の商標です。
Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
Google および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。
本製品には、製品開発元である株式会社 PFU の著作物のほかに、第三者が作成したオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアのライセンス条件に関する詳細は、fi Series ネットワーク設定のメニューにある「ライセンス」をクリックして表示される画面を参照してください。
Microsoft、Excel、Internet Explorer、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU
〒 220-8567
神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2026 年 10 月
発行責任 株式会社 PFU
Regulatory Model : P3810A/P3810C/P3810E/P3810F/P3810H/P3810J/P3810L/P3810M
© PFU Limited 2021-2026

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。
警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。
次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

また、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。

重要

特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。

ヒント

操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home（32/64 ビット） Windows® 10 Pro（32/64 ビット） Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット） Windows® 10 Education（32/64 ビット）	Windows 10（*1）
Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）	Windows Server 2016（*1）
Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）	Windows Server 2019（*1）
Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）	Windows Server 2022（*1）
Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）	Windows Server 2025（*1）
Windows® 11 Home（64 ビット） Windows® 11 Pro（64 ビット） Windows® 11 Enterprise（64 ビット） Windows® 11 Education（64 ビット）	Windows 11（*1）
Internet Explorer®	Internet Explorer
Google Chrome™	Google Chrome
Microsoft® Word	Word
Microsoft® Excel®	Excel
PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (TWAIN x64) PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series	PaperStream IP ドライバー
スキャナー選択ツール for fi Series	スキャナー選択ツール
IP アドレス設定ツール for fi Series	IP アドレス設定ツール
Button Event Manager for fi Series	Button Event Manager
fi-819PRB	インプリンタ
A3 キャリアシート 写真キャリアシート 冊子キャリアシート	キャリアシート

***1：**すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。
本書では、Windows 10 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

お願い

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

スキャナーをお使いになる前に

ここでは、本製品の特長と各部の名称と働きについて説明します。

特長

本製品には、次のような特長があります。

- **高速読み取りを実現**

  毎分 90 枚/180 面［fi-8190/fi-8290］（*1）（*2）、毎分 70 枚/140 面［fi-8170/fi-8270］（*1）、毎分 50 枚/100 面［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］（*1）の読み取り速度を実現しました。さらに、一度に 100 枚（*3）までの連続読み取りが可能ですので、大量の原稿をスピーディーに電子化できます。

- **ネットワーク接続に対応【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250】**

  有線 LAN に接続して使用できます。
  ネットワーク接続でも、USB 接続したときと同等の読み取り速度を実現しました。
  ネットワーク通信をするときに、画像を暗号化して、通信の傍受による情報漏洩を防止できます。
  詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプ、およびネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- **液晶ディスプレイを搭載【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270】**

  原稿を読み取るときの様々な動作設定、原稿の読み取り枚数、エラー状況を表示する液晶ディスプレイを搭載しています。
  これにより、原稿を読み取るときの様々な動作を設定したり、原稿の読み取り枚数、エラー状況を簡単に確認したりできます。

- **ファンクションナンバーディスプレイを搭載【fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U】**

  エラー状況を表示するファンクションナンバーディスプレイを搭載しています。
  これにより、エラー状況を簡単に確認できます。

- **2 つ折りの原稿、封筒や複数枚つづりの転写紙などの原稿、パスポートなどの冊子の読み取りを実現**

  手差し・単送モードに切り替える［Manual Feed］ボタンを搭載しています。
  手差し・単送モードに切り替えると、搬送中に原稿にかかる負荷を軽減し、厚みのある原稿でも確実に搬送して読み取ります。

- **読み取り前の作業を効率化**

  A4 サイズの上質紙とプラスチックカードのように、厚さやサイズの異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」ができます。
  読み取り前の原稿仕分け作業を簡略化できます。

- **マルチフィードによる業務ロスを低減**

  一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送（マルチフィード）されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーを搭載しています。
  A4 サイズの上質紙とプラスチックカードのように、厚さやサイズが異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」の場合でも、原稿の重なりを確実に検出でき、業務ロスを未然に防止できます。

- **インテリジェントマルチフィード検出機能を搭載**

  原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼り付けてある場合、その貼り付け部分をスキャナーに認識させるインテリジェントマルチフィード検出機能を搭載しています。
  スキャナーに認識させた貼り付け部分は、原稿の重なりを検出せずに読み取りを継続できます。

- **原稿づまり音による原稿保護機能を搭載【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270】**

  原稿を搬送するときの音で原稿づまりを検知し、読み取りを中止する機能を搭載しています。
  大切な原稿の破損を抑制できます。

- **原稿の傾きを監視することによる原稿保護機能を搭載**

  原稿を搬送するときの傾き具合で原稿づまりを検知し、読み取りを中止する機能を搭載しています。
  大切な原稿の破損を抑制できます。

- **e-文書法（*4）の画質要件を満たす画像を生成**

  2005 年 4 月に施行された e-文書法により、紙での保存が義務付けられていた税務関連書類（申込書、請求書、検収書など）を、電子化して保存できるようになりました。
  e-文書法では、府省令により解像度や階調など画質要件が規定されている場合があります。
  本製品は、府省令に合わせた読み取り設定を行うことにより、e-文書法の画質要件を満たす画像を生成できます。

- **高度な画像処理機能を搭載**

  原稿がカラーかモノクロかを自動で判別して画像を出力する機能を搭載しています。
  色ずれや縞模様の発生を抑え、再現性の高い画像を出力できます。

- **原稿が傾いて搬送されても画像欠けを防止【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270】**

  原稿が傾いて搬送されたときに、原稿の先端と後端を検知して画像を出力する機能を搭載しています。
  原稿が傾いて搬送されても画像が欠けることはありません。

- **インプリンタを搭載可能【fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U】**

  読み取った原稿に文字を印字するインプリンタをオプションとして用意しています。
  インプリンタを使用すると、原稿の管理や照合の作業効率が大幅に向上します。

- **フラットベッドの黒背景読み取りを実現【fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U】**

  フラットベッドの黒色原稿押さえパッドをオプションとして用意しています。
  地色が白い原稿を読み取るときに、黒色原稿押さえパッドを使用すると、原稿と同じサイズの画像を出力できます。

- **スキャナーにセットできない、大きなサイズの原稿、写真や切り抜きなどの原稿の読み取りを実現**

  A3 キャリアシートおよび写真キャリアシートをオプションとして用意しています。
  スキャナーにセットできない、大きなサイズの原稿、傷つけたくない写真、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿などを読み取れます。

- **パスポートなどの冊子を保護しての読み取りを実現**

  冊子キャリアシートをオプションとして用意しています。
  フラットベッドがなくても、傷つけたくないパスポートなどの冊子を見開きにして読み取れます。

- **スキャナーを集中運用【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250】**

  PaperStream NX Manager 運用することで、複数台のスキャナーを集中運用できます。
  例えば、使用するスキャナーを特定したり、スキャナーに応じた読み取りを設定して、スキャナーに配信したりできます。
  また、画像を指定した連携先に保存したり、画像の処理状況を監視したりできます。
  詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。
  PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
  https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html

- **スキャナーを集中管理**

  重要
  Scanner Central Admin Server および Scanner Central Admin Desktop は、後継製品の PaperStream Central Admin に移行しています。
  PaperStream Central Admin をご使用の場合、本書の Scanner Central Admin Server および Scanner Central Admin Desktop は、PaperStream Central Admin と読み替えてください。

  Scanner Central Admin Server を使用することで、複数台のスキャナーを集中管理できます。
  例えば、スキャナーの設定情報やドライバーを一括してアップデートしたり、スキャナーの稼働状況を確認できます。
  コンピューター運用する場合は、Scanner Central Admin Agent を使用することで、Scanner Central Admin Server と連携できます。
  PaperStream NX Manager 運用する場合は、スキャナーと Scanner Central Admin Server を直接連携できます。
  詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

***1：**解像度 200/300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。

***2：**fi-8190 のインプリンタ搭載時の読み取り速度は、毎分 80 枚/160 面となります。

***3：**厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿の場合です。

***4：**e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。
e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

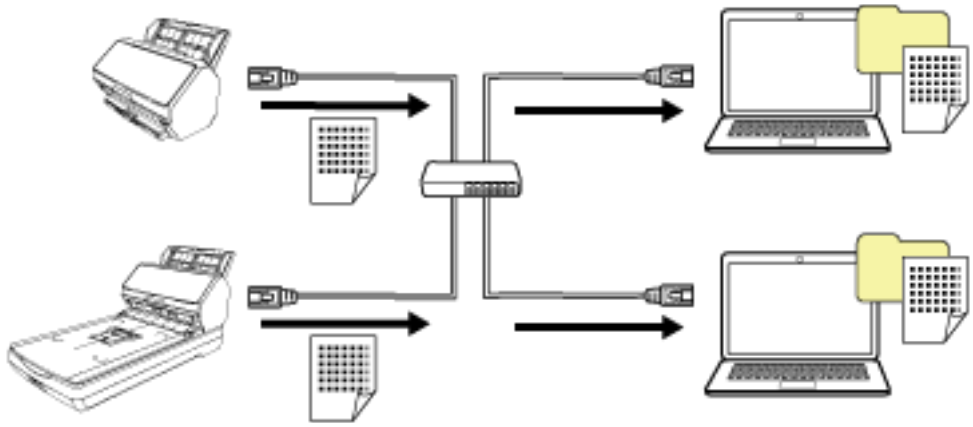
運用形態

スキャナーの運用形態について説明します。

- **コンピューター運用**

  スキャナーとコンピューターを USB ケーブルや有線 LAN で接続して、画像をコンピューターで管理する運用です。

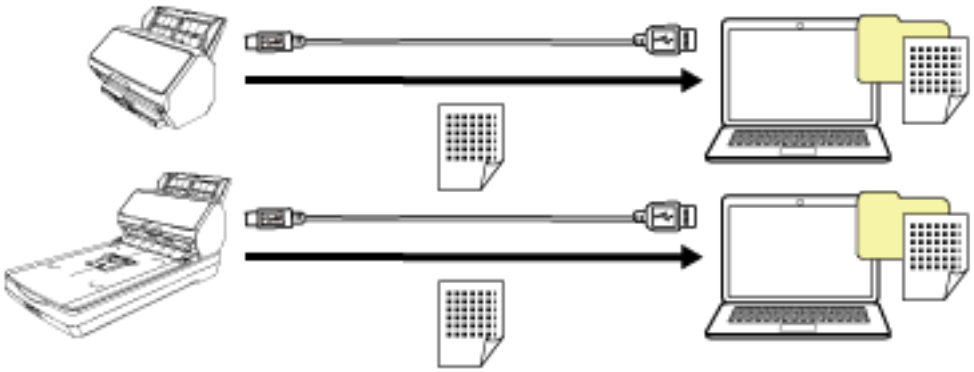
  - コンピューターとスキャナーを有線 LAN で接続する場合［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］
    コンピューターとスキャナーを有線 LAN で接続して、画像をコンピューターで管理します。



重要

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続する場合、スキャナーを複数のコンピューターで利用できますが、複数のコンピューターで同時には共有できません。

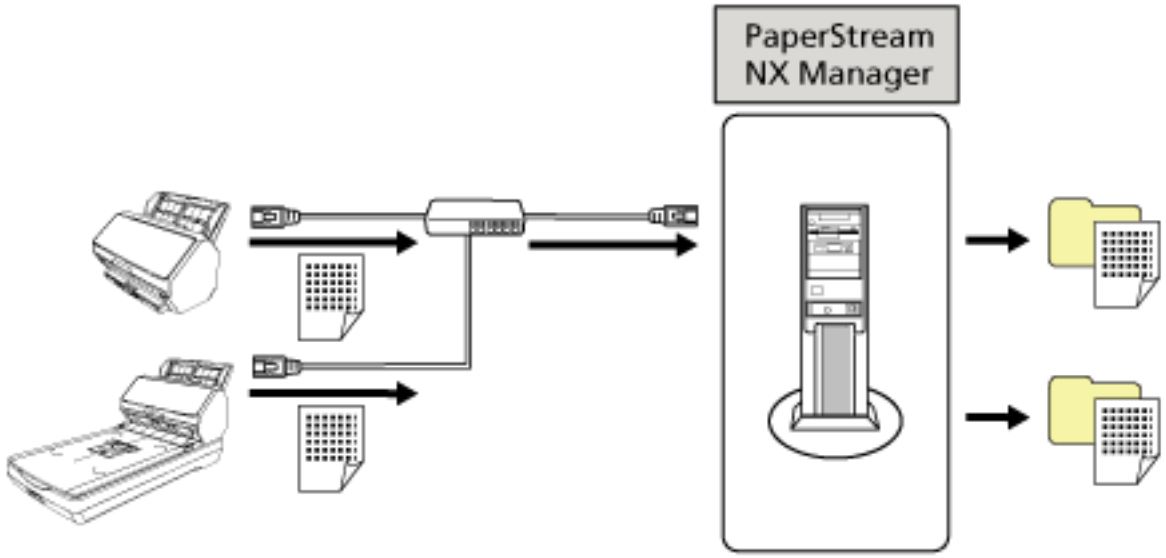
  - コンピューターとスキャナーを USB ケーブルで接続する場合
    コンピューターとスキャナーを USB ケーブルで接続して、画像をコンピューターで管理します。



- **PaperStream NX Manager 運用**

  スキャナーと PaperStream NX Manager がインストールされたサーバーを有線 LAN で接続して、PaperStream NX Manager で、スキャナーから送られた画像を処理する運用です。

画像の処理状況を監視したり、画像を指定した連携先に保存したりできます。
PaperStream NX Manager での運用方法の詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。
PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html

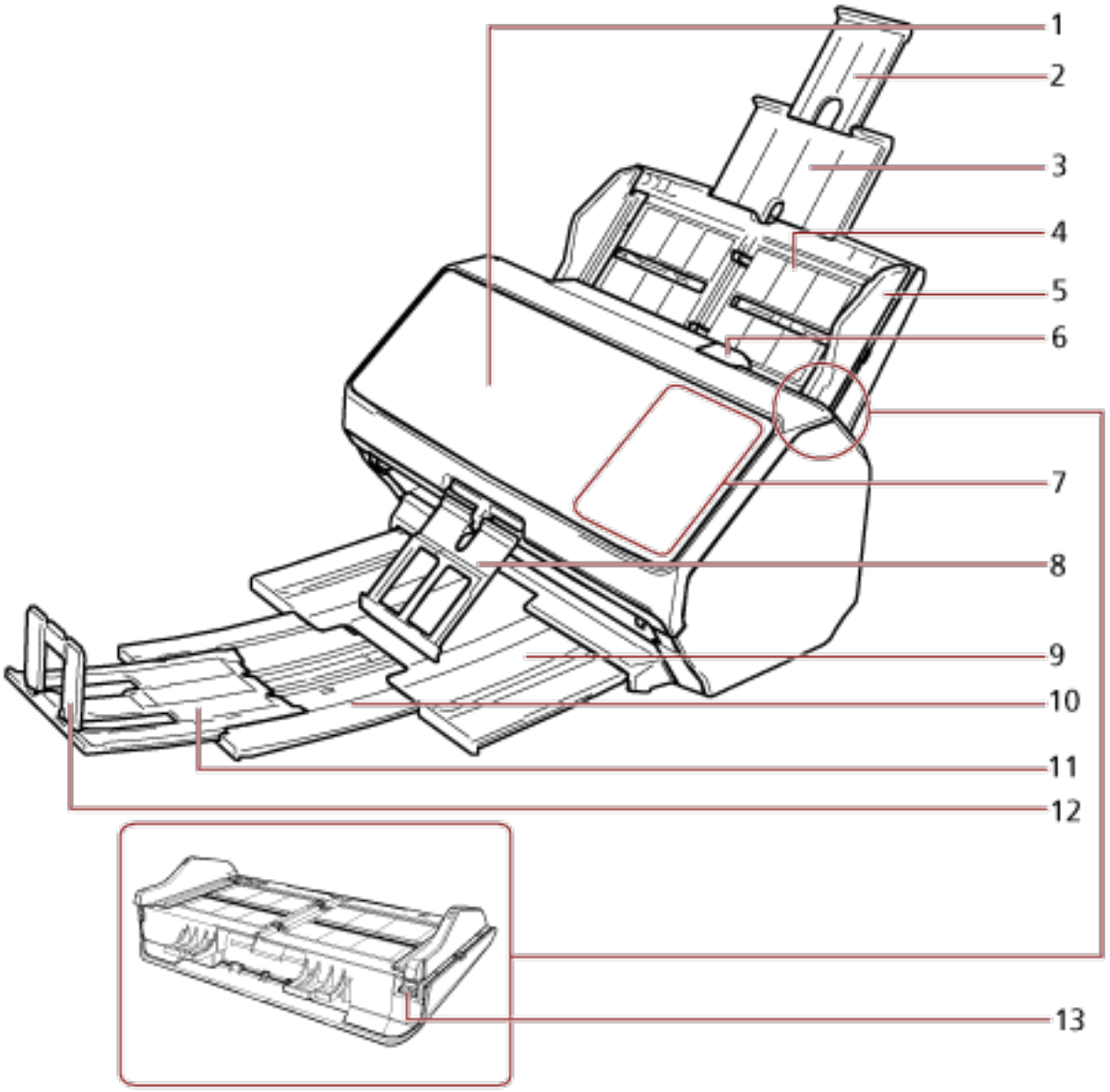


重要
原稿の読み取りは、コンピューター運用より PaperStream NX Manager 運用が優先されます。

各部の名称と働き［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］

スキャナーの各部名称について説明します。

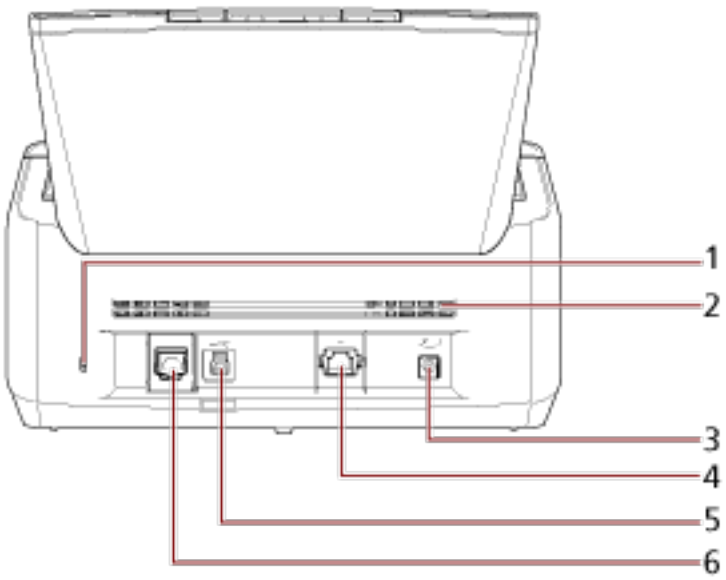
- **前面**



No.	名称	働き
1	ADF（自動給紙機構）	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を、1 枚ずつ引き込んで搬送します。 消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。
2	シュートエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。
3	シュートエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

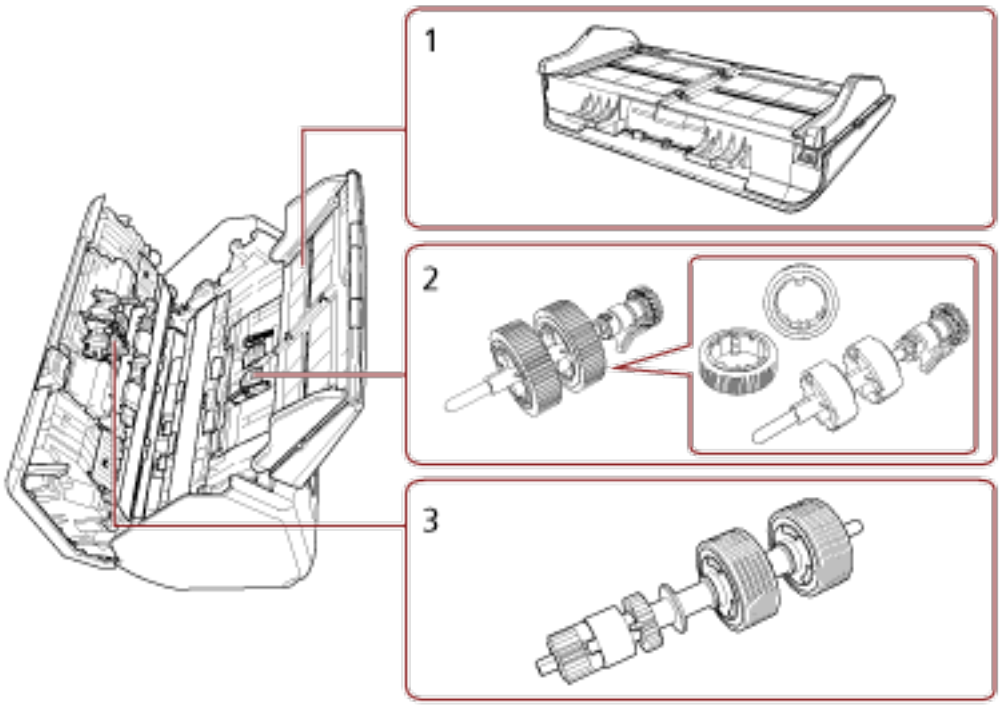
No.	名称	働き
4	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
5	サイドガイド	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。
6	ADF オープンレバー	ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。
7	操作パネル	● fi-8190/fi-8170 の場合 液晶ディスプレイ、ボタンから構成されています。 スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 詳細は、操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (171 ページ)を参照してください。 ● fi-8150/fi-8150U の場合 ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。 スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 詳細は、操作パネルの操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ (205 ページ)を参照してください。
8	スタッカーサポーター	スタッカーサポーターを手前に引き出すと、排出された原稿がきれいに積み重なるようにサポートします。
9	スタッカー	スタッカーを引き出すと、排出された原稿が積み重ねられます。
10	スタッカーエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、手前に引き出して使います。
11	スタッカーエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、手前に引き出して使います。
12	ストッパー	読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。
13	サイドガイド拡張スイッチ	サイドガイド拡張スイッチをボールペンで手前に引き出してから ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けると、サイドガイドが、220mm 以上 240mm 以下の原稿の幅に合わせられるようになります。 詳細は、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (211 ページ)を参照してください。

- **背面**



No.	名称	働き
1	セキュリティケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。
2	通気孔	スキャナー内部の熱を外部に逃すための開孔部です。
3	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。 電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したケーブルのことです。
4	LAN コネクター［fi-8190/fi-8170/fi-8150］	LAN ケーブルを接続します。
5	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
6	EXT コネクター	インプリンタを接続します。 読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印字するインプリンタをオプションとして用意しております。 読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理したい場合にご利用ください。 詳細は、スキャナーのオプション (456 ページ)を参照してください。

- **取り外し可能部品**

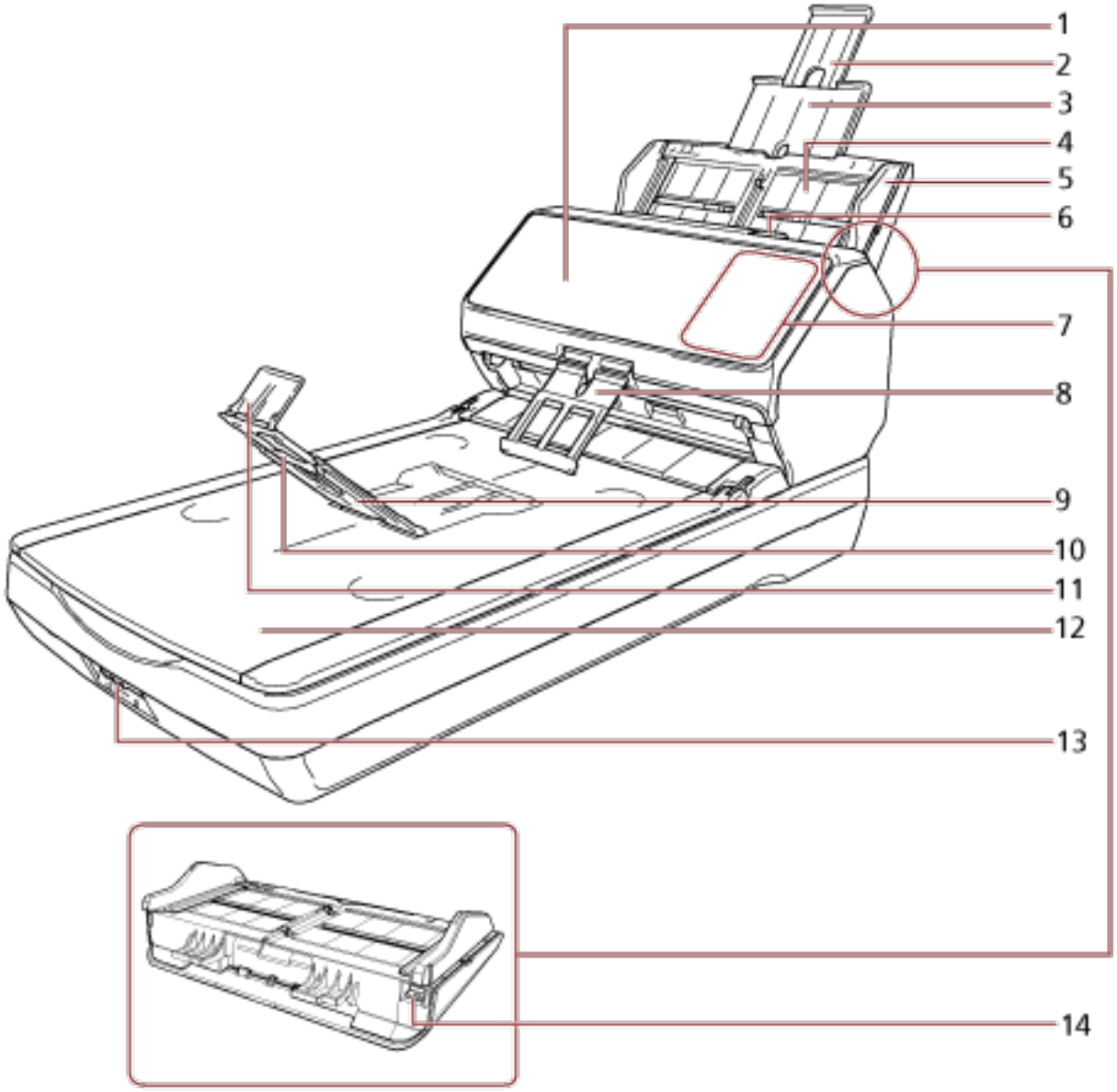


No.	名称	働き
1	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
2	ピックローラ	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を ADF 内に搬送するローラーです。
3	ブレーキローラ	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。

各部の名称と働き［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

スキャナーの各部名称について説明します。

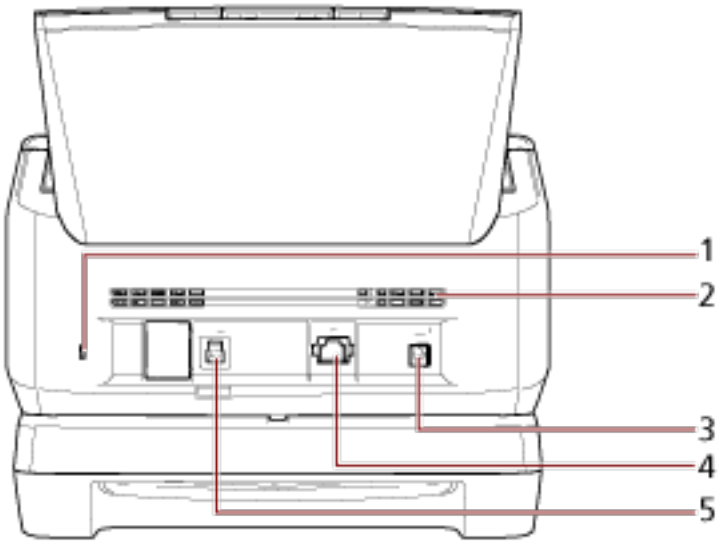
- **前面**



No.	名称	働き
1	ADF（自動給紙機構）	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を、1 枚ずつ引き込んで搬送します。 消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。
2	シュートエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。
3	シュートエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

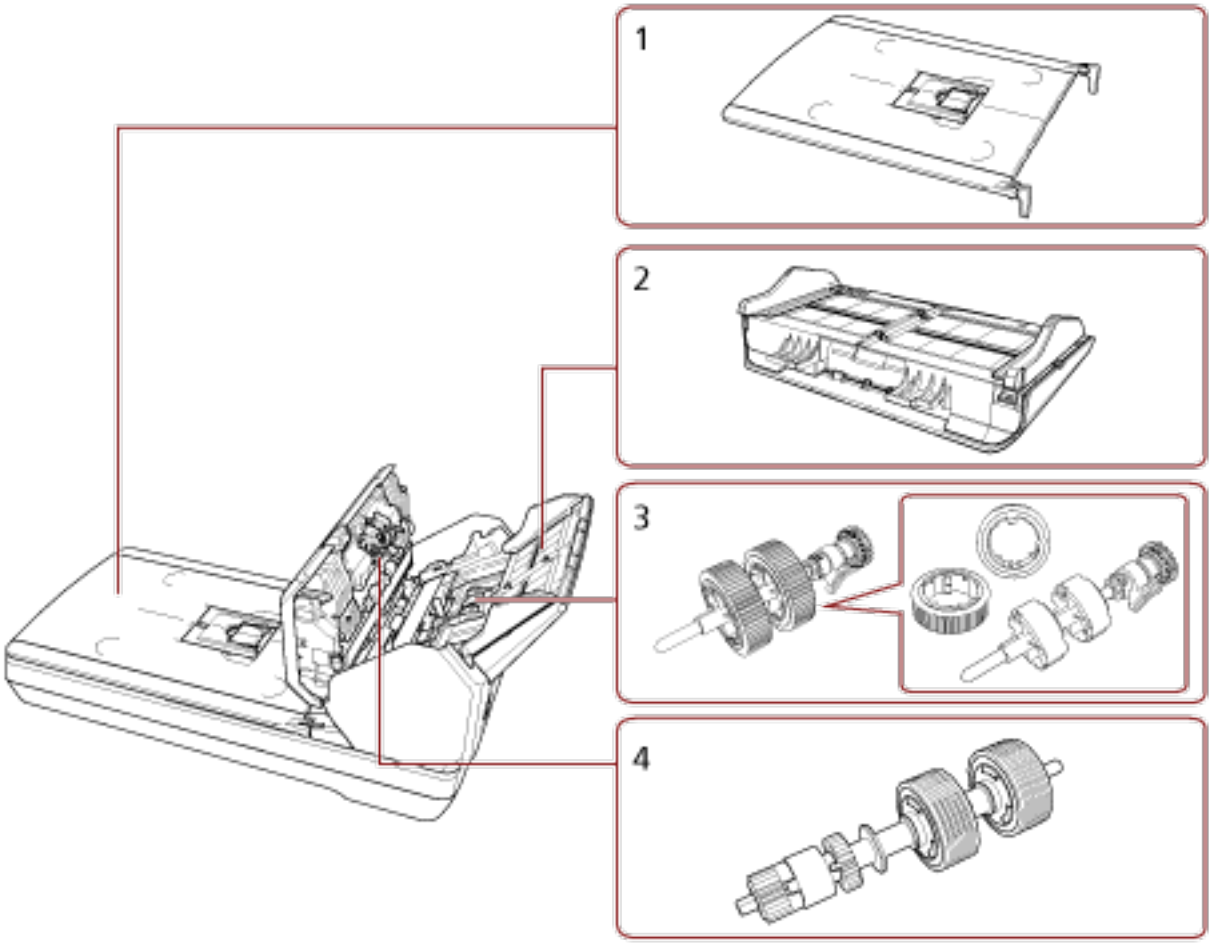
No.	名称	働き
4	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
5	サイドガイド	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。
6	ADF オープンレバー	ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。
7	操作パネル	● fi-8290/fi-8270 の場合 液晶ディスプレイ、ボタンから構成されています。 スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 詳細は、操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (171 ページ)を参照してください。 ● fi-8250/fi-8250U の場合 ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。 スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 詳細は、操作パネルの操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ (205 ページ)を参照してください。
8	スタッカーサポーター	スタッカーサポーターを手前に引き出すと、排出された原稿がきれいに積み重なるようにサポートします。
9	スタッカー	スタッカーを手前に起こすと、排出された原稿が積み重ねられます。
10	スタッカーエクステンション	読み取る原稿の長さに合わせて、手前に引き出して使います。
11	ストッパー	読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。
12	フラットベッド	薄い原稿、本などの厚みを持った原稿など ADF で読み取れない原稿を読み取る場合、ガラス面に原稿を置きます。
13	輸送ロックスイッチ	輸送時にこのロックでフラットベッド内のキャリアユニットを固定します。
14	サイドガイド拡張スイッチ	サイドガイド拡張スイッチをボールペンで手前に引き出してから ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けると、サイドガイドが、220mm 以上 240mm 以下の原稿の幅に合わせられるようになります。 詳細は、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (211 ページ)を参照してください。

- **背面**



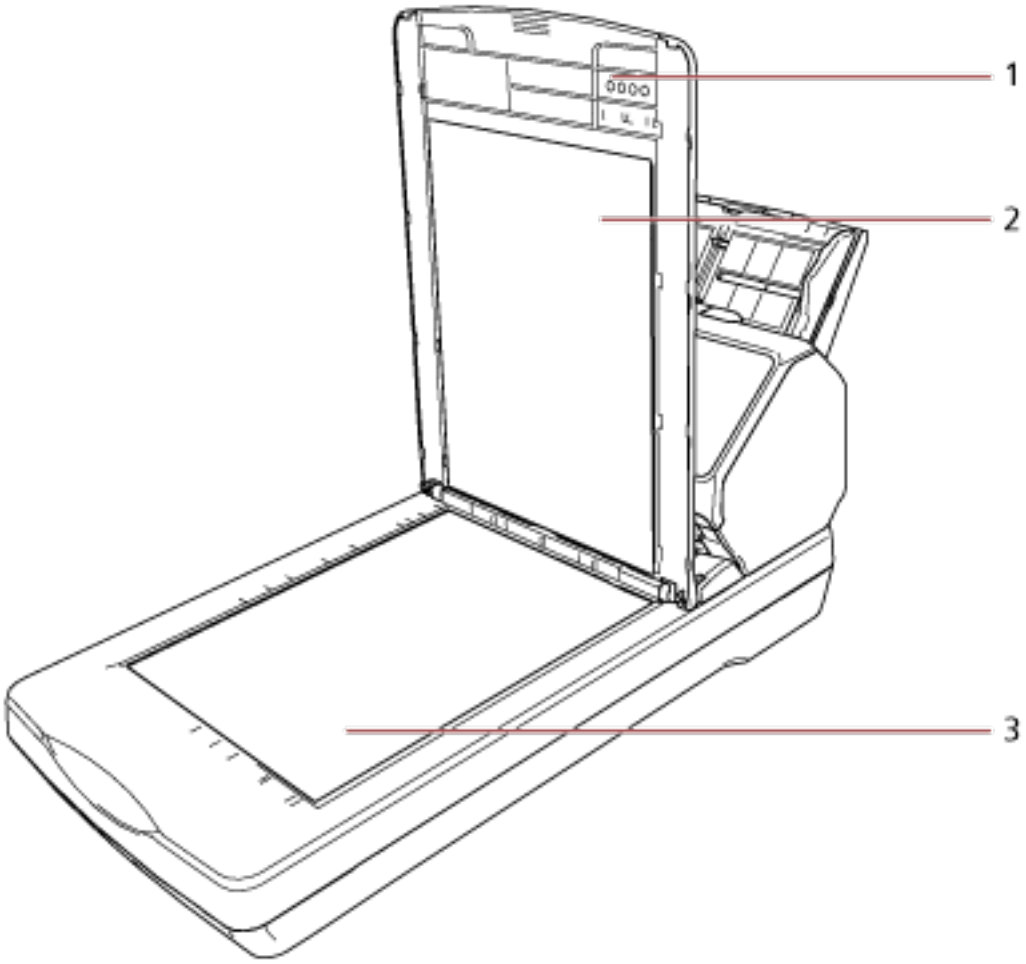
No.	名称	働き
1	セキュリティケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。
2	通気孔	スキャナー内部の熱を外部に逃すための開孔部です。
3	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。 電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したケーブルのことです。
4	LAN コネクター［fi-8290/fi-8270/fi-8250］	LAN ケーブルを接続します。
5	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。

- **取り外し可能部品**



No.	名称	働き
1	ドキュメントカバー	閉じると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。
2	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
3	ピックローラ	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を ADF 内に搬送するローラーです。
4	ブレーキローラ	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。

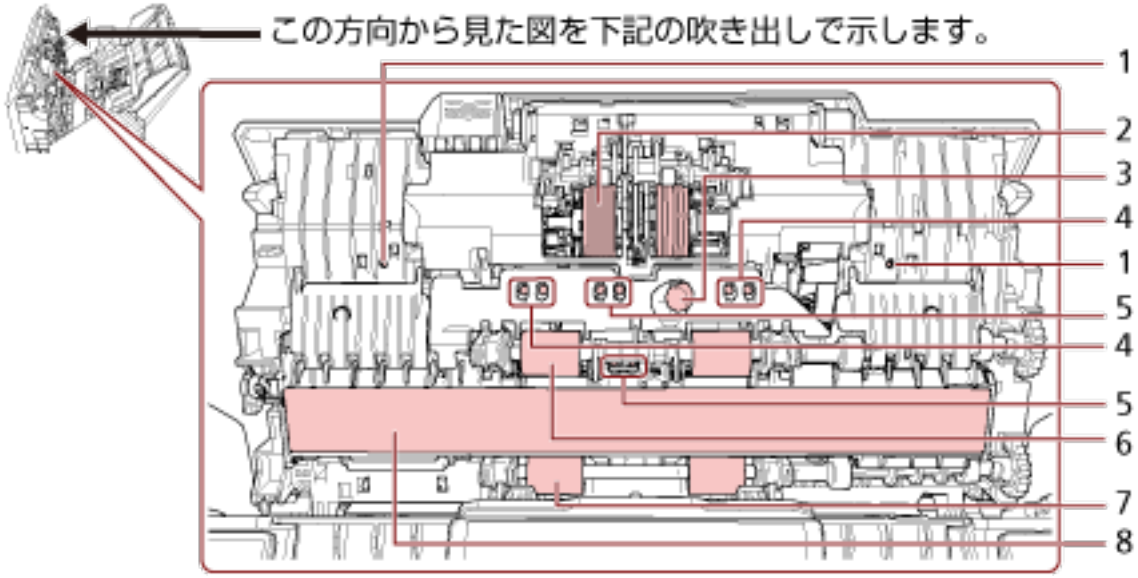
- **内部（フラットベッド）**

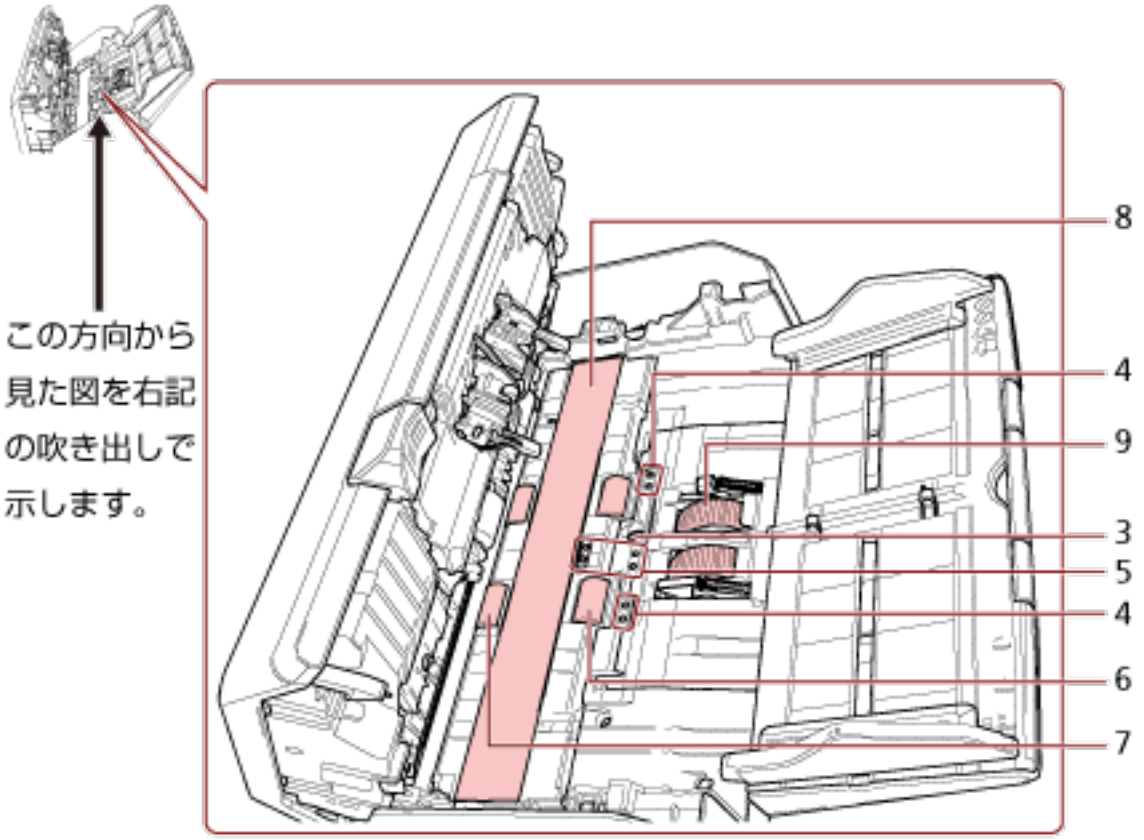


No.	名称	働き
1	ドキュメントカバー	閉じると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。
2	原稿押さえパッド	原稿を原稿台に押し付けて固定します。 原稿押さえパッド部分が黒色のドキュメントカバーをオプションとして用意しております。 フラットベッドで黒背景読み取りを行いたい場合にご利用ください。 詳細は、スキャナーのオプション (456 ページ)を参照してください。
3	原稿台	フラットベッド読み取りの場合、ガラス面に原稿を置きます。

各部の名称と働き［機種共通］

- **内部（ADF）**

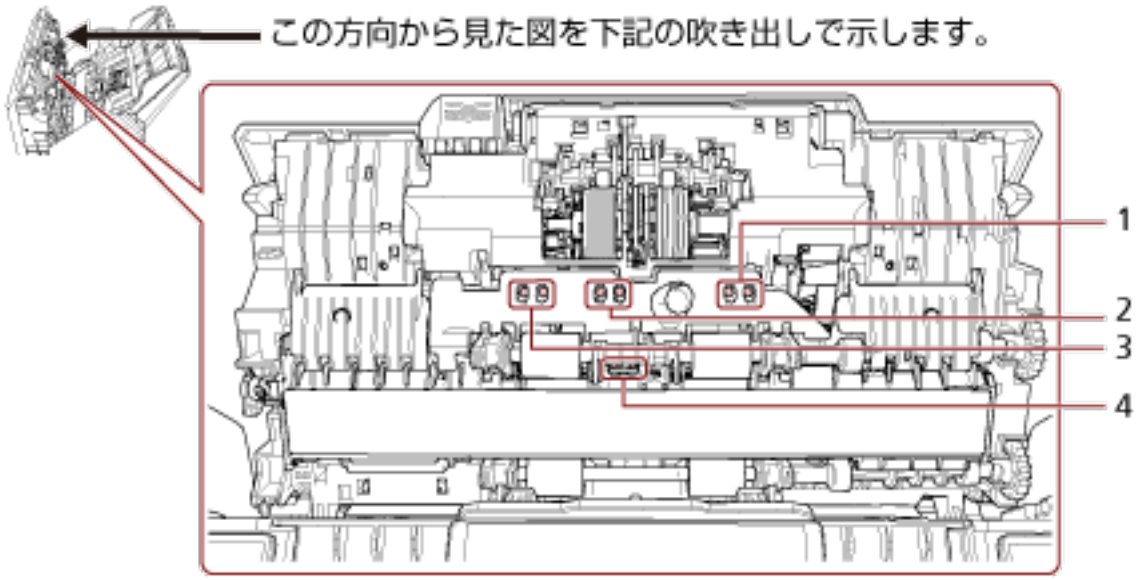


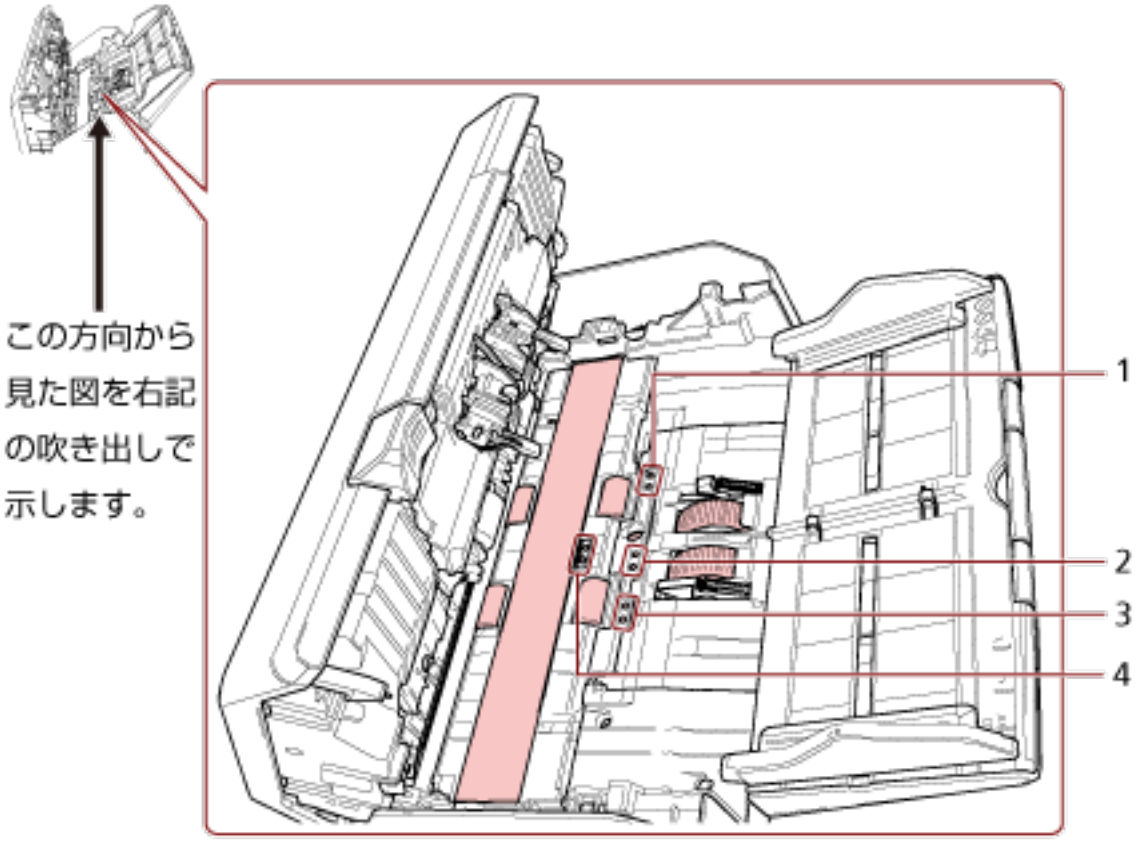


No.	名称	働き
1	マイク（2 か所）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]	原稿がつまる音を検出します。
2	ブレーキローラ（2 か所）	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。
3	超音波センサー（2 か所）	超音波によって原稿の重なりを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、原稿の重なりを検出します。
4	原稿検知センサー（8 か所）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]	原稿の有無を検知するセンサーです。
5	原稿検知センサー（8 か所）	原稿の有無を検知するセンサーです。
6	フィードローラー（4 か所）	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。
7	排出ローラー（4 か所）	ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。
8	ガラス（2 か所）	原稿を読み取る面です。
9	ピックローラ（2 か所）	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。

- **原稿検知センサー**

  原稿検知センサーの名称について詳細に説明します。





No.	名称	働き
1	スキューセンサー（左）（4 か所） [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]	原稿の有無を検知するセンサーです。
2	ピックセンサー（4 か所）	原稿の有無を検知するセンサーです。
3	スキューセンサー（右）（4 か所） [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]	原稿の有無を検知するセンサーです。
4	リードトップセンサー（4 か所）	原稿の有無を検知するセンサーです。

スキャナーのソフトウェア

スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェア、ソフトウェアをインストールするコンピューターの動作環境について説明します。

ソフトウェアの概要

スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアについて説明します。
本製品には、次のソフトウェアが添付されています。

> **ヒント**
> ソフトウェアは、添付の Setup DVD-ROM からインストール、またはダウンロードサイトよりダウンロードし、インストールします。

- PaperStream IP ドライバー
  PaperStream IP ドライバーは、TWAIN/ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ネットワークに接続したスキャナーにも対応しています。
  PaperStream IP ドライバーには、次の 3 種類があります。
  - PaperStream IP (TWAIN)
    TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
  - PaperStream IP (TWAIN x64)
    TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
    オペレーティングシステムに関係なく、32 ビットの画像読み取り用アプリケーションを使用する場合は、PaperStream IP (TWAIN)を使用してください。
  - PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series
    ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
  詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。
- Network Setup Tool
  スキャナーをネットワークに接続して使用できるようにする場合に必要なアプリケーションです。
  次のアプリケーションが含まれています。
  - スキャナー選択ツール
    ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用できるようにするアプリケーションです。
  - IP アドレス設定ツール
    スキャナーの IP アドレスおよびスキャナー名を設定するアプリケーションです。
  - Button Event Manager
    ネットワーク接続の場合に、スキャナーのボタンから起動する画像読み取り用アプリケーションを設定するアプリケーションです。
  詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

Network Setup Tool for fi Series の後継製品です。Network Setup Tool for fi Series と共存できません。

- Network Setup Tool for fi Series
  スキャナーをネットワークに接続して使用する場合に必要なアプリケーションです。
  次のアプリケーションが含まれています。
  - スキャナー選択ツール
    ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用できるようにするアプリケーションです。
  - IP アドレス設定ツール
    スキャナーの IP アドレスおよびスキャナー名を設定するアプリケーションです。
  - Button Event Manager
    スキャナーのボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定するアプリケーションです。

  詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
  Setup DVD-ROM に同梱されている製品です。
- Software Operation Panel
  原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。
  PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
  詳細は、スキャナー設定（Software Operation Panel） (366 ページ)を参照してください。
- Error Recovery Guide
  スキャナーのエラーが発生した場合に、スキャナーの状態と対処方法を表示するアプリケーションです。
  PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
  対処方法は、困ったときには (280 ページ)でも参照できます。
- Error Recovery Guide（マニュアル）
  Error Recovery Guide が通知するエラーの対処方法が記載されたマニュアルです。
- PaperStream ClickScan
  PaperStream IP (TWAIN)に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
  シンプルな設定と操作だけで読み取り処理を実行できます。
  コンピューターにログインすると同時に自動で起動し、画面右下の通知領域に常駐します。
  詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream ClickScan Searchable PDF Option
  画像を検索可能な PDF、Word（*1）、Excel（*1）などの形式で出力するためのアプリケーションです。
  PaperStream ClickScan で使用できます。
  詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream Capture
  PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
  スキャナーの読み取り処理の設定をジョブに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。
  なお、PaperStream Capture には有償の PaperStream Capture Pro/PaperStream Capture Pro Premium があり、評価版で PaperStream Capture Pro Premium の機能を体験できます。

詳細は、PaperStream Capture ユーザーズガイドを参照してください。

- マニュアル
  安全上のご注意、オペレーターガイド、および fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドがインストールされます。
- fi Series Online Update
  コンピューターにインストールされているソフトウェア、およびコンピューターと接続しているスキャナーの、ファームウェアの最新アップデートプログラムを確認し、アップデートするアプリケーションです。
  詳細は、fi Series Online Update のヘルプを参照してください。

***1：**Microsoft® Office 製品がインストールされている必要があります。

動作環境

ソフトウェアをインストールするコンピューターの動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	● Windows® 10 Home（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 10 Pro（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット）（*1） ● Windows® 10 Education（32/64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Home（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Pro（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Enterprise（64 ビット）（*1） ● Windows® 11 Education（64 ビット）（*1）
CPU	Intel または Intel 互換プロセッサー
ディスプレイ解像度	1024×768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ（*2） （テキストサイズ：オペレーティングシステムのディスプレイ設定の拡大率は 125%まで）
ディスク容量	12GB 以上の空き容量が必要（*3）
DVD ドライブ	添付の Setup DVD-ROM からソフトウェアをインストールするときに必要
インターフェイス	USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/USB2.0/USB1.1
ブラウザー（*4）	● Google Chrome ● Microsoft Edge

***1：**添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

***2：**PaperStream Capture を使用する場合は、1280×800 ピクセル以上、65536 色以上表示可能なディスプレイを使用してください。

***3：**原稿を読み取るときは、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

***4：**fi Series ネットワーク設定で、ネットワーク設定する場合に必要となります。
Microsoft Edge の Internet Explorer モードは未サポートです。

スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されていない場合）

ここでは、Setup DVD-ROM が添付されていない場合のスキャナーのセットアップ方法について説明します。
Setup DVD-ROM が添付されているかどうかは、スタートアップガイドで確認してください。
スキャナーのセットアップは、スキャナーの接続方法によって異なります。
それぞれの参照先を確認して、スキャナーをセットアップしてください。

- **スキャナーを USB ケーブルで接続する**



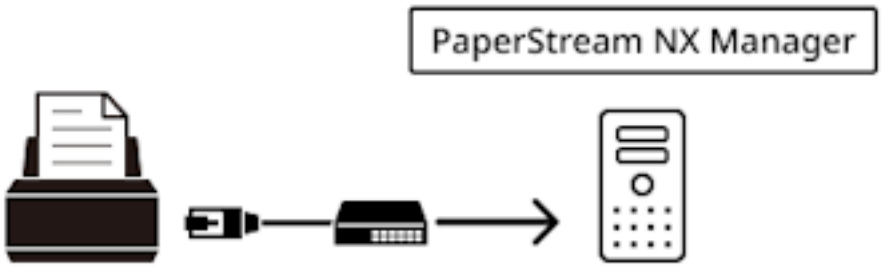
スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (47 ページ)

- **スキャナーを有線 LAN で接続する**



スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (49 ページ)

スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (52 ページ)





スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (55 ページ)



スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (59 ページ)

ヒント

PaperStream NX Manager 運用する場合は、PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。
PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html

スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続して使用する場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

1 コンピューターにソフトウェアをインストールします。

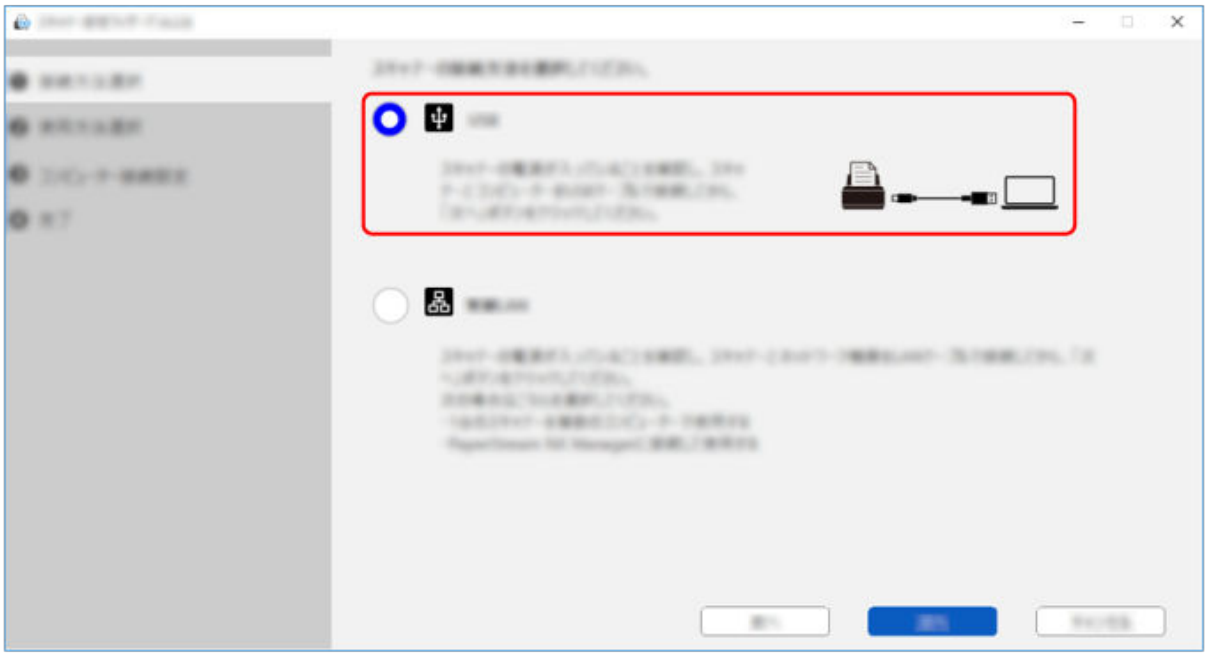
詳細は、次を参照してください。

- オンライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） (63 ページ)の手順 1～手順 9 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。
- オフライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)の手順 1～手順 16 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。

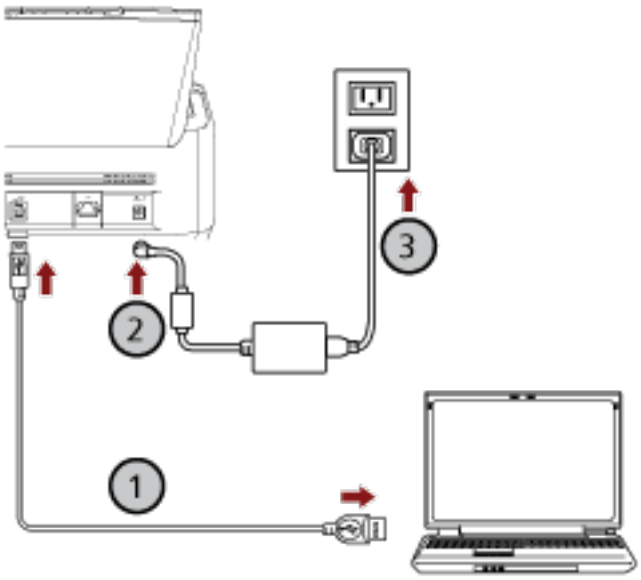
2 Network Setup Tool をインストールするかどうかで、それぞれ次の手順に進みます。

- Network Setup Tool をインストールする場合
  スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、手順 3 に進みます。
- Network Setup Tool をインストールしない場合
  ソフトウェアのインストールが終了したら、手順 4、手順 6、手順 7 の順に進みます。

3 「USB」を選択します。



4 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続します（①）。

b 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（②、③）。

c スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

5 スキャナーの接続方法を選択する画面で［次へ］ボタンをクリックします。

6 表示される画面の指示に従って操作し、セットアップを完了します。

7 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、次を参照してください。

- 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (128 ページ)
- スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)

スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続するときに、スキャナーの IP アドレスが DHCP サーバーから自動的に割り当てられる場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

ヒント

スキャナーの IP アドレスの工場出荷設定は、IP アドレスを自動で取得するようになっています。

1 **コンピューターにソフトウェアをインストールします。**

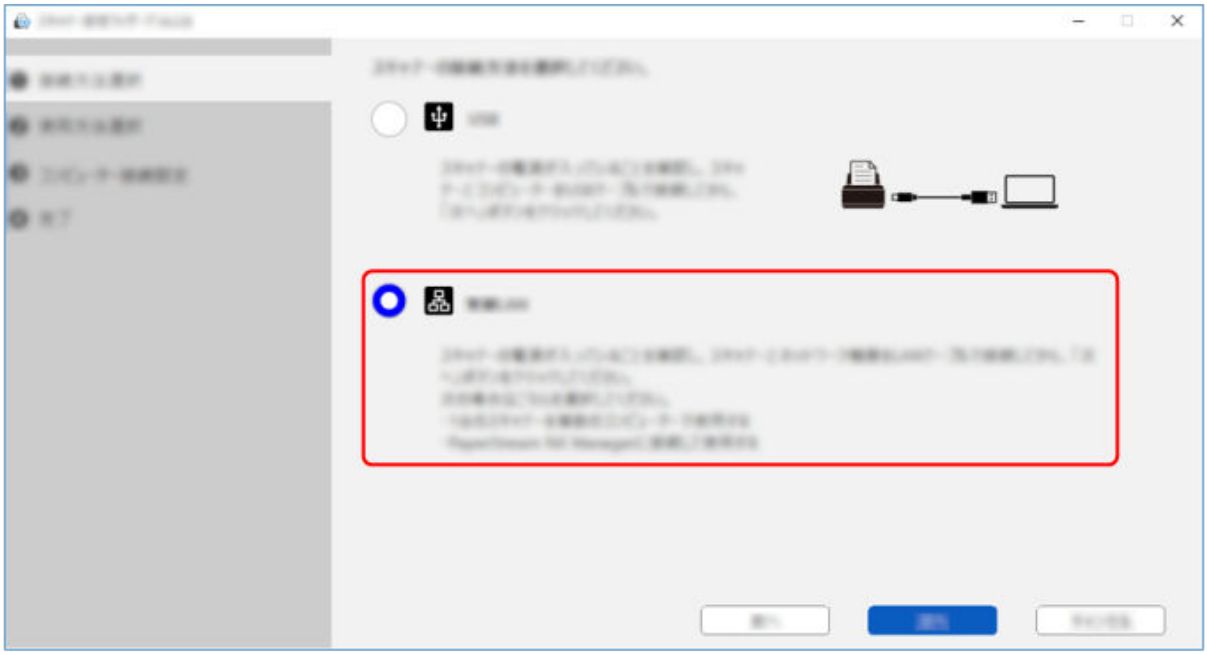
詳細は、次を参照してください。

- オンライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） (63 ページ)の手順 1～手順 9 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。
- オフライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)の手順 1～手順 16 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。

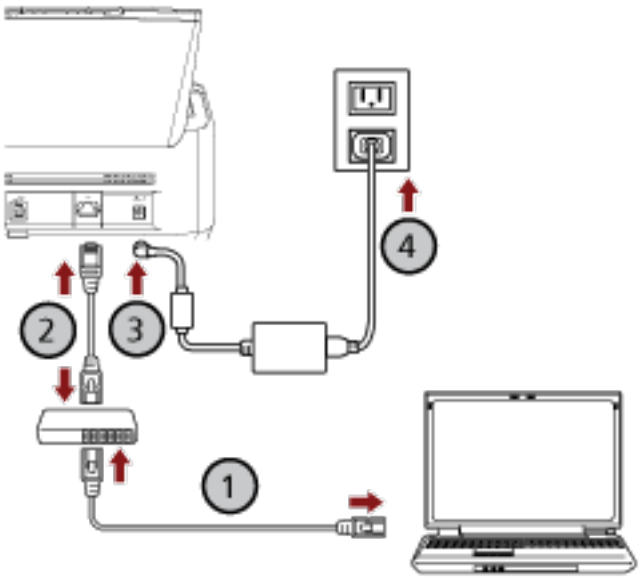
カスタムインストールの場合は、スキャナーをネットワークに接続するため、Network Setup Tool をインストールしてください。

なお、おすすめインストールの場合は、Network Setup Tool がインストールされます。

2 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、「有線 LAN」を選択します。



3 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。

c 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。

d スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

4 スキャナーの接続方法を選択する画面で［次へ］ボタンをクリックします。
コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面が表示されます。

5 スキャナーの一覧で、使用するスキャナーを選択して、チェックボックスにチェックを付けます。
スキャナー名の工場出荷設定は、「スキャナーの機種名 - シリアル番号」です。
スキャナーのシリアル番号は、ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、スキャナーの背面にあるラベルで確認してください。詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。
完了の画面が表示されます。

7 ［完了］ボタンをクリックします。

8 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、次を参照してください。

- 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (128 ページ)
- スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)

ヒント

スキャナーのネットワークは、fi Series ネットワーク設定でも設定できます。
詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］(428 ページ)を参照してください。

スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続するときに、スキャナーの IP アドレスを手動で設定する場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

1 コンピューターにソフトウェアをインストールします。

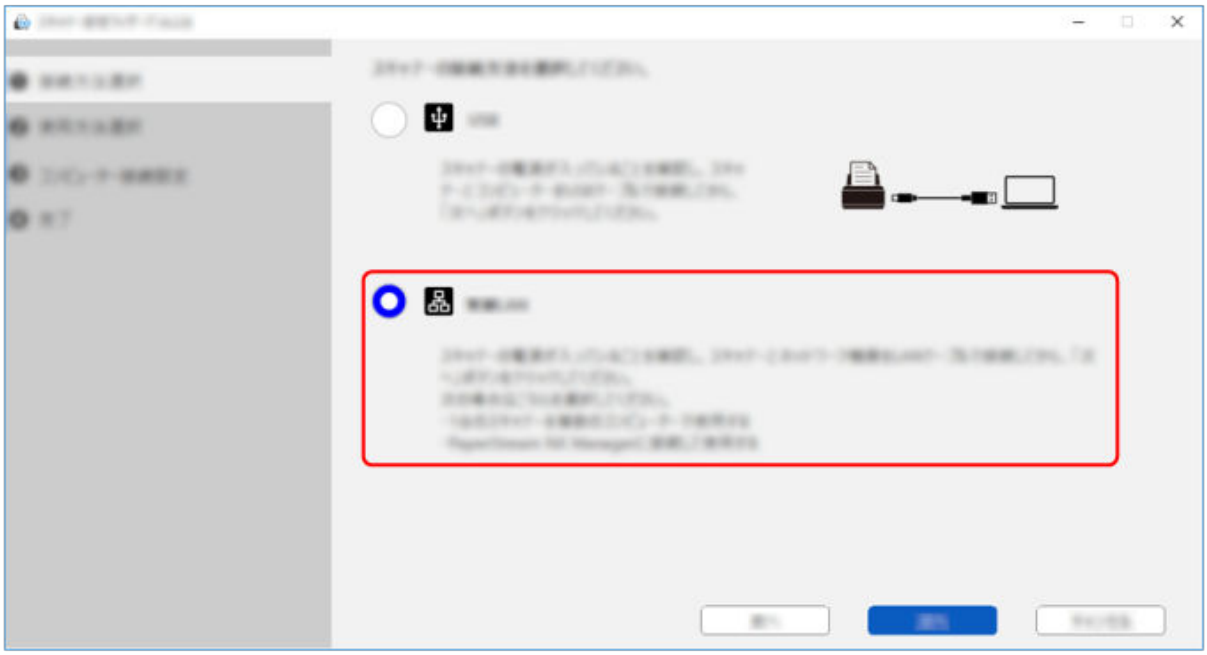
詳細は、次を参照してください。

- オンライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） (63 ページ)の手順 1～手順 9 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。
- オフライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)の手順 1～手順 16 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。

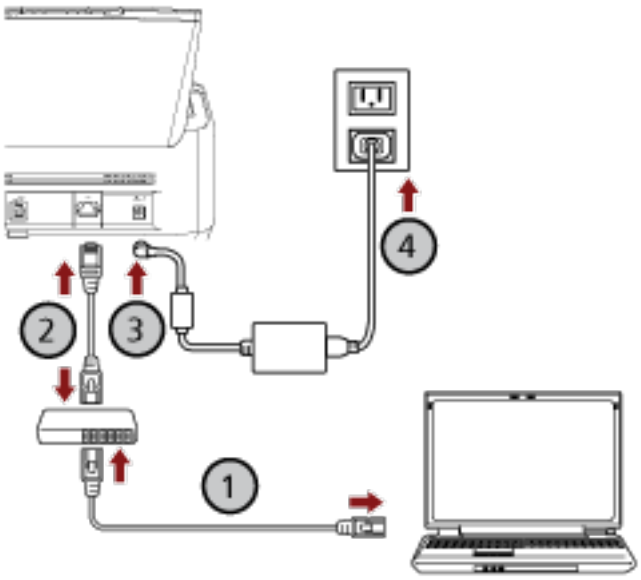
カスタムインストールの場合は、スキャナーをネットワークに接続するため、Network Setup Tool をインストールしてください。

なお、おすすめインストールの場合は、Network Setup Tool がインストールされます。

2 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、「有線 LAN」を選択します。



3 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。

c 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。

d スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

4 スキャナーの接続方法を選択する画面で［次へ］ボタンをクリックします。
コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面が表示されます。

5 ［IP アドレス設定］ボタンをクリックします。
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続するよう促すメッセージが表示されます。

6 スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続して、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。
IP アドレス設定ツールのログインの画面が表示されます。

> **ヒント**
> USB ケーブルを接続するときに、スキャナーの LAN ケーブルを抜く必要はありません。

7 工場出荷設定の管理者パスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。

ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
「IP アドレス設定ツール」画面が表示されます。

8 **IP アドレスやスキャナー名を設定して、[OK] ボタンをクリックします。**
IP アドレス設定ツールの詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

> **ヒント**
> ここで設定したスキャナー名や IP アドレスは、コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面のスキャナーの一覧に表示されます。

9 **スキャナーから USB ケーブルを抜きます。**

10 **コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面の［検索］ボタンをクリックして、使用するスキャナーを検索します。**
IP アドレスの設定直後は、スキャナーの一覧にスキャナーが表示されません。［検索］ボタンでスキャナーを検索してください。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

11 **スキャナーの一覧で、使用するスキャナーを選択して、チェックボックスにチェックを付けます。**

12 **［次へ］ボタンをクリックします。**
完了の画面が表示されます。

13 **［完了］ボタンをクリックします。**

14 **読み取りが開始できるかを確認します。**
詳細は、次を参照してください。

- 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (128 ページ)
- スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)

> **ヒント**
> - IP アドレス設定ツールが起動しない場合は、IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)を参照して起動してください。
> - スキャナーのネットワークは、fi Series ネットワーク設定でも設定できます。
> 詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250]

スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続するときに、スキャナーの IP アドレスが DHCP サーバーから自動的に割り当てられる場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

ヒント

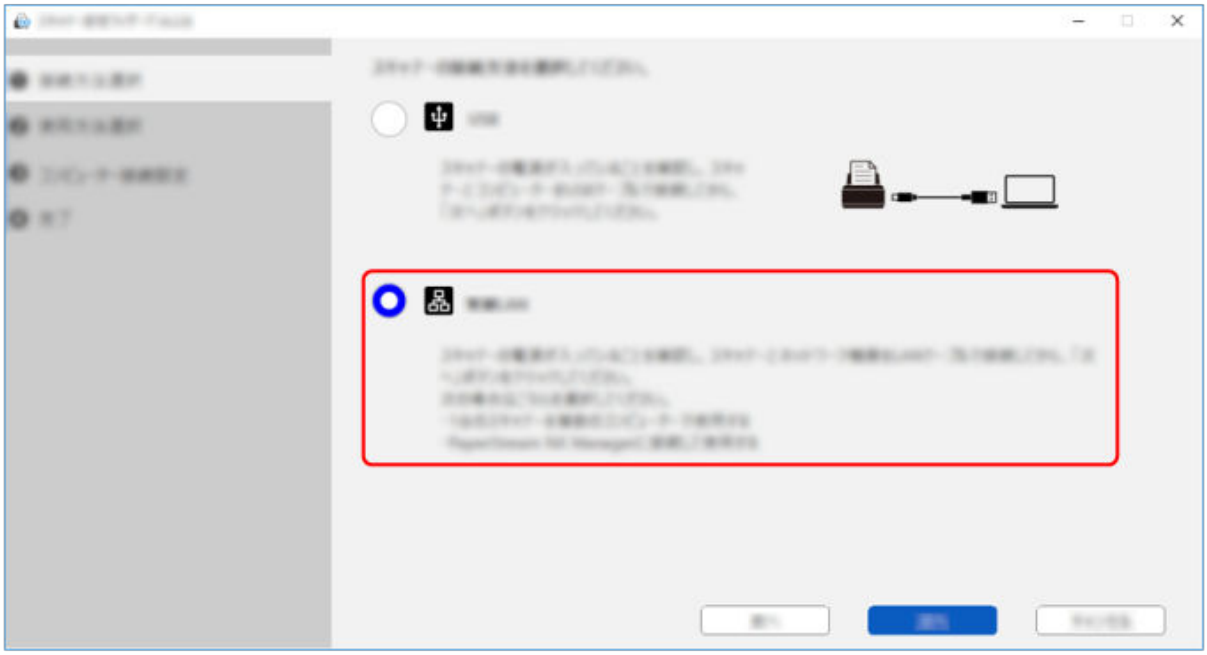
- スキャナーの IP アドレスの工場出荷設定は、IP アドレスを自動で取得するようになっています。
- PaperStream NX Manager 運用するときに必要な環境は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して構築してください。
  ここでは、スキャナーのネットワーク設定をします。

1 **コンピューターにソフトウェアをインストールします。**
詳細は、次を参照してください。

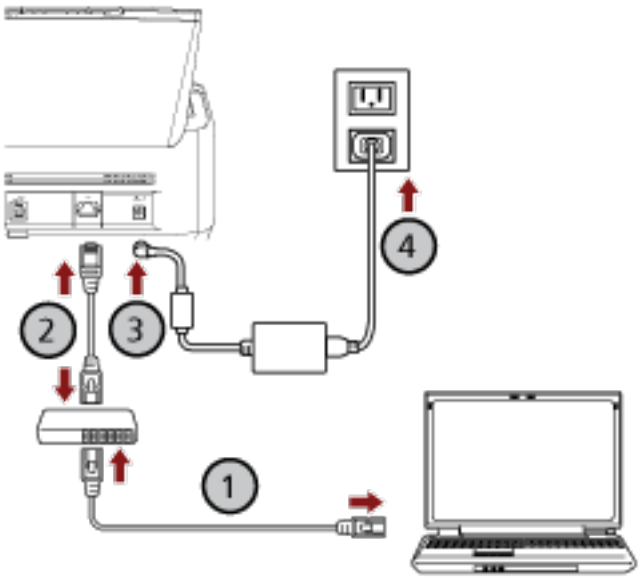
- オンライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） (63 ページ)の手順 1～手順 9 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。
- オフライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)の手順 1～手順 16 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。

カスタムインストールの場合は、スキャナーをネットワークに接続するため、Network Setup Tool をインストールしてください。
なお、おすすめインストールの場合は、Network Setup Tool がインストールされます。

2 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、「有線 LAN」を選択します。



3 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。

c 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。

d スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

4 スキャナーの接続方法を選択する画面で［次へ］ボタンをクリックします。
コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面が表示されます。

5 スキャナーの一覧で、使用するスキャナーの「スキャナー設定を開く」をクリックします。
スキャナー名の工場出荷設定は、「スキャナーの機種名 - シリアル番号」です。
スキャナーのシリアル番号は、ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、スキャナーの背面にあるラベルで確認してください。詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
ブラウザーが起動して、fi Series ネットワーク設定のログインの画面が表示されます。

6 管理者パスワードを入力して、［ログイン］ボタンをクリックします。
管理者パスワードの詳細は、管理者パスワード (443 ページ)を参照してください。
fi Series ネットワーク設定のスキャナー情報の画面が表示されます。

7 次の項目を設定します。
各項目の画面で値を設定して、［スキャナーに反映］ボタンをクリックします。
各項目の詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- スキャナー名
  スキャナーの名前を設定します。
- スキャナーコード
  スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。
  スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
- 有線 LAN
  スキャナーに IPv4 アドレスを設定します。

> **重要**
> PaperStream NX Manager 運用は、IPv6 アドレスをサポートしていません。

- 通信の暗号化
  ネットワークで通信するデータを暗号化するかどうかを設定します。
- プロキシサーバー
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
- PaperStream NX Manager
  PaperStream NX Manager 運用する設定にします。
  「有効にする」チェックボックスにチェックを付けて、「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」を設定します。
  ［接続確認］ボタンをクリックして、PaperStream NX Manager に接続できるかどうかを確認できます。
- Scanner Central Admin Server
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、Scanner Central Admin Server を使用するときに設定します。

Scanner Central Admin Server からスキャナーの遠隔監視や一括設定ができます。

8 コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面で［次へ］ボタンをクリックします。
完了の画面が表示されます。

9 ［完了］ボタンをクリックします。

10 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、次を参照してください。

- ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (138 ページ)
- ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8150/fi-8250］ (142 ページ)

スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250]

スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続するときに、スキャナーの IP アドレスを手動で設定する場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

ヒント

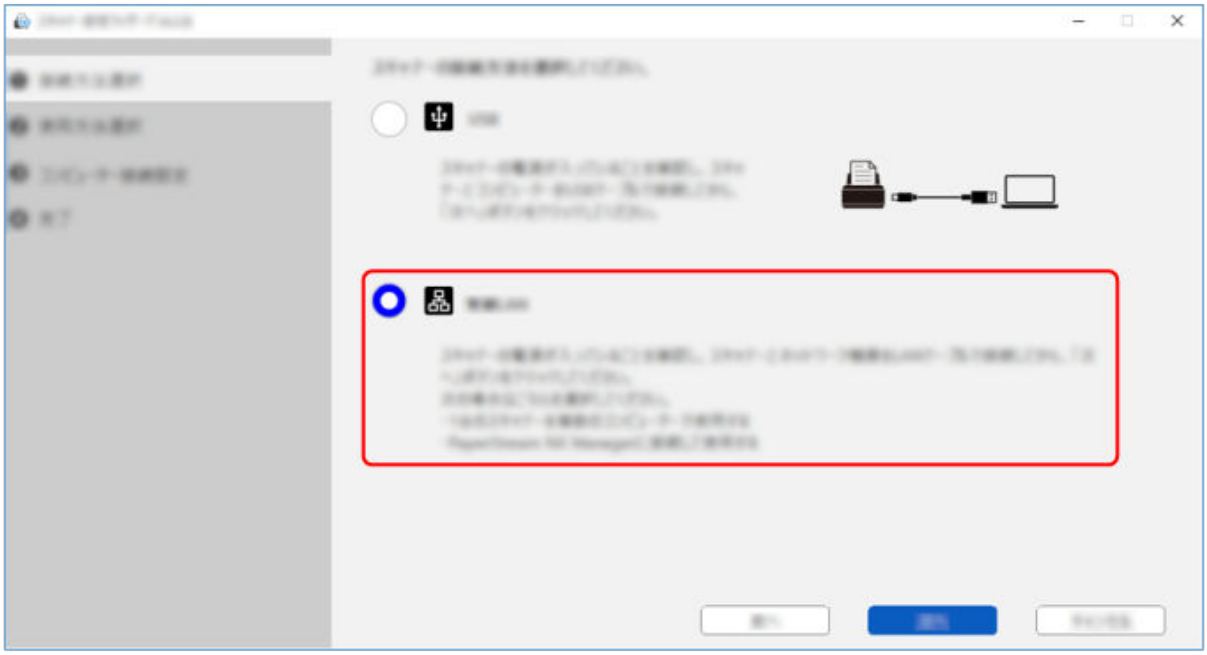
PaperStream NX Manager 運用するときに必要な環境は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して構築してください。
ここでは、スキャナーのネットワーク設定をします。

1 **コンピューターにソフトウェアをインストールします。**
詳細は、次を参照してください。

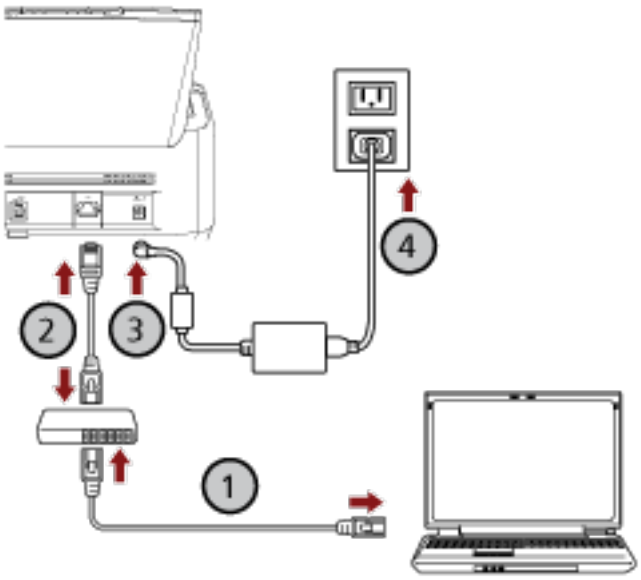
- オンライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境） (63 ページ)の手順 1～手順 9 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。
- オフライン環境の場合
  ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)の手順 1～手順 16 までを参照して、ソフトウェアをインストールしてください。

カスタムインストールの場合は、スキャナーをネットワークに接続するため、Network Setup Tool をインストールしてください。
なお、おすすめインストールの場合は、Network Setup Tool がインストールされます。

2　スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、「有線 LAN」を選択します。



3　次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a　コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b　スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。

c　電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。

d スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

4 スキャナーの接続方法を選択する画面で［次へ］ボタンをクリックします。
コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面が表示されます。

5 ［IP アドレス設定］ボタンをクリックします。
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続するよう促すメッセージが表示されます。

6 スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続して、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。
IP アドレス設定ツールのログインの画面が表示されます。

> **ヒント**
> USB ケーブルを接続するときに、スキャナーの LAN ケーブルを抜く必要はありません。

7 工場出荷設定の管理者パスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
「IP アドレス設定ツール」画面が表示されます。

8 IP アドレスやスキャナー名を設定して、［OK］ボタンをクリックします。
IP アドレス設定ツールの詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

> **ヒント**
> ここで設定したスキャナー名や IP アドレスは、コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面のスキャナーの一覧に表示されます。

9 スキャナーから USB ケーブルを抜きます。

10 コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面の［検索］ボタンをクリックして、使用するスキャナーを検索します。
IP アドレスの設定直後は、スキャナーの一覧にスキャナーが表示されません。［検索］ボタンでスキャナーを検索してください。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

11 スキャナーの一覧で、使用するスキャナーの「スキャナー設定を開く」をクリックします。
ブラウザーが起動して、fi Series ネットワーク設定のログインの画面が表示されます。

12 管理者パスワードを入力して、［ログイン］ボタンをクリックします。
管理者パスワードの詳細は、管理者パスワード (443 ページ)を参照してください。
fi Series ネットワーク設定のスキャナー情報の画面が表示されます。

13 次の項目を設定します。
各項目の画面で値を設定して、［スキャナーに反映］ボタンをクリックします。
各項目の詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- スキャナー名
  スキャナーの名前を設定します。
- スキャナーコード
  スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。
  スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
- 有線 LAN
  スキャナーに IPv4 アドレスを設定します。

> **重要**
> PaperStream NX Manager 運用は、IPv6 アドレスをサポートしていません。

- 通信の暗号化
  ネットワークで通信するデータを暗号化するかどうかを設定します。
- プロキシサーバー
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
- PaperStream NX Manager
  PaperStream NX Manager 運用する設定にします。
  「有効にする」チェックボックスにチェックを付けて、「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」を設定します。
  ［接続確認］ボタンをクリックして、PaperStream NX Manager に接続できるかどうかを確認できます。
- Scanner Central Admin Server
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、Scanner Central Admin Server を使用するときに設定します。
  Scanner Central Admin Server からスキャナーの遠隔監視や一括設定ができます。

14 コンピューターに接続するスキャナーを設定する画面で［次へ］ボタンをクリックします。
完了の画面が表示されます。

15 ［完了］ボタンをクリックします。

16 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、次を参照してください。

- ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (138 ページ)
- ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8150/fi-8250］ (142 ページ)

> **ヒント**
> IP アドレス設定ツールが起動しない場合は、IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)を参照して起動してください。

ソフトウェアをインストールする（オンラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

コンピューターをインターネットに接続する必要があります。
スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合は、ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境） (67 ページ)を参照してインストールしてください。

重要

- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
  ➡ ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)
- 本インストーラーに同梱している Network Setup Tool は、Network Setup Tool for fi Series の後継製品になります。Network Setup Tool for fi Series がすでにインストールされている場合は、Network Setup Tool をインストールする前にアンインストールしてください。

1 **コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。**

2 **ダウンロードサイトに接続します。**
https://www.pfu.ricoh.com/fi/d/

3 **「オンラインインストーラー」をクリックします。**



4 **使用許諾契約の画面で、内容を確認して［同意してダウンロード］ボタンをクリックします。**
オンラインインストーラーのダウンロードが開始されます。

5 **ダウンロードしたオンラインインストーラー「Online Installer fi Series.exe」をダブルクリックします。**

6 使用するスキャナーの機種名を選択して、［次へ］ボタンをクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。

7 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。

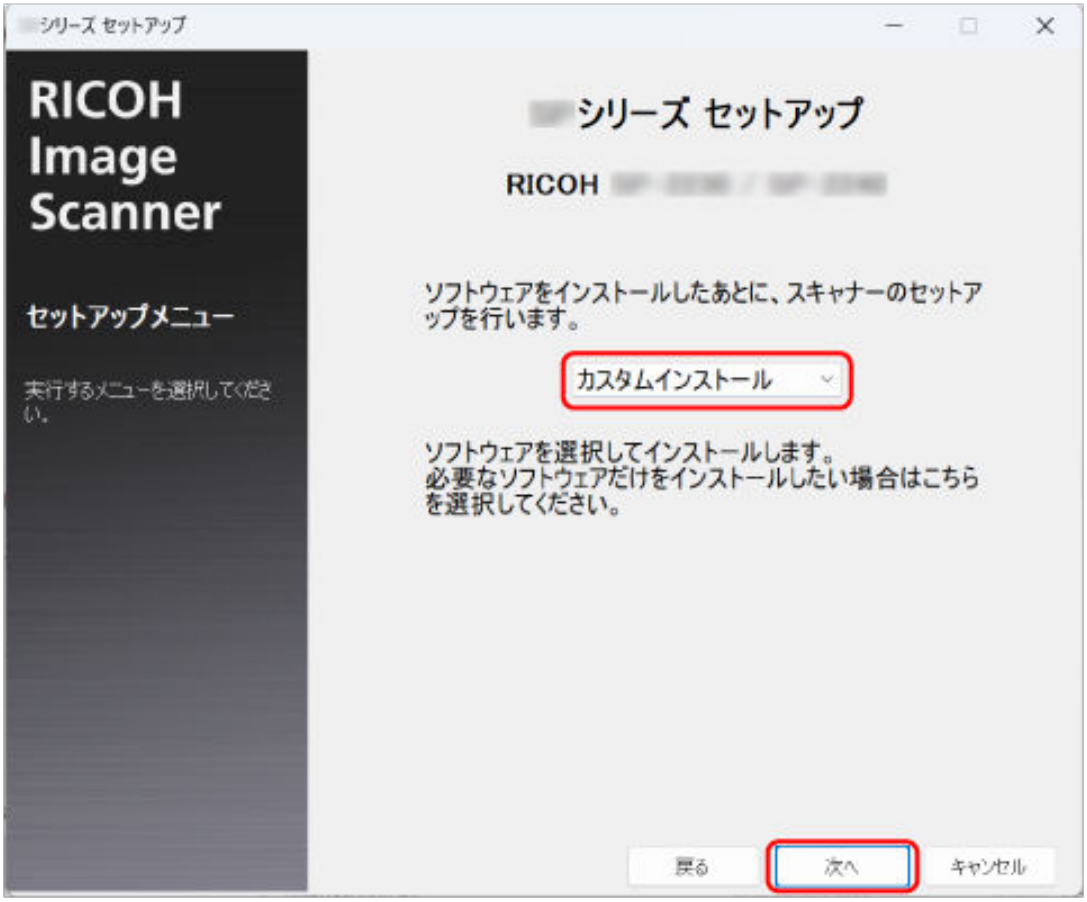
- おすすめインストール
  次のソフトウェアがインストールされます。
  - PaperStream IP (TWAIN)
    次も同時にインストールされます。
    - Software Operation Panel
    - Error Recovery Guide
  - PaperStream Capture
  - PaperStream ClickScan
  - Network Setup Tool
  - Error Recovery Guide（マニュアル）
  - fi Series Online Update
  - マニュアル（安全上のご注意、オペレーターガイド、および fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイド）

a 「おすすめインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



- カスタムインストール
  必要なソフトウェアを選択してインストールします。

  a 「カスタムインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



  b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。
  スキャナーをネットワークに接続する場合、Network Setup Tool をインストールしてください。

8 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ファームウェアのアップデートがある場合、ファームウェアをアップデートするかどうかの画面が表示されます。
アップデートするかどうかを指定して、操作を進めてください。

9 スキャナー機種選択画面が表示された場合は、使用するスキャナーの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

10 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、接続方法を選択し、画面の指示に従って操作を進めます。
詳細は、次を参照してください。

- スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (47 ページ)
- スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (49 ページ)

- スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (52 ページ)
- スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (55 ページ)
- スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (59 ページ)

ソフトウェアをインストールする（オフラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

この場合、インターネットに接続できるコンピューターで、ダウンロードサイトからオフラインインストーラークリエイターを入手し、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を作成します。
スキャナーを接続するコンピューターで、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を実行してソフトウェアをインストールします。

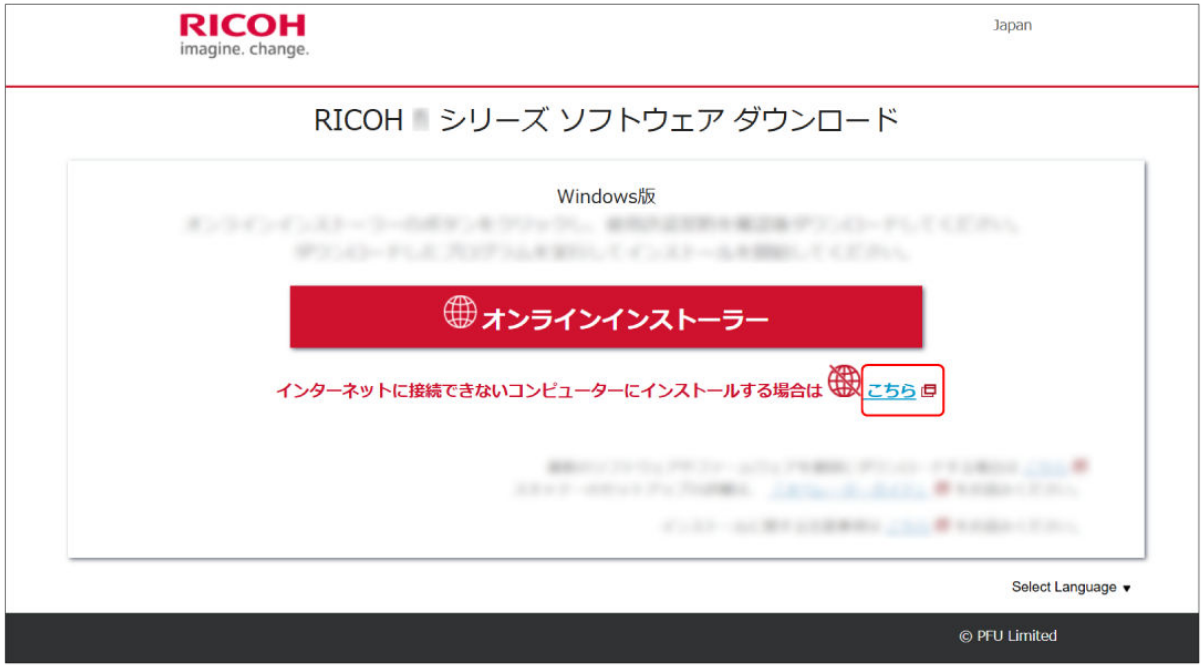
重要

- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
  ➡ ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)
- 本インストーラーに同梱している Network Setup Tool は、Network Setup Tool for fi Series の後継製品になります。Network Setup Tool for fi Series がすでにインストールされている場合は、Network Setup Tool をインストールする前にアンインストールしてください。

1 インターネットに接続できるコンピューターで、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。

2 ダウンロードサイトに接続します。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/d/

3 「インターネットに接続できないコンピューターにインストールする場合はこちら」の「こちら」をクリックします。



4 インストールの流れを説明した画面で、「オフラインインストーラークリエイター」をクリックします。

5 使用許諾契約の画面で、内容を確認して［同意してダウンロード］ボタンをクリックします。

オフラインインストーラークリエイターのダウンロードが開始されます。

6 ダウンロードしたオフラインインストーラークリエイター「Offline Installer Creator fi Series.exe」をダブルクリックします。

7 使用するスキャナーの機種名を選択して、［次へ］ボタンをクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。

8 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。

ここで選択した内容に従って、最新のソフトウェアを含むオフラインインストーラー（ISO ファイル）が作成されます。

- おすすめインストール
  次のソフトウェアがインストールされます。
  - PaperStream IP (TWAIN)
    次も同時にインストールされます。
    - Software Operation Panel
    - Error Recovery Guide
  - PaperStream Capture
  - PaperStream ClickScan
  - Network Setup Tool
  - Error Recovery Guide（マニュアル）
  - fi Series Online Update
  - マニュアル（安全上のご注意、オペレーターガイド、および fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイド）

a 「おすすめインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



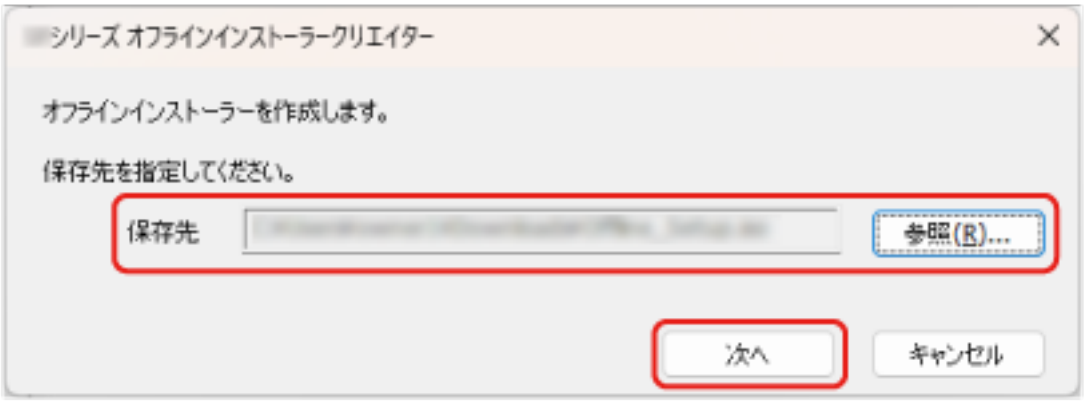
- カスタムインストール
  必要なソフトウェアを選択します。

a 「カスタムインストール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

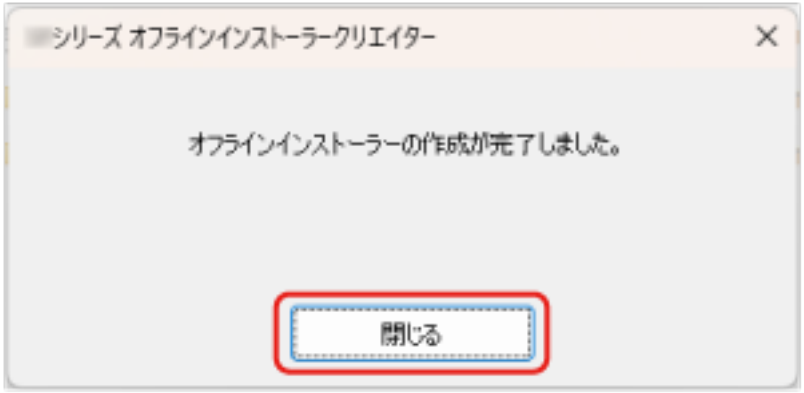


b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。
スキャナーをネットワークに接続する場合、Network Setup Tool のチェックボックスにチェックを付けてください。

9 ISO ファイルの保存先を指定して、［次へ］ボタンをクリックします。



10 ［閉じる］ボタンをクリックします。

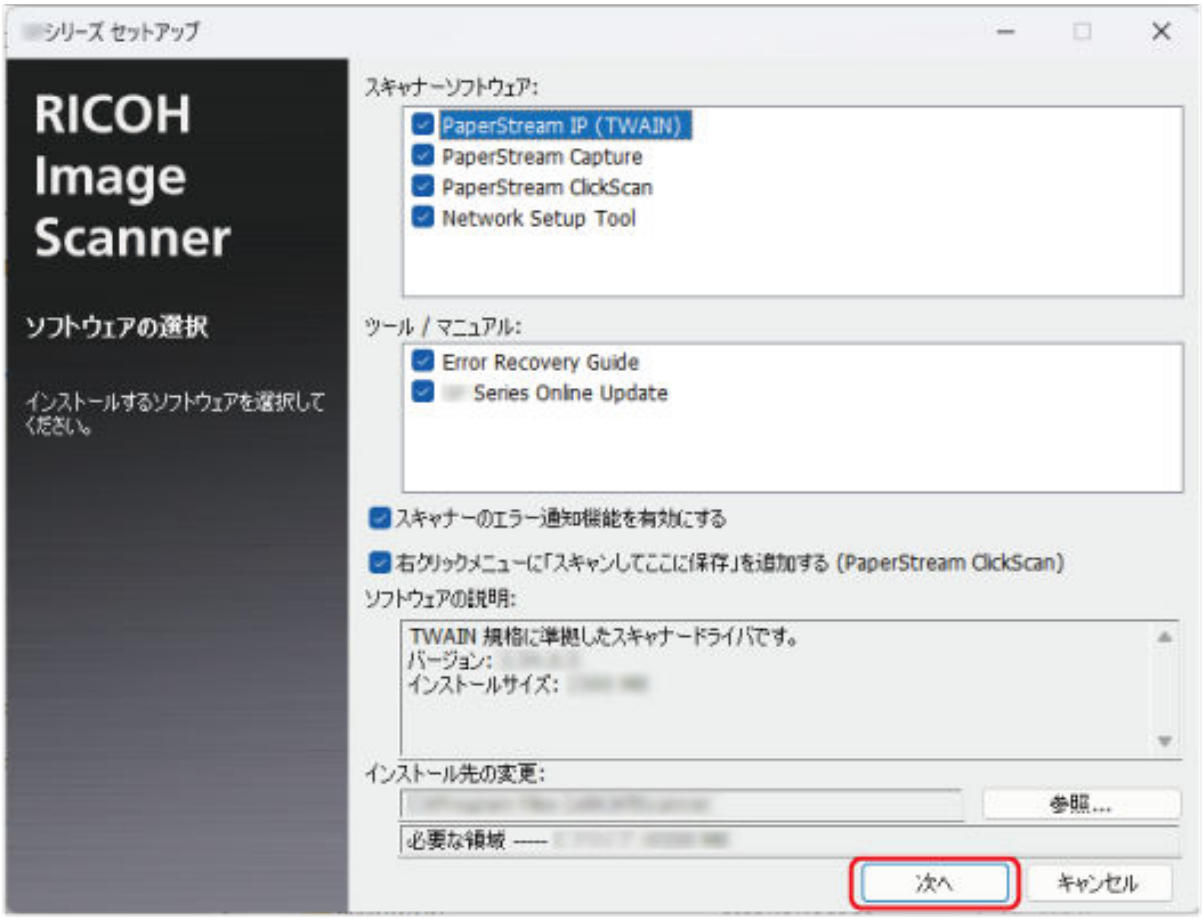


11 スキャナーを接続するコンピューターに、作成した ISO ファイルを保存します。

12 保存した ISO ファイルを右クリックして「マウント」をクリックします。

13 表示されたフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

14 ［次へ］ボタンをクリックします。



15 表示される画面の指示に従ってインストールします。

16 スキャナー機種選択画面が表示された場合は、使用するスキャナーの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

17 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、接続方法を選択し、画面の指示に従って操作を進めます。

詳細は、次を参照してください。

- スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (47 ページ)
- スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (49 ページ)
- スキャナーを有線 LAN でコンピューターに接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (52 ページ)
- スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (55 ページ)
- スキャナーを有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (59 ページ)

Network Setup Tool を起動する［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool の場合）

ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用するには、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択する必要があります。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「スキャナー選択ツール」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「スキャナー選択ツール」をクリックします。

IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合）

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「IP アドレス設定ツール」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「IP アドレス設定ツール」をクリックします。

Button Event Manager を起動する（Network Setup Tool の場合）

1 次のどちらかの操作をします。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー →「Network Setup Tool」→「Button Event Manager」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「Button Event Manager」をクリックします。

Button Event Manager を起動すると、コンピューターのタスクバーの通知領域にが表示されます。

2 ボタンの設定に関するヘルプを参照する場合は、を右クリックし、表示されたメニューで「ヘルプ」をクリックします。

スキャナーのセットアップ（Setup DVD-ROM が添付されている場合）

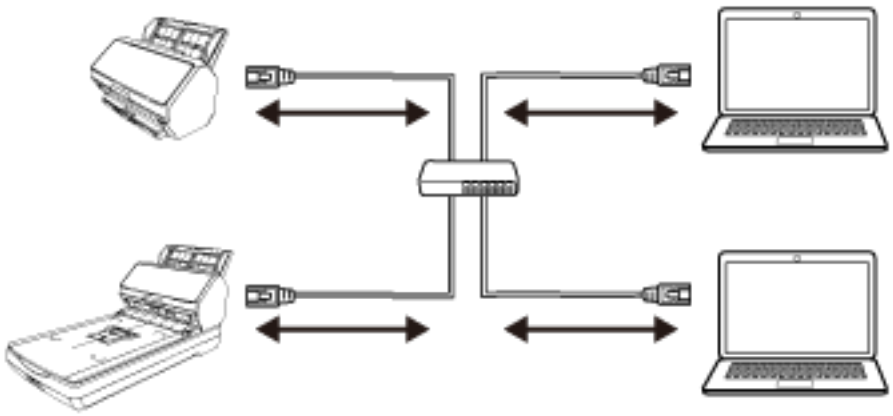
ここでは、Setup DVD-ROM が添付されている場合のスキャナーのセットアップ方法について説明します。
Setup DVD-ROM が添付されているかどうかは、スタートアップガイドで確認してください。
スキャナーのセットアップは、スキャナーの接続方法によって異なります。
それぞれの参照先を確認して、スキャナーをセットアップしてください。



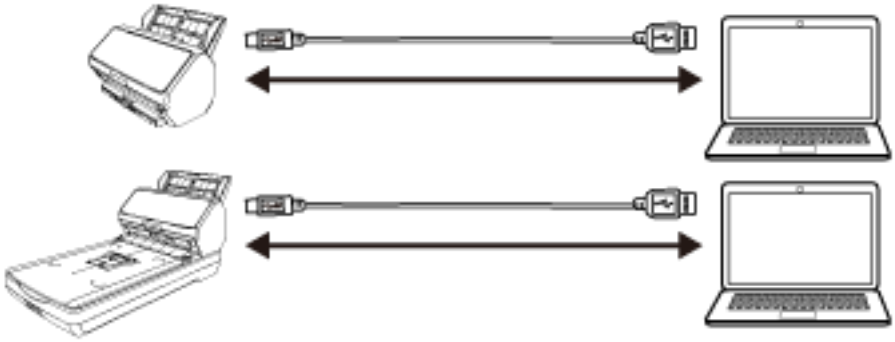
- **コンピューター運用**

コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (79 ページ)

コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (84 ページ)



コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (89 ページ)

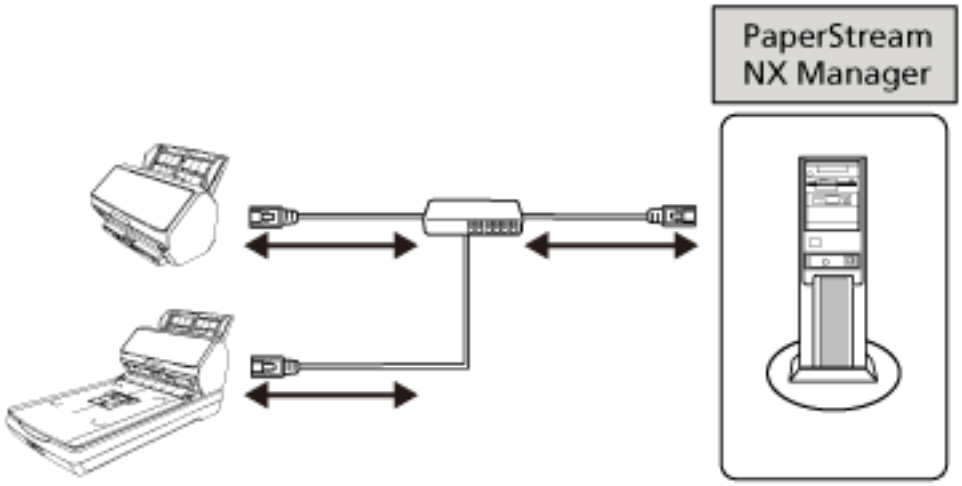




- **PaperStream NX Manager 運用**

PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (93 ページ)

PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (97 ページ)



ヒント

PaperStream NX Manager 運用する場合は、PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。
PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html

コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

コンピューター運用するときで、スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続して使用する場合に、スキャナーの IP アドレスが DHCP サーバーから自動的に割り当てられるときのセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

ヒント

スキャナーの IP アドレスの工場出荷設定は、IP アドレスを自動で取得するようになっています。

1. **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**
2. **Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
   「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

   ヒント

   「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
3. **使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。**
4. **おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。**
   - おすすめインストールする場合
     おすすめインストールでは、スキャナーを使用するために必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

a ［おすすめインストール］ボタンをクリックします。



b ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。
最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

c 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

ヒント

おすすめインストールでは、次のソフトウェアがインストールされます。

- PaperStream IP (TWAIN)
- Network Setup Tool for fi Series
- Software Operation Panel
- Error Recovery Guide
- PaperStream ClickScan
- PaperStream Capture
- マニュアル
- fi Series Online Update

なお、Network Setup Tool for fi Series は、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合にインストールされます。

- カスタムインストールする場合
カスタムインストールでは、必要なソフトウェアを選択してインストールします。

a ［カスタムインストール］ボタンをクリックします。

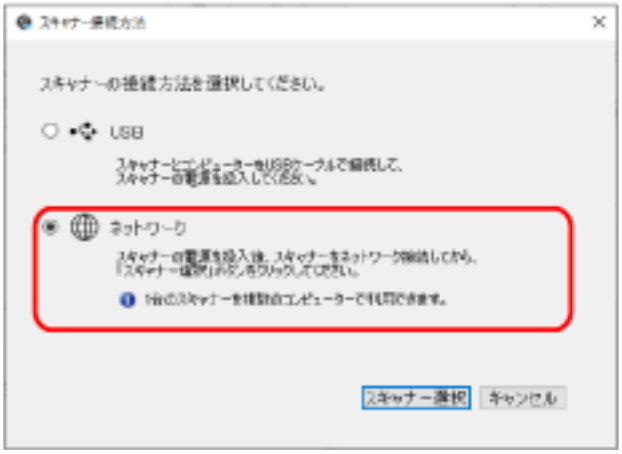


b ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。
最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

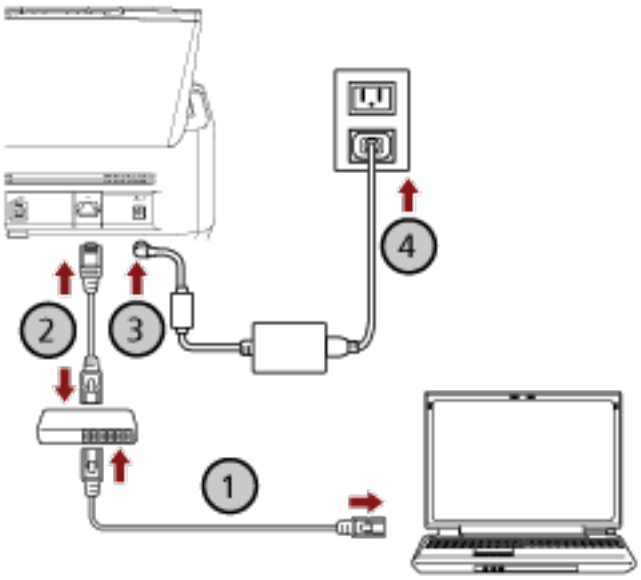
c インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。

d 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

5 「ネットワーク」を選択します。



6 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a **コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。**
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b **スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。**

c **電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。**

d **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

7 「スキャナー接続方法」画面で［スキャナー選択］ボタンをクリックします。
「スキャナー選択ツール」画面が表示されます。

8 スキャナーの一覧で、使用するスキャナーを選択して、チェックボックスにチェックを付けます。
スキャナー名の工場出荷設定は、「スキャナーの機種名 - シリアル番号」です。
スキャナーのシリアル番号は、ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、スキャナーの背面にあるラベルで確認してください。詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。

9 ［OK］ボタンをクリックして、「スキャナー選択ツール」画面を閉じます。

10 「fi シリーズ セットアップ」画面で［閉じる］ボタンをクリックします。

11 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、基本的な読み取り方 (126 ページ)を参照してください。

ヒント

- スキャナー選択ツールが起動しない場合は、スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）（102 ページ)を参照して起動してください。
- スキャナーのネットワークは、fi Series ネットワーク設定でも設定できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］（428 ページ)を参照してください。

コンピューター運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

コンピューター運用するときで、スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続して使用する場合に、スキャナーの IP アドレスを手動で設定するときのセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

1 **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**

2 **Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

3 **使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。**

4 **おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。**

- おすすめインストールする場合
おすすめインストールでは、スキャナーを使用するために必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

a ［おすすめインストール］ボタンをクリックします。



b ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。

最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

c 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

ヒント

おすすめインストールでは、次のソフトウェアがインストールされます。

- PaperStream IP (TWAIN)
- Network Setup Tool for fi Series
- Software Operation Panel
- Error Recovery Guide
- PaperStream ClickScan
- PaperStream Capture
- マニュアル
- fi Series Online Update

なお、Network Setup Tool for fi Series は、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合にインストールされます。

- カスタムインストールする場合
カスタムインストールでは、必要なソフトウェアを選択してインストールします。

a ［カスタムインストール］ボタンをクリックします。

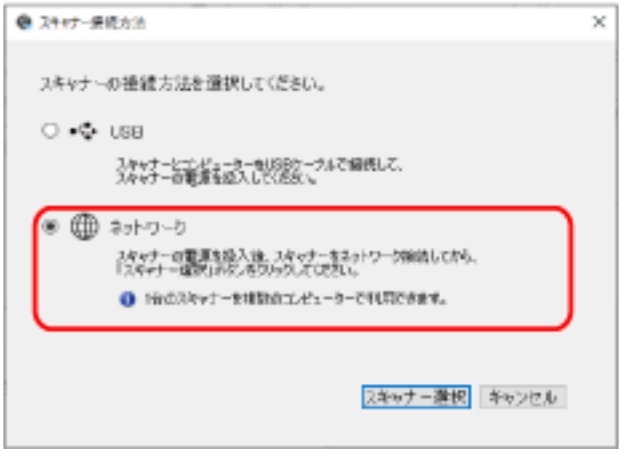


b ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。
最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

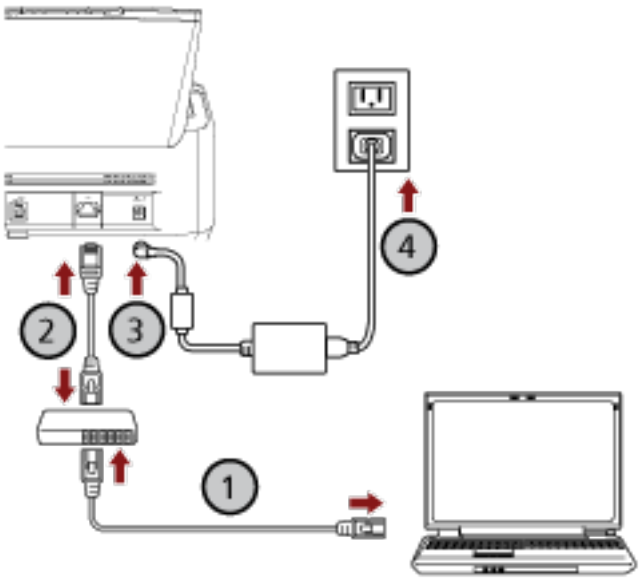
c インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。

d 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

5 「ネットワーク」を選択します。



6 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。

c 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。

d スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

7 「スキャナー接続方法」画面で［スキャナー選択］ボタンをクリックします。

「スキャナー選択ツール」画面が表示されます。

8 **［IP アドレス設定］ボタンをクリックします。**
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続するよう促すメッセージが表示されます。

9 **スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続して、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。**
IP アドレス設定ツールのログインの画面が表示されます。

> **ヒント**
> USB ケーブルを接続するときに、スキャナーの LAN ケーブルを抜く必要はありません。

10 **工場出荷設定の管理者パスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。**
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
「IP アドレス設定ツール」画面が表示されます。

11 **IP アドレスやスキャナー名を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**
IP アドレス設定ツールの詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。

> **ヒント**
> ここで設定したスキャナー名や IP アドレスは、スキャナー選択ツールのスキャナーの一覧に表示されます。

12 **スキャナーから USB ケーブルを抜きます。**

13 **「スキャナー選択ツール」画面の［再検索］ボタンをクリックして、使用するスキャナーを検索します。**
IP アドレスの設定直後は、スキャナーの一覧にスキャナーが表示されません。［再検索］ボタンでスキャナーを検索してください。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。

14 **スキャナーの一覧で、使用するスキャナーを選択して、チェックボックスにチェックを付けます。**

15 **［OK］ボタンをクリックして、「スキャナー選択ツール」画面を閉じます。**

16 **「fi シリーズ セットアップ」画面で［閉じる］ボタンをクリックします。**

17 **読み取りが開始できるかを確認します。**
詳細は、基本的な読み取り方 (126 ページ)を参照してください。

> **ヒント**
> - スキャナー選択ツールが起動しない場合は、スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (102 ページ)を参照して起動してください。
> - IP アドレス設定ツールが起動しない場合は、IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)を参照して起動してください。

- スキャナーのネットワークは、fi Series ネットワーク設定でも設定できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する

コンピューター運用するときで、スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続して使用する場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

1 **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**

2 **Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

3 **使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。**

4 **おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。**

- おすすめインストールする場合
おすすめインストールでは、スキャナーを使用するために必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

a ［おすすめインストール］ボタンをクリックします。



b ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。

最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

c 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

ヒント

おすすめインストールでは、次のソフトウェアがインストールされます。

- PaperStream IP (TWAIN)
- Network Setup Tool for fi Series
- Software Operation Panel
- Error Recovery Guide
- PaperStream ClickScan
- PaperStream Capture
- マニュアル
- fi Series Online Update

なお、Network Setup Tool for fi Series は、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合にインストールされます。

- カスタムインストールする場合
カスタムインストールでは、必要なソフトウェアを選択してインストールします。

a ［カスタムインストール］ボタンをクリックします。



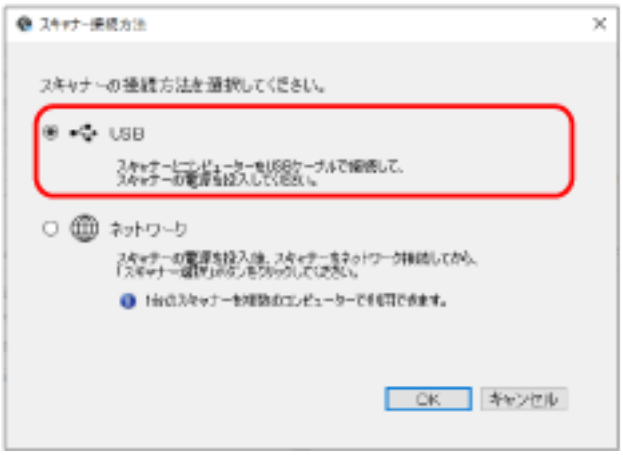
b ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。
最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

c インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。

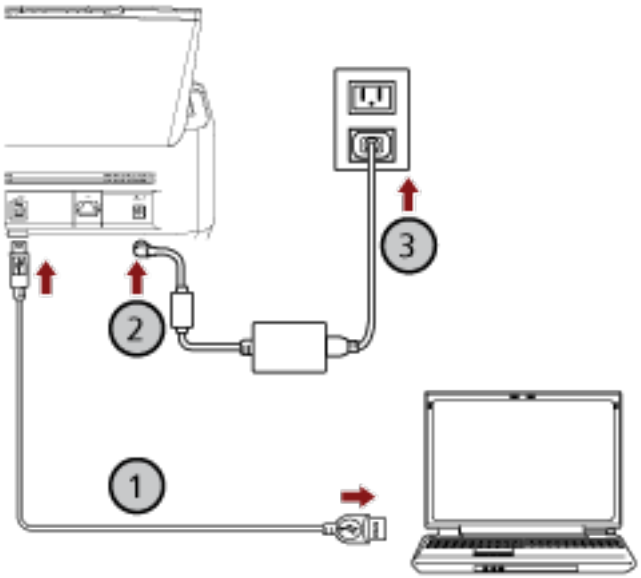
d 表示される画面の指示に従ってインストールします。

- Network Setup Tool for fi Series をインストールする場合
  「スキャナー接続方法」画面が表示されたら、手順 5 に進みます。
- Network Setup Tool for fi Series をインストールしない場合
  ソフトウェアのインストールが終了したら、手順 6、手順 8、手順 9 の順に進みます。

5 「USB」を選択します。



6 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続します（①）。

b 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（②、③）。

c スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

7 「スキャナー接続方法」画面で［OK］ボタンをクリックします。

8 「fi シリーズ セットアップ」画面で［閉じる］ボタンをクリックします。

9 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、基本的な読み取り方 (126 ページ)を参照してください。

PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを自動で取得する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

PaperStream NX Manager 運用するときで、スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続して、スキャナーの IP アドレスが DHCP サーバーから自動的に割り当てられる場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

ヒント

- スキャナーの IP アドレスの工場出荷設定は、IP アドレスを自動で取得するようになっています。
- PaperStream NX Manager 運用するときに必要な環境は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して構築してください。
  ここでは、スキャナーのネットワーク設定をします。

1 **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**
コンピューターは PaperStream NX Manager 運用するスキャナーを設定するために使用します。

2 **Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

3 **使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。**

4 ［カスタムインストール］ボタンをクリックします。



5 ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。
最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

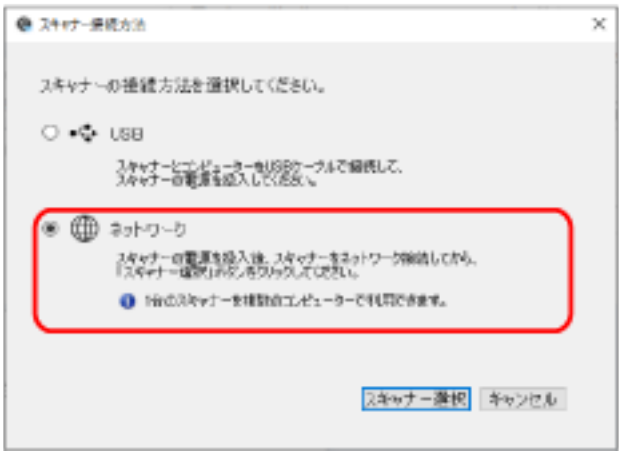
6 次のスキャナードライバーの中から、使用するスキャナードライバーのチェックボックスにチェックを付けます。

- PaperStream IP (TWAIN)
- PaperStream IP (TWAIN x64)
- PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series

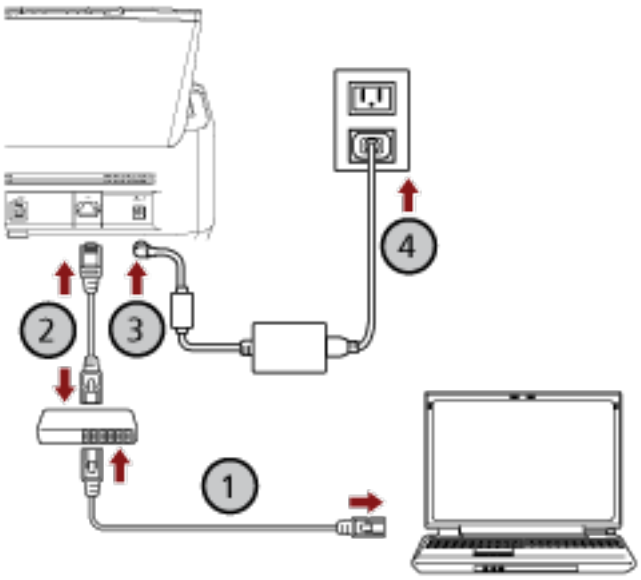
7 「Network Setup Tool for fi Series」チェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。

8 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

9 「ネットワーク」を選択します。



10 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a **コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。**
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b **スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。**

c **電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。**

d **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

11 「スキャナー接続方法」画面で［スキャナー選択］ボタンをクリックします。
「スキャナー選択ツール」画面が表示されます。

12 スキャナーの一覧で、使用するスキャナーの IP アドレスをクリックします。
スキャナー名の工場出荷設定は、「スキャナーの機種名 - シリアル番号」です。
スキャナーのシリアル番号は、ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、スキャナーの背面にあるラベルで確認してください。詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
ブラウザーが起動して、fi Series ネットワーク設定のログインの画面が表示されます。

13 管理者パスワードを入力して、［ログイン］ボタンをクリックします。
管理者パスワードの詳細は、管理者パスワード (443 ページ)を参照してください。
fi Series ネットワーク設定のスキャナー情報の画面が表示されます。

14 次の項目を設定します。
各項目の画面で値を設定して、［スキャナーに反映］ボタンをクリックします。

各項目の詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- スキャナー名
  スキャナーの名前を設定します。
- スキャナーコード
  スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。
  スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
- 有線 LAN
  スキャナーに IPv4 アドレスを設定します。

> **重要**
> PaperStream NX Manager 運用は、IPv6 アドレスをサポートしていません。

- 通信の暗号化
  ネットワークで通信するデータを暗号化するかどうかを設定します。
- プロキシサーバー
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
- PaperStream NX Manager
  PaperStream NX Manager 運用する設定にします。
  「有効にする」チェックボックスにチェックを付けて、「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」を設定します。
  ［接続確認］ボタンをクリックして、PaperStream NX Manager に接続できるかどうかを確認できます。
- Scanner Central Admin Server
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、Scanner Central Admin Server を使用するときに設定します。
  Scanner Central Admin Server からスキャナーの遠隔監視や一括設定ができます。

15 「スキャナー選択ツール」画面で［OK］ボタンをクリックして、「スキャナー選択ツール」画面を閉じます。

16 「fi シリーズ セットアップ」画面で［閉じる］ボタンをクリックします。

17 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、基本的な読み取り方 (126 ページ)を参照してください。

> **ヒント**
> スキャナー選択ツールが起動しない場合は、スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (102 ページ)を参照して起動してください。

PaperStream NX Manager 運用するときにスキャナーを有線 LAN で接続する（IP アドレスを手動で設定する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

PaperStream NX Manager 運用するときで、スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続して、スキャナーの IP アドレスを手動で設定する場合のセットアップ方法を説明します。

開梱の手順は、スタートアップガイドを参照してください。

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順は、ソフトウェアのアンインストール手順 (459 ページ)を参照してください。

ヒント

PaperStream NX Manager 運用するときに必要な環境は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して構築してください。
ここでは、スキャナーのネットワーク設定をします。

1 **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**
コンピューターは PaperStream NX Manager 運用するスキャナーを設定するために使用します。

2 **Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

3 **使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。**

4 ［カスタムインストール］ボタンをクリックします。



5 ソフトウェアのインストール方法を選択する画面で、インストール方法を選択します。
最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールするか、Setup DVD-ROM からインストールするかを選択できます。

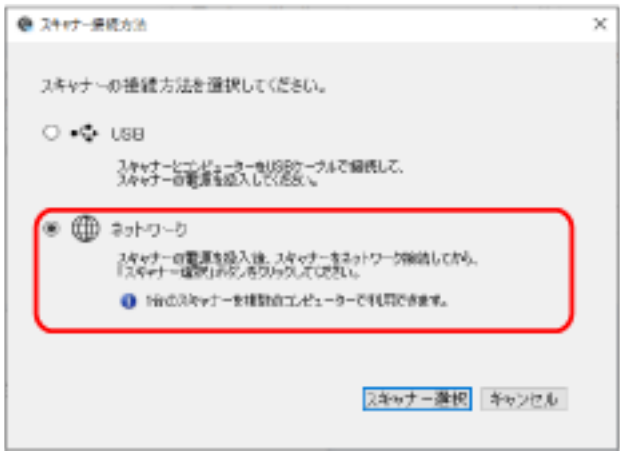
6 次のスキャナードライバーの中から、使用するスキャナードライバーのチェックボックスにチェックを付けます。

- PaperStream IP (TWAIN)
- PaperStream IP (TWAIN x64)
- PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series

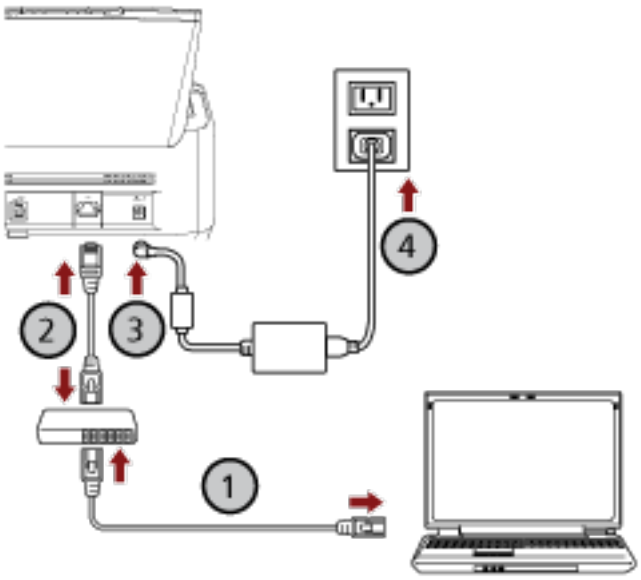
7 「Network Setup Tool for fi Series」チェックボックスにチェックを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。

8 表示される画面の指示に従ってインストールします。
ソフトウェアのインストールが終了したら、「スキャナー接続方法」画面が表示されます。

9 「ネットワーク」を選択します。



10 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a **コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。**
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b **スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。**

c **電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。**

d **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

11 「スキャナー接続方法」画面で［スキャナー選択］ボタンをクリックします。
「スキャナー選択ツール」画面が表示されます。

12 ［IP アドレス設定］ボタンをクリックします。
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続するよう促すメッセージが表示されます。

13 スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続して、メッセージの［OK］ボタンをクリックします。
IP アドレス設定ツールのログインの画面が表示されます。

> **ヒント**
> USB ケーブルを接続するときに、スキャナーの LAN ケーブルを抜く必要はありません。

14 工場出荷設定の管理者パスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。

ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
「IP アドレス設定ツール」画面が表示されます。

15 IP アドレスやスキャナー名を設定して、[OK] ボタンをクリックします。
IP アドレス設定ツールの詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。

> **ヒント**
> ここで設定したスキャナー名や IP アドレスは、スキャナー選択ツールのスキャナーの一覧に表示されます。

16 スキャナーから USB ケーブルを抜きます。

17 「スキャナー選択ツール」画面の［再検索］ボタンをクリックして、使用するスキャナーを検索します。
IP アドレスの設定直後は、スキャナーの一覧にスキャナーが表示されません。［再検索］ボタンでスキャナーを検索してください。
スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。

18 スキャナーの一覧で、使用するスキャナーの IP アドレスをクリックします。
ブラウザーが起動して、fi Series ネットワーク設定のログインの画面が表示されます。

19 管理者パスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。
管理者パスワードの詳細は、管理者パスワード (443 ページ)を参照してください。
fi Series ネットワーク設定のスキャナー情報の画面が表示されます。

20 次の項目を設定します。
各項目の画面で値を設定して、［スキャナーに反映］ボタンをクリックします。
各項目の詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- スキャナー名
  スキャナーの名前を設定します。
- スキャナーコード
  スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。
  スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
- 有線 LAN
  スキャナーに IPv4 アドレスを設定します。

> **重要**
> PaperStream NX Manager 運用は、IPv6 アドレスをサポートしていません。

- 通信の暗号化
  ネットワークで通信するデータを暗号化するかどうかを設定します。
- プロキシサーバー
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、プロキシサーバーを経由するときに設定します。

- PaperStream NX Manager
  PaperStream NX Manager 運用する設定にします。
  「有効にする」チェックボックスにチェックを付けて、「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」を設定します。
  ［接続確認］ボタンをクリックして、PaperStream NX Manager に接続できるかどうかを確認できます。
- Scanner Central Admin Server
  PaperStream NX Manager 運用する場合で、Scanner Central Admin Server を使用するときに設定します。
  Scanner Central Admin Server からスキャナーの遠隔監視や一括設定ができます。

21 「スキャナー選択ツール」画面で［OK］ボタンをクリックして、「スキャナー選択ツール」画面を閉じます。

22 「fi シリーズ セットアップ」画面で［閉じる］ボタンをクリックします。

23 読み取りが開始できるかを確認します。
詳細は、基本的な読み取り方 (126 ページ)を参照してください。

ヒント

- スキャナー選択ツールが起動しない場合は、スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (102 ページ)を参照して起動してください。
- IP アドレス設定ツールが起動しない場合は、IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)を参照して起動してください。

Network Setup Tool for fi Series を起動する［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）

スキャナー選択ツールは、次の手順で起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「fi Series」→「スキャナー選択ツール for fi Series」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「スキャナー選択ツール for fi Series」をクリックします。

IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）

IP アドレス設定ツールは、次の手順で起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「fi Series」→「IP アドレス設定ツール for fi Series」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「IP アドレス設定ツール for fi Series」をクリックします。

Button Event Manager を起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）

1 次のどちらかの操作をします。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー →「fi Series」→「Button Event Manager for fi Series」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Button Event Manager for fi Series」をクリックします。

Button Event Manager を起動すると、コンピューターのタスクバーの通知領域にが表示されます。

2 ボタンの設定に関するヘルプを参照する場合は、を右クリックし、表示されたメニューで「ヘルプ」をクリックします。

基本的な使い方

ここでは、基本的な操作方法について説明します。

電源の投入/切断

電源の投入/切断について説明します。

ヒント

スキャナーの電源の投入/切断方法を、次のどれかに設定できます。

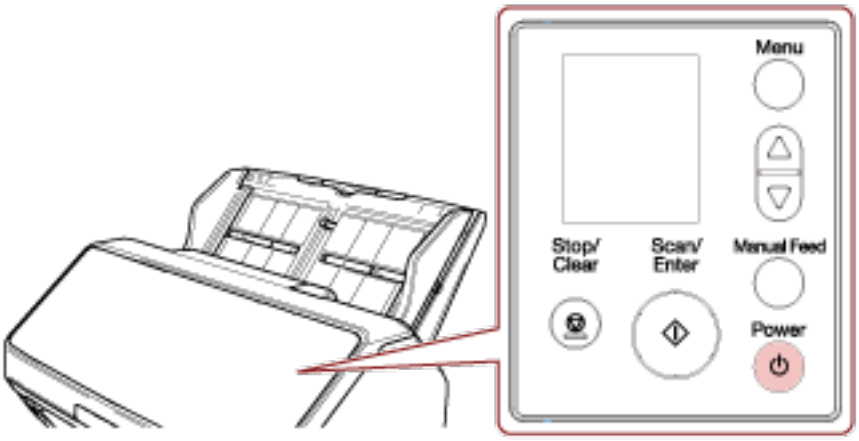
- スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する
- コンピューターの電源に合わせてスキャナーなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用して電源を投入/切断する
- コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断する

詳細は、電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御） (423 ページ)を参照してください。

電源の投入

1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合



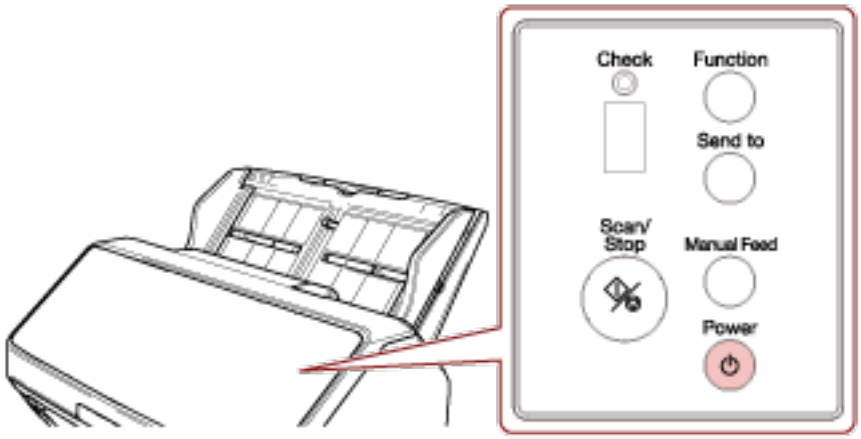
電源が投入され、［Scan/Enter］ボタンが緑色に点灯します。

なお、初期化処理実行中は液晶ディスプレイに次のような画面が表示されます。



液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されると、原稿を読み取れる状態となります。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合



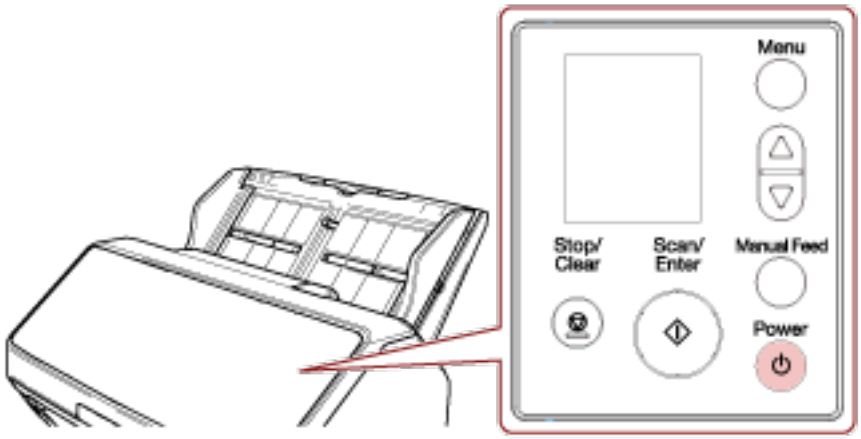
電源が投入され、[Scan/Stop] ボタンが緑色に点灯します。
初期化処理実行中は、ファンクションナンバーディスプレイが「8」→「P」→「0」→「1」の順に変化します。
ファンクションナンバーディスプレイが「1」の状態が、レディ状態です。

> **ヒント**
> [Power] ボタンを押したとき、Check ランプ（LED）が一瞬点灯しますが、初期診断によるものであり、故障ではありません。

電源の切断

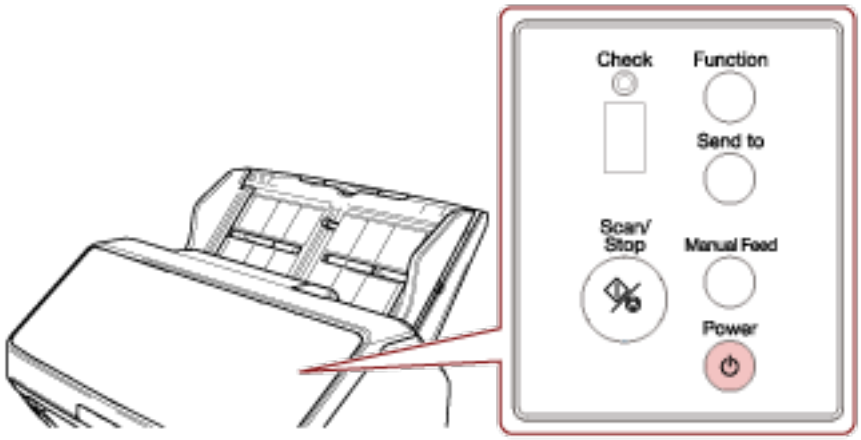
1 スキャナーの [Power] ボタンを 2 秒以上押します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合



電源が切断され、［Scan/Enter］ボタンが消灯します。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合



電源が切断され、［Scan/Stop］ボタンが消灯します。

省電力モードへの移行と復帰

スキャナーの電源を投入したまま、一定時間操作されないと、省電力モードに移行します。
省電力モードとは、電源が投入されたスキャナーが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。
省電力モードには、次の 2 つの設定があります。

- 省電力
  スキャナーの電源を投入したままで 15 分（工場出荷設定値）以上何も操作しないと、自動的に省電力状態に切り替わります。
  省電力状態に切り替わると、次のようになります。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    液晶ディスプレイの表示が消えます。［Scan/Enter］ボタンは緑色に点滅します。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    ファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。［Scan/Stop］ボタンは緑色に点滅します。

  省電力状態から復帰するためには、次のどれかの操作を行います。
  - ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
  - スキャナーのボタン（［Power］ボタン以外）を押す。
  - スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る。
- 自動電源切断
  スキャナーの電源を投入したままで一定時間（工場出荷設定は 4 時間後）何も操作しないと、自動的にスキャナーの電源が切断されます。
  自動的にスキャナーの電源が切断された場合に、再度スキャナーの電源を投入するには、［Power］ボタンを押します。詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていると、省電力状態に移行しないことがあります。原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照して、原稿を取り除いてください。
- 使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスにチェックを付けても、スキャナーの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナーの電源が自動的に切断された場合は、画像読み取り用アプリケーションを終了してから、スキャナーの電源を再投入してください。

ヒント

- 省電力状態に切り替わるまでの時間を変更できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、省電力状態に切り替わるまでの時間を変更できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「22:省電力時間設定」で、省電力状態に切り替わるまでの時間を変更できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、省電力状態に切り替わるまでの時間を変更できます。

詳細は、省電力モードの待機時間の設定（省電力設定） (419 ページ)を参照してください。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、省電力状態に切り替わるまでの時間を変更できます。
  詳細は、省電力モードの待機時間の設定（省電力設定） (419 ページ)を参照してください。

- 自動的にスキャナーの電源が切断されないようにするには、Software Operation Panel の「装置設定」で、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外してください。
  「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナーの消費電力が増加します。
  詳細は、省電力モードの待機時間の設定（省電力設定） (419 ページ)を参照してください。

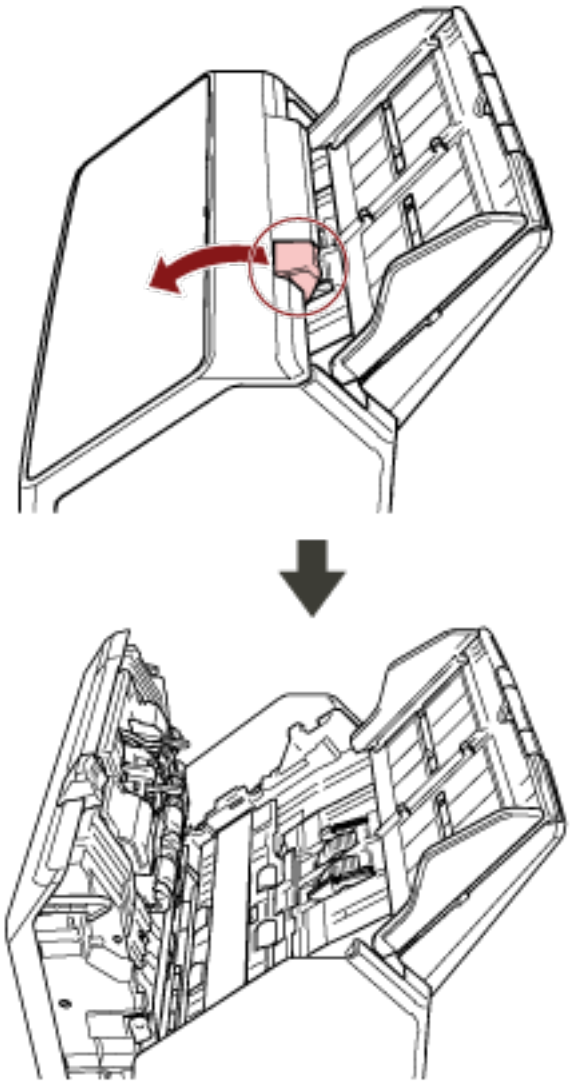
ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

1 **ADF 給紙シュート（フィーダー）の上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。**

2 **ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開けます。**

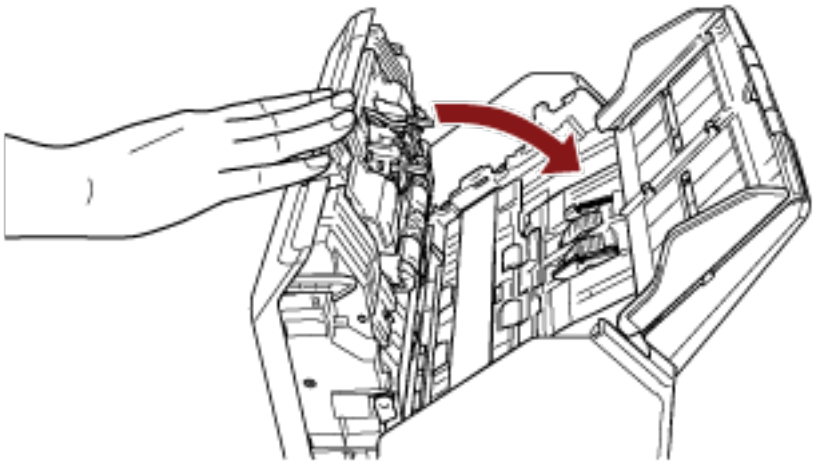


⚠ 注意	ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF の閉じ方

1 ADF を閉じます。

「カチッ」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



> **注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

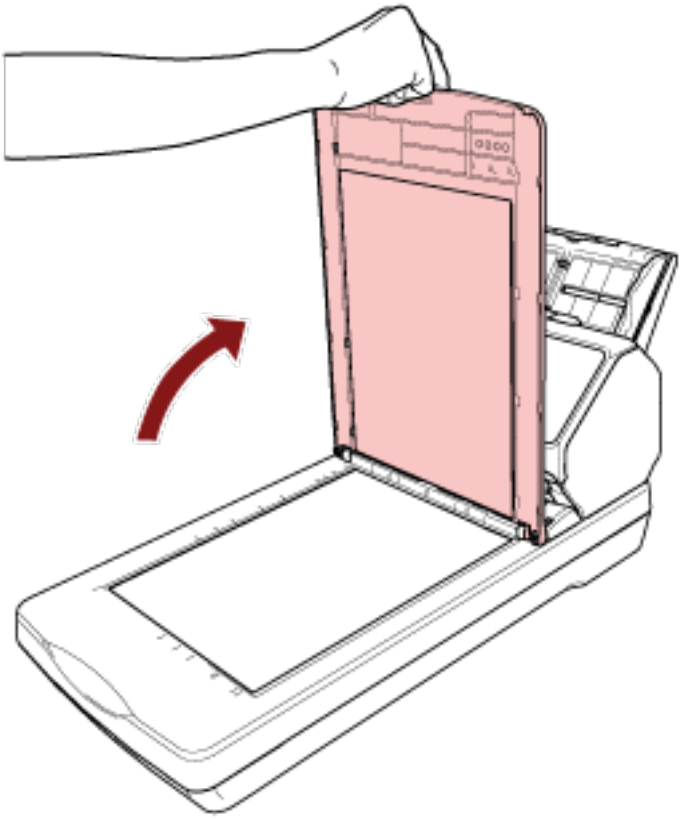
> **重要**
> 閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないことを確認してください。

ドキュメントカバーの開閉［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

ドキュメントカバーの開閉について説明します。

ドキュメントカバーの開け方

1　ドキュメントカバーを開けます。



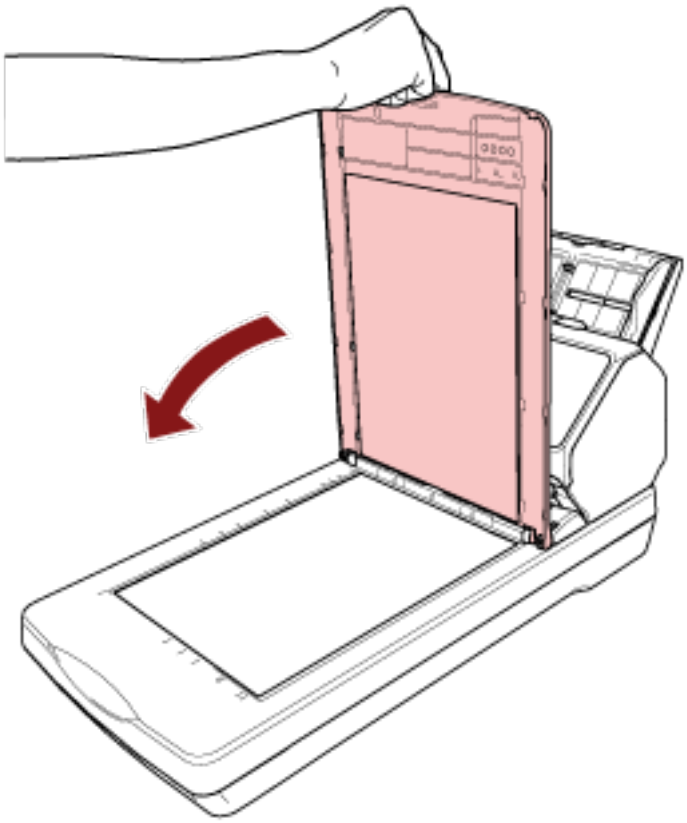
ヒント

ドキュメントカバーを取り外すこともできます。
ドキュメントカバーを取り外すと、本や大きな原稿も読み取りできるようになります。
ドキュメントカバーを取り外して本や大きな原稿を読み取る方法については、次を参照してください。

- フラットベッドで本を読み取りたいとき［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (232 ページ)
- フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (234 ページ)

ドキュメントカバーの閉じ方

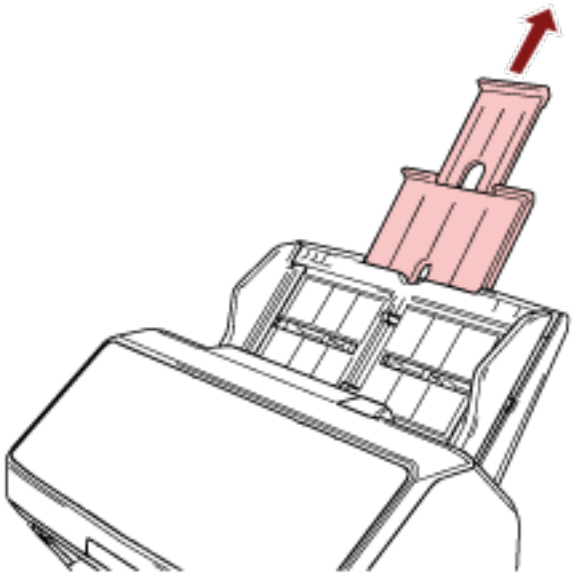
1　ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。



ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次 ADF に搬送されていきます。
A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を使用して原稿を支えることによって、原稿が搬送されやすくなります。

1 シュートエクステンション 1、シュートエクステンション 2 を引き上げます。



ヒント

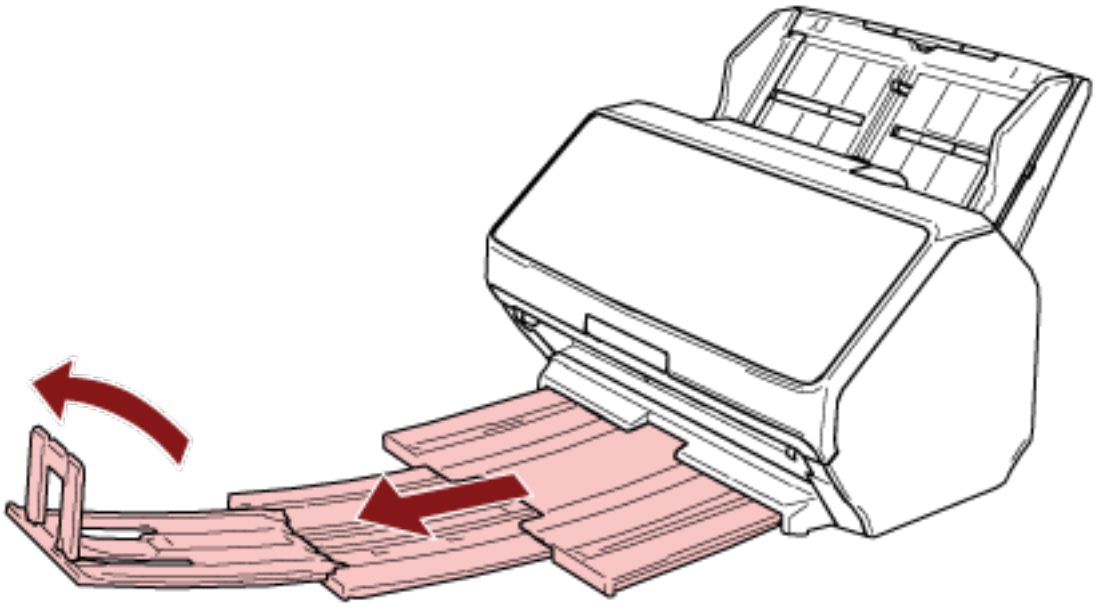
ADF 給紙シュート（フィーダー）を押さえながら、シュートエクステンション 1、シュートエクステンション 2 をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。
A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2、ストッパーを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

原稿の長さが、A4 縦以上の場合

1 **スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2 を手前に引き出します。**
原稿の長さに合わせて、スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2 を引き出してください。
スタッカーエクステンション 2 を引き出すと、ストッパーが自動的に起き上がります。

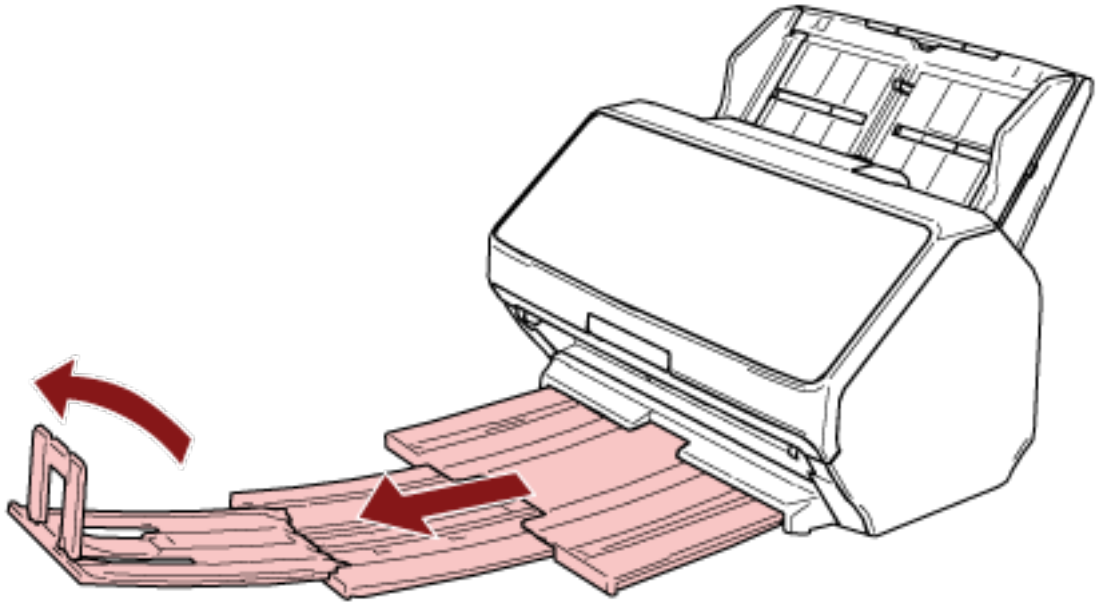


重要
ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

ヒント
読み取り原稿サイズが A4 の場合、スタッカーエクステンション 2 を引き出すときに、ひっかかりがある箇所まで引き出してください。
読み取り原稿サイズがリーガルの場合、スタッカーエクステンション 2 を最後まで引き出してください。

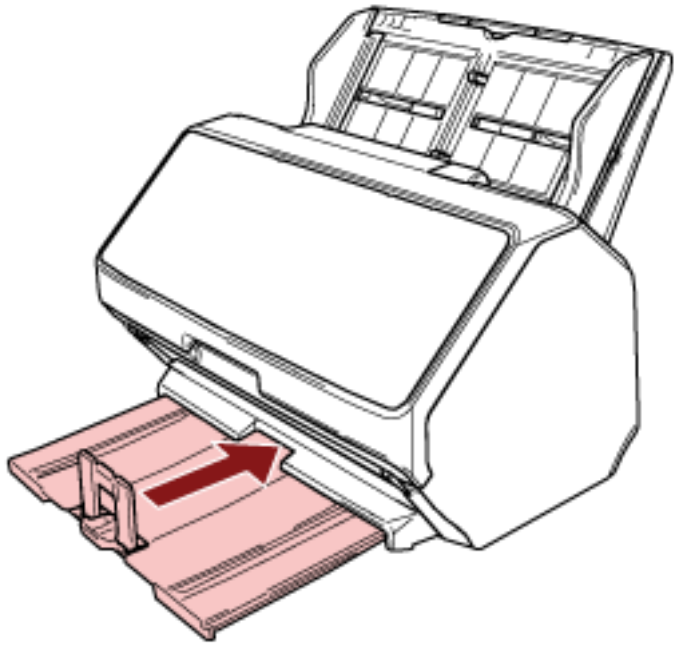
原稿の長さが、A4 縦より短い場合

1 **スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2 を手前に引き出します。**
スタッカーエクステンション 2 を引き出すと、ストッパーが自動的に起き上がります。



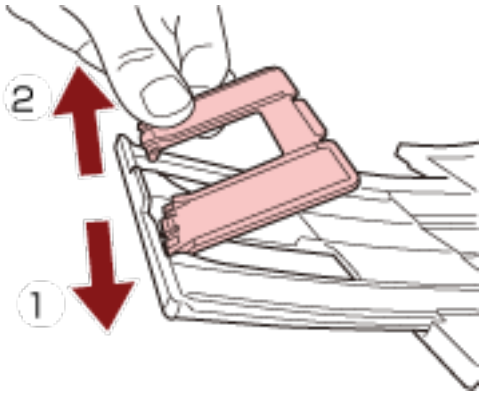
重要
ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

2 **スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2 を戻して、原稿の長さに合わせて、スタッカーの長さを調整します。**



ヒント

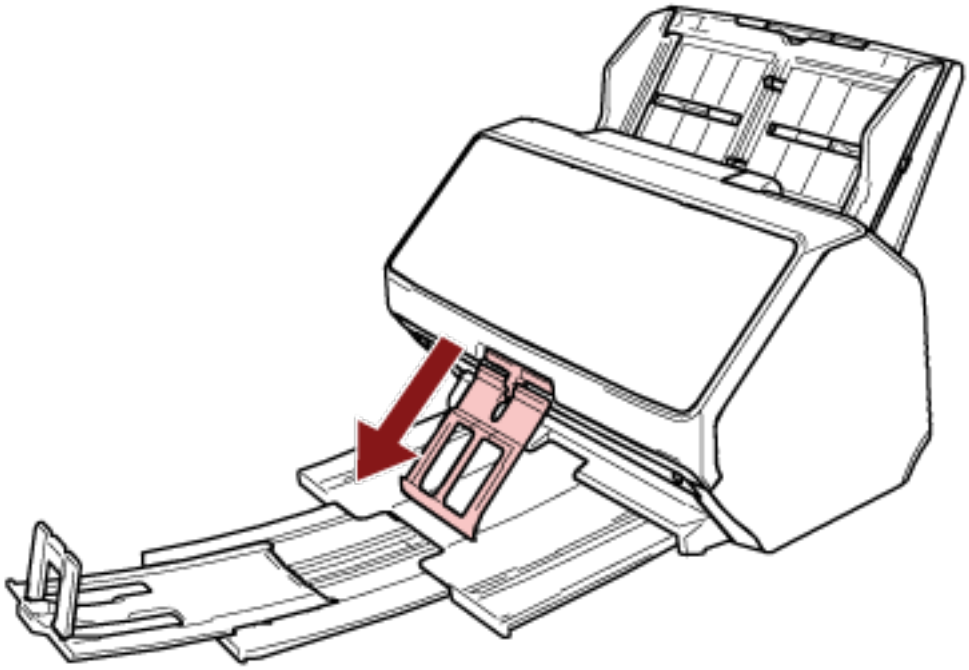
ストッパーが外れた場合は、スタッカーエクステンション 2 の穴に、ストッパーの片方の突起を 1 の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、2 の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



サイズの違う原稿を混載して読み取る場合

1 **最も長い原稿に合わせて、スタッカーを設定します。**
詳細は、原稿の長さが、A4 縦以上の場合 (115 ページ)を参照してください。

2 **スタッカーサポーターをつまんで手前に引き出します。**



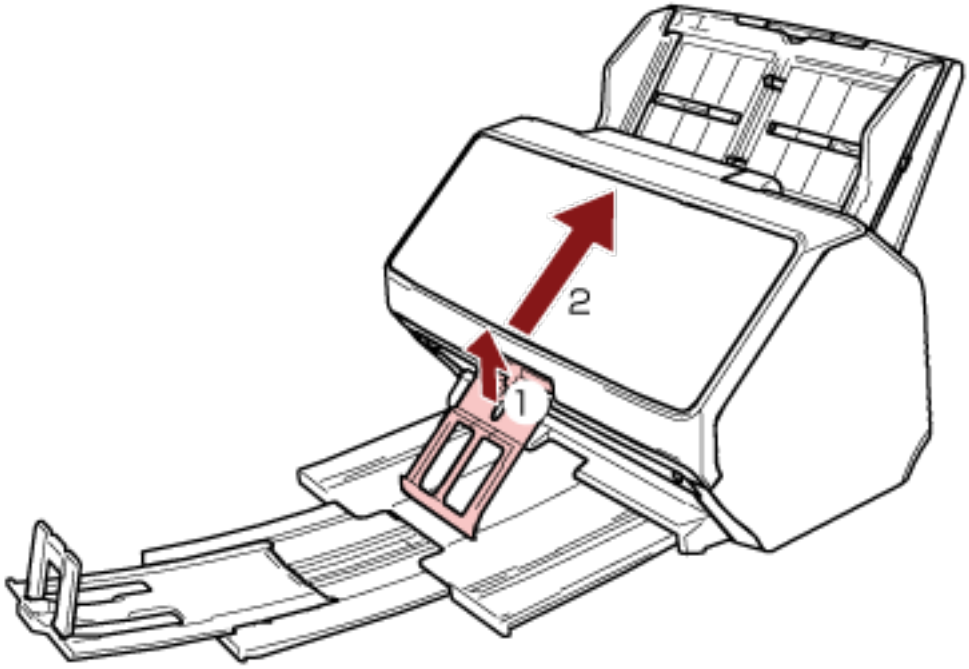
重要

- スタッカーサポーターを手前に引き出した状態で強い力を加えると、破損するおそれがあります。
- 薄紙のようなコシの弱い原稿は、スタッカーサポーターで排出が止まったり、丸まったりするなどして、排出されたときにきれいに積み重ならない場合があります。

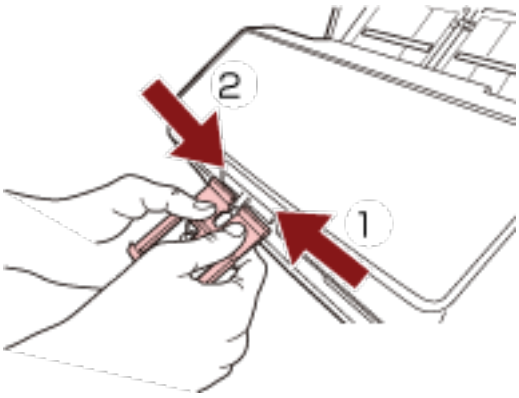
ヒント

- スタッカーサポーターを使用すると、A6 サイズより小さい原稿を含む場合に、原稿の散らばりを抑制できます。

- スタッカーサポーターを戻す場合は、スタッカーサポーターの上部を 1 の矢印方向に持ち上げながら、2 の矢印方向に戻してください。



- スタッカーサポーターが外れた場合は、スタッカーサポーターが取り付けられていた箇所にある穴に、スタッカーサポーターの片方の突起を 1 の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、2 の矢印方向に差し込んで取り付けてください。

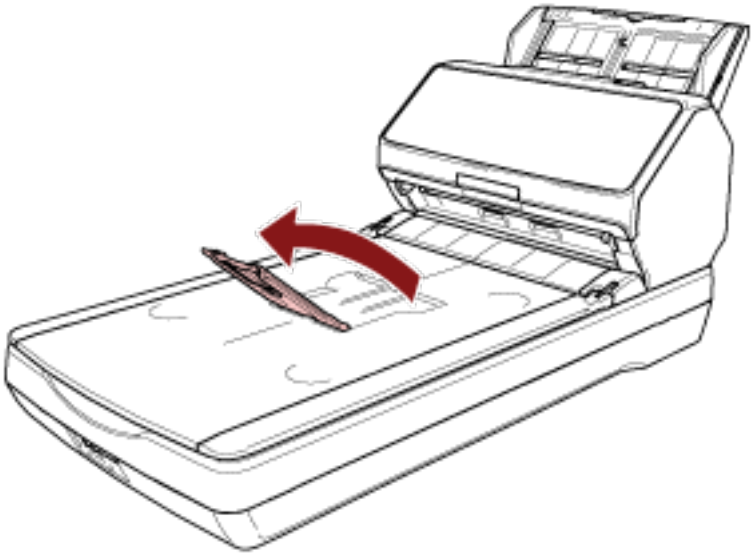


スタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

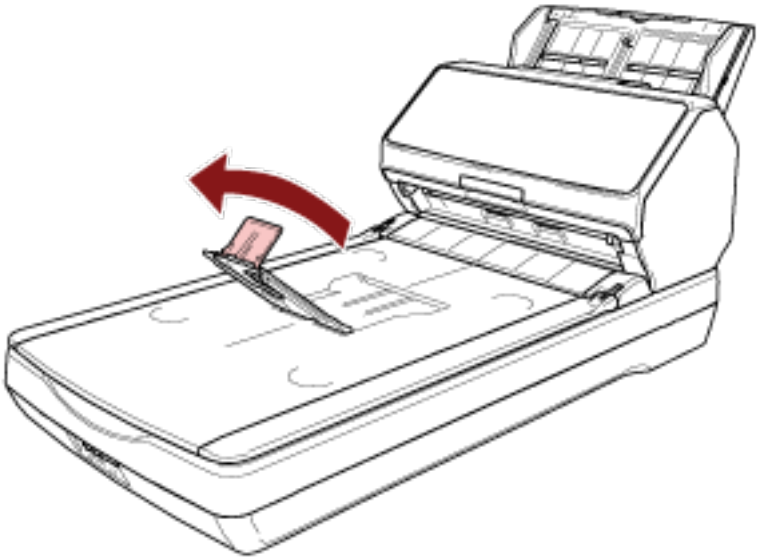
ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。
A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、スタッカー、スタッカーエクステンション、ストッパーを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

原稿の長さが、A5 縦以上の場合

1 スタッカーに指をかけて、手前に起こします。



2 ストッパーに指をかけて、手前に起こします。



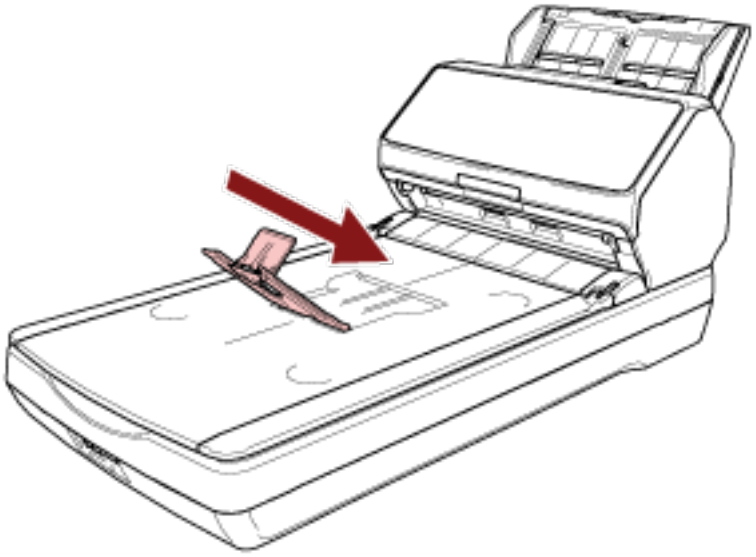
重要

ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

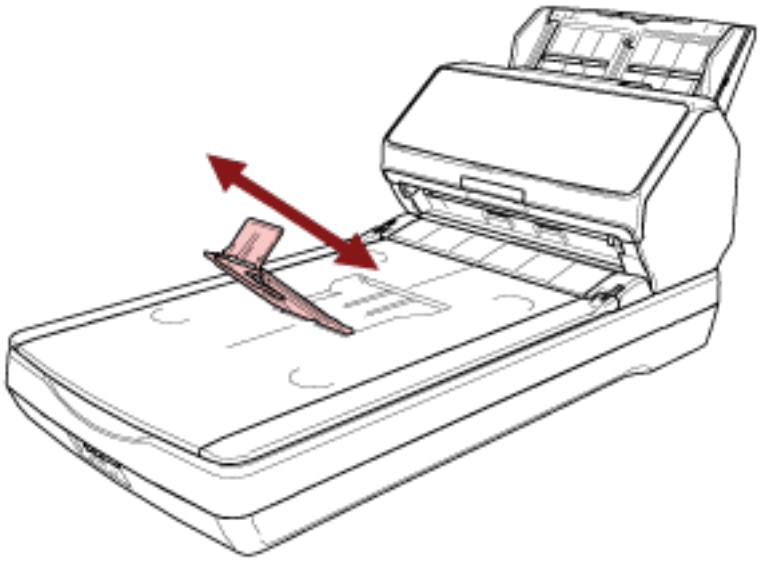
ヒント

- 原稿の長さに合わせて、スタッカーエクステンションを移動して、スタッカーの長さを調整できます。

  - レターサイズの場合
    スタッカーエクステンションを最も下まで下げます。

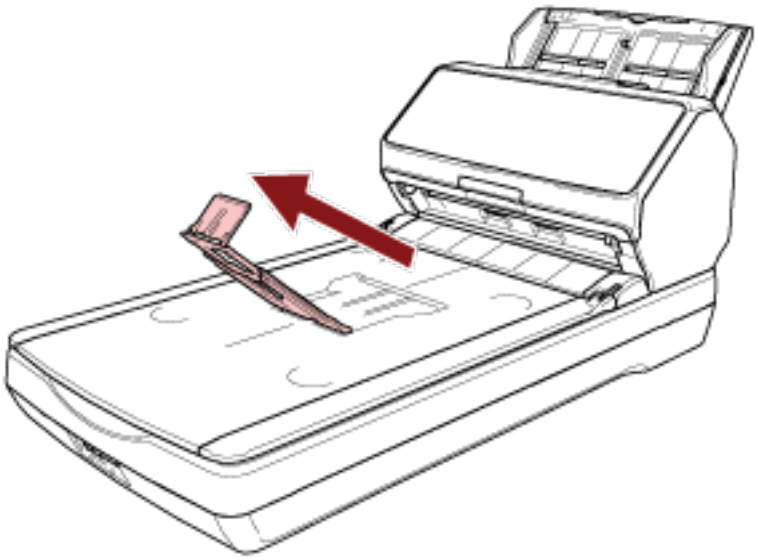


  - A4 サイズの場合
    スタッカーエクステンションの上部をスタッカーの上部に合わせます。

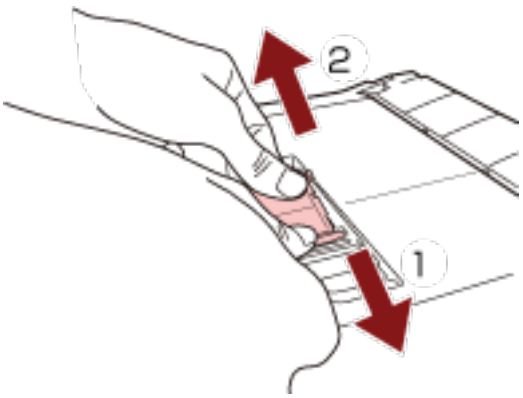


  - リーガルサイズの場合

スタッカーエクステンションを最も上まで上げます。

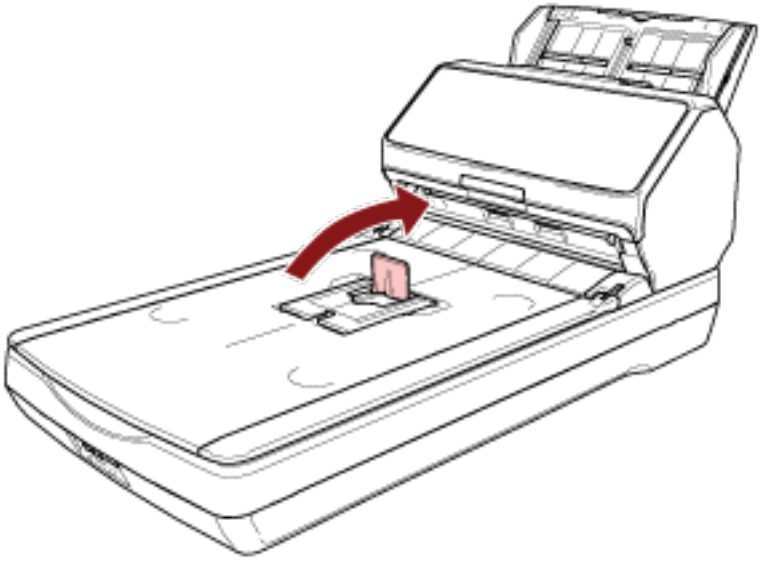


- ストッパーが外れた場合は、ストッパーが取り付けられていた箇所にある穴に、ストッパーの片方の突起を 1 の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、2 の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



原稿の長さが、A5 縦より短い場合

1 ストッパーを起こします。

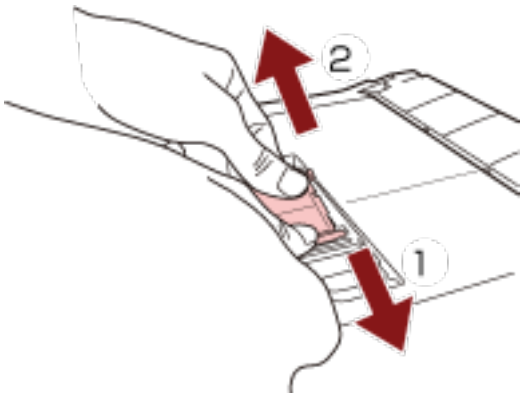


重要

ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

ヒント

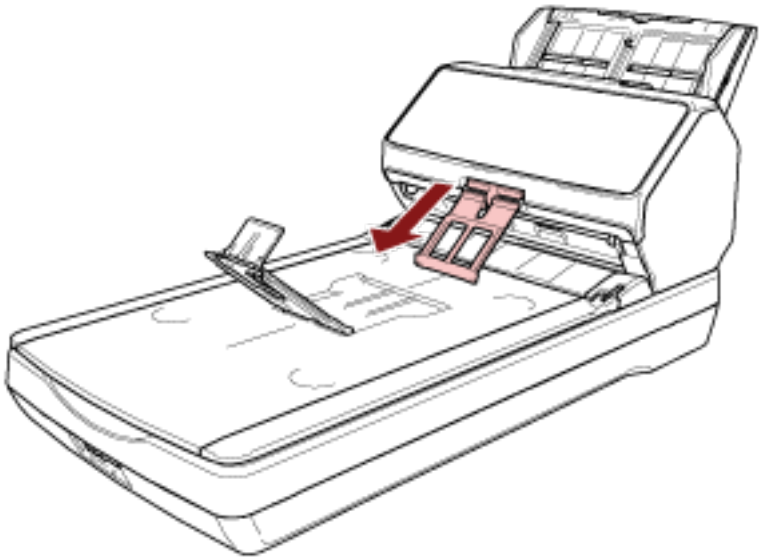
ストッパーが外れた場合は、ストッパーが取り付けられていた箇所にある穴に、ストッパーの片方の突起を 1 の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、2 の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



サイズの違う原稿を混載して読み取る場合

1 **最も長い原稿に合わせて、スタッカーを設定します。**
詳細は、原稿の長さが、A5 縦以上の場合 (120 ページ)を参照してください。

2 **スタッカーサポーターをつまんで手前に引き出します。**



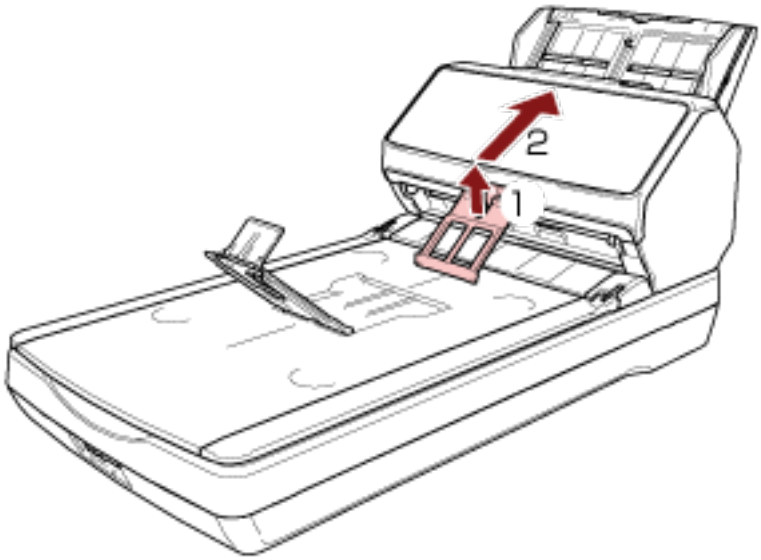
重要

- スタッカーサポーターを手前に引き出した状態で強い力を加えると、破損するおそれがあります。
- 薄紙のようなコシの弱い原稿は、スタッカーサポーターで排出が止まったり、丸まったりするなどして、排出されたときにきれいに積み重ならない場合があります。

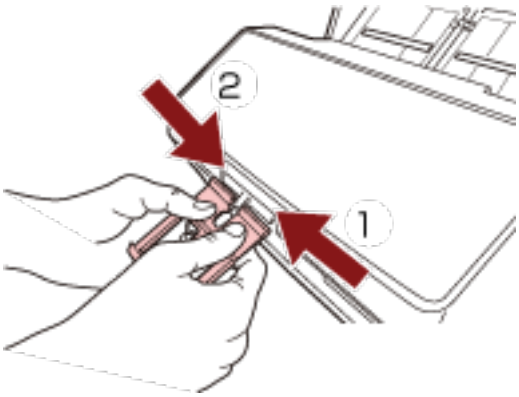
ヒント

- スタッカーサポーターを使用すると、A6 サイズより小さい原稿を含む場合に、原稿の散らばりを抑制できます。

- スタッカーサポーターを戻す場合は、スタッカーサポーターの上部を 1 の矢印方向に持ち上げながら、2 の矢印方向に戻してください。



- スタッカーサポーターが外れた場合は、スタッカーサポーターが取り付けられていた箇所にある穴に、スタッカーサポーターの片方の突起を 1 の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、2 の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



基本的な読み取り方

ここでは、基本的な読み取り方について説明します。

重要

スキャナーの接続方法に応じて、USB ケーブルまたは LAN ケーブルだけを接続してください。両方のケーブルを同時に接続しないでください。

ヒント

スキャナーをネットワークに接続して読み取る場合、画像の転送速度を優先するため、USB ケーブルで接続して読み取る場合よりも画質が落ちます。
スキャナードライバーで、USB ケーブルで接続して読み取る場合の画質と同じ画質にできます。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- **コンピューター運用（コンピューターに接続して使用する）**

  USB ケーブル/有線 LAN でコンピューターに接続して、スキャナーを使用します。
  次のどちらかの方法で、読み取りを開始します。

  - 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (128 ページ)
  - スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)

- **PaperStream NX Manager 運用（PaperStream NX Manager に接続して使用する）**

  有線 LAN で PaperStream NX Manager に接続して、スキャナーを使用します。
  次の方法で、読み取りを開始します。

  - ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270] (138 ページ)
  - ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）[fi-8150/fi-8250] (142 ページ)

  重要

  PaperStream NX Manager 運用で使用しているスキャナーは、コンピューター運用で使用できません。

  ヒント

  - PaperStream NX Manager 運用する場合は、PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。
    詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。
    PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
    https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html

- PaperStream NX Manager 運用する場合で、コンピューター/シンクライアントのブラウザーから読み取りを開始する方法については、PaperStream NX Manager Web Scan ユーザーズガイドを参照してください。
  PaperStream NX Manager Web Scan ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。
  https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html
  コンピューター/シンクライアントのブラウザーから読み取りを開始した場合、液晶ディスプレイには「アプリケーション占有中」画面が表示されます。

画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する

コンピューターの画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。
この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。
本製品には、次のスキャナードライバーと、画像読み取り用アプリケーションが添付されています。

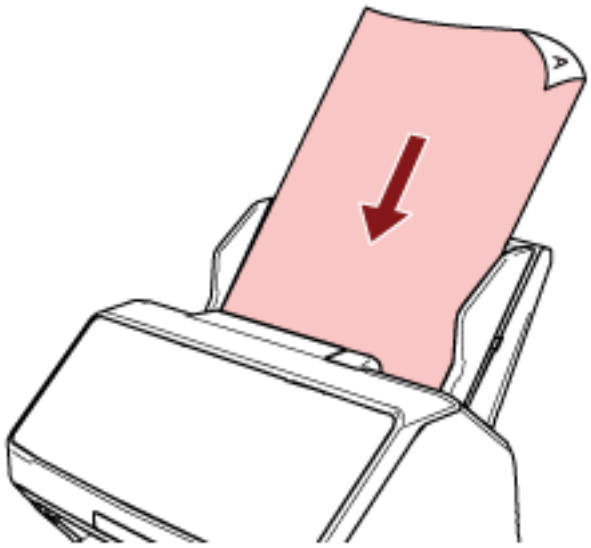
- スキャナードライバー
  - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
  - PaperStream ClickScan
  - PaperStream Capture

ヒント

- スキャナードライバーおよび画像読み取り用アプリケーションの詳細は、ソフトウェアの概要 (41 ページ)を参照してください。
- スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り手順や操作、読み取り条件の設定項目が若干異なります。
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

1 **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**
原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。



詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。

3 **画像読み取り用アプリケーションを起動します。**

4 **読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。**
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーを指定しなくてもよい場合もあります。

5 **読み取りに使用するスキャナーを指定します。**
スキャナードライバーおよびスキャナーの接続方法によって、スキャナー名が異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナーを指定しなくてもよい場合もあります。
ネットワークに接続しているスキャナーを使用する場合は、スキャナーのセットアップ時またはスキャナー選択ツールでスキャナーを選択しておく必要があります。
スキャナー選択ツールの起動方法は、次を参照してください。

- スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (73 ページ)
- スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (102 ページ)

6 **スキャナードライバーの設定画面で、スキャナーの読み取り条件を設定します。**
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

7 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。
読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- LAN ケーブルを抜く
- ネットワークを切断する
- ログオフする

スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る

スキャナーのボタンを押して画像読み取り用アプリケーションを起動し、原稿の読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。
この場合、事前に読み取りを開始するためのボタンの設定が必要です。

ヒント

PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、スキャナーの読み取りを開始するボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。

- 常駐している場合
  PaperStream ClickScan が起動します。
- 常駐していない場合
  PaperStream Capture が起動します。

スキャナーの読み取りを開始するボタンとは、次のボタンのことです。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  ［Scan/Enter］ボタン
  ただし、スキャナーの「機能選択」画面で「No.00」を選択している場合です。
  スキャナーのボタンを切り替える方法は、機能選択の操作方法 (202 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ［Scan/Stop］ボタン

1 画像読み取り用アプリケーションで読み取り設定をします。
手順の詳細は、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (128 ページ)を参照してください。

2 ボタンの設定をします。
コンピューターでスキャナーの読み取りを開始するボタンを設定します。
ボタンには、ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。
複数のボタンを設定でき、スキャナーでボタンを切り替えて読み取りを開始できます。
スキャナーの接続方法によって、ボタンの設定方法が異なります。

USB で接続する場合

Windows の「デバイスとプリンター」を設定する画面を表示して、スキャナーの「スキャン プロパティ」でボタンを設定します。詳細は、コンピューターでボタンを設定する（USB 接続の場合） (135 ページ)を参照してください。

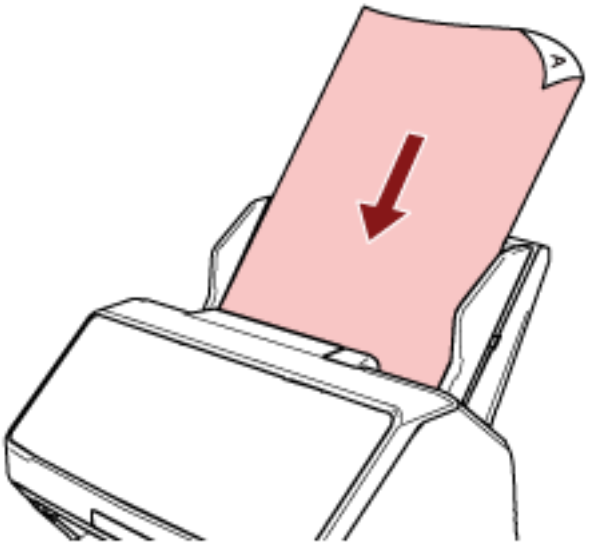
有線 LAN で接続する場合

Button Event Manager でボタンの設定をします。
Button Event Manager の詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプ参照してください。
Button Event Manager の起動方法は、次を参照してください。

- Button Event Manager を起動する（Network Setup Tool の場合） (75 ページ)
- Button Event Manager を起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (104 ページ)

3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

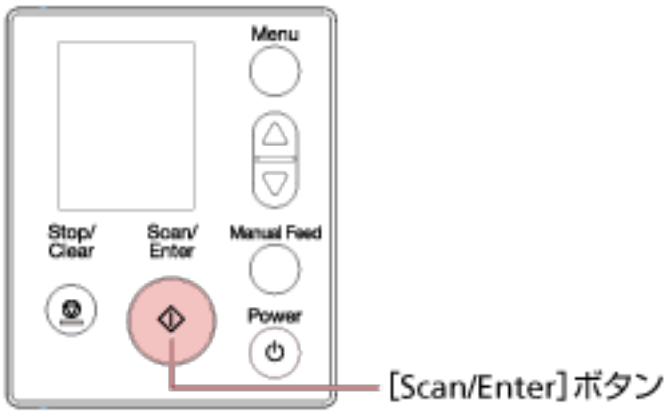
原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。



詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。

4 スキャナーのボタンを切り替えて、原稿の読み取りを開始します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合



a スキャナーの「機能選択」画面で、起動したい画像読み取り用アプリケーションが設定されている番号を選択します。

スキャナーの「機能選択」画面の番号と、コンピューターで設定したボタンは、次のように対応しています。

スキャナーの「機能選択」画面の番号	コンピューターで設定したボタン
No.00	Scan Button
No.01～No.50	Send to 01～Send to 50

ヒント

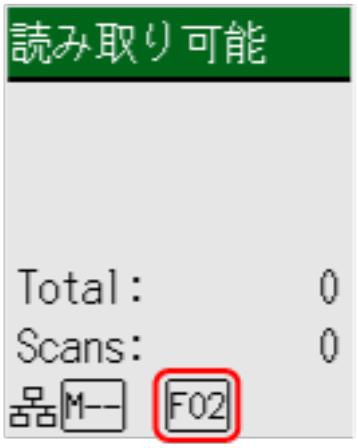
スキャナーの「機能選択」画面の番号には「SOP」もあります。
「SOP」は、事前に Software Operation Panel が起動するように設定されており、ほかのアプリケーションに変更できません。

ここでは、例としてスキャナーの［Scan/Enter］ボタンをコンピューターで設定したボタン「Send to 02」に切り替えます。

i 液晶ディスプレイに「機能選択」画面を表示します。

液晶ディスプレイの「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押します。

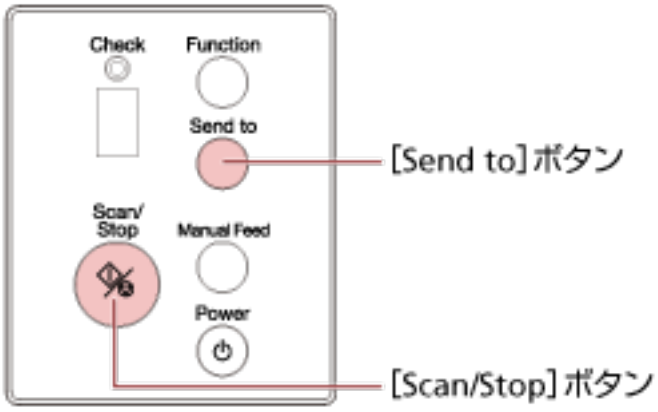
ii ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「No.02」を選択し、［Stop/Clear］ボタンを押します。
インジケーターに「F02」が表示されていることを確認します。



インジケーターの詳細は、インジケーターの説明 (176 ページ)を参照してください。

b ［Scan/Enter］ボタンを押します。
「Send to 02」に設定した画像読み取り用アプリケーションが起動します。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合



- コンピューターで設定したボタン「Scan Button」の画像読み取り用アプリケーションを起動したいとき
  ［Scan/Stop］ボタンを押します。
  「Scan Button」に設定した画像読み取り用アプリケーションが起動します。
- コンピューターで設定したボタン「Send to 1」～「Send to 9」の画像読み取り用アプリケーションを起動したいとき

  a ［Send to］ボタンを、起動したい画像読み取り用アプリケーションが設定されているボタンに切り替えます。
  ［Function］ボタンを押して、ファンクションナンバーディスプレイに表示する数字を切り替えます。
  ファンクションナンバーディスプレイに表示する数字と、コンピューターで設定したボタンは、次のように対応しています。

ファンクションナンバーディスプレイに表示する数字	コンピューターで設定したボタン
1～9	Send to 1～Send to 9

> **ヒント**
> ［Function］ボタンを押して、ファンクションナンバーディスプレイに表示する数字を切り替えると、数字のほかに「C」が表示されます。
> 「C」は、事前に Software Operation Panel が起動するように設定されており、ほかのアプリケーションに変更できません。

  ここでは、例としてスキャナーの［Send to］ボタンをコンピューターで設定したボタン「Send to 02」に切り替えます。
  ファンクションナンバーディスプレイに「2」が表示されるまで、［Function］ボタンを押します。

  b ［Send to］ボタンを押します。
  「Send to 02」に設定した画像読み取り用アプリケーションが起動します。

> **ヒント**
> 操作パネルの詳細は、操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (171 ページ)または操作パネルの操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ (205 ページ)を参照してください。

5 必要に応じて、画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

> **重要**
> 読み取り中に、次のような操作をしないでください。
> 読み取りが中止されます。
> ● USB ケーブルを抜く
> ● LAN ケーブルを抜く

- ネットワークを切断する
- ログオフする

コンピューターでボタンを設定する（USB 接続の場合）

コンピューターでスキャナーの読み取りを開始するボタンを設定します。
ボタンには、ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。
複数のボタンを設定でき、スキャナーでボタンを切り替えて読み取りを開始できます。
スキャナーを USB で接続している場合の手順は、次のとおりです。

1 **スキャナーの電源を投入し、スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認します。**
スキャナーの電源の投入方法は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

2 **「コントロール パネル」画面を表示します。**

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「Windows システムツール」→「コントロール パネル」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Windows ツール」をクリックし、「コントロール パネル」をダブルクリックします。

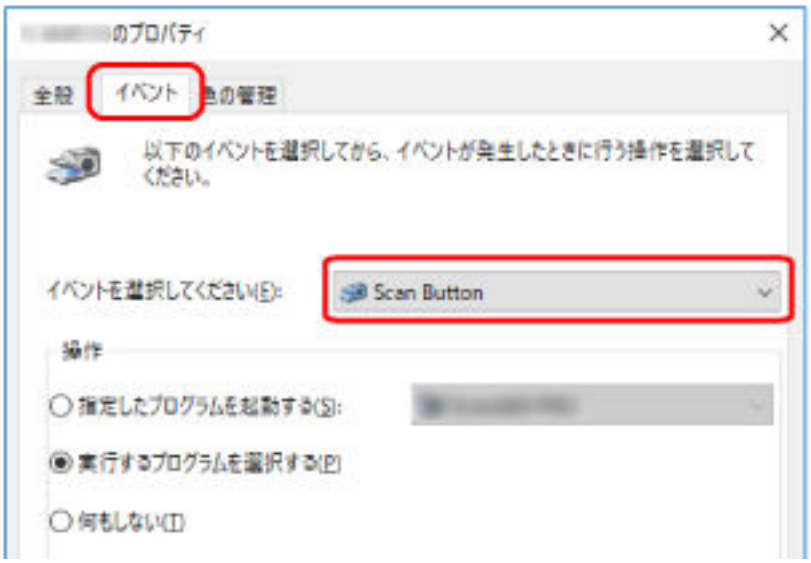
3 **「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。**
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

4 **スキャナーのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「スキャン プロパティ」をクリックします。**
スキャナーのプロパティの画面が表示されます。

> **重要**
> PaperStream ClickScan が常駐していると、スキャナーのプロパティ画面を表示できません。
> スキャナーのプロパティ画面を表示するときは、PaperStream ClickScan を終了してください。

5 **「イベント」タブをクリックし、設定するボタンを選択します。**

「イベントを選択してください」の一覧からボタンを選択します。



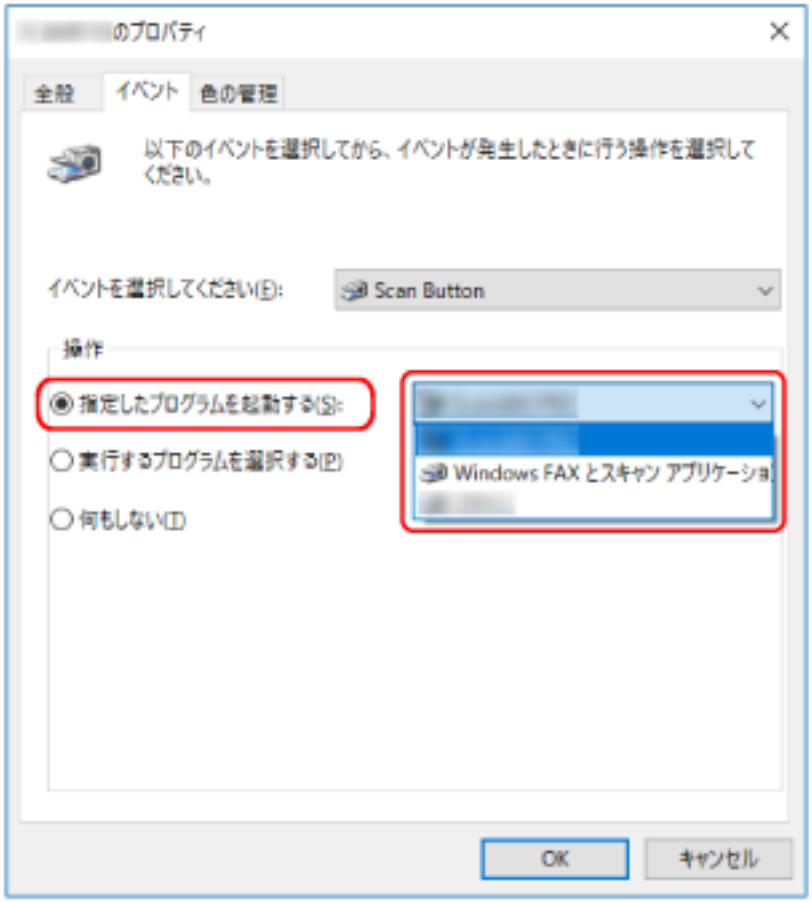
スキャナーの読み取りを開始するボタンを、コンピューターで設定したボタンに切り替える方法を次に示します。

コンピューターで設定したボタン	**fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合**	**fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合**	
	スキャナーの［Scan/Enter］ボタンを切り替える方法	**スキャナーの［Scan/Stop］ボタンを切り替える方法**	**スキャナーの［Send to］ボタンを切り替える方法**
Scan Button	スキャナーの「機能選択」画面で「No.00」を選択します。 インジケーターに「F00」が表示されます。	操作は必要はありません。 スキャナーの［Scan/Stop］ボタンは、コンピューターで設定したボタン「Scan Button」に対応しています。	—
Send to 01 ～ Send to 50	スキャナーの「機能選択」画面で「No.01」～「No.50」のどれかを選択します。 選択内容に合わせて、インジケーターに「F01」～「F50」のどれかが表示されます。	—	—
Send to 1 ～ Send to 9	—	—	スキャナーの［Function］ボタンを押して、ファンクションナンバーディスプレイに表示する数字を「1」～

コンピューターで設定したボタン	fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合	fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合	
	スキャナーの［Scan/Enter］ボタンを切り替える方法	スキャナーの［Scan/Stop］ボタンを切り替える方法	スキャナーの［Send to］ボタンを切り替える方法
			「9」のどれかに切り替えます。

6 選択したボタンを押したときに起動する、画像読み取り用アプリケーションを選択します。

「操作」の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、プログラム一覧から画像読み取り用アプリケーションを選択します。



7 ［OK］ボタンをクリックします。

ヒント

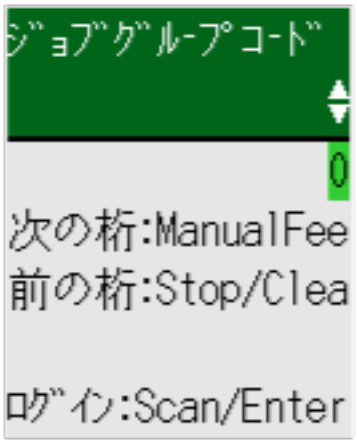
複数のボタンを設定する場合は、手順 5～6 を繰り返します。

ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270】

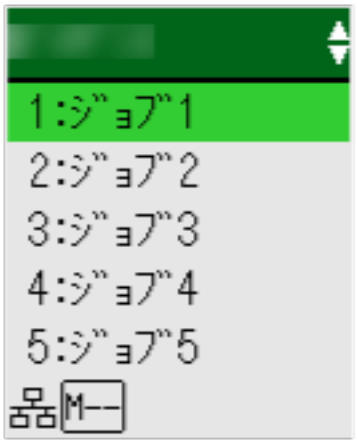
PaperStream NX Manager で設定されているジョブを実行して、原稿の読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。
スキャナーでジョブを実行するには、事前に PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

1 **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

- 液晶ディスプレイに「ジョブグループコード」画面が表示された場合
手順 2 に進みます。



- 液晶ディスプレイにジョブ一覧画面が表示された場合
手順 3 に進みます。



ヒント
ジョブ一覧画面で［Stop/Clear］ボタンを押すと、ログアウトして再度サーバーに接続します。

2 液晶ディスプレイの「ジョブグループコード」画面でジョブグループコードを入力します。

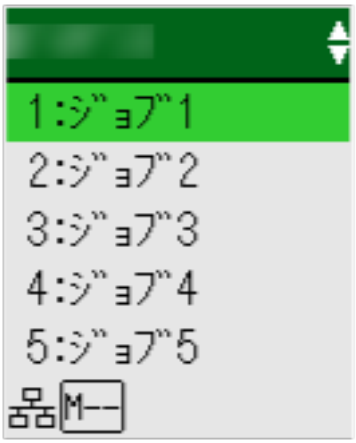
a [△]ボタン/[▽]ボタンを押して数字（0～9）を選択し、[Manual Feed]ボタンを押して次の桁の数字入力に移ります。
ここでは、例としてジョブグループコード「123」を入力します。

i [△]ボタン/[▽]ボタンを押して「1」を選択し、[Manual Feed]ボタンを押して次の桁の数字入力に移ります。

ii [△]ボタン/[▽]ボタンを押して「2」を選択し、[Manual Feed]ボタンを押して次の桁の数字入力に移ります。

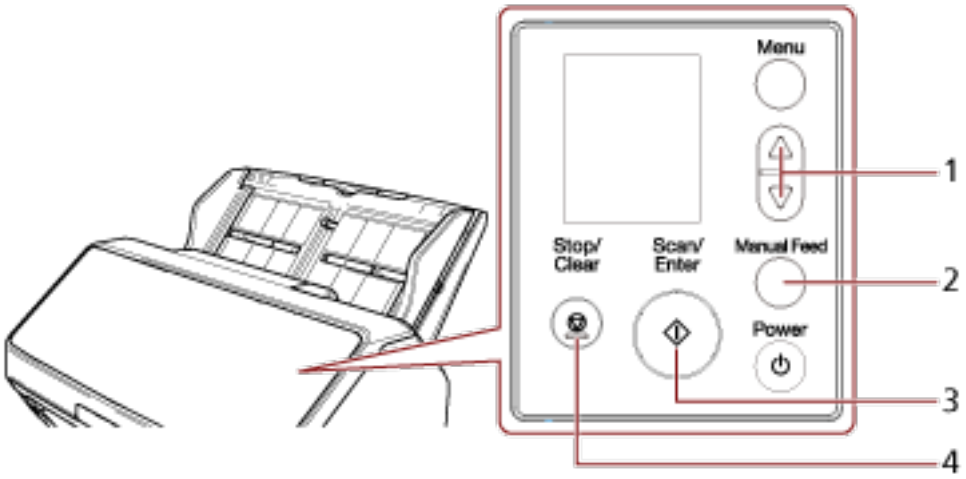
iii [△]ボタン/[▽]ボタンを押して「3」を選択します。

b ジョブグループコードの入力が完了したら、[Scan/Enter]ボタンを押します。
ジョブ一覧画面が表示されます。



ヒント
ジョブ一覧画面で［Stop/Clear］ボタンを押すと、ログアウトして「ジョブグループコード」画面に戻ります。
工場出荷設定では、ジョブ一覧画面を表示したままで 1 分間経過すると自動でログアウトします。
自動でログアウトする設定については、PaperStream NX Manager (441 ページ)を参照してください。

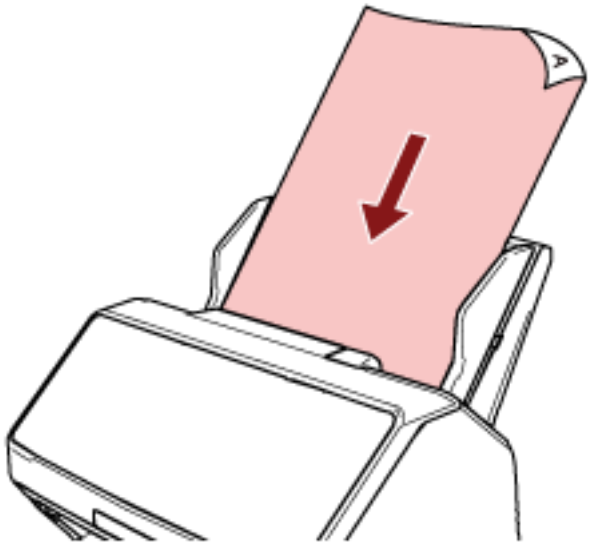
操作パネルの名称と働きは、次のとおりです。



No.	名称	働き
1	[△] ボタン/ [▽] ボタン	数字（0～9）を選択します。 数字は上 1 桁目から入力します。
2	[Manual Feed] ボタン	次の桁の数字入力に移ります。 入力カーソルは常に最も右にあります。 数字は最大 8 桁まで入力できます。
3	[Scan/Enter] ボタン	PaperStream NX Manager にログインします。
4	[Stop/Clear] ボタン	入力中の数字を削除して、前の桁の数字入力に移ります。 入力カーソルは常に最も右にあります。

3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。



詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。

4 液晶ディスプレイのジョブ一覧画面でジョブを選択し、読み取りを開始します。

a [△] ボタン/ [▽] ボタンを押してジョブを選択し、[Scan/Enter] ボタンを押します。

読み取りが開始されます。

> **ヒント**
> メッセージが表示される場合があります。
> 内容を確認して、[Scan/Enter] ボタンを押すと、読み取りが開始されます。
> [Stop/Clear] ボタンを押すと、ジョブ一覧画面に戻ります。

b 保存完了画面が表示された場合は、[Scan/Enter] ボタンを押します。

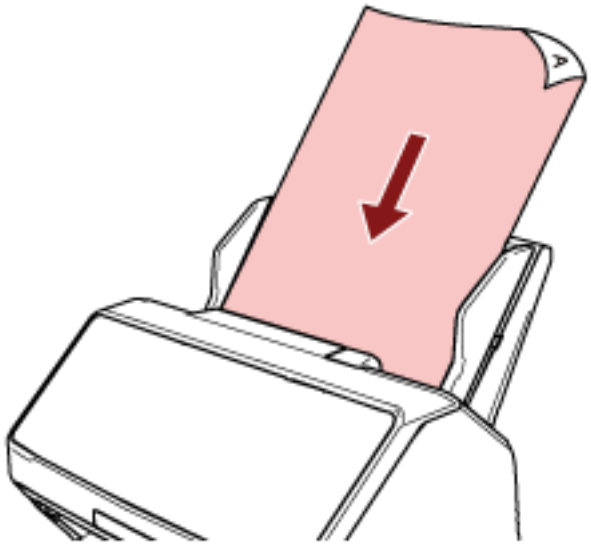
ジョブ一覧画面に戻ります。
画像は PaperStream NX Manager に送信されます。
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）[fi-8150/fi-8250]

PaperStream NX Manager で設定されているジョブを実行して、原稿の読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。
スキャナーでジョブを実行するには、事前に PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

1 **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

2 **ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されたら、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**
原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。



詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。

3 **[Function] ボタンを押してジョブの数字（1～9）を選択し、[Scan/Stop] ボタンを押します。**
読み取りが開始されます。
画像は PaperStream NX Manager に送信されます。
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

> **ヒント**
> どのジョブを選択するかは、事前に管理者から情報を入手しておいてください。

原稿のセット方法

ここでは、原稿をスキャナーにセットする方法について説明します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする

ADF 給紙シュート（フィーダー）に書類のような普通紙の原稿をセットする方法について説明します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備

ADF 給紙シュート（フィーダー）に複数枚の原稿をセットするときは、次の準備をします。

ヒント

スキャナーが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

1 原稿を確認します。

a セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。

原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。

原稿の幅が異なる場合は、混載条件 (159 ページ)および幅の違う原稿を読み取りたいとき (209 ページ)を参照してください。

b 原稿の枚数を確認します。

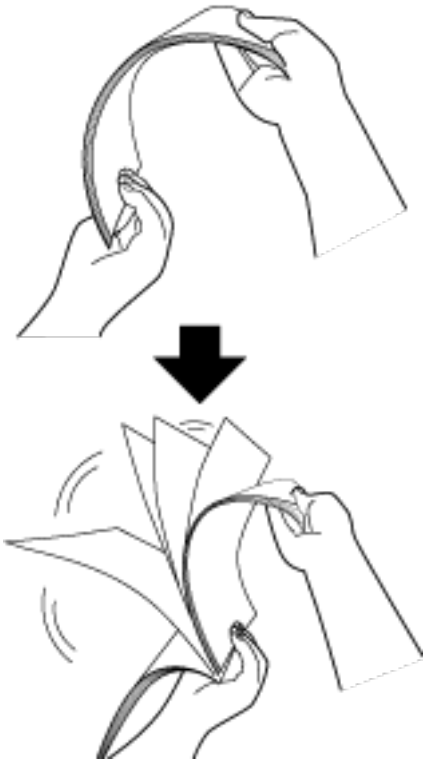
セットできる原稿枚数は 100 枚までです（厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿、原稿の総厚みが 10mm 以下）。

詳細は、セットできる原稿の枚数 (155 ページ)を参照してください。

2 原稿をさばきます。

a 原稿を 10mm 以下の厚みで取り出します。

b 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2〜3 回さばきます。



c 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

d すべての原稿に対して、手順 a〜c を行います。

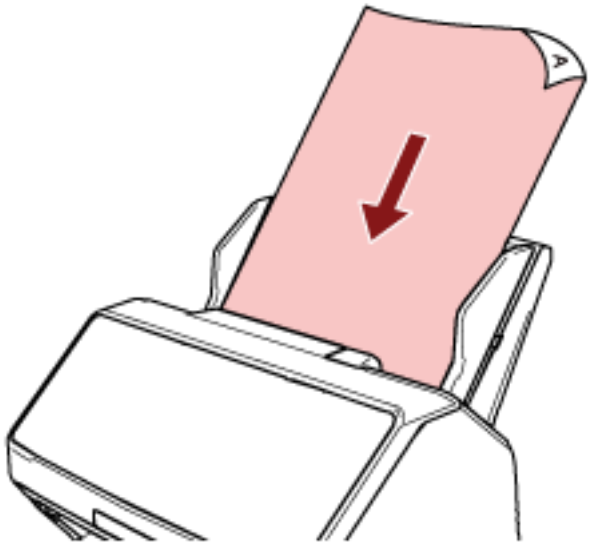
e 原稿の先端をそろえます。

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法

1 **原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。**
詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (114 ページ)を参照してください。

2 **原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。**
詳細は、スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (115 ページ)またはスタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (120 ページ)を参照してください。

3 **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**
原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。

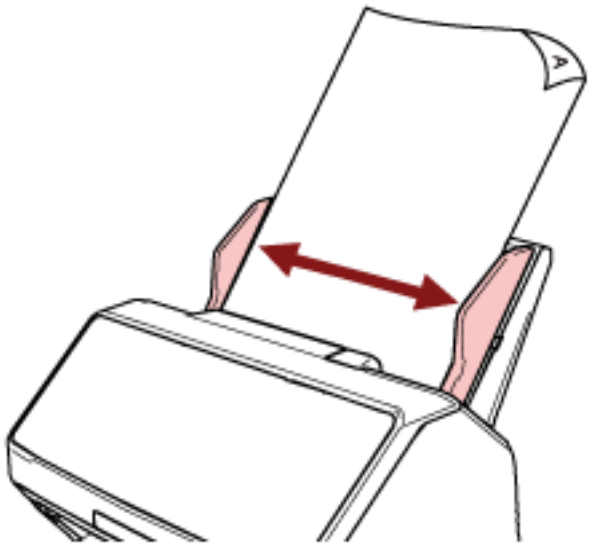


重要

- クリップ、ステープルは取り除いてください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたりする場合は、原稿の分量を減らしてください。

4 **原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。**
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに搬送されることがあります。



重要

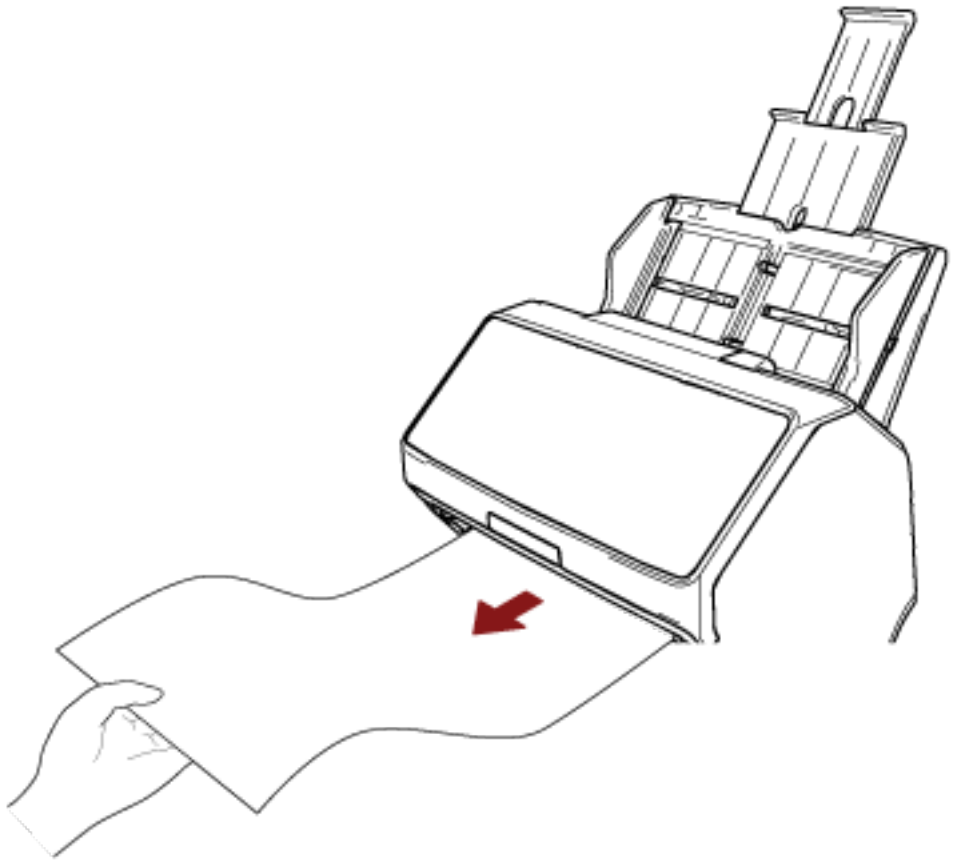
長尺帳票を読み取る場合は、次の点に注意してください。

- 原稿をセットするとき
  セットした原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、手で支えてください。



- 原稿が排出されるとき

スタッカー側に十分なスペースを設け、排出した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。

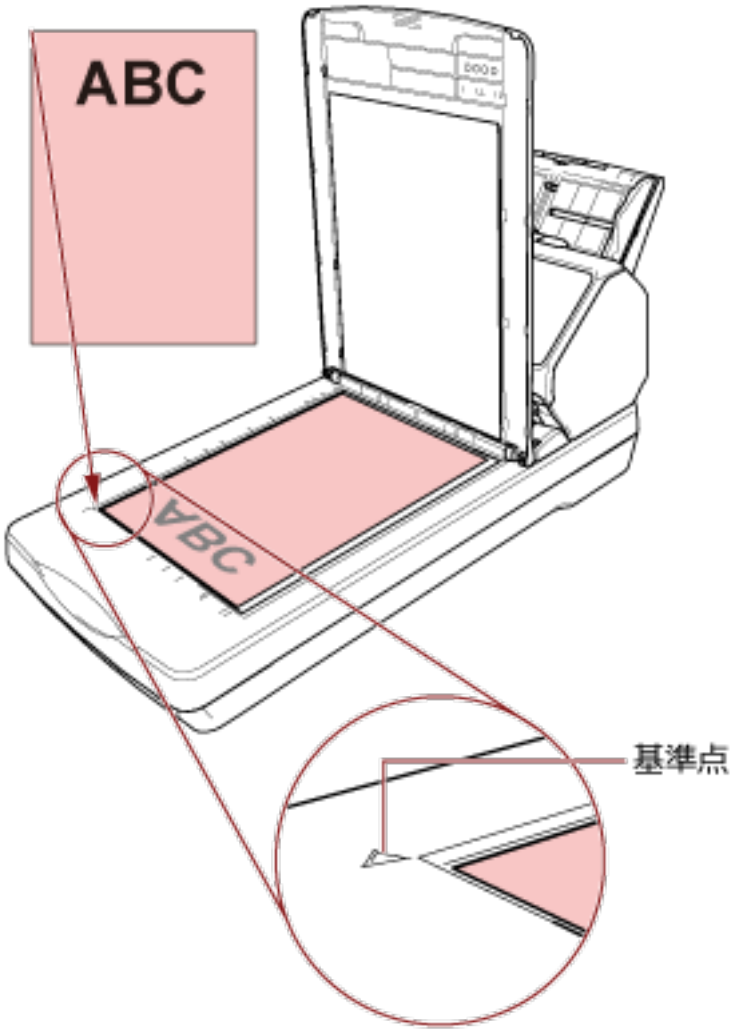


原稿を手で支えるときは、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。

フラットベッドに原稿をセットする［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

1 **ドキュメントカバーを開けます。**
詳細は、ドキュメントカバーの開け方 (112 ページ)を参照してください。

2 **原稿台に原稿をセットします。**
原稿の表面（読み取り面）が原稿台側（下向き）になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



3 **ドキュメントカバーを閉じます。**
詳細は、ドキュメントカバーの閉じ方 (113 ページ)を参照してください。

読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

ADF	最大サイズ（幅×長さ）（*1）	• A4 縦（210×297mm） • リーガル縦（8.5×14 インチ） • 長尺帳票（*2）（215.9×863.6mm、215.9×6,096mm）
	最小サイズ（幅×長さ）	48×50mm
フラットベッド【fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U】	最大サイズ（幅×長さ）	215.9×297mm

***1：**サイドガイド拡張スイッチをボールペンで手前に引き出してから ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けると、最大の幅 240mm まで搬送できます。
詳細は、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (211 ページ)を参照してください。

***2：**スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションの読み取り設定によっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。
長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 6,096mm（240 インチ）まで読み取りできます。
なお、条件に応じて、次の解像度を指定する必要があります。

- 863.6mm より大きく 2,700mm 以下の場合
  600dpi 以下
- 2,700mm より大きく 4,064mm 以下の場合
  400dpi 以下
- 4,064mm より大きく 5,461mm 以下の場合
  300dpi 以下
- 5,461mm より大きく 6,096mm 以下の場合
  200dpi 以下

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）
- プラスチックカード
- パスポートなどの冊子

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、事前に読み取りができるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

読み取りできる原稿の厚さは次のとおりです。

- 20～465g/m^2（17～400kg/連）
- A8 サイズは 128～209g/m^2（110～180kg/連）
- プラスチックカードは 1.4mm 以下（エンボス付き可（ISO7810 ID-1 タイプ準拠））
- パスポートは 7mm 以下（ISO/IEC 7810 ID-3 準拠）（*1）

***1：** fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、厚さ 7mm 以内のパスポートはキャリアシートなしで読み取れます。
fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合、パスポートはキャリアシートを使用して読み取ります。
キャリアシートを使用する場合、キャリアシートを含めて厚さは 7mm 以内としてください。

うまく読み取れない場合がある原稿

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に薄い原稿
- 写真（印画紙）

ヒント

うまく読み取れない場合がある原稿は、キャリアシートを使用することで読み取れます。
また、しわが寄っている、カールしている原稿、折れている原稿は、まっすぐに矯正することでも読み取れます。

読み取れない原稿

次の原稿は読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿

- インクが乾いていない原稿
- 48×50mm より小さい原稿
- 幅が 240mm（9.5 インチ）より大きい原稿（*1）
- 紙/プラスチックカード以外のもの（布、金属箔、OHP フィルムなど）
- 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類

***1：**サイドガイド拡張スイッチをボールペンで手前に引き出してから ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けると、最大の幅 240mm まで搬送できます。
詳細は、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (211 ページ)を参照してください。

重要

ノーカーボン紙は、ブレーキローラや原稿を送るローラー類（ピックローラなど）を損なうような化学物質を含んでいるため、スキャナーが故障する可能性があります。

事前の注意

- **読み取る原稿の注意**

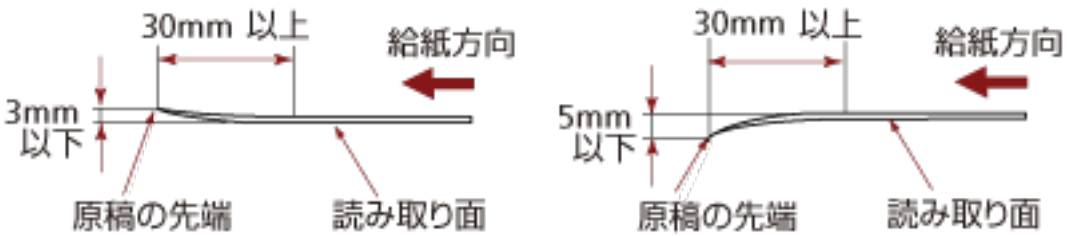
  読み取る原稿によっては、次のことに注意してください。

  - ノーカーボン紙は、ブレーキローラやピックローラを損なうような化学物質を含んでいるため、次のことに注意してください。

    - 清掃
      原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックローラを清掃してください。
      詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

    - 部品の交換
      ブレーキローラとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

  - 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなることがあります。
  - 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取るときにブレーキローラやピックローラに接触すると、ブレーキローラやピックローラが傷つく可能性があります。
  - 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。
    原稿を傷つけたくない場合は、オプションの A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートを使用してください。
  - 光沢のある原稿を読み取った場合、LED 光源の輝点が見えることがあります。
  - 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するためにスキャナードライバーで「明るさ」を明るめに設定してください。
  - 鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写されてよごれる可能性があり、原稿送り不良の原因となります。
    できる限り頻繁に各ローラーを清掃してください。
    清掃方法については、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。
  - 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生したりする場合は、トラブルと対処方法 (315 ページ)を参照してください。
  - ADF で原稿を読み取る場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。
    原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。



- **プラスチックカードの注意**

  プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。

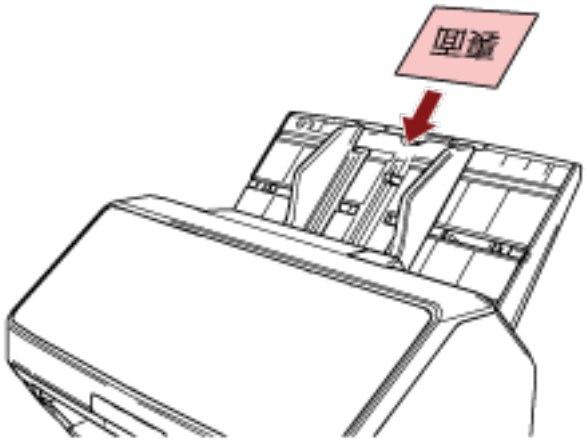
  - 次の仕様のプラスチックカードを使用し、事前に搬送できることを確認してください。

- タイプ：ISO7810 ID-1 タイプに準拠
- サイズ：85.6×53.98mm
- 厚さ：1.4mm 以下（エンボス付き可）
- 素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）

● ADF 給紙シュート（フィーダー）に、セットできるプラスチックカードの枚数は、次のとおりです。

- 厚さが 0.76mm 以下のプラスチックカード（エンボスなし）の場合は最大 10 枚まで
- 厚さが 1.4mm 以下のプラスチックカード（エンボスなし）の場合は最大 5 枚まで

ただし、プラスチックカードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、1 枚ずつセットしてください。



● プラスチックカードの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。

● 硬くて曲がりにくいプラスチックカードは、うまく搬送されない場合があります。

● プラスチックカードの表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。

● インプリンタを接続した場合は、プラスチックカードを読み取りできません。

● **冊子の注意**

冊子を読み取る場合は、次のことに注意してください。

● 次の仕様の冊子を使用し、事前に搬送できることを確認してください。

- 厚さ：7mm 以下

また、パスポートの場合は、次の仕様のものを使用してください。

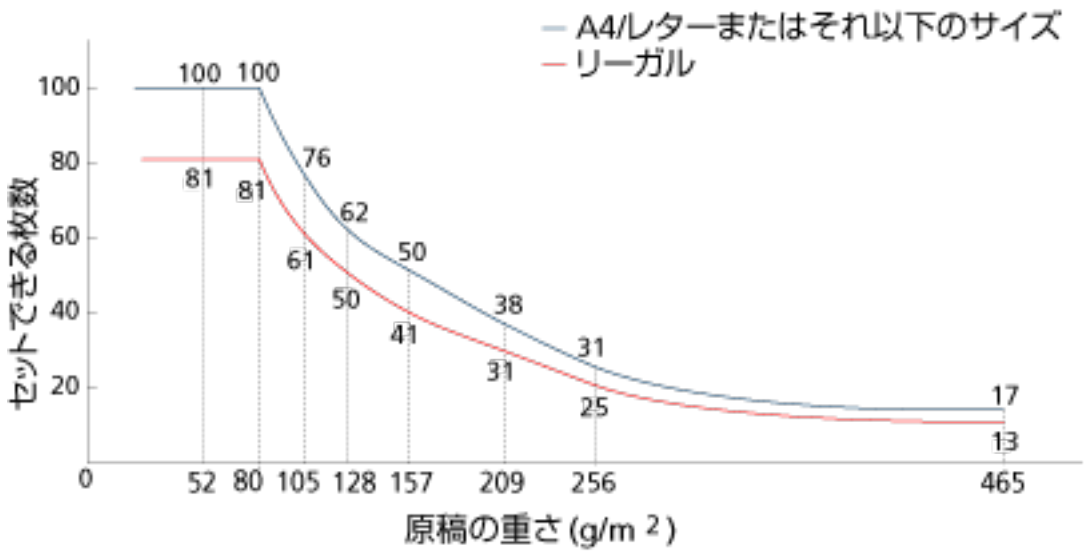
- タイプ：ISO/IEC 7810 ID-3 に準拠
- サイズ：125×88mm（閉じた状態）
- サイズ：125×176mm（開いた状態）

● パスポートの増刷や VISA などの貼り付け物により、冊子の厚みが 7mm を超えるものは搬送できません。

- 冊子は、見開きにしたときにページ数が多い方を下にし、見開きにしたページ（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。異なる向きで読み取ると、原稿が傷ついたり、画像が縦方向に間延びしたりする場合があります。
- 冊子は、まっすぐになるようにしっかり開いて、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。しっかり開いていないと、搬送できない場合があります。
- 冊子を読み取るときは、[Manual Feed] ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えてください。
  手差し・単送モードに切り替えずに読み取りを開始してしまった場合は、一度 ADF を開閉してから、手差し・単送モードに切り替えてください。
  手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。
- 各ローラーがよごれている場合は、原稿送り不良になったり、転写して冊子がよごれたりする原因となります。
  できる限り頻繁に各ローラーを清掃してください。
  清掃方法については、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。
- 冊子の表面または裏面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。
- 冊子をよごしたくない場合または傷つけたくない場合は、オプションの冊子キャリアシートを使用してください。
- 冊子を見開きにしたページ（読み取り面）に VISA などの貼り付け物がある場合は、オプションの冊子キャリアシートを使用することを推奨します。
- 冊子キャリアシートを使用するときは、スキャナードライバーで、冊子キャリアシート用の読み取り条件を設定して読み取ってください。

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。
次のグラフを参照してください。

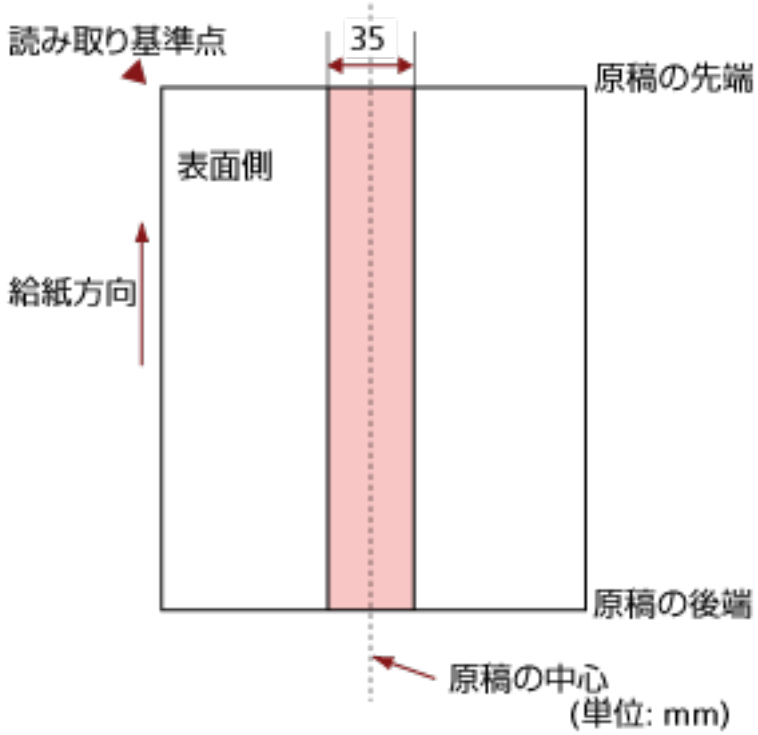


厚さの単位	g/m^2（坪量）	lb	kg/連（連量）（*1）
変換表	20	5.3	17
	27	7.2	23
	30	8.0	26
	40	11	34.5
	52	14	45
	64	17	55
	75	20	65
	80	21	69
	105	28	90
	128	34	110
	157	42	135
	209	56	180
	256	68	220
	465	124	400

***1：**四六判連量

穴を開けてはいけない領域

図 1 にある薄桃色の領域に穴があると、エラーの原因となる場合があります。
このような原稿を読み取る場合は、フラットベッド［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］を使ってください。
図 1



重要
この条件は、原稿がピックローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。

ヒント
原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。
原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。
セットした原稿の重なりを正しく検出するには、次に示す条件が必要です。

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合

- 原稿の厚さ：20～465g/m^2（17～400kg/連）
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。
  穴を開けてはいけない領域 (156 ページ)の図 1 を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けないでください。
  穴を開けてはいけない領域 (156 ページ)の図 1 を参照してください。

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。
  穴を開けてはいけない領域 (156 ページ)の図 1 を参照してください。

超音波センサーと原稿の長さの違いの両方で、原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の厚さ：20～465g/m^2（17～400kg/連）
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、穴を開けないでください。
  穴を開けてはいけない領域 (156 ページ)の図 1 を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ 35mm の領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けないでください。
  穴を開けてはいけない領域 (156 ページ)の図 1 を参照してください。

重要

この条件は、原稿がピックローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提です。

ヒント

- 原稿によっては、原稿の重なりの検出精度が低下する場合もあります。
  搬送方向で、原稿の先端から約 30mm は、原稿の重なりを検出できません。
- 穴を開けてはいけない領域 (156 ページ)の図 1 の領域で、原稿の重なりを検出しない範囲を、Software Operation Panel で設定できます。
  詳細は、原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定 (407 ページ)を参照してください。

- インテリジェントマルチフィード設定の動作モードが標準モードの場合は、搬送方向にある 80mm 以下の原稿の重なり部分（付箋紙などの紙片の貼り付け）は検出しません。

混載条件

厚み/摩擦係数/サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。
なお、原稿を混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。
読み取り方法については、幅の違う原稿を読み取りたいとき (209 ページ)を参照してください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

厚さの異なる原稿を混載する場合、使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

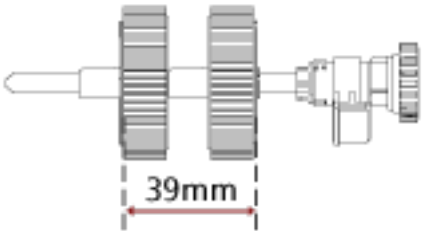
27～413g/m^2（23～355kg/連）

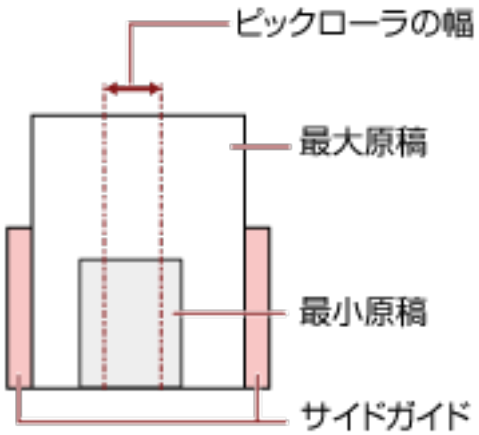
原稿の摩擦係数

原稿に使う用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。
いろいろな用紙メーカー/銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。
推奨摩擦係数は次のとおりです。
0.35～0.60（紙間摩擦係数参考値）

原稿のセット位置

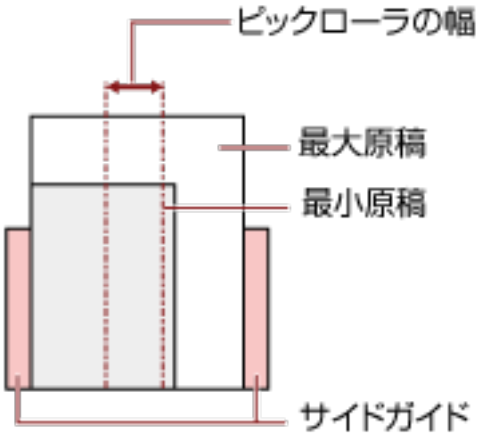
すべての原稿が、ピックローラの幅（約 39mm）にかかるように原稿をセットしてください。
異なるサイズの原稿を組み合わせるときの目安は、原稿のサイズ (160 ページ)の定型サイズの混載での組み合わせ例 (161 ページ)を参照してください。





ヒント

最小原稿が、下図のように、片側に寄せてセットしてもピックローラの幅にかかるサイズの場合は、原稿を片側に寄せてセットしてください。原稿が傾いて搬送されにくくなります。



原稿のサイズ

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、画像欠けや原稿づまりなどのトラブルが発生することがあります。
原稿が大きく傾いて搬送されたときには、読み取られた画像を確認することを推奨します。

重要

- 異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対してサイドガイドが機能しないため、原稿が傾いて搬送されやすくなります。
- 長さの異なる原稿を混載して読み取るときに、原稿の重なりを検出する場合は、原稿の長さの違いによる検出方法を設定しないでください。

定型サイズの混載での組み合わせ例

次の範囲が混載可能な組み合わせの目安です。

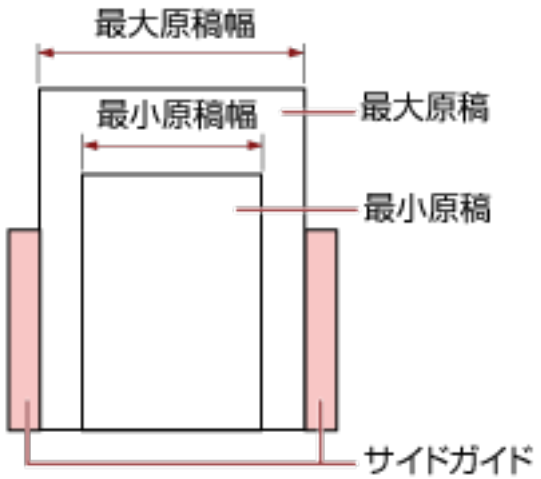
原稿サイズ 幅(mm) (*1)			最大原稿サイズ									
			LTR縦 A3-CS	A4縦 A5横	B5縦 B6横	A5縦 A6横	B6縦 B7横	A6縦 A7横	B7縦 B8横	A7縦 A8横	B8縦	A8縦
			216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5
最小原稿サイズ	LTR縦 A3-CS	216	■									
	A4縦 A5横	210	■	■								
	B5縦 B6横	182	■	■	■							
	A5縦 A6横	149			■	■						
	B6縦 B7横	129				■	■					
	A6縦 A7横	105					■	■				
	B7縦 B8横	91					■	■	■			
	A7縦 A8横	74.3						■	■	■		
	B8縦	64.3									■	
	A8縦	52.5										■

■ 混載可能範囲

LTR： レターサイズ

A3-CS：A3 キャリアシート

***1：** 最大原稿幅と最小原稿幅と原稿のセット位置との関係図を次に示します。



重要

B8 縦または A8 縦は、ほかのサイズの原稿と組み合わせて混載できません。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

自動用紙サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2（45kg/連）以下の薄い原稿
- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い（グレー色）の原稿

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

- **原稿のサイズ**

  読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

  - A3 キャリアシートサイズ（216×297mm）
  - A3（297×420mm）（*1）
  - A4（210×297mm）
  - A5（148×210mm）
  - A6（105×148mm）
  - B4（257×364mm）（*1）
  - B5（182×257mm）
  - B6（128×182mm）
  - はがき（100×148mm）（*2）
  - 名刺（91×55mm、55×91mm）（*2）
  - ビジネスカード（51×89mm）（*3）
  - レター（8.5×11 インチ、216×279.4mm）
  - ダブルレター（11×17 インチ、279.4×431.8mm）（*1）
  - 写真 E 版（83×117mm、117×83mm）（*2）
  - 写真 L 版（89×127mm、127×89mm）（*2）
  - 写真 LL 版（127×178mm、178×127mm）（*2）
  - カスタムサイズ
    - 幅
      25.4～431.8mm（1～17 インチ）（*1）
    - 長さ
      25.4～297mm（1～11.69 インチ）

  ***1：**原稿の幅が 216mm（8.5 インチ）を超える場合は、2 つ折りにして読み取ります。

  ***2：**スキャナードライバーが、PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (TWAIN x64)の場合に読み取りができます。

  ***3：**スキャナードライバーが、PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series の場合に読み取りができます。

- **原稿の紙質**

  原稿の種類

  原稿の種類は次のとおりです。

  - 一般的なオフィス用紙
  - A4 サイズより大きい原稿

- 傷つけたくない写真などの原稿
- 紙づまりの可能性がある切り抜きなどの原稿

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m^2 まで（180kg/連まで）

2 つ折りにして読み取る場合の使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 105g/m^2 まで（90kg/連まで）

事前の注意

次のことに注意してください。

- A3 キャリアシートを使用するとき
  - A3 キャリアシートは、同時に最大 3 枚までセットできます。
  - A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。
    このような場合は解像度を低くして読み取ってください。
  - A3 キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
    A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
  - A3 キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
    原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよび A3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
  - A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、A3 キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
    そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があるので、定期的に清掃してください。
    詳細は、キャリアシートの清掃 (265 ページ)を参照してください。
    清掃しても改善されない場合は、A3 キャリアシートを交換してください。
  - A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
  - 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。
    スキャナーが破損または故障する可能性があります。
  - A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
    指を切るおそれがあります。
  - 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。
    PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
  - A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。
    A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。

- A3 キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。
  原稿づまりが発生する可能性があります。

● A3 キャリアシートを保管するとき

- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
  印刷が A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
  また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。
  A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

写真キャリアシートを使用する場合の条件

- **原稿のサイズ**

  読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

  - 写真キャリアシートサイズ（178×127mm）
  - A6（105×148mm）
  - はがき（100×148mm）（*1）
  - 名刺（91×55mm、55×91mm）（*1）
  - ビジネスカード（51×89mm）（*2）
  - 写真 E 版（83×117mm、117×83mm）（*1）
  - 写真 L 版（89×127mm、127×89mm）（*1）
  - 写真 LL 版（127×178mm、178×127mm）（*1）
  - カスタムサイズ
    - 幅
      25.4～178mm（1～7 インチ）
    - 長さ
      25.4～127mm（1～5 インチ）

  ***1：**スキャナードライバーが、PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (TWAIN x64)の場合に読み取りができます。

  ***2：**スキャナードライバーが、PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series の場合に読み取りができます。

- **原稿の紙質**

  原稿の種類

  原稿の種類は次のとおりです。

  - 傷つけたくない写真などの原稿
  - 紙づまりの可能性がある切り抜きなどの原稿

  原稿の厚さ

  使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

  - 209g/m^2 まで（180kg/連まで）

  事前の注意

  次のことに注意してください。

  - 写真キャリアシートを使用するとき
    - 写真キャリアシートは、同時に最大 3 枚までセットできます。
    - 写真キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。

写真キャリアシートが正しく認識できなくなります。

- 写真キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
  原稿づまりが発生して、写真キャリアシートおよび写真キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
- 写真キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、写真キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
  そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があるので、定期的に清掃してください。
  詳細は、キャリアシートの清掃 (265 ページ)を参照してください。
  清掃しても改善されない場合は、写真キャリアシートを交換してください。
- 写真キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した写真キャリアシートは使用しないでください。
  スキャナーが破損または故障する可能性があります。
- 写真キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
  指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、写真キャリアシートの読み取りを行ってください。
  PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- スキャナードライバーで画像を見開きにする設定にしていても、表面の画像だけが出力されます。
- 写真キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。
  原稿づまりが発生する可能性があります。

● 写真キャリアシートを保管するとき

- 原稿を、写真キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
  印刷が写真キャリアシートに転写する場合があります。
- 写真キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
  また、高温環境下で写真キャリアシートを使用しないでください。
  写真キャリアシートが変形するおそれがあります。
- 写真キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

冊子キャリアシートを使用する場合の条件

- **原稿のサイズ**

  読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

  - 冊子キャリアシートサイズ（150×195mm）
  - パスポートサイズ（88×125mm）
  - 通帳サイズ（87×140mm）
  - カスタムサイズ
    - 幅
      25.4～150mm（1～5.9 インチ）
    - 長さ
      25.4～195mm（1～7.67 インチ）

- **原稿の紙質**

  原稿の種類

  原稿の種類は次のとおりです。

  - 冊子

  原稿の厚さ

  使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

  - 7mm 以下（キャリアシートの厚さを含む）

  事前の注意

  次のことに注意してください。

  - 冊子キャリアシートを使用するとき
    - 冊子キャリアシートは、1 枚だけセットできます。
    - 冊子キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
      冊子キャリアシートが正しく認識できなくなります。
    - 冊子キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、冊子キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
      そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があるので、定期的に清掃してください。
      詳細は、キャリアシートの清掃 (265 ページ)を参照してください。
      清掃しても改善されない場合は、冊子キャリアシートを交換してください。
    - 冊子キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
    - 破損した冊子キャリアシートは使用しないでください。
      スキャナーが破損または故障する可能性があります。
    - 冊子キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。

指を切るおそれがあります。

- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、冊子キャリアシートの読み取りを行ってください。
  PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- スキャナードライバーで画像を見開きにする設定にしていても、表面の画像だけが出力されます。

● 冊子キャリアシートを保管するとき

- 原稿を、冊子キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
  印刷が冊子キャリアシートに転写する場合があります。
- 冊子キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
  また、高温環境下で冊子キャリアシートを使用しないでください。
  冊子キャリアシートが変形するおそれがあります。
- 冊子キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

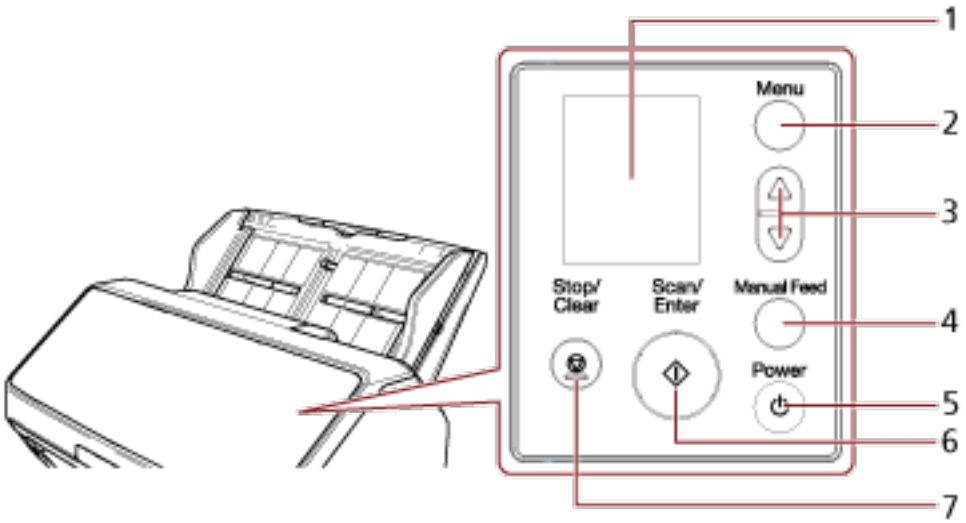
操作パネルの操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］

ここでは、操作パネルの操作方法について説明します。

操作パネルをお使いになる前に

操作パネルは、液晶ディスプレイ、ボタンから構成されています。

操作パネルの名称と働き



No.	名称	働き
1	液晶ディスプレイ	スキャナーの状態、スキャナーの動作を設定するメニューを表示します。 省電力状態に移行すると、液晶ディスプレイの表示が消えます。
2	［Menu］ボタン	液晶ディスプレイに、スキャナーの動作を設定するメニューを表示します。 読み取り中に動作を切り替えるときも使用します。
3	［△］ボタン/［▽］ボタン	液晶ディスプレイに表示される画面で、カーソルを移動したり、スクロールしたり、数字を入力したりするときに使用します。
4	［Manual Feed］ボタン（*1）	原稿を読み取るときに、手差し・単送モードに切り替えます。 原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。 手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。
5	［Power］ボタン	電源を投入/切断します。

No.	名称	働き
6	［Scan/Enter］ボタン	読み取りを開始します。 また、読み取り中に押すと読み取りを一時停止します。原稿を排出したり、液晶ディスプレイでスキャナーの動作を設定するときも使用します。 スキャナーの電源が投入されているときは点灯（緑）します。 省電力状態のときは点滅（緑）します。 手差し・単送モードに切り替えたときは 3 回点滅（緑）します。
7	［Stop/Clear］ボタン	読み取りを中止します。 また、液晶ディスプレイのエラー画面を消したり、スキャナーの設定中に前の画面に戻ったり、原稿の読み取り枚数のカウンターをクリア（3 秒以上長押し）したりするときも使用します。

***1**：［Manual Feed］ボタンを使用して原稿を読み取る方法については、次を参照してください。

- 2 つ折りの原稿を読み取りたいとき (214 ページ)
- 封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき (218 ページ)
- パスポートなどの冊子を読み取りたいとき (221 ページ)
- 手差しで原稿を読み取りたいとき (236 ページ)

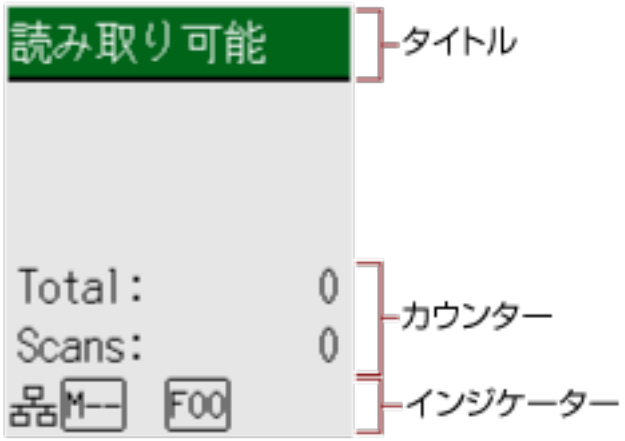
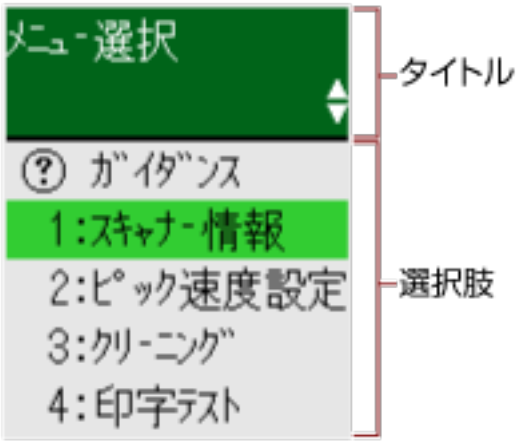
重要

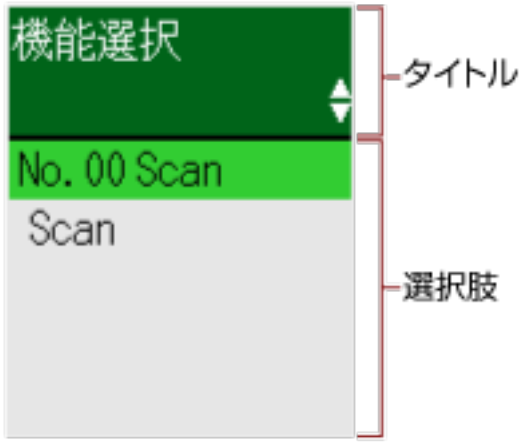
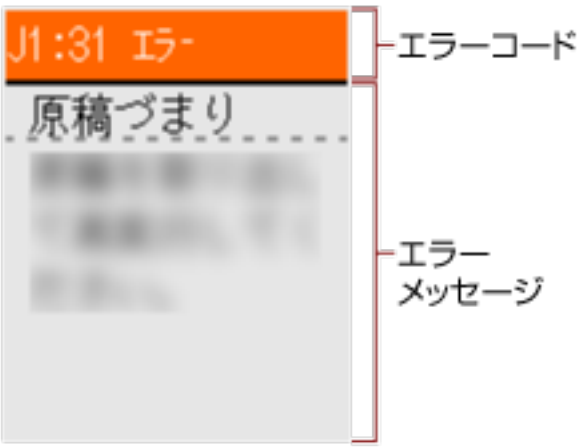
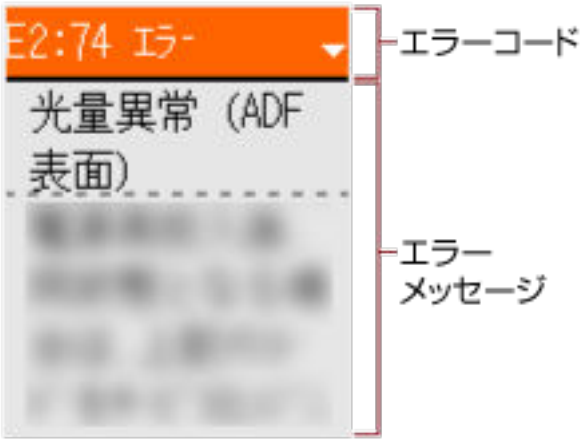
Software Operation Panel の起動中は、操作パネルを操作しないでください。

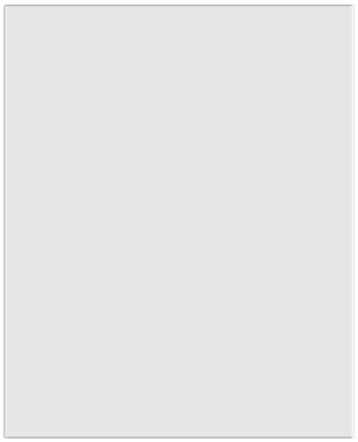
ヒント

PaperStream NX Manager 運用での操作パネルの操作については、ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (138 ページ)を参照してください。

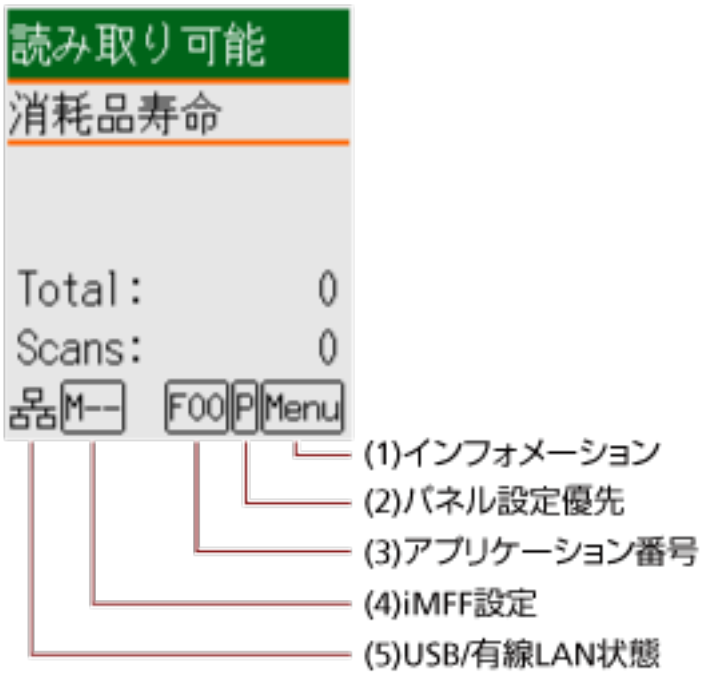
液晶ディスプレイの表示内容

表示内容	説明
	初期化処理実行中の画面です。
	原稿を読み取れる状態です。 初期化処理が正常に終了したことを意味します。 インジケーターの詳細は、インジケーターの説明 (176 ページ)を参照してください。
	スキャナーの動作を設定する画面です。 「読み取り可能」画面で［Menu］ボタンを押すと、「メニュー選択」画面が表示されます。 メニュー選択を使うことにより、原稿を読み取るときの様々な動作の設定ができます。 メニュー選択については、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

表示内容	説明
	［Scan/Enter］ボタンを押して読み取りを開始するときの動作を選択する画面です。 コンピューターで画像読み取り用アプリケーションを起動するボタンを設定している場合に選択します。 「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押すと、「機能選択」画面が表示されます。 機能選択を使うことにより、「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを切り替えられます。 機能選択については、機能選択の操作方法 (202 ページ)を参照してください。
	読み取り中にエラーが発生したときに表示される画面です。 「J」、「M」、または「U」から始まる「エラーコード」を表示します。 エラーの詳細は、エラーについて (282 ページ)を参照してください。 エラー表示中に［Stop/Clear］ボタンを押すと、エラー表示を解除できます。 「原稿づまり」エラーの場合は、スキャナー内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的にエラー表示がクリアされます。
	スキャナー本体に異常が発生したときに表示される画面です。 「A」、「C」、「E」、「F」、「H」、「L」、または「M」から始まる「エラーコード」を表示します。 エラーの詳細は、エラーについて (282 ページ)を参照してください。 この画面が表示された場合は、電源を再投入してください。 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

表示内容	説明
	電源の投入後、スキャナーの操作をしないまま、一定時間が経過すると、省電力状態になります。 スキャナーのボタン（［Power］ボタン以外）を押すと、省電力状態から復帰します。

インジケーターの説明



(1)インフォメーション

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージがある場合、Menuが点滅表示されます。
このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「消耗品寿命」、「清掃周期」、「ガラス清掃」、または「定期保守」が点滅表示されます。
［Menu］ボタンを押して、「インフォメーション」を選択します。

Menuが点滅表示された場合の対応方法については、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

(2)パネル設定優先

操作パネルの設定を Software Operation Panel の設定より優先している場合、Pが表示されます。
詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

(3)アプリケーション番号

「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動するアプリケーションの番号が表示されます。
詳細は、機能選択の操作方法 (202 ページ)を参照してください。

> **ヒント**
> PaperStream NX Manager 運用の場合は表示されません。

(4)iMFF 設定

インテリジェントマルチフィード設定が次のように表示されます。

アイコン	動作モード
なし	標準モード
	手動モード
	自動モード 1
	自動モード 2

標準モードの場合、アイコンは表示されません。

手動モードの場合、常にが表示されます。

自動モード 1 および自動モード 2 の場合、記憶している重なりパターン数が表示されます。
記憶できる重なりパターン数は、動作モードにより、次のようになります。

- 自動モード 1 の場合
  重なりパターンは、最大で 32 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。
  32 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
  ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」に従います。
  詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）(415 ページ)を参照してください。

> **ヒント**
> 原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度記憶させたあと、再度読み取って記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。

- 自動モード 2 の場合
  本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

iMFF 設定については、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

(5)USB/有線 LAN 状態

USB/有線 LAN 状態は、次のように表示されます。

アイコン	USB ケーブル接続状態	LAN ケーブル接続状態（*1）	ネットワーク機能の設定（*2）
	接続	接続	有効
	接続	接続	無効
	接続	未接続	無効

アイコン	USB ケーブル接続状態	LAN ケーブル接続状態（*1）	ネットワーク機能の設定（*2）
	接続	未接続	有効
	未接続	接続	有効
	未接続	未接続	有効
表示なし	未接続	接続	無効
	未接続	未接続	無効

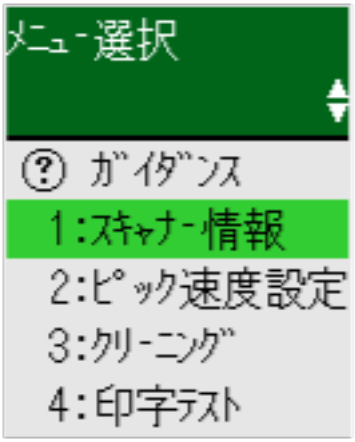
***1**：LAN ケーブルを接続していても通信していない場合は未接続となります。

***2**：ネットワーク機能を無効にした場合、有線 LAN 状態は表示されません。
ネットワーク機能の設定方法については、USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (422 ページ)を参照してください。

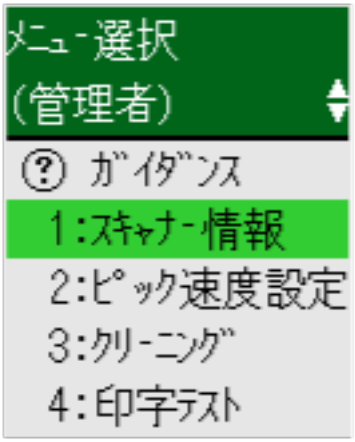
メニュー選択の操作方法

メニュー選択について説明します。
「読み取り可能」画面で［Menu］ボタンを押すと、「メニュー選択」画面が表示されます。
メニュー選択を使うことにより、原稿読み取り時の様々な動作の設定ができます。
「メニュー選択」画面には、次の 2 つのメニューがあります。

- ユーザーメニュー
  読み取り動作や操作パネルの設定において、基本的な設定ができるメニューです。



- 管理者メニュー
  読み取り動作や操作パネルの設定において、詳細な設定ができるメニューです。

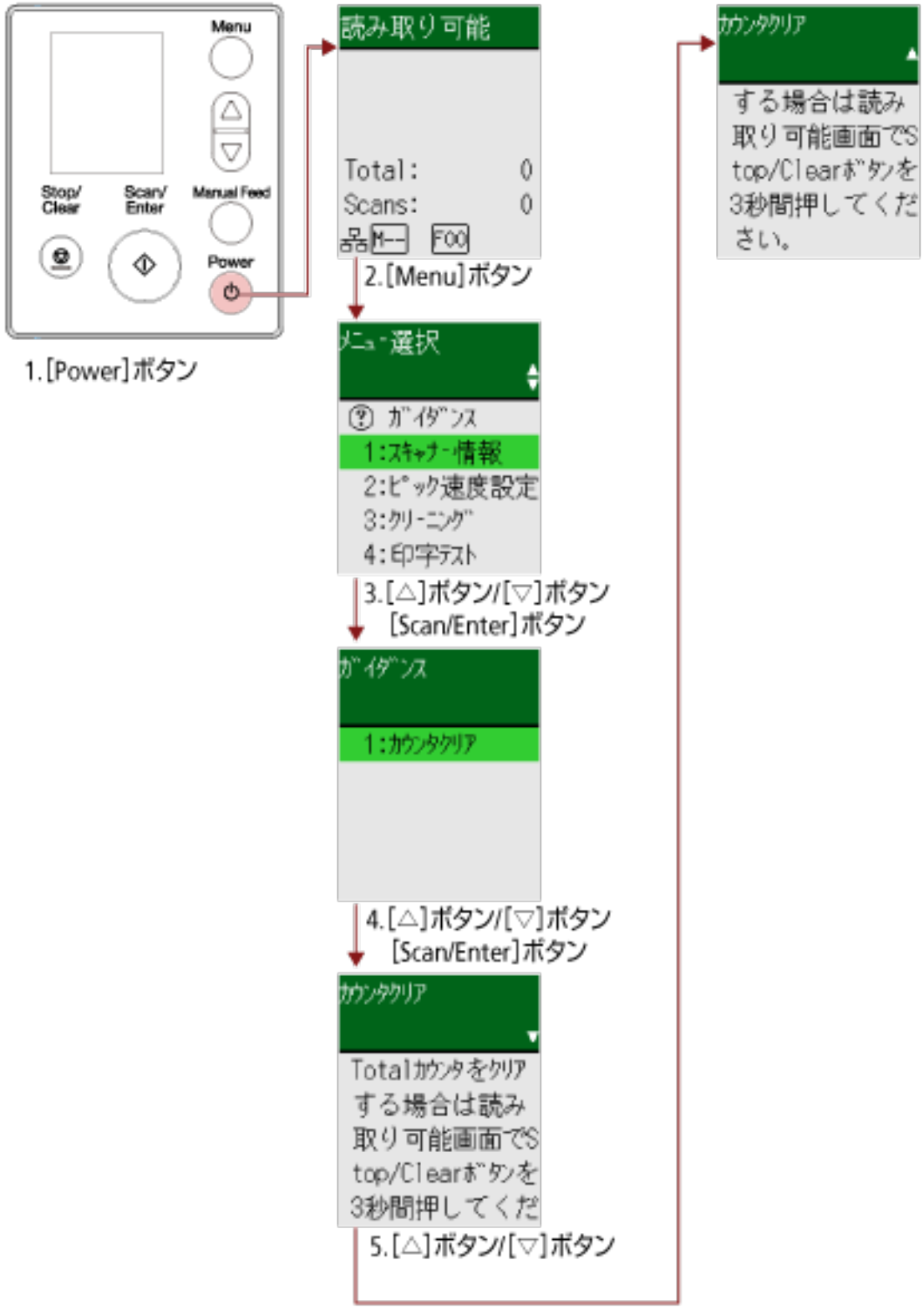


「メニュー選択」画面で［△］ボタンおよび［▽］ボタンを同時に 3 秒以上長押しすると、メニューを切り替えできます。
なお、スキャナーの電源を切断すると、ユーザーメニューに戻ります。
メニュー選択の操作方法については、設定項目の内容に応じて次のように分けて説明します。

操作	説明	設定項目	ユーザーメニュー	管理者メニュー
			○：設定可能 —：設定不可	
ガイダンスの確認	原稿の読み取り枚数のカウンターをクリアする方法を確認できます。 操作方法については、ガイダンスの確認 (182 ページ)を参照してください。	ガイダンス	○	○
インフォメーションの確認	液晶ディスプレイに[Menu]が点滅表示された場合、消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージを確認できます。 メッセージの表示内容を確認し対処してください。 操作方法については、インフォメーションの確認 (184 ページ)を参照してください。	インフォメーション	○	○
スキャナー情報の確認	スキャナー名、ネットワークなどのスキャナーに関する情報を確認できます。 操作方法については、スキャナー情報の確認 (186 ページ)を参照してください。	1:スキャナー情報	○	○
スキャナーの動作設定	読み取り動作や操作パネルの設定ができます。 また、認証情報を確認できます。 操作方法については、スキャナーの動作設定 (188 ページ)を参照してください。	2:ピック速度設定	○	○
		6:言語設定	○	○
		7:明るさ設定	○	○
		8:点滅周期設定	○	○
		9:横スクロール表示速度	○	○
		10:低速搬送モード	○	○
		11:ECO モード	○	○
		12:認証情報	○	○
		14:iMFF 設定	—	○
		15:給紙リトライ回数設定	—	○
		16:手差し・連送設定	—	○
		17:手差しタイムアウト時間	—	○
		18:ペーパープロテクション設定	—	○

操作	説明	設定項目	ユーザーメニュー	管理者メニュー
			○：設定可能 —：設定不可	
		19:縦筋検知設定	—	○
		20:パネル設定優先	—	○
		21:操作パネル初期化	—	○
		22:省電力時間設定	—	○
		23:電源切断時間設定	—	○
		24:プレピックモード	—	○
		25:USB	—	○
スキャナーの清掃	クリーニングペーパー、クリーニングワイプ、布を使って、スキャナーを清掃できます。 操作方法については、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。	3:クリーニング	○	○
インプリンタの印字テスト	インプリンタ搭載時、印字テストを実施できます。 操作方法については、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。	4:印字テスト	○	○
枚数カウンタの確認およびクリア	消耗品の交換時期や総読み取り枚数を確認できます。 また、消耗品を交換したときや清掃を行ったときは、この機能を使ってカウンターをクリアします。 操作方法については、枚数カウンタの確認およびクリア (190 ページ)を参照してください。	5:枚数カウンタ表示/クリア	○	○
原稿枚数のカウント	読み取った原稿の枚数をカウントできます。 操作方法については、原稿枚数のカウント (192 ページ)を参照してください。	13:原稿枚数カウントモード	○	○

ガイダンスの確認



1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

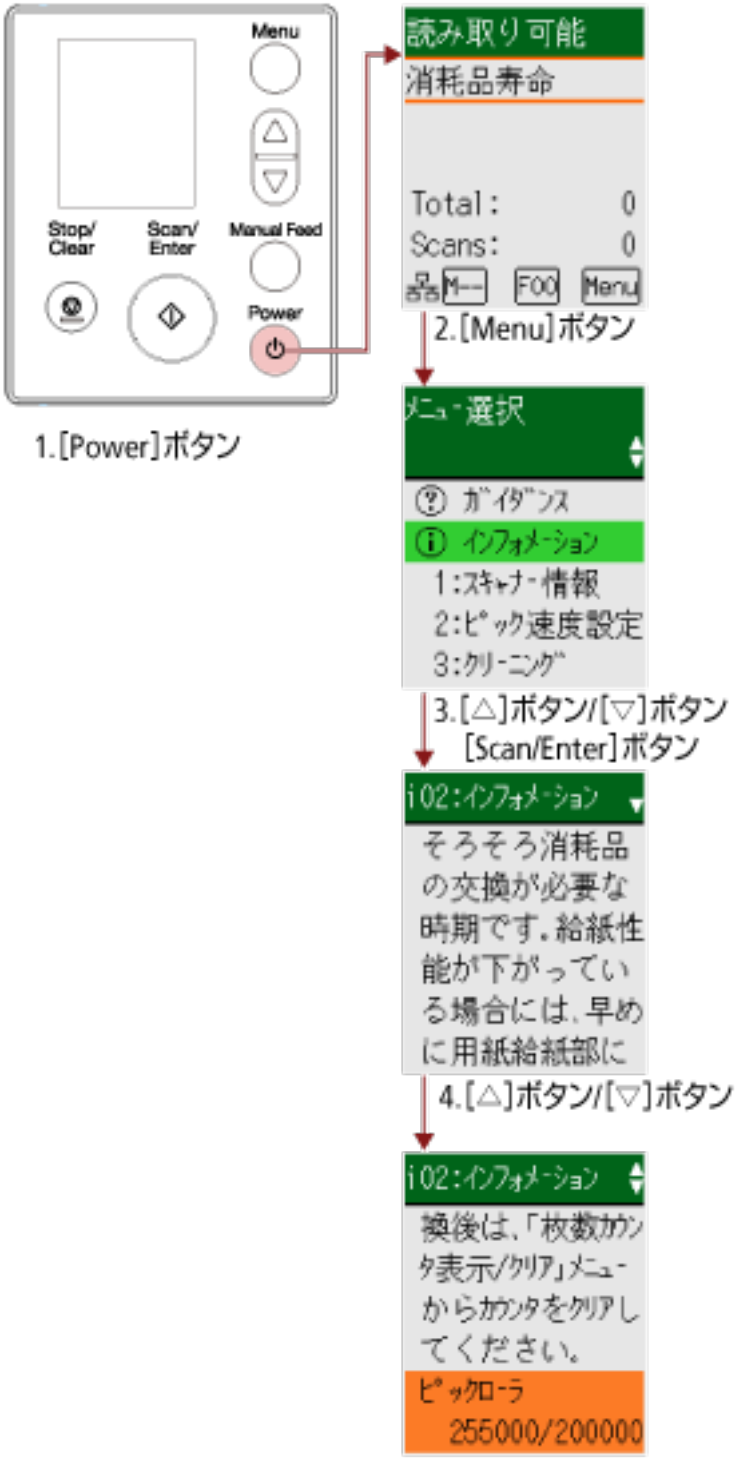
2 ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「ガイダンス」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「ガイダンス」画面が表示されます。

4 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「1:カウンタクリア」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「カウンタクリア」画面が表示されます。

5 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押してガイダンスの内容を確認します。
原稿の読み取り枚数のカウンターをクリアする方法を確認できます。

インフォメーションの確認



1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

2 ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「インフォメーション」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「インフォメーション」画面が表示されます。

> **重要**
> 消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージがある場合だけ、「インフォメーション」を選択できます。

4 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押してインフォメーションの内容を確認します。

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージを確認できます。
消耗品交換/清掃指示のメッセージの場合、消耗品の交換、清掃が必要なカウンターが反転表示されます。
各カウンターが反転表示されるタイミングを次に示します。

- ブレーキローラ/ピックローラのカウンターは、消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ） (387 ページ)で設定した値の 95%以上になった場合に反転表示されます。
- 清掃のカウンターは、清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定） (386 ページ)で設定した値以上になった場合に反転表示されます。
- インク残量のカウンターは、インク残量が 33%未満になった場合に反転表示されます（インプリンタを搭載しているときだけ表示されます）。

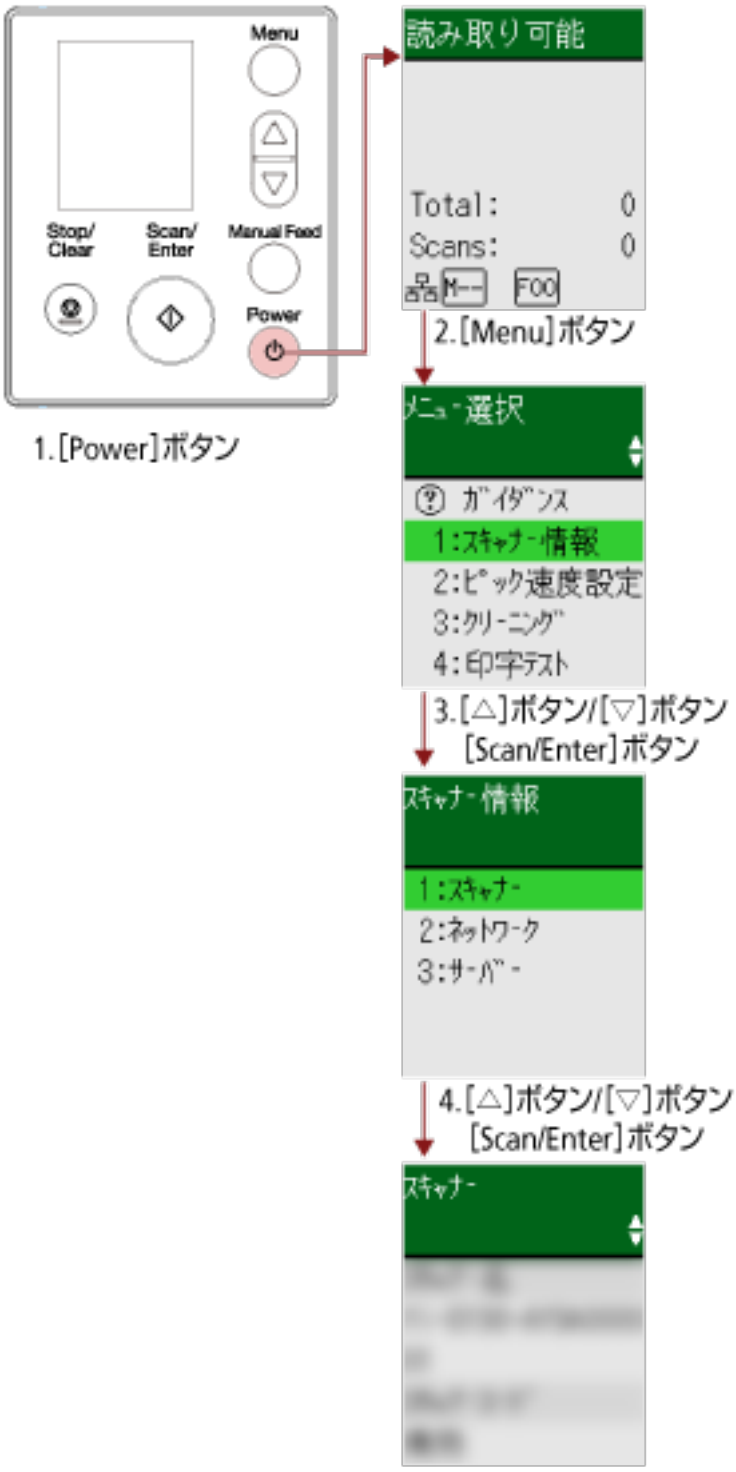
5 インフォメーションの内容に応じて対処します。

消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃のメッセージの場合、消耗品の交換、清掃を行ってください。
消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- ピックローラの交換 (272 ページ)
- ブレーキローラの交換 (268 ページ)

清掃方法は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。
定期保守のメッセージの場合、サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検を行ってください。
サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検方法は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ) ）にお問い合わせください。

スキャナー情報の確認



1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

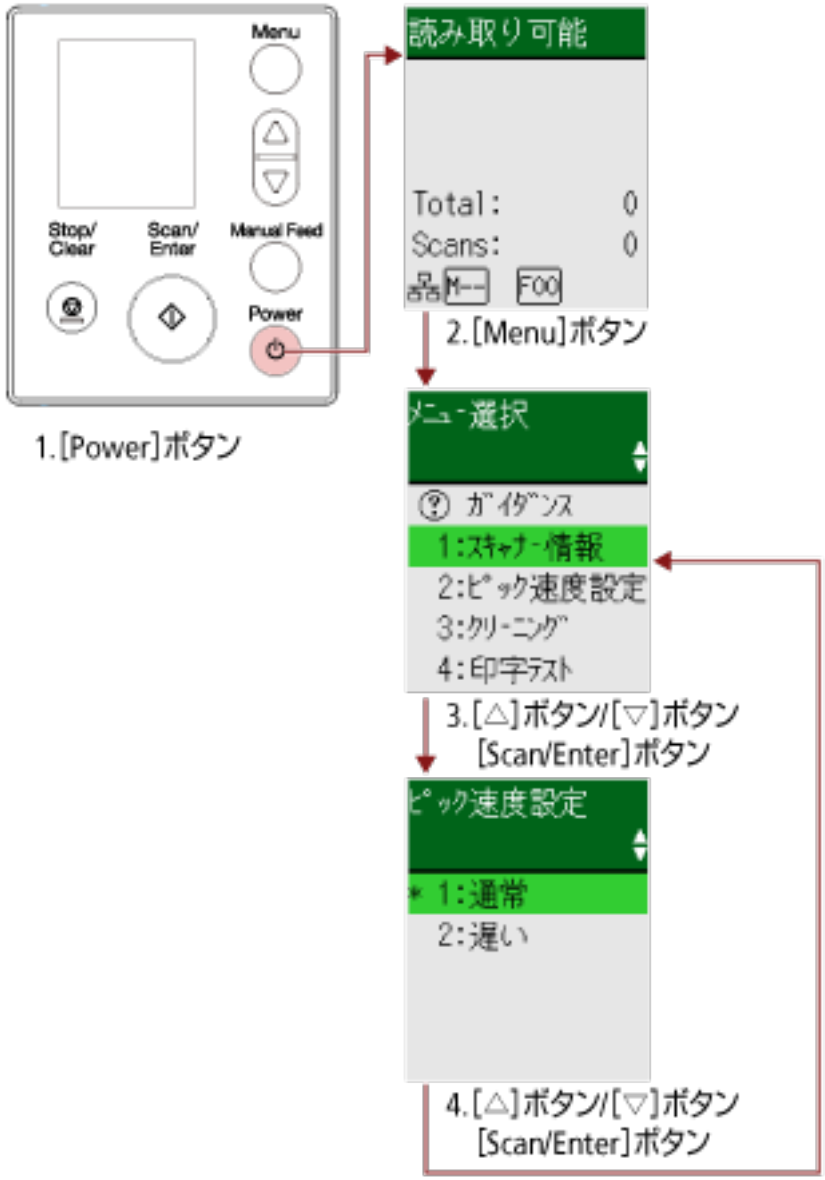
2 ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「1:スキャナー情報」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「スキャナー情報」画面が表示されます。

4 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「1:スキャナー」、「2:ネットワーク」、または「3:サーバー」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに選択した項目の画面が表示されます。

5 選択した項目の内容を確認します。
各項目の設定内容を確認できます。
ここでは、例として「1:スキャナー」を選択したため、スキャナー名が表示されています。

スキャナーの動作設定



1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

2 ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して設定項目を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
設定項目の詳細は、メニュー選択で設定できる項目 (194 ページ)を参照してください。
液晶ディスプレイに選択した設定項目の画面が表示されます。

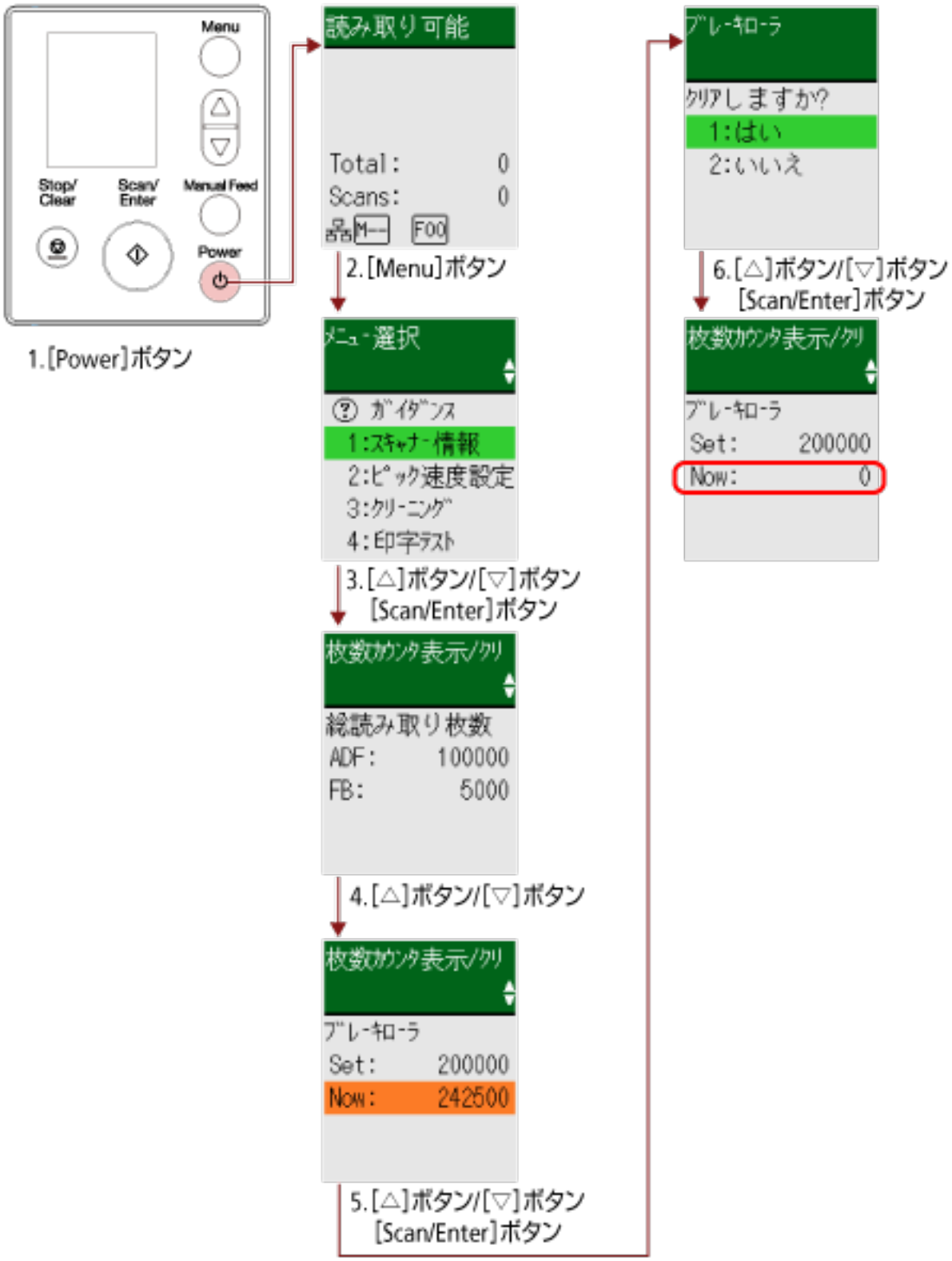
4 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して設定値を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
設定値の詳細は、メニュー選択で設定できる項目 (194 ページ)を参照してください。

ヒント

- 工場出荷時の設定値には「*」マークが付いています。
- 現在の設定値は、設定項目の画面が表示されたときにカーソルが位置づいている値です。

液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されれば設定完了です。
液晶ディスプレイに設定項目の画面が表示された場合は、「メニュー選択」画面が表示されるまで、手順 4 の操作を繰り返してください。

枚数カウンタの確認およびクリア



1　スキャナーの［Power］ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

2 ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「5:枚数カウンタ表示/クリア」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「枚数カウンタ表示/クリア」画面が表示されます。

4 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して、カウンターを確認します。
消耗品の交換、清掃が必要なカウンターが反転表示されます。
各カウンターが反転表示されるタイミングを次に示します。

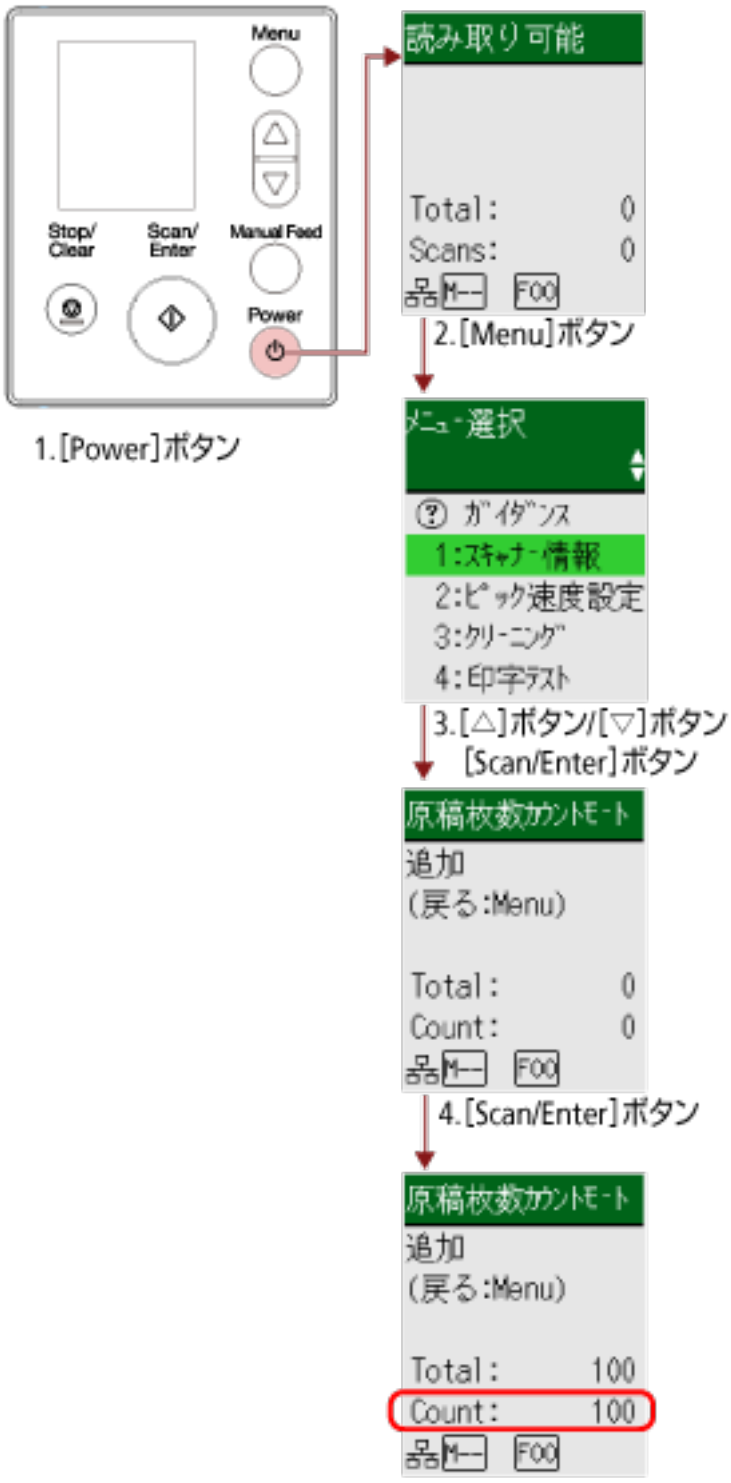
- ブレーキローラ/ピックローラのカウンターは、消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）(387 ページ)で設定した値の 95%以上になった場合に反転表示されます。
- 清掃のカウンターは、清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）(386 ページ)で設定した値以上になった場合に反転表示されます。
- インク残量のカウンターは、インク残量が 33%未満になった場合に反転表示されます（インプリンタを搭載しているときだけ表示されます）。

> **ヒント**
> 総読み取り枚数のカウンターには、ご購入後の読み取り枚数の総合計が表示されます。この総読み取り枚数のカウンターはクリアできません。

5 消耗品の交換または清掃後、［△］ボタン/［▽］ボタンを押して、反転表示されているカウンターを選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
クリアするかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「1:はい」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
カウンター値が 0 になります。
インク残量の場合は、100 になります。

原稿枚数のカウント



1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

2 ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「13:原稿枚数カウントモード」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「原稿枚数カウントモード（追加）」画面が表示されます。

4 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットし、［Scan/Enter］ボタンを押します。

読み取った原稿枚数がカウントされます。

カウントされた原稿枚数が Count に表示されます。

重要

カウント中に原稿の重なりを検出した場合、正しくカウントできないことがあります。

ヒント

- Count をクリアするには、「原稿枚数カウントモード（追加）」画面で［Stop/Clear］ボタンを押してください。
- 原稿枚数カウントモードを終了するには、「原稿枚数カウントモード（追加）」画面で［Stop/Clear］ボタンを 3 秒以上長押ししてください。

メニュー選択で設定できる項目

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
ガイダンス	原稿の読み取り枚数のカウンターをクリアする方法が表示されます。	1:カウンタクリア	1:カウンタクリア
インフォメーション	液晶ディスプレイにMenuが点滅表示された場合だけ、「メニュー選択」画面の設定項目に「インフォメーション」が点滅表示されます。	消耗品交換/清掃指示/ガラス清掃/定期保守のメッセージ	インフォメーションがある場合だけ表示
1:スキャナー情報	スキャナー名、ネットワークなどのスキャナーに関する情報が表示されます。	1:スキャナー 2:ネットワーク 3:サーバー	—
2:ピック速度設定	原稿の搬送を開始するタイミングを設定できます。 原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生する場合に、原稿の搬送を開始するタイミングを遅くすると、改善できることがあります。 この設定は、薄い原稿を読み取る場合に効果があります。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:通常 2:遅い	1:通常
3:クリーニング	スキャナーを清掃する場合に使用します。 操作方法については、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。	1:クリーニングペーパー 2:ワイプ	—
4:印字テスト	インプリンタ搭載時、印字テストを実施する場合に使用します。 操作方法については、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。	**読み取り枚数：** 1:一枚のみ 2:複数枚 **印字パターン：** 1: (L)ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000 2: (L)abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}¯00000000	(*3)

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
		3:(L)!"#$%&'()*+,-./ 0123456789:;<=>? @00000000 4: (P)ABCDEFGHIJKLMNO PQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000 5: (P)abcdefghijklmnopqr stuvwxyz{\|}¯00000000 6:(P)!"#$%&'()*+,-./ 0123456789:;<=>? @00000000 **印字テスト：** 1:はい 2:いいえ	
5:枚数カウンタ表示/クリア	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。	総読み取り枚数/ブレーキローラ/ピックローラ/清掃	0
		インク残量（インプリンタ搭載時）	インプリンタ搭載時だけ表示
6:言語設定	運用環境に応じた言語を設定します。	1:日本語 2:英語 3:フランス語 4:ドイツ語 5:イタリア語 6:スペイン語 7:ロシア語 8:中国語（簡体） 9:中国語（繁体） 10:ポルトガル語 11:トルコ語 12:韓国語 13:アラビア語	1:日本語
7:明るさ設定	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	弱い←→強い ■□□□□ ■■□□□ ■■■□□	■■■□□

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
		■■■■□ ■■■■■	
8:点滅周期設定	液晶ディスプレイにMenuが点滅表示された場合の、Menuおよび「メニュー選択」画面の設定項目「インフォメーション」の点滅間隔を設定します。	0.5、1.0、1.5、2.0、2.5（単位：秒）	2.0
9:横スクロール表示速度	設定項目名が横スクロールするときの表示速度を設定します。 設定項目名が液晶ディスプレイに収まらない場合に、横スクロールします。	1:速い 2:通常 3:遅い 4:オフ	2:通常
10:低速搬送モード	原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る設定をします。 低解像度（400dpi 未満）を指定して読み取る場合に、読み取り解像度の設定に関係なく、遅い速度で読み取るようになります。ゆっくり読み取るため、長尺帳票を読み取る場合に効果があります。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効	2:無効
11:ECO モード	低解像度（300dpi 以下）を指定して読み取る場合に、読み取り速度を遅くすることで、スキャナーの消費電力を抑える設定をします。 読み取り速度は、次のようになります。 ● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合 600dpi を指定して読み取るときと同じ速度で読み取ります。 ● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合 400dpi を指定して読み取るときと同じ速度で読み取ります。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効	2:無効
12:認証情報	ロゴが表示されます。	—	—
13:原稿枚数カウントモード	読み取った原稿の枚数をカウントできます。	—	—

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
14:iMFF 設定	原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。 この設定を行うには、事前に、スキャナードライバーおよび Software Operation Panel の 原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）(407 ページ)で、「重なりを検出(超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定しておく必要があります。 「4:パターンクリア」を選択すると、自動モードで記憶した原稿の重なりパターン（長さや位置）をクリアできます。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:標準モード 2:手動モード 3:自動モード 1 4:自動モード 2 5:パターンクリア	1:標準モード
15:給紙リトライ回数設定	原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1～12（単位：回）	3
16:手差し・連送設定	原稿を 1 枚ずつセットして読み取るときの設定をします。 手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る場合（手差し）に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておくと、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、連続して読み取りができます。設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。 Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効	2:無効
17:手差しタイムアウト時間	手差しで原稿を読み取るときの待機時間を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	5、10、20、30、40、50、60、70、80、90、100、110（単位：秒）	10
18:ペーパープロテクション設定	原稿の搬送異常を検出する設定をします。	1:無効 2:原稿の傾きを検出 3:原稿のつまり音を検出	4:原稿の傾きとつまり音を検出 **原稿の傾き感度：**

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
	次のどれかの時点で、原稿の搬送異常を検知します。 ● 原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常な傾きを検知した時点 ● 原稿づまりが発生したときの音を検知した時点 原稿の読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。 原稿の搬送異常を検知して読み取りを中止すれば、原稿の破損を防げます。 本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。 原稿を保護する機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。 原稿が正常に搬送できない場合に、原稿が異常に傾いて搬送されたり、原稿がつまる音がしたりします。 原稿の異常な傾きまたは原稿がつまる音を検知するレベルを設定します。 原稿を保護する設定は、スキャナードライバーまたは Software Operation Panel でも設定できます。 スキャナードライバーで原稿を保護する設定を有効にした場合は、Software Operation Panel の設定に関係なく、「原稿の傾きとつまり音を検出」が有効になります。 原稿を保護する設定は、次の順で優先されます。 **1** スキャナードライバーの「ペーパープロテクション」 **2** 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:ペーパープロテクション設定」（操作パネルの設定を優先している場合）	4:原稿の傾きとつまり音を検出 **原稿の傾き感度：** 1:通常 2:高い **原稿のつまり音感度：** 1:低い 2:通常 3:高い	1:通常 **原稿のつまり音感度：** 2:通常

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
	3 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:ペーパープロテクション設定」または Software Operation Panel の「ペーパープロテクション」 感度は、Software Operation Panel でも設定できます。		
19:縦筋検知設定	ガラスのよごれを検知する設定ができます。 ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。 縦筋を検知する設定を「有効」にすると、ADF での読み取り画像に縦筋が発生する可能性がある場合に、次のようにメッセージが通知されます。 ● 液晶ディスプレイに Menu が点滅表示されます。 このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「ガラス清掃」が点滅表示されます。 インフォメーションを確認しガラスを清掃してください。 インフォメーションの確認方法は、インフォメーションの確認 (184 ページ)を参照してください。 ● メッセージがコンピューターに表示されます。 メッセージを確認しガラスを清掃してください。 清掃方法は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。 「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれを検知するレベルを設定します。 ガラスのよごれ具合に応じて検知する感度を変更します。 縦筋検知設定は、スキャナードライバーまたは Software Operation Panel でも設定できます。	1:有効 2:無効 **感度：** 1:低い 2:通常 3:高い	2:無効 **感度：** 2:通常

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
	この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。 感度は、Software Operation Panel でも設定できます。		
20:パネル設定優先	ペーパープロテクション設定について、操作パネルの設定を Software Operation Panel の設定より優先するように設定します。 スキャナードライバーの設定より優先するようには設定できません。 「1:ペーパープロテクション設定」を選択した場合は、操作パネルのペーパープロテクション設定が優先されます。 「2:解除」を選択した場合は、ペーパープロテクション設定の優先を解除します。	1:ペーパープロテクション設定 2:解除	2:解除
21:操作パネル初期化	操作パネルの設定を初期化します。 ただし、言語設定および工場出荷時に値のないものは除きます。	1:はい 2:いいえ	（*4）
22:省電力時間設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。 Software Operation Panel でも設定できます。	5～115（5 分刻みで設定）（単位：分）	15
23:電源切断時間設定	自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間を設定します。 「無効」を設定すると、スキャナーの消費電力が増加します。 Software Operation Panel でも設定できます。	無効、1、2、4、8（単位：時）	4
24:プレピックモード	連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。 連続読み取りをする場合、読み取り中の原稿を排出する前に、次の原稿を ADF 内部まで搬送しておくことを、「プレピック」と呼びます。 スキャナードライバーまたは Software Operation Panel でも設定できます。 この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。	1:はい 2:いいえ	1:はい
25:USB	コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。	1:自動 2:USB 2.0	1:自動

設定項目	説明	設定値（*1）/表示値	工場出荷時（*2）
		ー：設定値/表示値なし	
	設定を変更するとスキャナーが再起動します。		

***1：**現在の設定値は、設定項目の画面が表示されたときにカーソルが位置づいている値です。

***2：**工場出荷時の設定値は、設定画面に「*」マークが付いて表示されます。

***3：**工場出荷時の設定値はありませんが、電源投入直後は、読み取り枚数「2:複数枚」、印字パターン「1:(L)ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000」、印字テスト「1:はい」に設定されます。工場出荷時の設定値がないため、操作パネルの設定を初期化しても設定値は変更されません。

***4：**工場出荷時の設定値はありませんが、電源投入直後は、「2:いいえ」に設定されます。工場出荷時の設定値がないため、操作パネルの設定を初期化しても設定値は変更されません。

機能選択の操作方法

機能選択について説明します。

「読み取り可能」画面で［△］ボタン/［▽］ボタンを押すと、「機能選択」画面が表示されます。

機能選択を使うことにより、「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを切り替えられます。

事前にコンピューターで、画像読み取り用アプリケーションを起動するボタンを設定しておく必要があります。

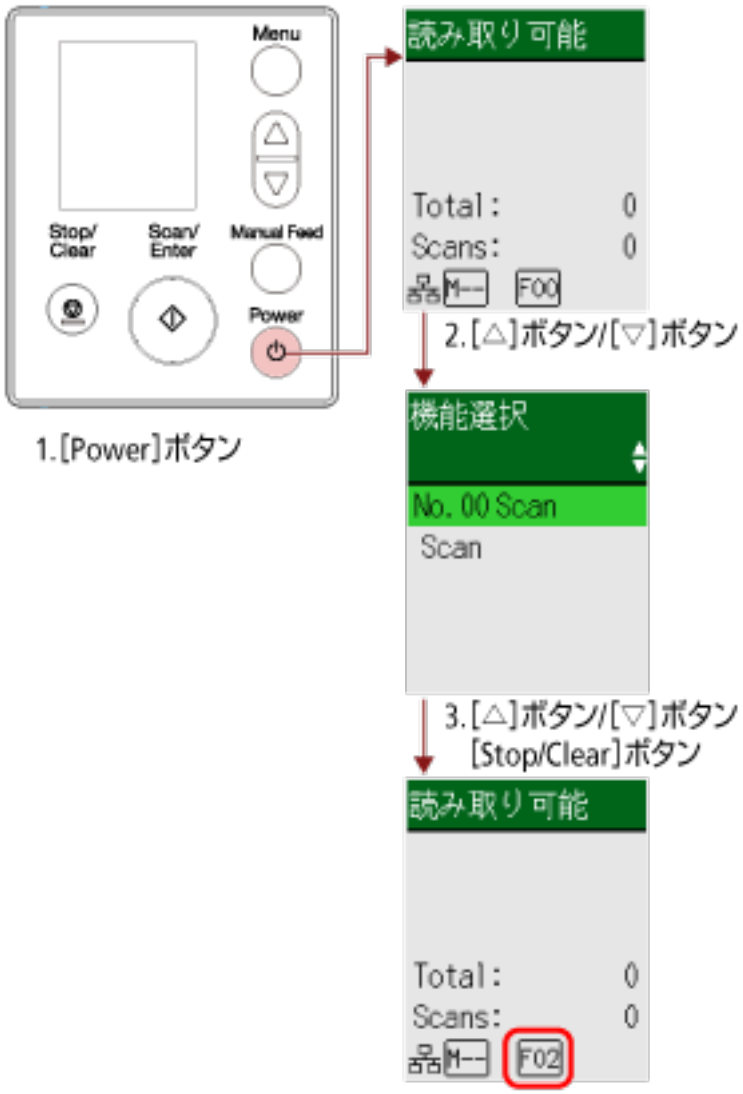
詳細は、スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)を参照してください。

「機能選択」画面で選択した番号が、インジケーターに表示されます。

例えば、「機能選択」画面で「No.02」を選択した場合は、インジケーターに「F02」が表示されます。

ヒント

PaperStream NX Manager 運用の場合は表示されません。



1 スキャナーの［Power］ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。
電源投入直後は、インジケーターに「F00」が表示されます。

2 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「機能選択」画面が表示されます。

3 ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して、起動したい画像読み取り用アプリケーションが設定されている番号を選択し、［Stop/Clear］ボタンを押します。

設定値の詳細は、機能選択で設定できる項目 (204 ページ)を参照してください。
液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されれば設定完了です。
「機能選択」画面で選択した番号が、インジケーターに表示されます。
ここでは、例として「No.02」を選択したため、インジケーターに「F02」が表示されています。

ヒント

- 「No.00」～「No.50」を選択した場合は、インジケーターに「F00」～「F50」が表示されます。
- 「SOP」を選択した場合は、インジケーターに「SOP」が表示されます。
  「SOP」は、事前に Software Operation Panel が起動するように設定されており、ほかのアプリケーションに変更できません。

機能選択で設定できる項目

設定項目	説明	設定値	工場出荷時
機能選択	「読み取り可能」画面で［Scan/Enter］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを切り替えられます。 コンピューター側で設定したボタン（Scan Button/Send to 01～Send to 50）が表示されます。 No.00 には、Scan Button のボタンが表示されます。 No.01～No.50 には、Send to 01～Send to 50 のボタンが表示されます。 SOP には、「Software Operation Panel」が表示されます。 ボタンの設定方法については、スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)を参照してください。	No.00～No.50/SOP （SOP は、事前に Software Operation Panel が起動するように設定されており、ほかのアプリケーションに変更できません）	（*1）

***1：**工場出荷時の設定値はありませんが、電源投入直後は、「No.00」に設定されます。工場出荷時の設定値がないため、操作パネルの設定を初期化しても設定値は変更されません。

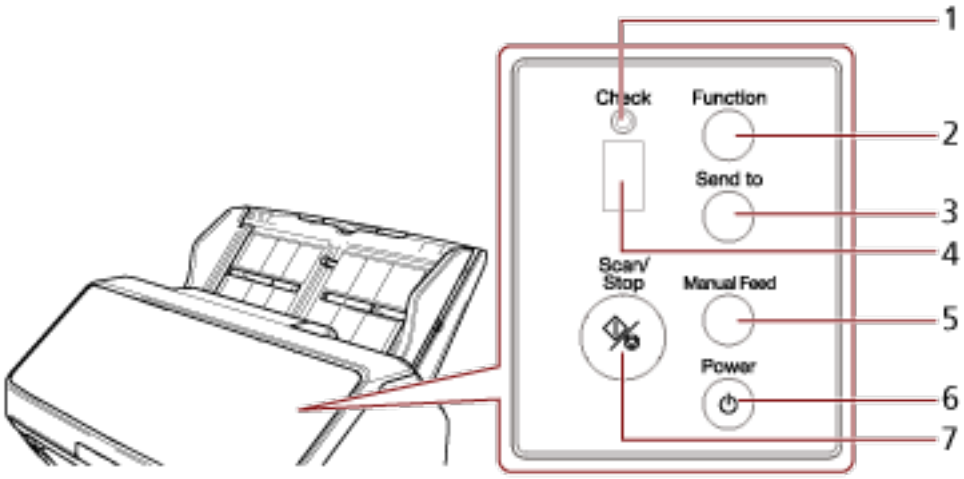
操作パネルの操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］

ここでは、操作パネルの操作方法について説明します。

操作パネルをお使いになる前に

操作パネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。

操作パネルの名称と働き



No.	名称	働き
1	Check ランプ（LED）	エラーが発生しているときは点灯（橙）します。 ADF が開いている状態のときは点滅（橙）します。
2	［Function］ボタン	［Send to］ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションの番号（1～9/C）を切り替えます。
3	［Send to］ボタン（*1）（*2）	読み取りを開始します。 また、読み取り中に押すと読み取りを一時停止します。 ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示を消すときも使用します。
4	ファンクションナンバーディスプレイ	スキャナーの状態を表示します。 省電力状態に移行すると、ファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。
5	［Manual Feed］ボタン（*3）	原稿を読み取るときに、手差し・単送モードに切り替えます。 原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。 手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。

No.	名称	働き
6	［Power］ボタン	電源を投入/切断します。
7	［Scan/Stop］ボタン	読み取りを開始します。 また、読み取り中に押すと読み取りを中止します。 ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示を消すときも使用します。 スキャナーの電源が投入されているときは点灯（緑）します。 省電力状態のときは点滅（緑）します。 手差し・単送モードに切り替えたときは 3 回点滅（緑）します。

***1：**［Send to］ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)を参照してください。

***2：**原稿の読み取り中に［Send to］ボタンを押すと、その読み取り中の原稿が 1 枚読み取り終わったあとに一時停止します。

***3：**［Manual Feed］ボタンを使用して原稿を読み取る方法については、次を参照してください。

- 2 つ折りの原稿を読み取りたいとき (214 ページ)
- 封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき (218 ページ)
- パスポートなどの冊子を読み取りたいとき (221 ページ)
- 手差しで原稿を読み取りたいとき (236 ページ)

ヒント

PaperStream NX Manager 運用での操作パネルの操作については、ジョブを実行して読み取る（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8150/fi-8250］ (142 ページ)を参照してください。

ファンクションナンバーディスプレイの表示内容

表示内容	説明
8	電源投入直後に表示されます。
P	電源の投入後、初期化処理実行中であることを意味します。
0	電源の投入後、初期化処理実行中で、かつ初期化処理が終了間近であることを意味します。
1	原稿を読み取れる状態です。 電源の投入後、初期化処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。 また、この状態を「レディ状態」と呼びます。
ファンクションナンバー（1 など）点滅	原稿の重なりを検出したあと、ファンクションナンバーが点滅状態となります。 これは、重なりパターンを記憶するかどうかを切り替えられる状態であることを意味します。 詳細は、決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (240 ページ)を参照してください。
c 点滅	レディ状態で、ADF が開いていることを意味します。 このとき Check ランプ（LED）も点滅します。 ADF を閉じるとレディ状態（「1」）に戻ります。 ADF を閉じる方法については、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。 ADF を閉じても表示がレディ状態（「1」）に戻らない場合は、電源を再投入してください。 電源を再投入したあとも引き続きこの表示が発生する場合は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。
P 点滅	［Send to］ボタンを押して、読み取りを一時停止したことを意味します。 ［Scan/Stop］ボタンを押すと、読み取りの一時停止状態から再開できます。
上の n	レディ状態で［Send to］ボタンが押されたときに表示されます。
下の n	レディ状態で［Scan/Stop］ボタンが押されたときに表示されます。
J n U	読み取り中にエラーが発生したことを意味します。 「J」、「n」、または「U」と数字を交互に表示します。このアルファベットと数字が「エラーコード」です。 エラーの詳細は、エラーについて (282 ページ)を参照してください。 エラー表示中に［Scan/Stop］ボタン/［Send to］ボタンを押すと、レディ状態（「1」）に戻ります。
A C E F H L	スキャナー本体に異常が発生したことを意味します。 「A」、「C」、「E」、「F」、「H」、「L」、または「n」のうちの 1 つと数字を交互に表示します。このアルファベットと数字が「エラーコード」です。 エラーの詳細は、エラーについて (282 ページ)を参照してください。 エラー表示中に［Scan/Stop］ボタン/［Send to］ボタンを押すと、レディ状態（「1」）に戻ります。

表示内容	説明
n	このエラーが表示された場合は、電源を再投入してください。 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。
表示なし	電源の投入後、スキャナーの操作をしないまま、一定時間が経過すると、省電力状態になります。 スキャナーのボタン（［Power］ボタン以外）を押すと、省電力状態から復帰します。

いろいろな読み取り方

ここでは、スキャナーの動作や読み取り条件を設定して、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションからスキャナーでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。
ここに記載のない原稿の読み取り方については、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅の違う原稿を読み取りたいとき

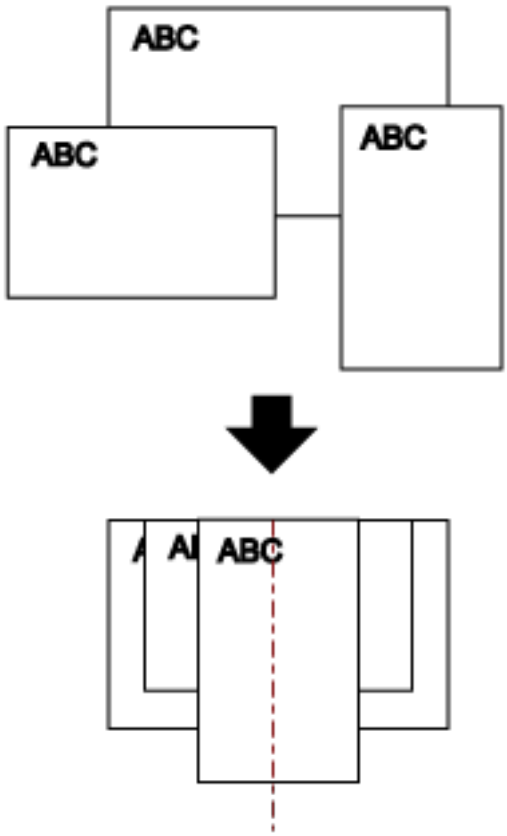
重要

幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。
うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

ヒント

原稿を混載して読み取る場合の原稿の条件は、混載条件 (159 ページ)を参照してください。

1 原稿の先端をそろえます。



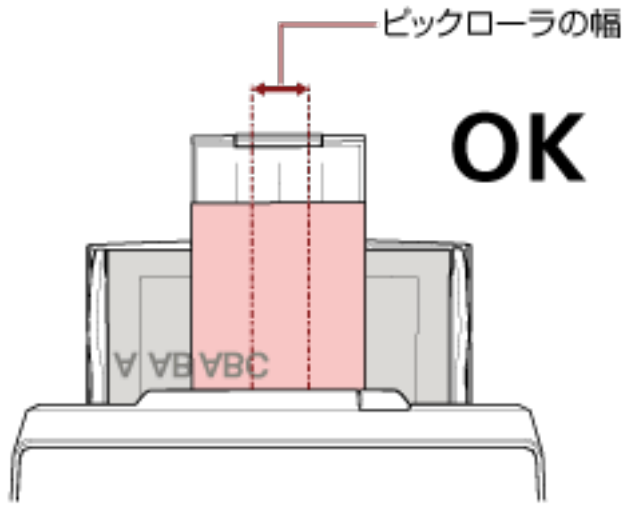
2 最も長い原稿に合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。

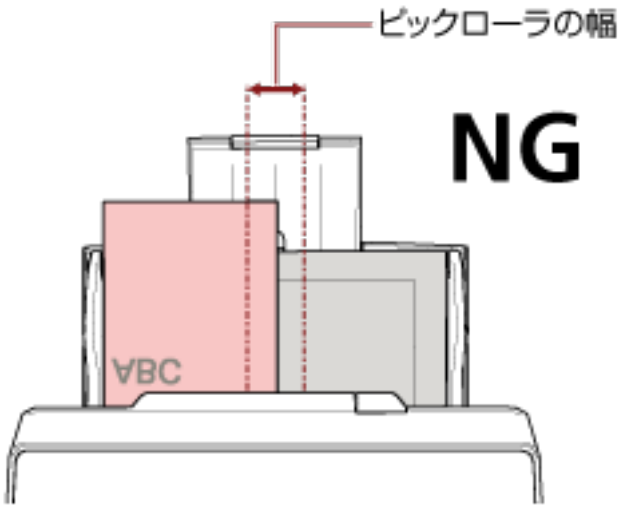
詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (114 ページ)を参照してください。

3 最も長い原稿に合わせて、スタッカーを設定します。
詳細は、スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (115 ページ)またはスタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (120 ページ)を参照してください。

4 ADF 給紙シュート（フィーダー）の中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。

重要
すべての原稿がピックローラ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックローラから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。





5 スキャナードライバーで、用紙サイズを自動的に検出する読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

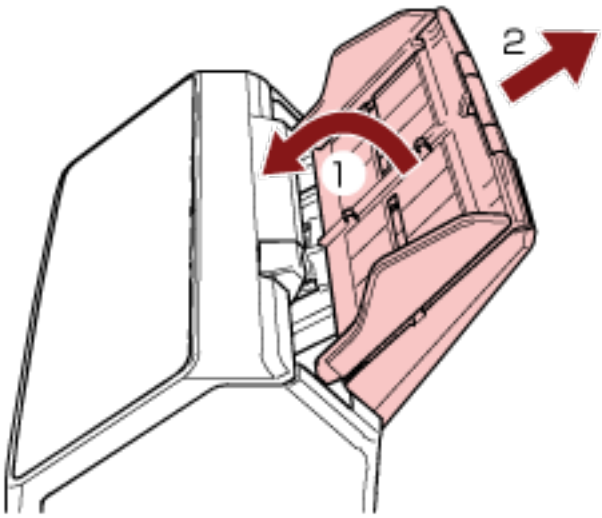
6 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき

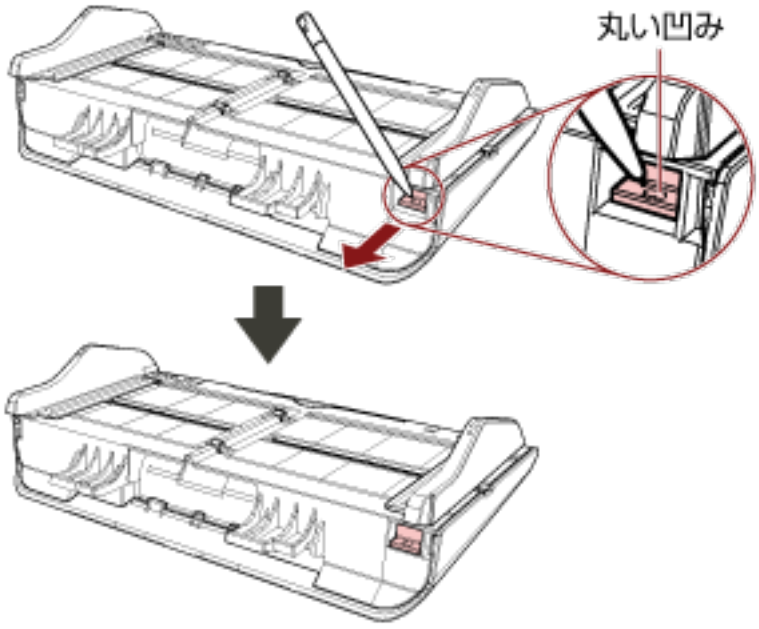
重要

幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を搬送できますが、読み取りできる原稿のサイズは変わりません。
読み取りできる原稿のサイズについては、原稿のサイズ (149 ページ)を参照してください。

1 **ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。**
ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、1 の矢印方向に持ち上げながら、2 の矢印方向に引き上げます。



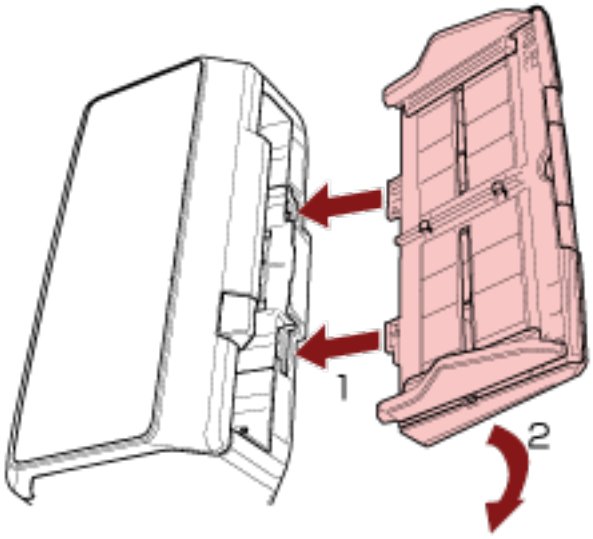
2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチの丸い凹みに、ボールペンの先を差して、サイドガイド拡張スイッチを手前に引き出します。**



3 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、1 の矢印方向に差し込み、2 の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。

サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



重要

ADF 給紙シュート（フィーダー）はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

4 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。

詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (114 ページ)を参照してください。

5 原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。

詳細は、スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (115 ページ)またはスタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (120 ページ)を参照してください。

6 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

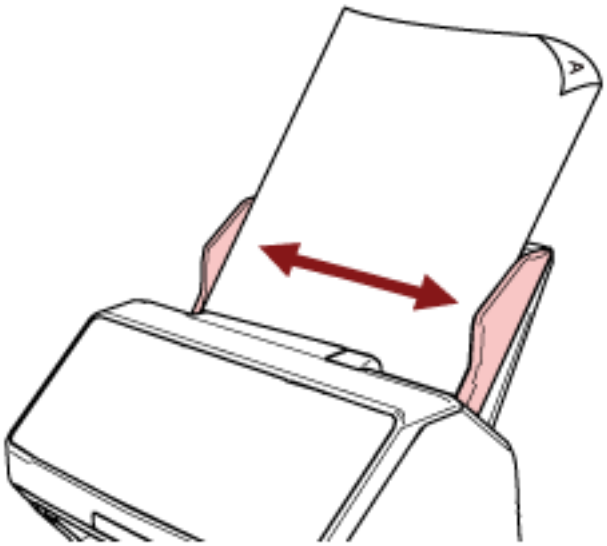
詳細は、原稿のセット方法 (143 ページ)を参照してください。

7 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドが、220mm 以上 240mm 以下の原稿の幅に合わせられるようになります。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに搬送されることがあります。



8 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

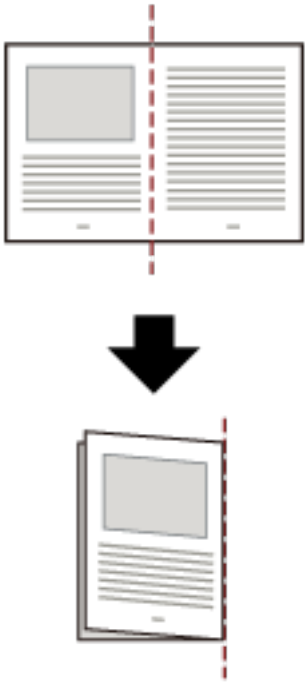
2 つ折りの原稿を読み取りたいとき

［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えると、2 つに折り曲げた原稿（A3 サイズ/ダブルレターサイズまでで、厚さが 64～105g/m^2（55～90kg/連）の原稿）をそのまま読み取れます。

1 **読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。**
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

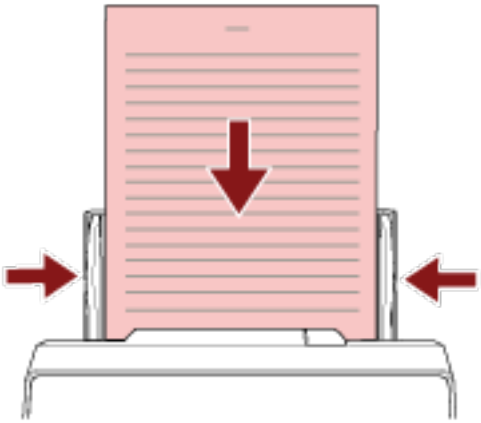
> **重要**
> 原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が斜めに搬送されることがあります。

例



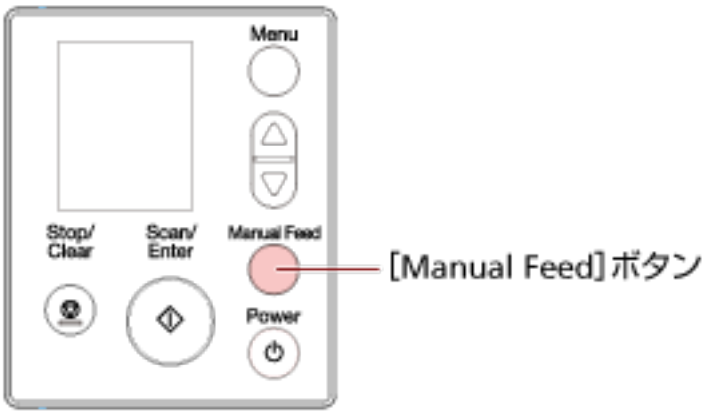
2 **2 つ折りの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**

詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。



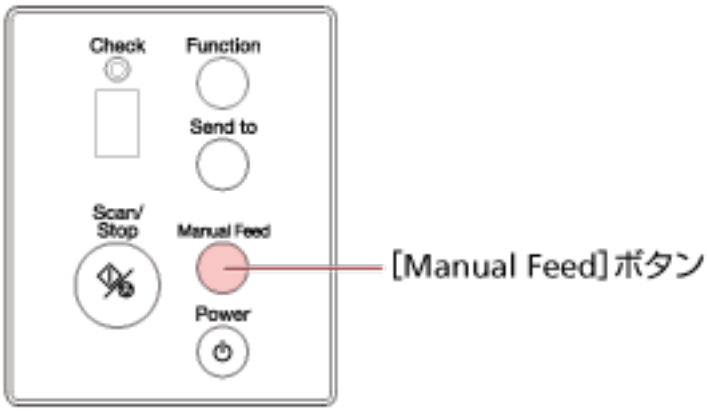
3 ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合



液晶ディスプレイに「手差し・単送（マルチフィード検出はされません）」が表示されます。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合



ファンクションナンバーディスプレイに「Π」とファンクションナンバーが交互に表示されます。

重要

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

ヒント

手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていても、原稿の重なりを検出しません。

ヒント

- 手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
  タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
  タイムアウト時間は、次のようにして設定できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「17:手差しタイムアウト時間」で、タイムアウト時間を設定します。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
      詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
    詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。
- ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えた場合、原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。
  連続して手差し・単送モードで原稿を読み取るときは、Software Operation Panel で、「単送モード」を「継続する」にしてください。
  「単送モード」を「継続する」にすると、［Manual Feed］ボタンを押すまで、連続して手差し・単送モードで原稿を読み取ります。

詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき

［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えると、封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取れます。

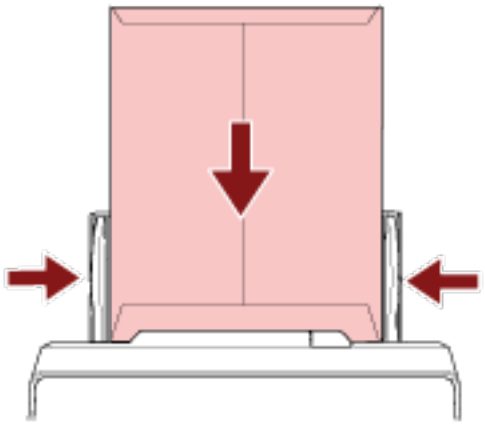
重要

読み取れる原稿の厚さは、原稿の厚さ (150 ページ)を参照してください。

1 **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**

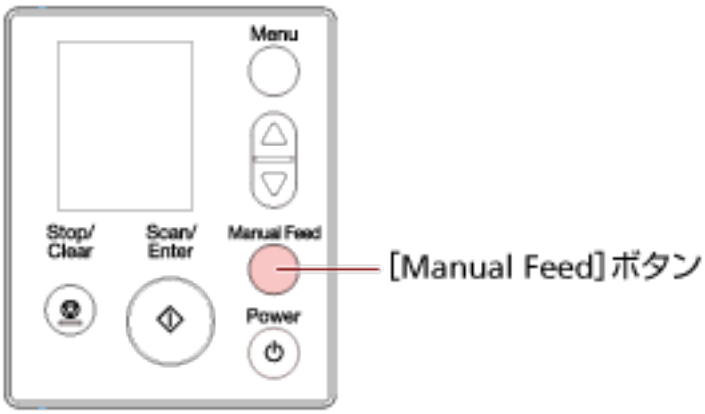
複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットしてください。

詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。



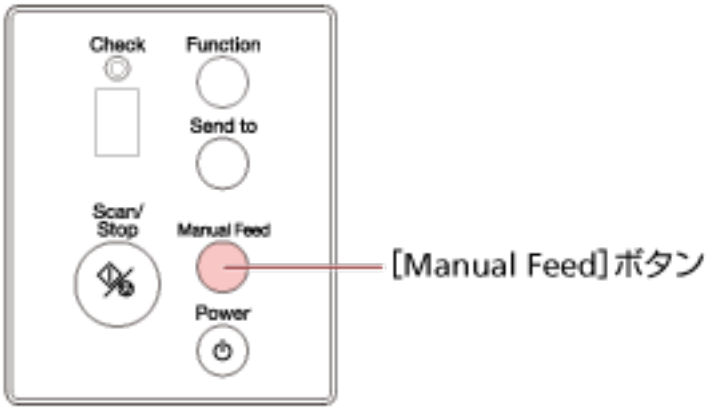
2 **［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えます。**

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合



液晶ディスプレイに「手差し・単送（マルチフィード検出はされません）」が表示されます。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合



ファンクションナンバーディスプレイに「Π」とファンクションナンバーが交互に表示されます。

重要

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

ヒント

手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていても、原稿の重なりを検出しません。

ヒント

- 手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
  タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
  タイムアウト時間は、次のようにして設定できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「17:手差しタイムアウト時間」で、タイムアウト時間を設定します。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。

詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
  詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

- ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えた場合、原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。
  連続して手差し・単送モードで原稿を読み取るときは、Software Operation Panel で、「単送モード」を「継続する」にしてください。
  「単送モード」を「継続する」にすると、［Manual Feed］ボタンを押すまで、連続して手差し・単送モードで原稿を読み取ります。
  詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

パスポートなどの冊子を読み取りたいとき

［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えると、パスポートなどの冊子を読み取れます。

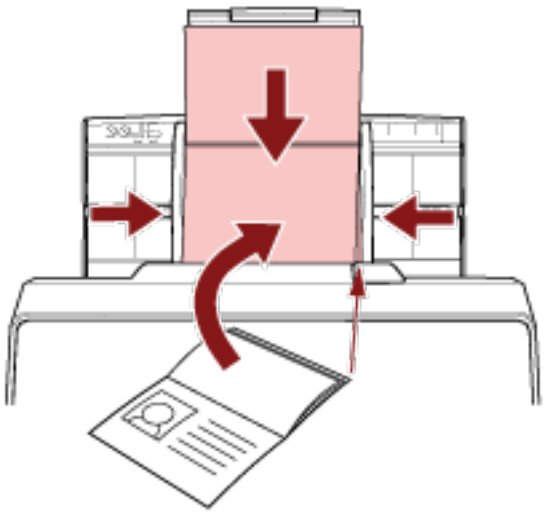
重要

読み取れる原稿の厚さは、原稿の厚さ (150 ページ)を参照してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

冊子は、まっすぐになるようにしっかり開いて、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。しっかり開いていないと、搬送できない場合があります。

詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。



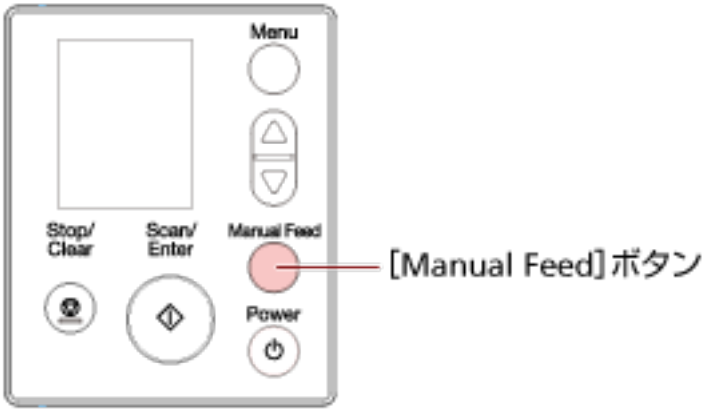
重要

- 見開きにしたときにページ数が多い方を下にし、見開きにしたページ（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。異なる向きで読み取ると、原稿が傷ついたり、画像が縦方向に間延びしたりする場合があります。
- 冊子をよごしたくない場合または傷つけたくない場合は、オプションの冊子キャリアシートを使用してください。

  詳細は、パスポートなどの冊子を保護して読み取りたいとき (229 ページ)を参照してください。

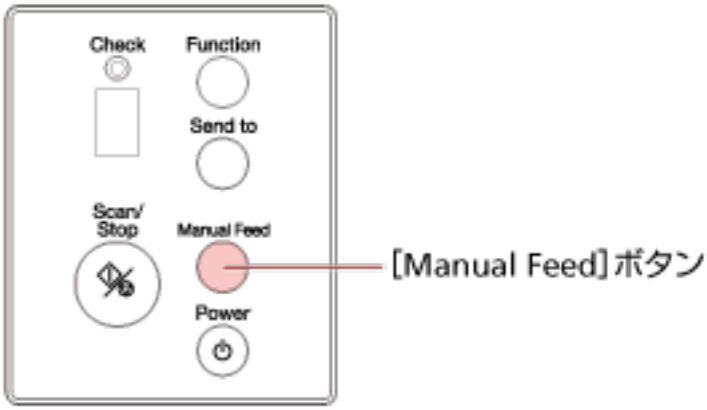
2 ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合



液晶ディスプレイに「手差し・単送（マルチフィード検出はされません）」が表示されます。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合



ファンクションナンバーディスプレイに「Π」とファンクションナンバーが交互に表示されます。

重要

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

ヒント

手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていても、原稿の重なりを検出しません。

ヒント

- 手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
  タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
  タイムアウト時間は、次のようにして設定できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「17:手差しタイムアウト時間」で、タイムアウト時間を設定します。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
      詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
    詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。
- ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えた場合、原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。
  連続して手差し・単送モードで原稿を読み取るときは、Software Operation Panel で、「単送モード」を「継続する」にしてください。
  「単送モード」を「継続する」にすると、［Manual Feed］ボタンを押すまで、連続して手差し・単送モードで原稿を読み取ります。
  詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

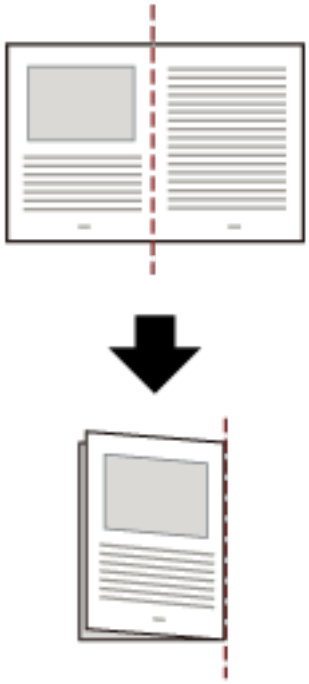
A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。
原稿は 2 つ折りにして、A3 キャリアシートにはさみます。

1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。

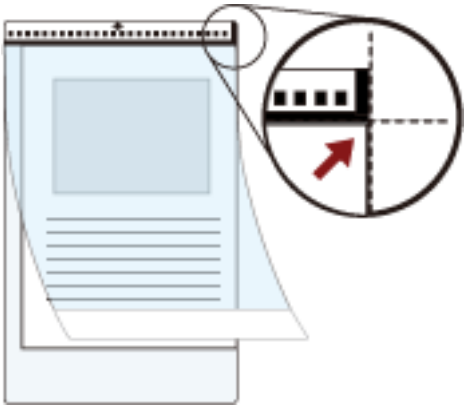
a 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。
原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が斜めに搬送されることがあります。

例

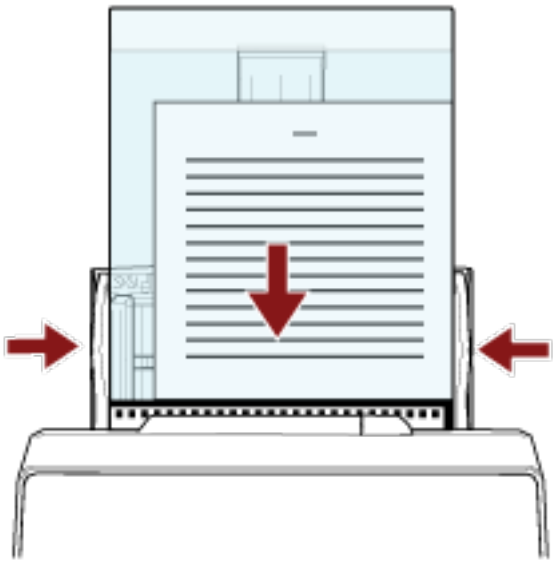


b A3 キャリアシートの表面を開けて、原稿をはさみます。
A3 キャリアシートの表面は、白黒のパターンを上にしたときに、右端に縦線のある面です。

原稿の上端と折り目を、A3 キャリアシートの右上部分の上端と右端に、隙間ができないようにしっかりと合わせます。



2 **A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 **スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

- 原稿の印刷されている部分の画像を切り出して、白い画像の中央に貼り付けて出力します。白い画像のサイズは、スキャナードライバーの「用紙サイズ」で指定されているサイズです。

例

原稿が A4 サイズ、原稿の印刷されている部分が A5 サイズ、かつスキャナードライバーの「用紙サイズ」に「A4」が指定されている場合
→A4 サイズの白い画像の中央に A5 サイズの画像が貼り付けられます。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズの中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。

例

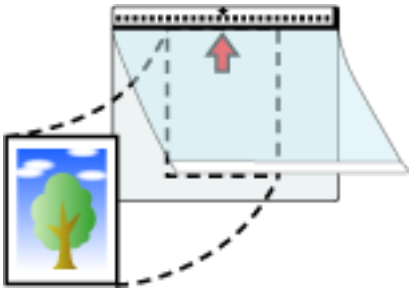
A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合
→A5 サイズで出力されます。

原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。

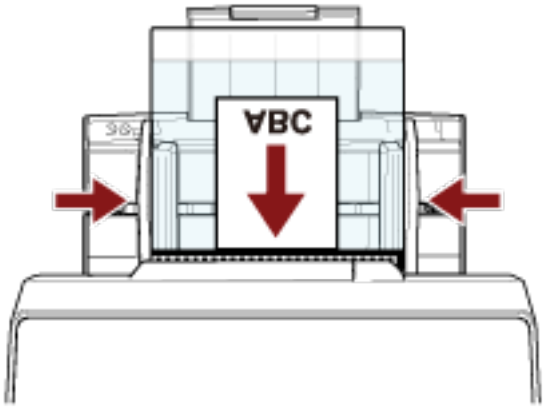
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートを使用すると、写真や、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿を傷つけずに読み取れます。
ここでは、写真キャリアシートを使用する場合を例に説明します。

1 **写真キャリアシートに原稿をセットします。**
写真キャリアシートの表面を開けて、原稿を写真キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上端を写真キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分に突き当てて、はさんでください。
写真キャリアシートの表面は、白黒のパターンを上にしたときに、右端に縦線のある面です。



2 **写真キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**
写真キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 **スキャナードライバーで、写真キャリアシート用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

- 原稿の印刷されている部分の画像を切り出して、白い画像の中央に貼り付けて出力します。白い画像のサイズは、スキャナードライバーの「用紙サイズ」で指定されているサイズです。

例

原稿が A6 サイズ、原稿の印刷されている部分がビジネスカードサイズ、かつスキャナードライバーの「用紙サイズ」に「A6」が指定されている場合
→A6 サイズの白い画像の中央にビジネスカードサイズの画像が貼り付けられます。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、原稿の印刷されている部分の画像を切り出して、そのまま出力します。

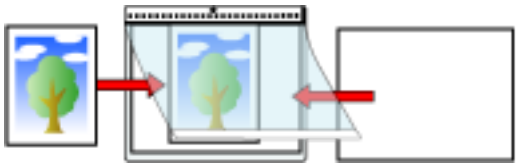
例

A6 サイズの原稿の中央にビジネスカードサイズで印刷されている場合
→A6 サイズで出力されます。

ヒント

次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない。
- 画像に原稿の端の影が入る。
- 特殊な形に切り抜いた原稿を写真キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線が入る。
- 画像に原稿の外側の画像が含まれる。



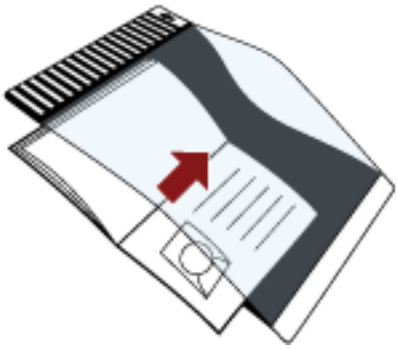
パスポートなどの冊子を保護して読み取りたいとき

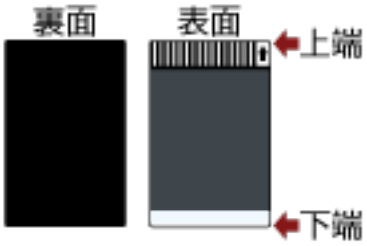
オプションの冊子キャリアシートを使用すると、パスポートに貼り付けられた写真などを傷つけずに読み取れます。
ここでは、冊子キャリアシートを使用する場合を例に説明します。

重要

冊子キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、冊子キャリアシートの表面に傷がつき、画像に影響が出る場合があります。キャリアシートを清掃しても画像が改善されない場合は、冊子キャリアシートを交換することを推奨します。

1 **冊子キャリアシートに原稿をセットします。**
冊子キャリアシートの表面を上にして開き、冊子を見開きにしたページを上向きにして、はさんでください。
冊子キャリアシートの表面は、白黒のパターンが印刷された面です。
白黒のパターンが印刷された方が、冊子キャリアシートの上端で、白だけの印刷の方が冊子キャリアシートの下端となります。

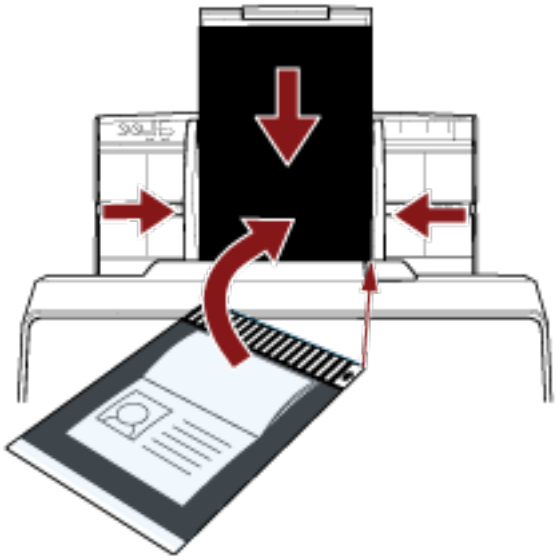




ヒント

見開きにしたときにページ数が多い方を冊子キャリアシートの上端になるようにはさんでください。

2 **冊子キャリアシートの上端を下にし、冊子キャリアシートの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。**
冊子キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 スキャナードライバーで、冊子キャリアシート用の読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）が 6,096mm（240 インチ）までの原稿を読み取りできます。
読み取り解像度の設定や、画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取りできる原稿サイズが異なります。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

1 **シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を最大まで引き上げます。**
詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (114 ページ)を参照してください。

2 **スタッカーを設定します。**
詳細は、スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (115 ページ)またはスタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (120 ページ)を参照してください。

3 **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。**
詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。

> **重要**
> 長尺帳票は、1 枚ずつ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。

4 **スキャナードライバーで、長尺帳票用の読み取り条件を設定します。**
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

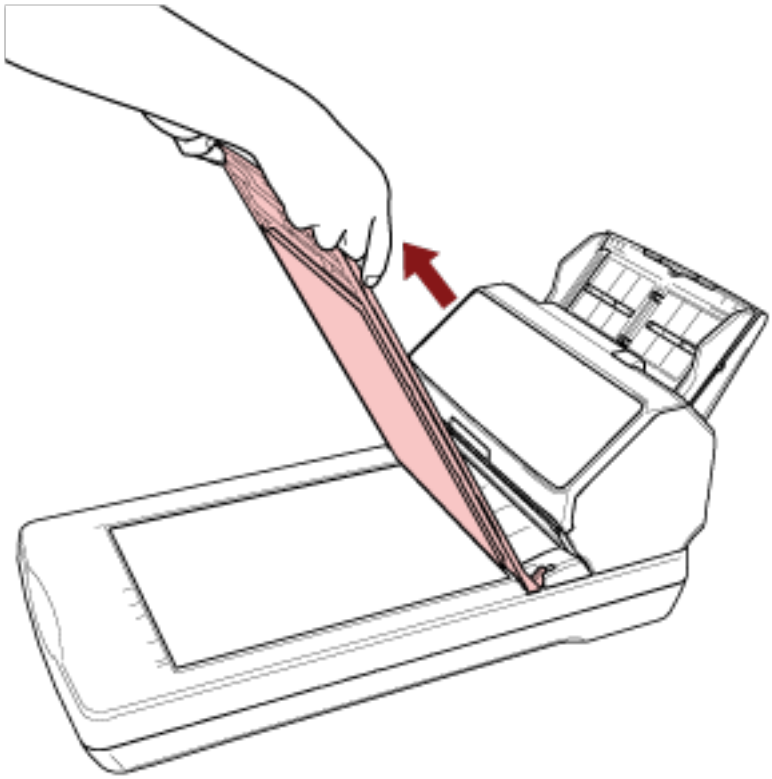
5 **画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

> **重要**
> 長尺帳票を読み取るときは、原稿が落ちないように、原稿を手で支えてください。
> 詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする方法 (145 ページ)を参照してください。

フラットベッドで本を読み取りたいとき［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

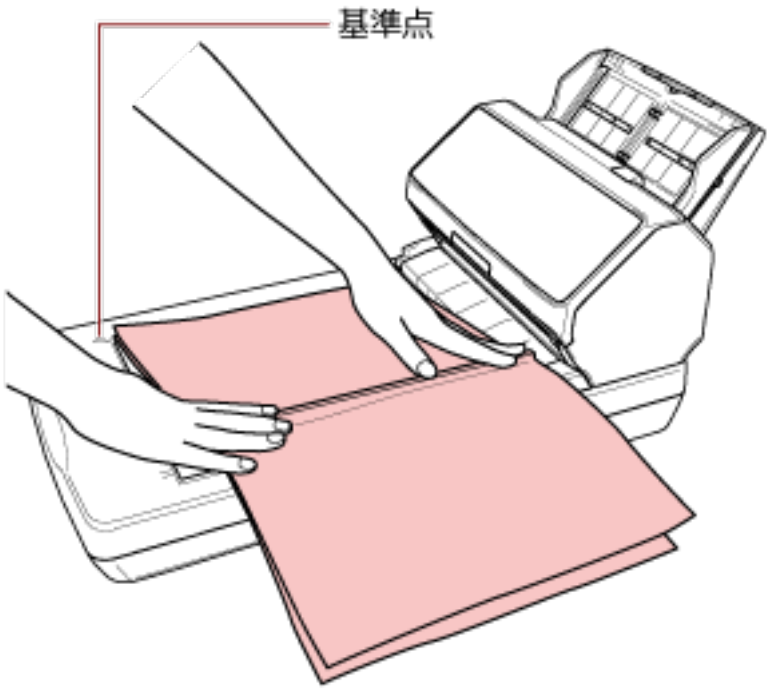
1 **ドキュメントカバーを開けます。**
詳細は、ドキュメントカバーの開け方 (112 ページ)を参照してください。

2 **ドキュメントカバーを上側（矢印の方向）に抜き、取り外します。**



3 **原稿台に原稿をセットします。**

原稿の表面（読み取り面）が原稿台側（下向き）になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



4 スキャナードライバーで、フラットベッド用の読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

5 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

> **注意** 読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

> **重要**
> - 読み取り動作中は原稿を動かさないでください。
> - 照明などの光が映り込む場合に、原稿サイズと同じサイズで画像を出力できないことがあります。
> スキャナーは、照明などの光が差し込まない場所に設置してください。
> また、スキャナードライバーで、環境光を除去するようにも設定できます。
> 詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

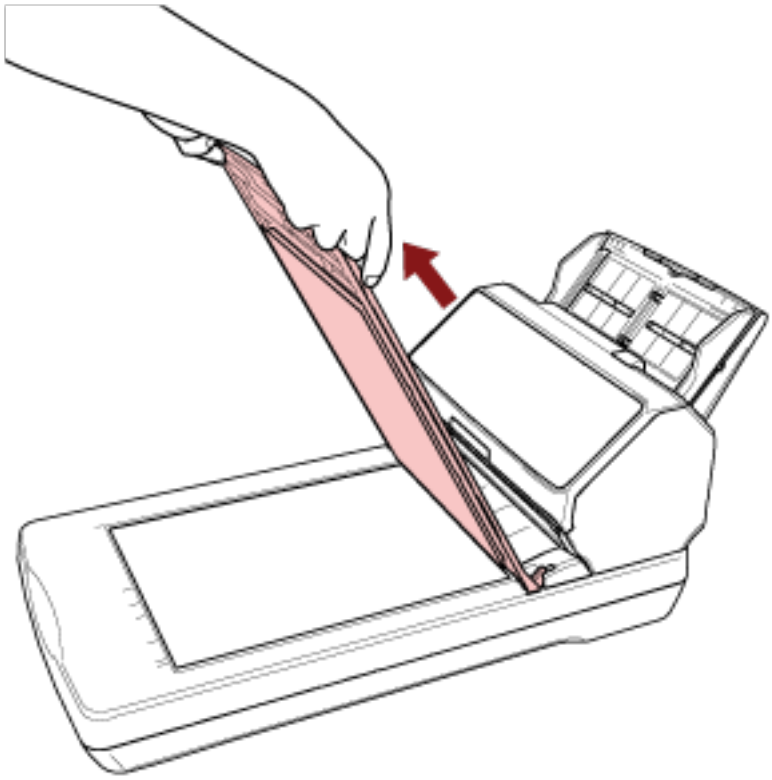
6 ドキュメントカバーを取り付けます。

7 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、ドキュメントカバーの閉じ方 (113 ページ)を参照してください。

フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

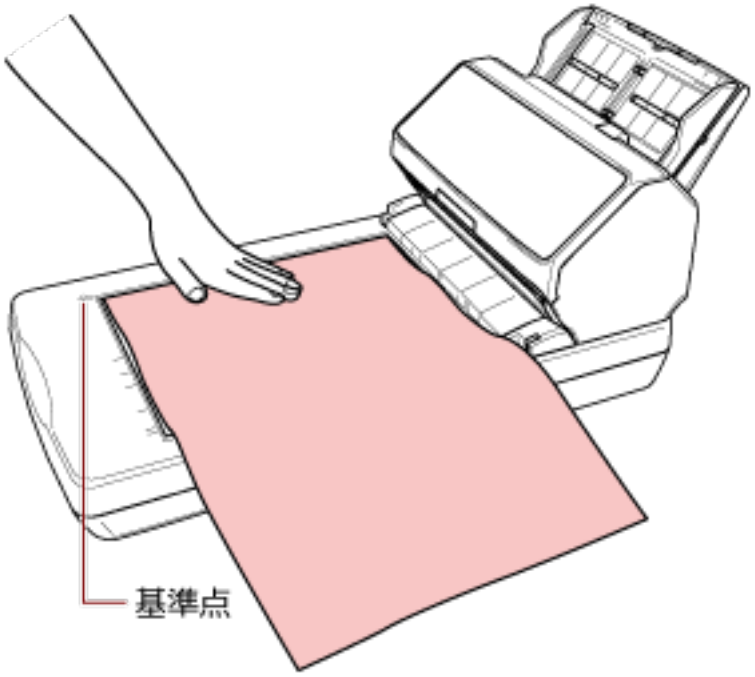
1 **ドキュメントカバーを開けます。**
詳細は、ドキュメントカバーの開け方 (112 ページ)を参照してください。

2 **ドキュメントカバーを上側（矢印の方向）に抜き、取り外します。**



3 **原稿台に原稿をセットします。**

原稿の表面（読み取り面）が原稿台側（下向き）になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



4 スキャナードライバーで、フラットベッド用の読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

5 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

> **注意** 読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

> **重要**
> - 読み取り動作中は原稿を動かさないでください。
> - 照明などの光が映り込む場合に、原稿サイズと同じサイズで画像を出力できないことがあります。
> スキャナーは、照明などの光が差し込まない場所に設置してください。
> また、スキャナードライバーで、環境光を除去するようにも設定できます。
> 詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

6 ドキュメントカバーを取り付けます。

7 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、ドキュメントカバーの閉じ方 (113 ページ)を参照してください。

手差しで原稿を読み取りたいとき

手差しとは、ADF 給紙シュート（フィーダー）に手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る操作です。
読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
この操作で読み取ると、複数枚の原稿を 1 枚ずつ確認しながら読み取りできます。
手差しは、次のような場合に効果があります。

- 原稿の内容を確認しながら読み取る場合
- 原稿をまとめてセットして読み取ると、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが発生してうまく読み取れない場合
- 雑誌や新聞の切り抜きなど、まとめてセットできない原稿を 1 枚ずつ続けて読み取りたい場合
- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙、パスポートなどの冊子を、1 枚ずつ読み取る場合

1 スキャナーの設定をします。

- 複数枚の原稿を、手差しで読み取るとき

a 手差し・連送モードに切り替えて、タイムアウト時間を設定します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、手差し・連送モードに切り替えて、タイムアウト時間を設定します。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「16:手差し・連送設定」で手差し・連送モードに切り替えて、「17:手差しタイムアウト時間」でタイムアウト時間を設定します。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、手差し・連送モードに切り替えて、タイムアウト時間を設定します。
    詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、手差し・連送モードに切り替えて、タイムアウト時間を設定します。
  詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙、パスポートなどの冊子を、手差しで読み取るとき

a ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えます。

重要
手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

ヒント
手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

b タイムアウト時間を設定します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、タイムアウト時間を設定します。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「17:手差しタイムアウト時間」で、タイムアウト時間を設定します。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
    詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、タイムアウト時間を設定します。
  詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

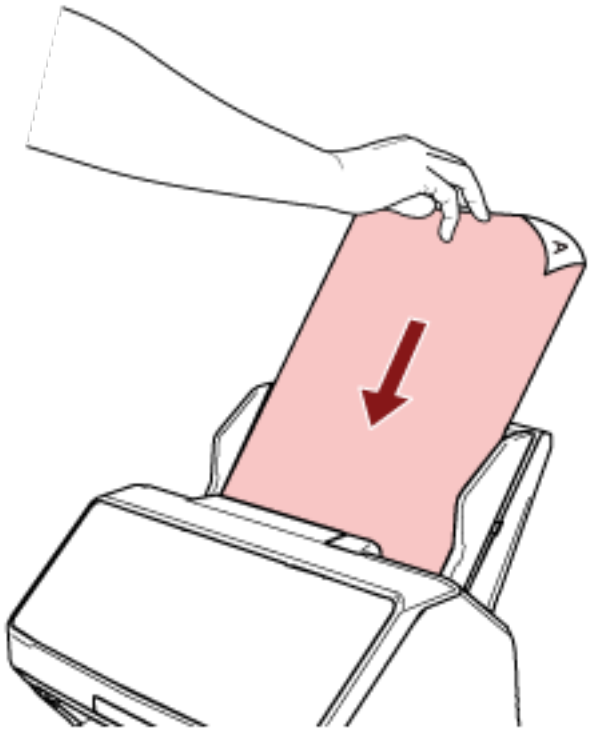
重要

読み取れる原稿の厚さは、原稿の厚さ (150 ページ)を参照してください。
原稿を 2 つ折りにして読み取る場合、原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が斜めに搬送されることがあります。

2 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。

複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットします。



3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
手差し・連送モードに切り替えている場合は、その間 ADF のローラーが回転したままになります。
手差し・単送モードに切り替えている場合は、その間 ADF のローラーは回転しません。

4 ADF 給紙シュート（フィーダー）に次の原稿をセットします。

5 読み取る原稿がなくなるまで、手順 4 を繰り返します。

6 読み取りを終了します。

原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
すぐに読み取りを終了する場合は、次のスキャナーのボタンを押します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  ［Stop/Clear］ボタン
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ［Send to］ボタン

ヒント

- ［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えた場合、原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。

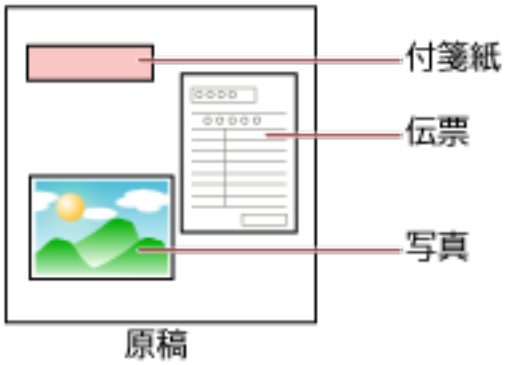
連続して手差し・単送モードで原稿を読み取るときは、Software Operation Panel で、「単送モード」を「継続する」にしてください。
「単送モード」を「継続する」にすると、[Manual Feed] ボタンを押すまで、連続して手差し・単送モードで原稿を読み取ります。
詳細は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し） (417 ページ)を参照してください。

- 頻繁に手差しで原稿を読み取ると、消耗品の交換周期が短くなる場合があります。

決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき

読み取り中に原稿の重なりを検出する設定をしている場合、付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある原稿を読み取ると、原稿の重なりを検出して、読み取りが中止される場合があります。このような原稿の重なりを検出しないために、インテリジェントマルチフィード検出機能があります。
本機能には、原稿の重なりを検出するたびに手動で設定するモードと、原稿に貼り付けてある付箋紙、伝票、写真などの紙片の重なりパターン(長さや位置)を記憶し、それに基づいて自動で設定するモードがあります。
この設定を行うには、事前に原稿の重なりを検出する設定が必要です。

- スキャナードライバーの「マルチフィード検出」
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- Software Operation Panel の「マルチフィード」
  詳細は、原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） (407 ページ)を参照してください。



用途に応じて、次の 4 つの動作モードが用意されています。

動作モード	用途
標準モード	原稿の重なりが検出されるたびに、重なりを検出するか、検出しないかを設定します。 搬送方向にある 80mm 以下の原稿の重なり部分（付箋紙などの紙片の貼り付け）は検出しません。 重なりが検出された時点で、読み取りが中止されます。 ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
手動モード	原稿の重なりが検出されるたびに、重なりを検出するか、検出しないかを設定します。 重なりが検出された時点で、読み取りが中止されます。 ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
自動モード 1	原稿に貼ってある紙片の長さと位置が同じ場合に、自動的に重なりを検出しないときに設定します。

動作モード	用途
	重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。 重なりパターンは、最大で 32 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。 32 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。 ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」に従います。 詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (415 ページ)を参照してください。 **ヒント** 原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度記憶させたあと、再度読み取って記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。
自動モード 2	原稿に貼ってある紙片の長さが同じかそれよりも短い場合に、自動的に重なりを検出しないときに設定します。 重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。 本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

動作モードを選択します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、動作モードを選択します。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「14:iMFF 設定」で、動作モードを選択します。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、動作モードを選択します。
    詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (415 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、動作モードを選択します。
  詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定） (415 ページ)を参照してください。

操作方法［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］

1 原稿の重なりを検出したとき、液晶ディスプレイの表示は次のようになります。

原稿の重なりを検出したとき
マルチフィード(重なり検出)

原稿の重なりを検出したとき
Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。
マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。

2 設定された動作モードにより、次のように操作します。

- 標準モード/手動モード
  重なりが検出された時点で、読み取りが中止されるので、［Scan/Enter］ボタンを押して搬送路から原稿を排出するか、ADF を開けて原稿を取り除いて、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。
  ADF の開け方は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

> ⚠ 注意　ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF を開けて原稿を取り除いたら、ADF を閉じます。
ADF の閉じ方は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

> ⚠ 注意　ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

> **重要**
> ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されるので、［Scan/Enter］ボタンを押して、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

- 自動モード 1/自動モード 2
  重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されるので、［Scan/Enter］ボタンを押して、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

3 原稿を排出したとき、設定された動作モードにより、液晶ディスプレイの表示は次のように変わります。

- 標準モード/手動モード

原稿の重なりを検出したとき	原稿を排出したとき
マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	次の原稿のマルチフィード検出が有効です。 ----------

原稿の重なりを検出したとき	原稿を排出したとき
	Menu ボタンで有効/無効を切替えられます。Scan/Enter ボタンで読み取りを再開します。
マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	「読み取り可能」画面

- 自動モード 1/自動モード 2

原稿の重なりを検出したとき	原稿を排出したとき
マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	重なりパターンの記憶機能が無効です。 ---------- Menu ボタンで有効/無効を切替えられます。Scan/Enter ボタンで読み取りを再開します。
マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。	「読み取り可能」画面

4 次のように操作して、再度読み取ります。

［Menu］ボタンを押すたびに液晶ディスプレイの表示が、「次の原稿のマルチフィード検出が有効です。」↔「次の原稿のマルチフィード検出が無効です。」、または「重なりパターンの記憶機能が有効です。」↔「重なりパターンの記憶機能が無効です。」の間で切り替わります。

液晶ディスプレイに「次の原稿のマルチフィード検出が無効です。」または「重なりパターンの記憶機能が有効です。」が表示されていることを確認してから、［Scan/Enter］ボタンを押すか、コンピューターから読み取りを開始します。

「次の原稿のマルチフィード検出が無効です。」または「重なりパターンの記憶機能が有効です。」が表示されている状態で読み取る場合、設定された動作モードにより、次のように動作します。

- 標準モード/手動モード（ボタンによる検出無効化）
  次の原稿は原稿の重なりを検出しないで読み取り、2 枚目以降はスキャナードライバーまたは Software Operation Panel の設定で原稿の重なりを検出します。
- 自動モード 1（重なり長さと位置による検出無効化）
  原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片の長さと位置を記憶し、読み取りを継続します。
  それ以降の読み取りで、記憶した同様な重なりパターンが検出された場合は、自動的に原稿の重なりを検出しません（*1）（*2）。
- 自動モード 2（重なり長さによる検出無効化）
  原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片で最も長いものを記憶し、読み取りを継続します。
  それ以降の読み取りで、記憶した長さと同じか短い重なりが検出された場合は、自動的に原稿の重なりを検出しません（*2）（*3）。

***1：**重なりパターンは、最大で 32 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。

32 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」に従います。
詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）(415 ページ)を参照してください。

> **ヒント**
> 原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度記憶させたあと、再度読み取って記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。

***2：**記憶されている重なりパターンは、操作パネルの「メニュー選択」画面の「14:iMFF 設定」または Software Operation Panel で消去できます。

消去すると液晶ディスプレイの表示が

または

になります。
これにより、誤って記憶された重なりパターンを消去できます。
ただし、記憶している重なりパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

***3：**本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

操作方法［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］

1 原稿の重なりを検出したとき、ファンクションナンバーディスプレイに「J」と「2」が交互に表示されます。

2 設定された動作モードにより、次のように操作します。

- 標準モード/手動モード
  重なりが検出された時点で、読み取りが中止されるので、［Send to］ボタンを押して搬送路から原稿を排出するか、ADF を開けて原稿を取り除いて、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。
  ADF の開け方は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

> **注意** ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF を開けて原稿を取り除いたら、ADF を閉じます。
ADF の閉じ方は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

> **注意** ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

> **重要**
> ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されるので、［Send to］ボタンを押して、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

- 自動モード 1/自動モード 2
  重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されるので、［Send to］ボタンを押して、重なりが検出された原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

3 原稿を排出したとき、ファンクションナンバーディスプレイにファンクションナンバーが点滅表示されます。

4 次のように操作して、再度読み取ります。
［Function］ボタンを押すたびにファンクションナンバーの点滅速度が、「遅い」↔「速い」の間で切り替わります。
次に、ファンクションナンバーの点滅速度の「遅い」状態、「速い」状態の意味について説明します。

- 「遅い」状態
  次の原稿のマルチフィード検出が有効です。または重なりパターンの記憶機能が無効です。
- 「速い」状態
  次の原稿のマルチフィード検出が無効です。または重なりパターンの記憶機能が有効です。

ファンクションナンバーの点滅速度が「速い」状態であることを確認してから、[Scan/Stop] ボタンを押すか、コンピューターから読み取りを開始します。
点滅速度が「速い」状態で読み取る場合、設定された動作モードにより、次のように動作します。

重要

[Function] ボタンを押して、「遅い」↔「速い」の点滅を切り替える場合、5 秒以上の長押しは行わないでください。
記憶している重なりパターンが消去されます。

- 標準モード/手動モード（ボタンによる検出無効化）
  次の原稿は原稿の重なりを検出しないで読み取り、2 枚目以降はスキャナードライバーまたは Software Operation Panel の設定で原稿の重なりを検出します。
- 自動モード 1（重なり長さと位置による検出無効化）
  原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片の長さと位置を記憶し、読み取りを継続します。
  それ以降の読み取りで、記憶した同様な重なりパターンが検出された場合は、自動的に原稿の重なりを検出しません（*1）（*2）。
- 自動モード 2（重なり長さによる検出無効化）
  原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片で最も長いものを記憶し、読み取りを継続します。
  それ以降の読み取りで、記憶した長さと同じか短い重なりが検出された場合は、自動的に原稿の重なりを検出しません（*2）（*3）。

***1：**重なりパターンは、最大で 32 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。
32 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」に従います。
詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）(415 ページ)を参照してください。

ヒント

原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度記憶させたあと、再度読み取って記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。

***2：**記憶されている重なりパターンは、ファンクションナンバーが点滅した状態で、[Function] ボタンを 5 秒以上押す、または Software Operation Panel で消去できます。
消去するとファンクションナンバーディスプレイに□が表示されます。
これにより、誤って記憶された重なりパターンを消去できます。
ただし、記憶している重なりパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

***3：**本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を有効にすると、次のような場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。

- しわが多く寄っている原稿を読み取った場合
- 四角形ではない原稿を読み取った場合
- 地色が暗い原稿を読み取った場合
- 原稿の縁まで文字や模様が印刷されている原稿を読み取った場合
- 原稿が傾いて搬送された場合

このような場合は、保護された原稿を再度読み取りするときだけ原稿保護機能を無効にできます。

操作方法

1 原稿保護が発生したとき、液晶ディスプレイの表示は次のようになります。

原稿保護が発生したとき
原稿保護(つまり音) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。
原稿保護(原稿の傾き) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。

2 ADF を開けて原稿を取り除きます。

詳細は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

> **注意** ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 ADF を閉じます。

詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

ADF を閉じると、液晶ディスプレイの表示が次のように変わります。

原稿保護が発生したとき	原稿を排出したとき
原稿保護(つまり音) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。	原稿保護機能が有効です。 ---------- Menu ボタンで有効/無効を切替えられます。Scan/Enter ボタンで読み取りを再開します。
原稿保護(原稿の傾き)	

原稿保護が発生したとき	原稿を排出したとき
原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。	

⚠ 注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

4 取り除いた原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に戻します。

5 次のように操作して、再度読み取ります。

［Menu］ボタンを押すたびに液晶ディスプレイの表示が、「原稿保護機能が有効です。」↔「原稿保護機能が無効です。」の間で切り替わります。

液晶ディスプレイに「原稿保護機能が無効です。」が表示されていることを確認してから、［Scan/Enter］ボタンを押すか、コンピューターから読み取りを開始します。

「原稿保護機能が無効です。」が表示されている状態で読み取る場合、次の原稿は原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効で読み取り、2 枚目以降はスキャナードライバー、Software Operation Panel、または操作パネルのペーパープロテクション設定に従って読み取ります。

ヒント

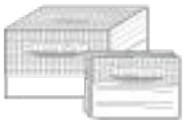
原稿保護のエラーが、頻繁に液晶ディスプレイに表示される場合は、原稿保護が頻繁に起こる (351 ページ)を参照してください。

日常のお手入れ

ここでは、スキャナーの清掃方法について説明します。

> **⚠ 注意**
>
> - エアスプレーおよびアルコールを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、紙粉やほこりがスキャナー内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。
> また、静電気によるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。
> - スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
> ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 本（100ml） よごれを落とすためのクリーナー液です。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1 パック（10 枚入り） スキャナーの内部を簡易的に清掃できます。 クリーナ F1 を吹き付けて、原稿と同じようにスキャナーで読み取って使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1 箱（24 袋入り） クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	超音波センサーなどの細かい箇所の清掃に使用します。
乾いた布		よごれをふき取るための布です。少量のクリーナ F1 をしみこませて使用します。
ScanAid（*1）	FI-829SA	–

***1：**ScanAid の詳細は、スキャナーのオプション (456 ページ)を参照してください。

重要

清掃用品を正しく安全に使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクト (469 ページ)にお問い合わせください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
スキャナー内部（ADF 内部）	ブレーキローラ	5,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
	ピックローラ	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
	ガラス	
	超音波センサー	
	原稿検知センサー	
スキャナー内部（フラットベッド内部）[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]	原稿押さえパッド	
	原稿台	
	プラスチックカバー	

スキャナー内部（ADF 内部）は、読み取り枚数ごとに定期的な清掃が必要です。スキャナーでは、読み取った原稿の枚数が記録されているので、前回清掃してからの読み取り枚数を確認できます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、読み取り枚数を確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、読み取り枚数を確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、読み取り枚数を確認できます。
    詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、読み取り枚数を確認できます。
  詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

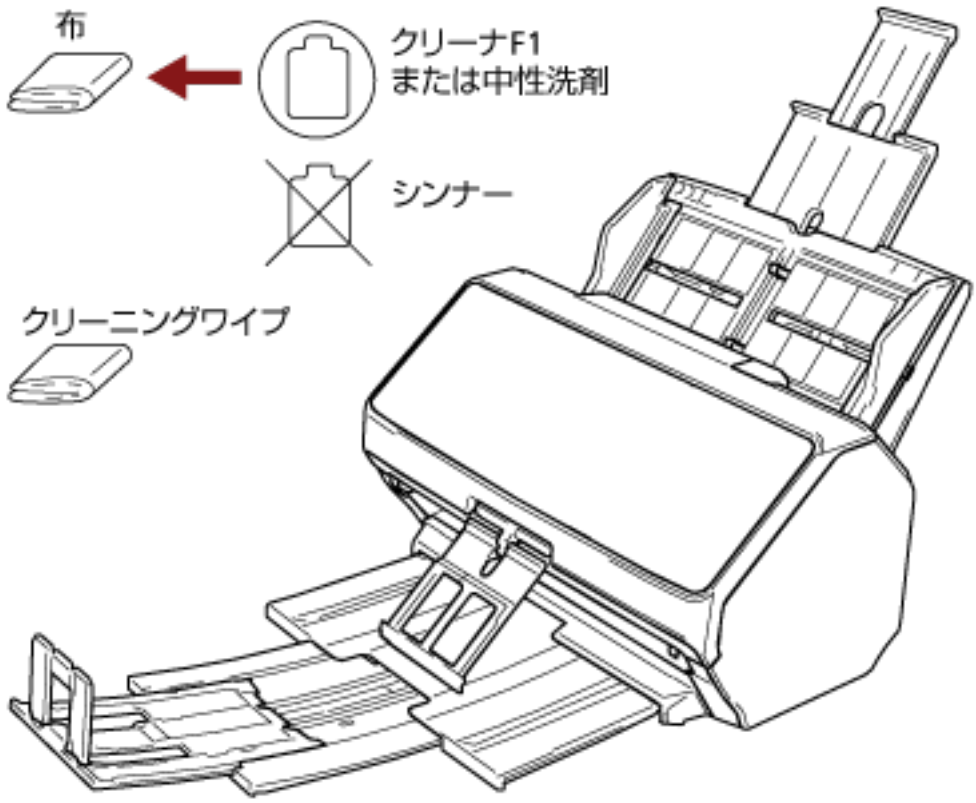
スキャナー外部の清掃

スキャナー本体（ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカーなど）は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

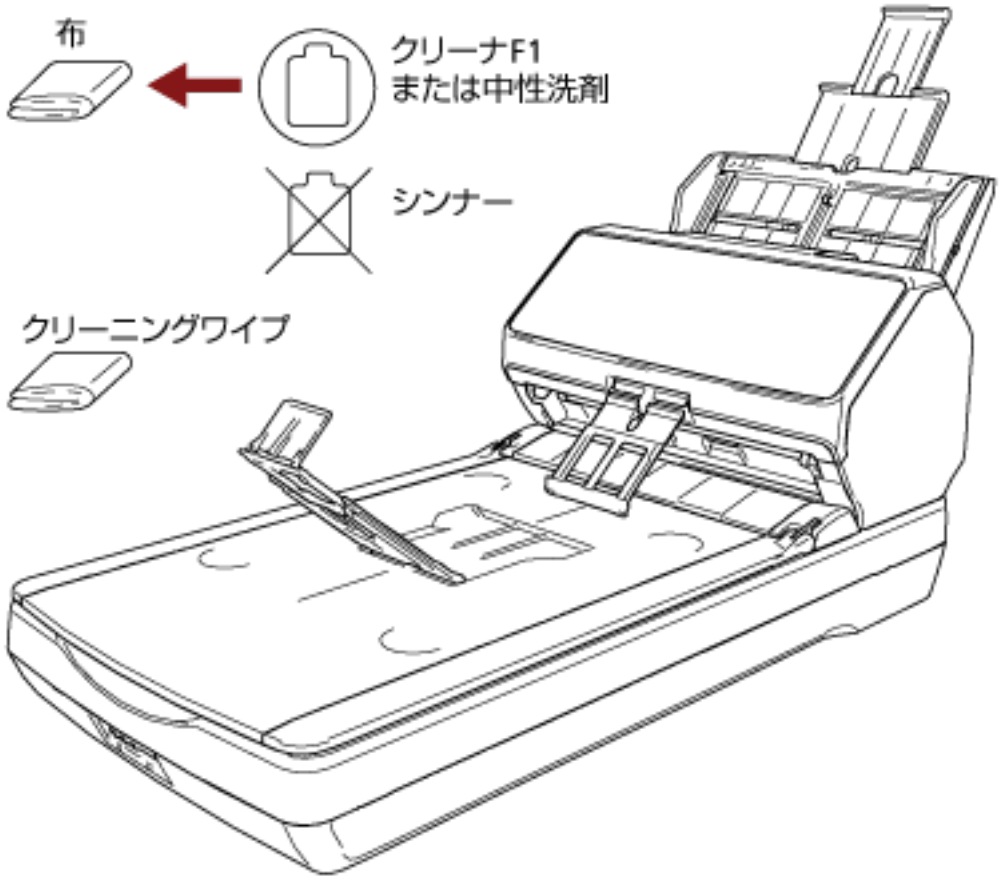
重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、スキャナー内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

- **fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合**



- **fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合**



スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパーによる場合）

ADF 内部は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。
原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 5,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

1 **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されたら、手順 2 に進みます。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示さたら、手順 5 に進みます。

2 **【Menu】ボタンを押します。**
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

3 **【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「3:クリーニング」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。**
液晶ディスプレイに「クリーニング」画面が表示されます。

4 **【△】ボタン/【▽】ボタンを押して「1:クリーニングペーパー」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。**
液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。

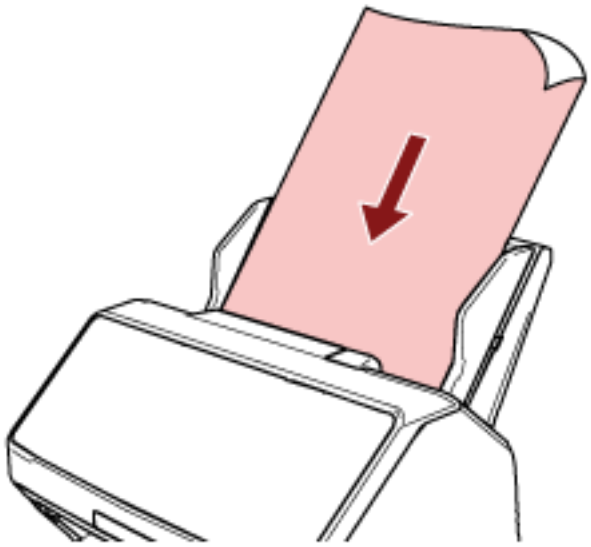
重要
清掃中に、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始しないでください。

5 **クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。**

6 **クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。**
詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 (114 ページ)を参照してください。

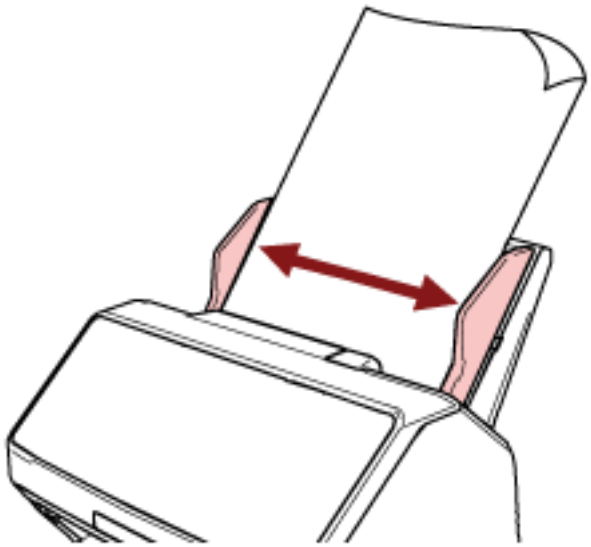
7 **クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーを設定します。**
詳細は、スタッカーの設定［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (115 ページ)またはスタッカーの設定［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (120 ページ)を参照してください。

8 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



9 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。
サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが斜めに搬送されることがあります。



10 クリーニングペーパーを読み取ります。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  ［Scan/Enter］ボタンを押して、クリーニングペーパーを読み取ります。
  クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  画像読み取り用アプリケーションを起動して、クリーニングペーパーを読み取ります。
  クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。

11 清掃のカウンターをクリアします。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、清掃のカウンターをクリアします。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、清掃のカウンターをクリアします。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。
    詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。
  詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）

ADF 内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。
原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 5,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

> **⚠ 注意**
>
> スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
> ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

重要

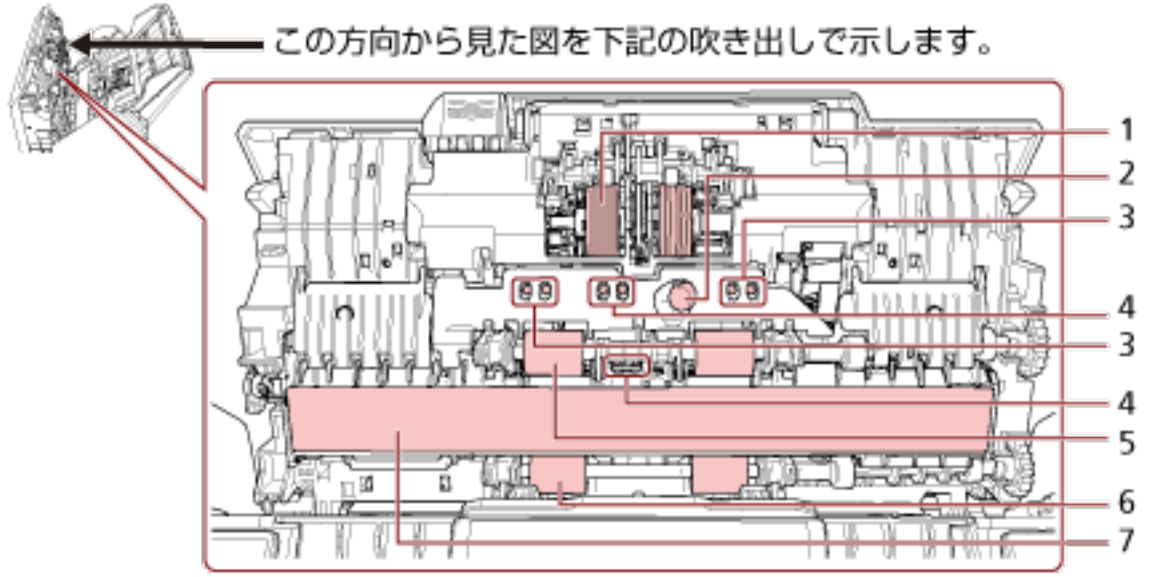
- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

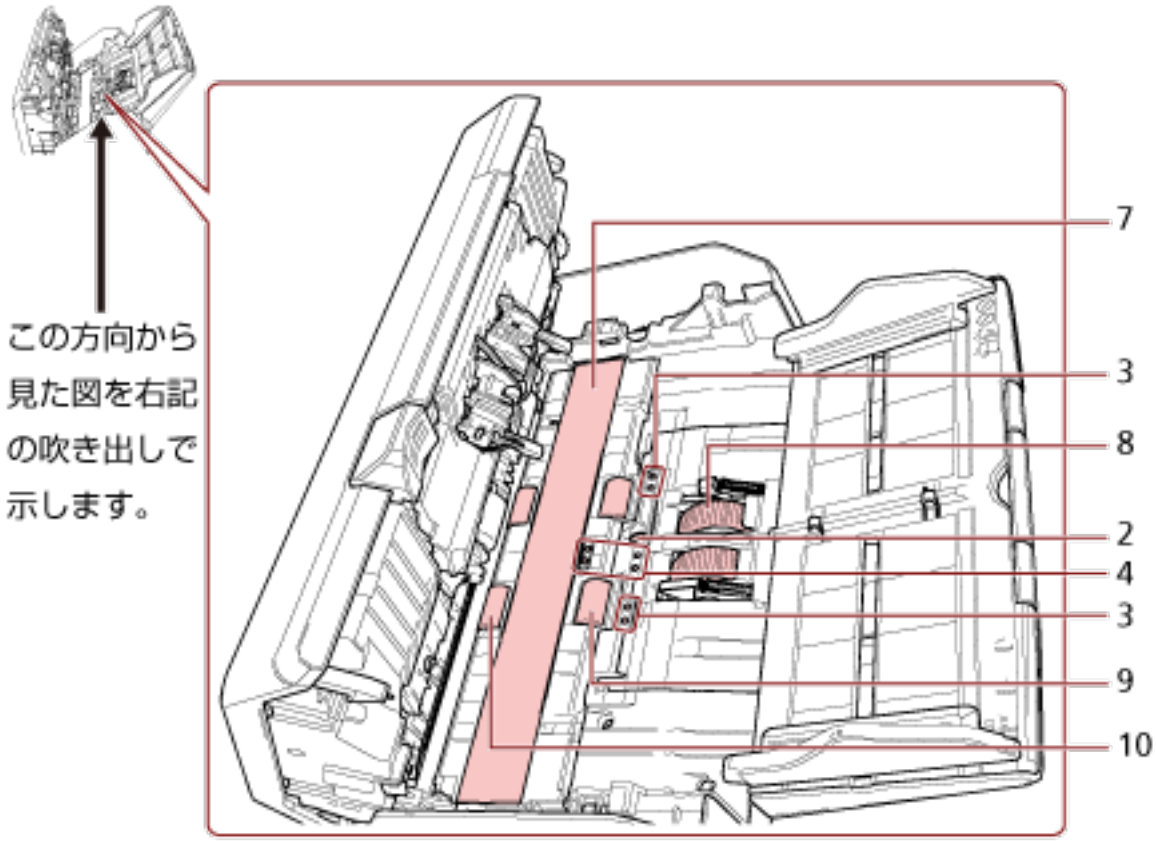
1 **スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待ちます。**
詳細は、電源の切断 (106 ページ)を参照してください。

2 **ADF を開けます。**
詳細は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

> **⚠ 注意**
>
> ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の箇所を清掃します。



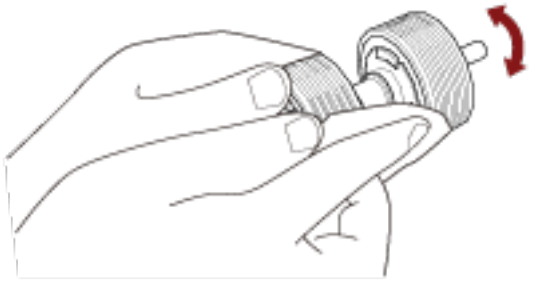


No.	清掃箇所
1	ブレーキローラ（2 か所）
2	超音波センサー（2 か所）
3	原稿検知センサー（8 か所）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］

No.	清掃箇所
4	原稿検知センサー（8 か所）
5	手で回転させながら清掃するフィードローラー（2 か所）
6	手で回転させながら清掃する排出ローラー（2 か所）
7	ガラス（2 か所）
8	ピックローラ（2 か所）
9	電源を投入して回転させながら清掃するフィードローラー（2 か所）
10	電源を投入して回転させながら清掃する排出ローラー（2 か所）

1 ブレーキローラ（2 か所）

ブレーキローラはスキャナーから取り外して清掃します。
ブレーキローラの取り外し方法は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)を参照してください。
ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。



2 超音波センサー（2 か所）

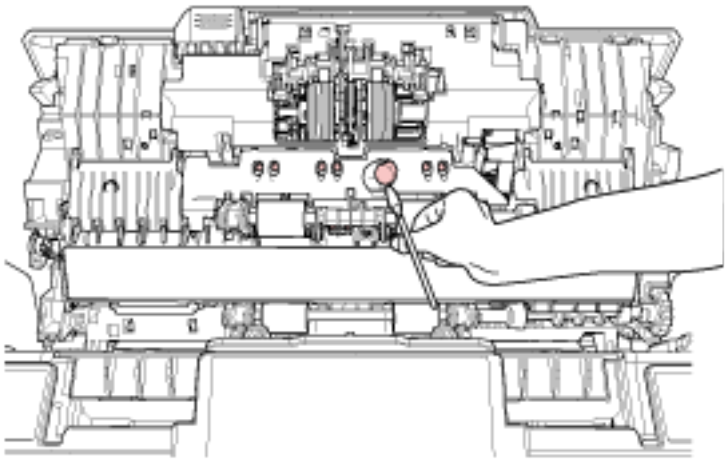
3 原稿検知センサー（8 か所）【fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270】

4 原稿検知センサー（8 か所）

超音波センサー/原稿検知センサーの表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

ヒント

ふき取りにくい場合は、綿棒を使用して清掃してください。





5 手で回転させながら清掃するフィードローラー（2 か所）

6 手で回転させながら清掃する排出ローラー（2 か所）

ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

7 ガラス（2 か所）

ガラス面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

重要

ガラス面がよごれていると、画像に縦線（縦筋）が出ることがあります。

8 ピックローラ（2 か所）

手で回転させながら、ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

9 電源を投入して回転させながら清掃するフィードローラー（2 か所）

10 電源を投入して回転させながら清掃する排出ローラー（2 か所）

フィードローラー/排出ローラーは、電源を投入して回転させながら清掃します。

a 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されたら、手順 b に進みます。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示さたら、手順 e に進みます。

b ［Menu］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

c ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「3:クリーニング」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「クリーニング」画面が表示されます。

d ［△］ボタン/［▽］ボタンを押して「2:ワイプ」を選択し、［Scan/Enter］ボタンを押します。
液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。

> **重要**
> 清掃中に、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始しないでください。

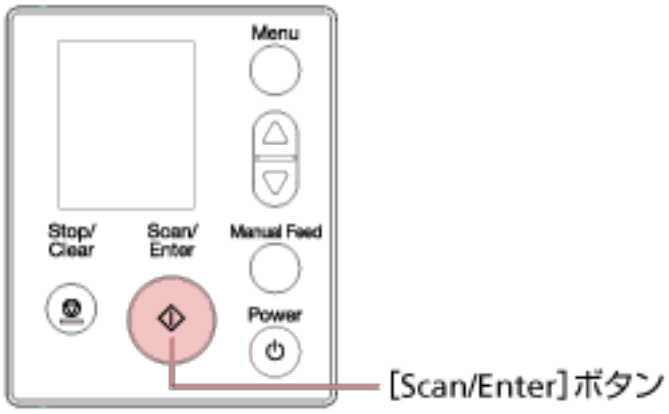
e ADF を開けます。
詳細は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

> ⚠ 注意　ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

f 次のスキャナーのボタンを押すと、フィードローラー/排出ローラーが同時に一定量回転します。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合

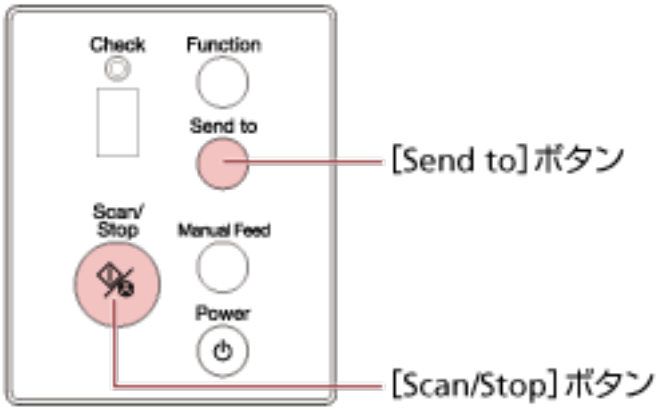
［Scan/Enter］ボタンを押す



ヒント

［Scan/Enter］ボタンを 14 回押すと、フィードローラー/排出ローラーが 1 回転します。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ［Send to］ボタンと［Scan/Stop］ボタンを同時に押す



ヒント

［Send to］ボタンと［Scan/Stop］ボタンを同時に 14 回押すと、フィードローラー/排出ローラーが 1 回転します。

注意

回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

g 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプを、回転しているフィードローラー/排出ローラー表面に押し当てて左右にこすり、ローラー全域のよごれやほこりをふき取ります。

特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

4 ADF を閉じます。

詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

> **注意**
>
> ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

> **重要**
>
> ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

5 清掃のカウンターをクリアします。

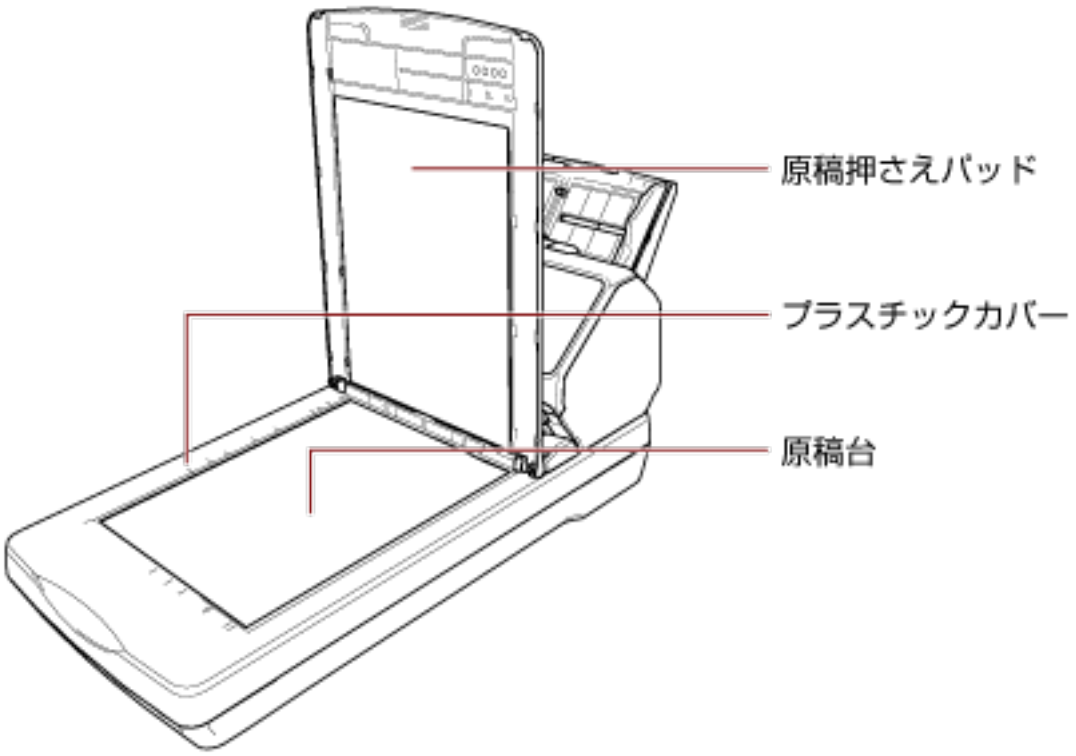
- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、清掃のカウンターをクリアします。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、清掃のカウンターをクリアします。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。
    詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。
  詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。

スキャナー内部（フラットベッド内部）の清掃［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

フラットベッドは、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

1 **ドキュメントカバーを開けます。**
詳細は、ドキュメントカバーの開け方 (112 ページ)を参照してください。

2 **少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の箇所を清掃します。**



重要
原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナー液がしみこまないように注意してください。

キャリアシートの清掃

キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。
キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。
キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があるので、定期的に清掃してください。

重要

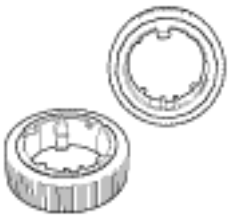
- キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてからキャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートおよび写真キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。
  冊子キャリアシートは、目安として、2,500 回読み取るごとに交換することを推奨します。
  ただし、この目安は、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって変わります。
  キャリアシートの購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (469 ページ)にお問い合わせください。

消耗品の交換

ここでは、スキャナーの消耗品の交換について説明します。

> **⚠ 注意**
> スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
> 消耗品を交換する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから交換してください。

消耗品と交換周期

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C829BR	200,000 枚ごとに交換
ピックローラ 	FI-C728PR	200,000 枚ごとに交換
ScanAid（*1）	FI-829SA	–

***1：**ScanAid の詳細は、スキャナーのオプション (456 ページ)を参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備することを推奨します。また、スキャナーには、消耗品（ピックローラ、ブレーキローラ、プリントカートリッジ）ごとに、読み取った原稿の枚数/インク残量が記録されているので、消耗品の交換時期を確認できます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、読み取った原稿の枚数/インク残量を確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、読み取った原稿の枚数/インク残量を確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、読み取った原稿の枚数/インク残量を確認できます。
    詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、読み取った原稿の枚数/インク残量を確認できます。
  詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 80g/m^2（69kg/連）の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度・環境、および清掃の頻度によって異なります。

重要

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品の購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (469 ページ)にお問い合わせください。

ブレーキローラの交換

ブレーキローラを交換する手順を次に示します。

1 **スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待ちます。**
詳細は、電源の切断 (106 ページ)を参照してください。

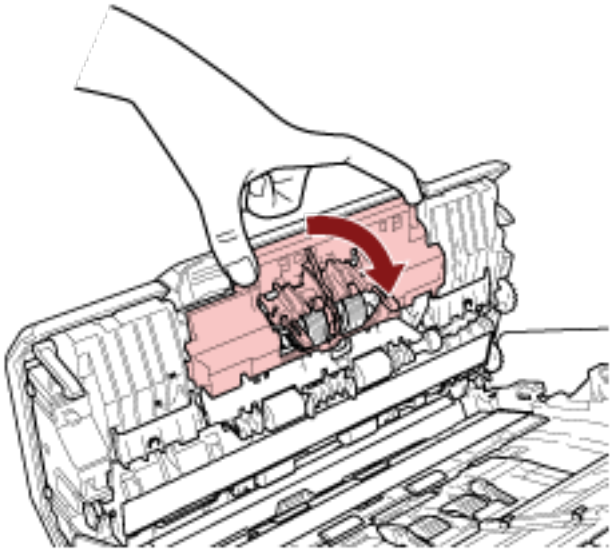
2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。**

3 **ADF を開けます。**
詳細は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

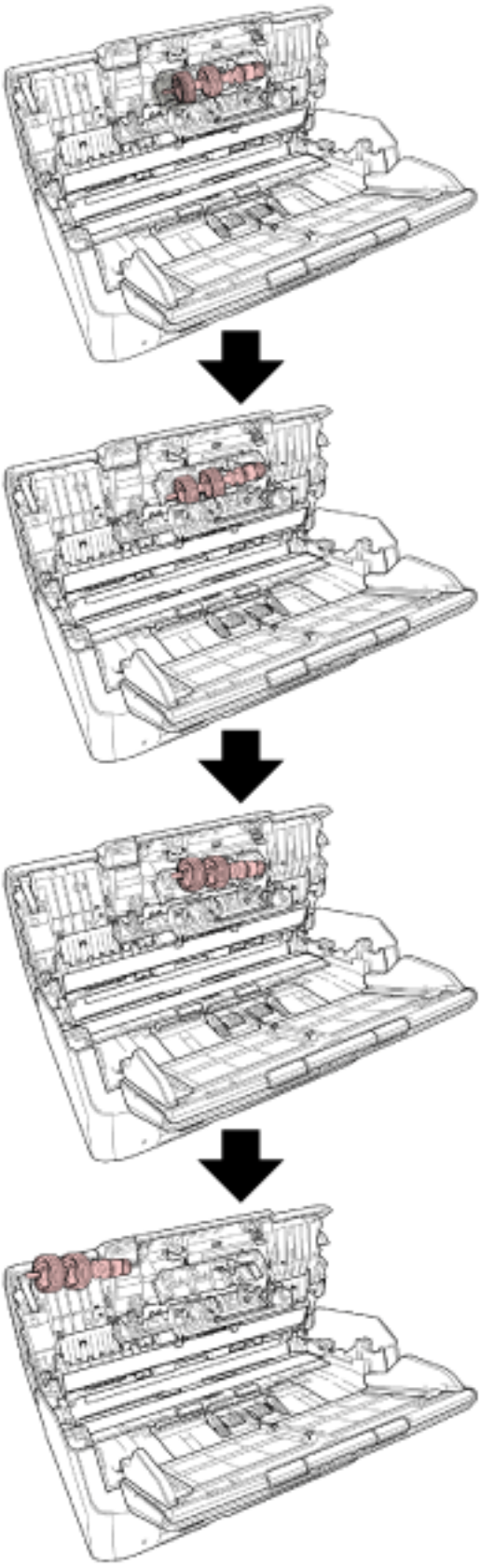
> **注意** ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

4 **ブレーキローラ軸を取り外します。**

a **ブレーキローラのカバーの左右側面をつまんで、矢印の方向に開けます。**

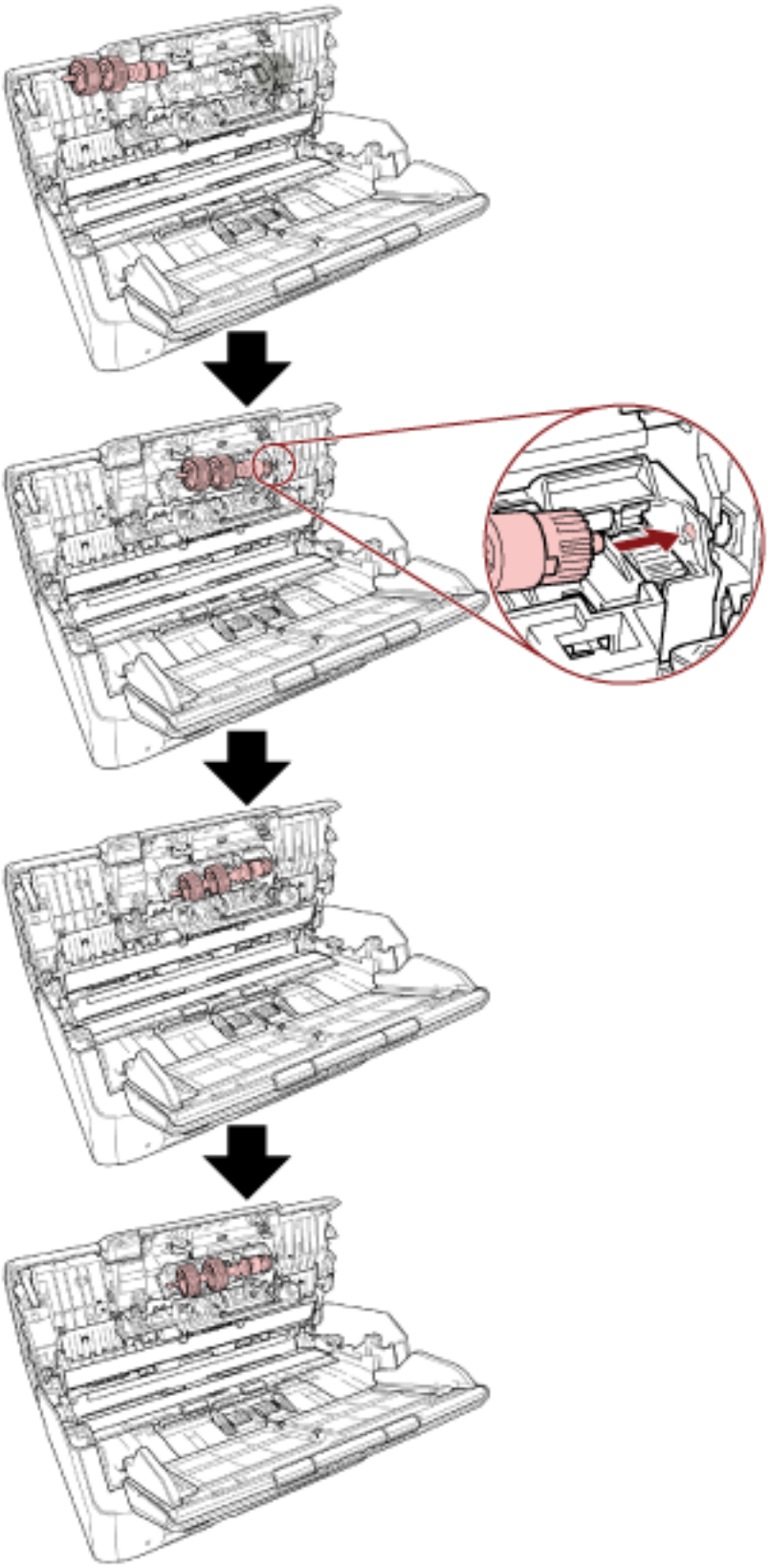


b　ブレーキローラを手前に軽く引き出して軸の左側を外し、軸の右側を穴から抜き取ります。



5　ブレーキローラ軸を取り付けます。

a　ブレーキローラ軸の先端を、穴の形状に合わせて差し込んでから、軸の左側を取り付けます。



b ブレーキローラのカバーを閉じます。

> **重要**
> ブレーキローラ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

6 ADF を閉じます。

詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

> **注意**
> ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

7 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

8 ブレーキローラのカウンターをクリアします。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、ブレーキローラのカウンターをクリアします。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラのカウンターをクリアします。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - Software Operation Panel で、ブレーキローラのカウンターをクリアします。
    詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、ブレーキローラのカウンターをクリアします。
  詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。

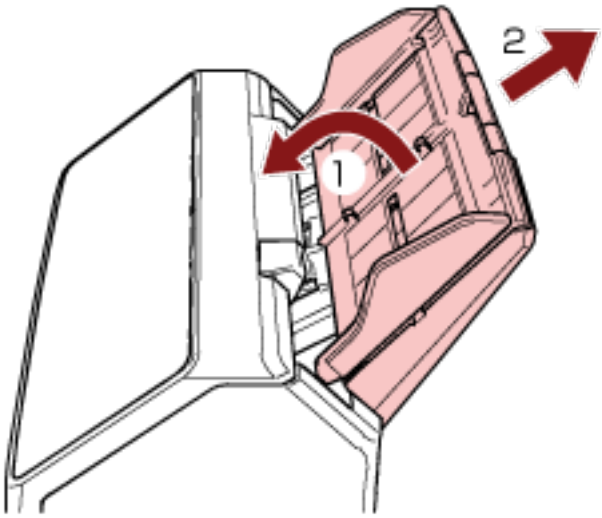
ピックローラの交換

ピックローラを交換する手順を次に示します。

1 **スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待ちます。**
詳細は、電源の切断 (106 ページ)を参照してください。

2 **ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。**

3 **ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。**
ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、1 の矢印方向に持ち上げながら、2 の矢印方向に引き上げます。

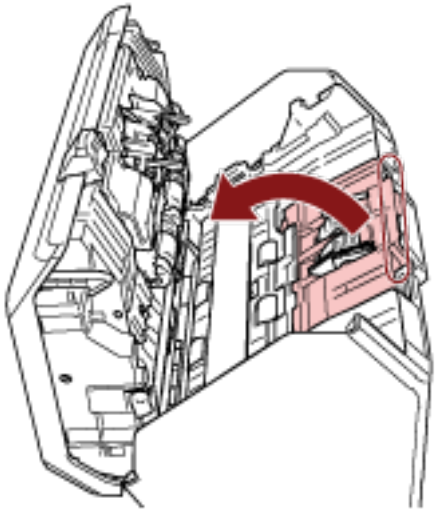


4 **ADF を開けます。**
詳細は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

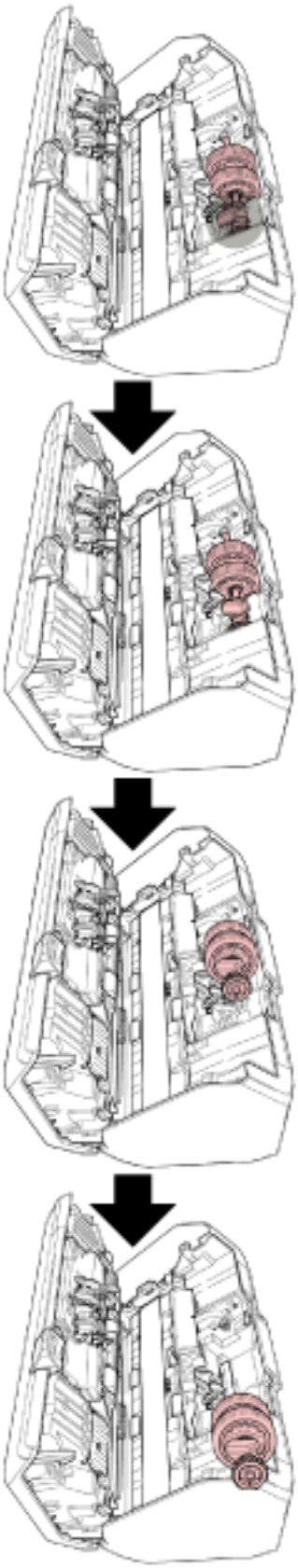
> ⚠ 注意　ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

5 **ピックローラ軸を取り外します。**

a シートガイドの取っ手を上に持ち上げて、シートガイドを開けます。



b ピックローラ軸のレバーを、左から右の方向に回転させます。レバーを軽く引き上げ、ピックローラ軸の先端を穴から抜き取ります。

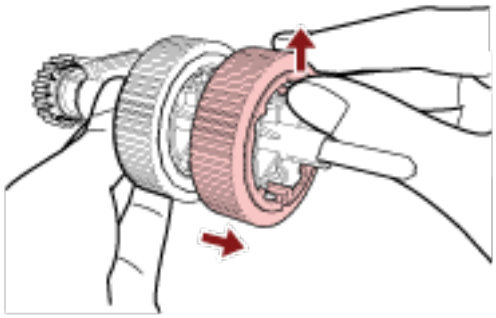


重要

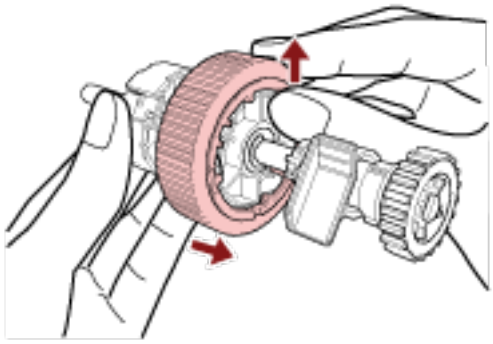
ピックローラ軸のレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いているので、触らないように注意してください。

6 ピックローラ（2 個）を 1 個ずつ、ピックローラ軸から取り外します。

a ピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラ軸から引き抜きます。

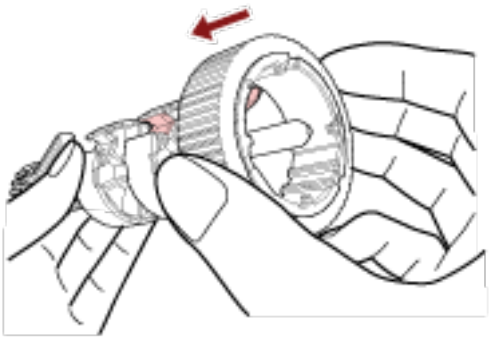


b もう一方のピックローラもピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラ軸から引き抜きます。

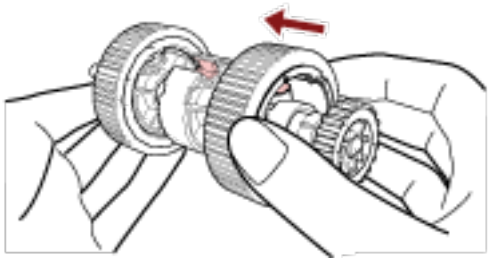


7 新しいピックローラ（2 個）を 1 個ずつ、ピックローラ軸に取り付けます。

a ピックローラのツメとピックローラ軸の溝を合わせて差し込みます。



b もう一方のピックローラもピックローラのツメとピックローラ軸の溝を合わせて差し込みます。

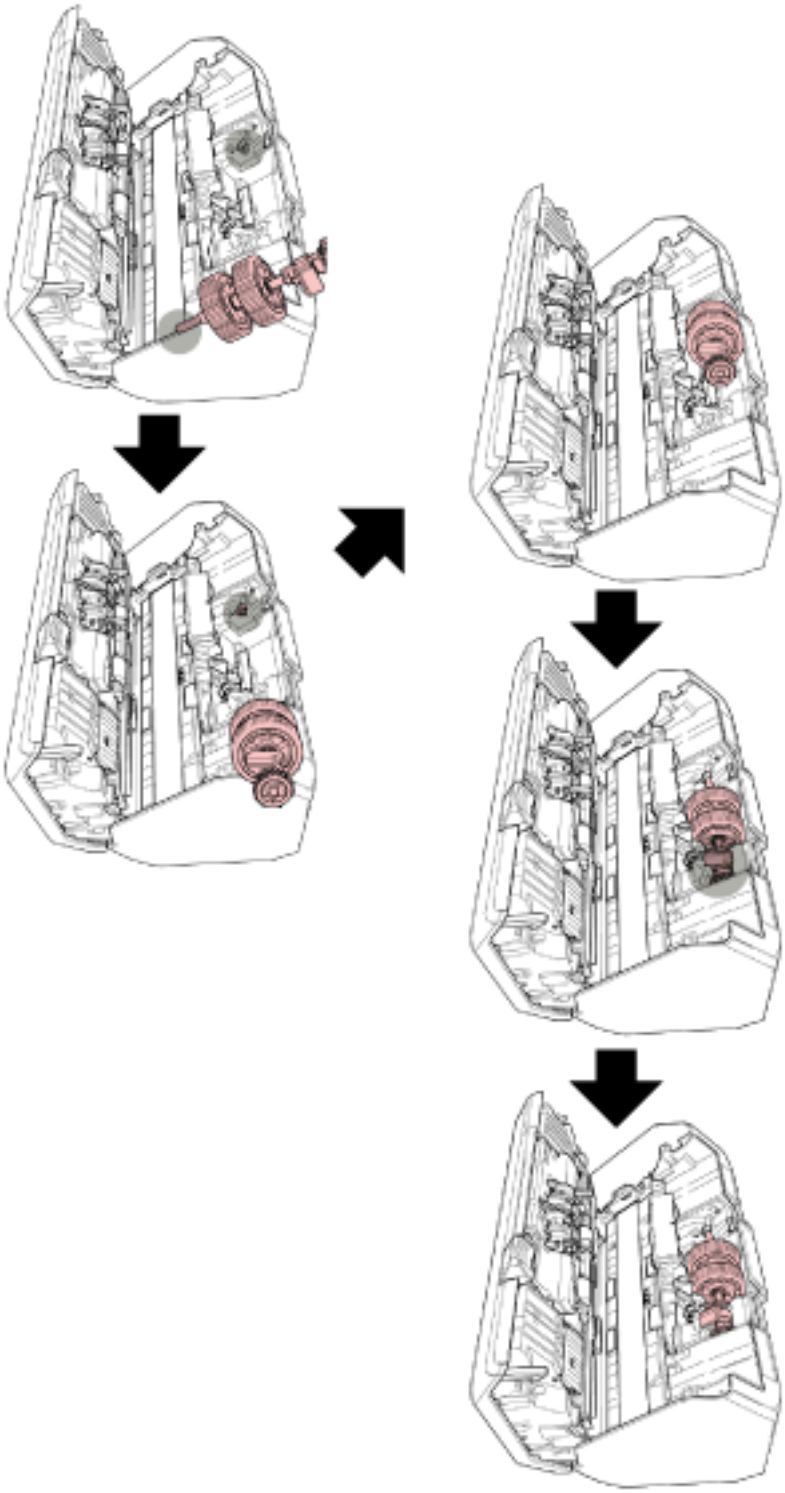


重要

ピックローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。
なお、ピックローラは取り付けるとき、「カチッ」という音がなります。音がなるまで差し込んでください。

8 ピックローラ軸を取り付けます。

a ピックローラ軸のレバーを持ち、先端を穴にはめます。レバー側の軸を下げて全体をはめ込み、レバーを右から左の方向に回転させて固定します。



b シートガイドを閉じます。シートガイドの両側が確実に固定しているか確認してください。

重要

ピックローラ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

9 ADF を閉じます。

詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

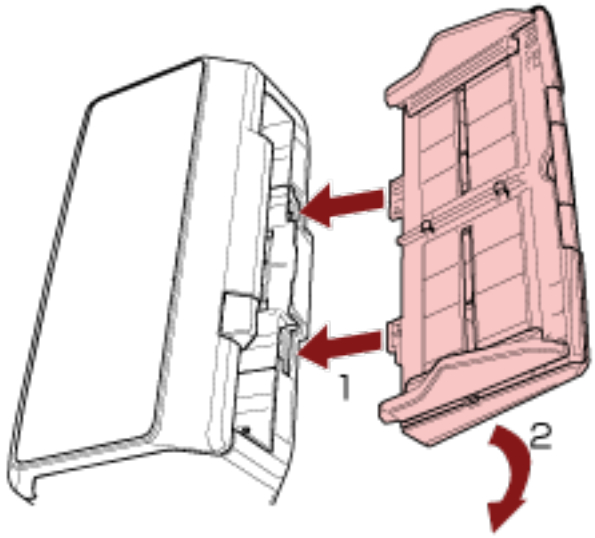
注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

10 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、1 の矢印方向に差し込み、2 の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。

サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



重要

ADF 給紙シュート（フィーダー）はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

11 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

12 ピックローラのカウンターをクリアします。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合

  次のどちらかの方法で、ピックローラのカウンターをクリアします。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ピックローラのカウンターをクリアします。

    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

  - Software Operation Panel で、ピックローラのカウンターをクリアします。

詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、ピックローラのカウンターをクリアします。
  詳細は、枚数カウンタのクリア (384 ページ)を参照してください。

困ったときには

ここでは、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、お問い合わせの前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

原稿づまりが発生したときは

次の手順に従い ADF 内部に残った原稿を取り除いてください。

注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、髪などのスキャナー内部に巻き込まれる可能性のあるものに注意してください。
- ADF 内部が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

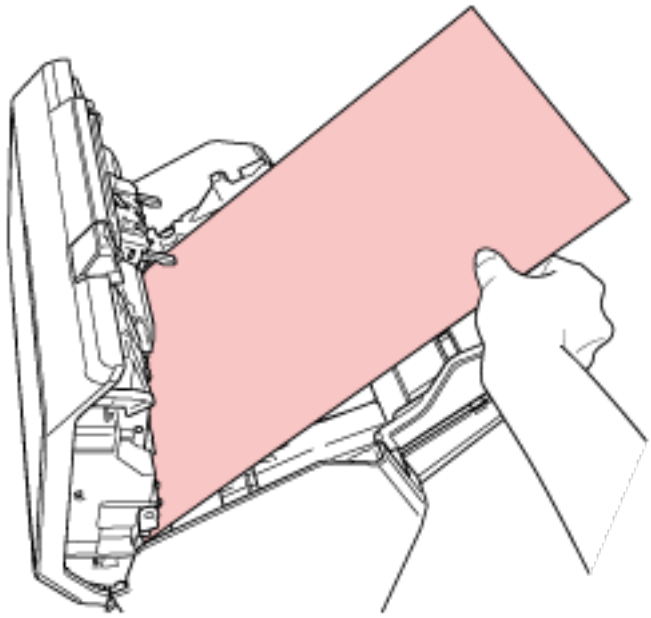
1 **ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。**

2 **ADF を開けます。**
詳細は、ADF の開け方 (110 ページ)を参照してください。

注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



重要

- ステープルやクリップなどの金属物は原稿づまりの原因となるため、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの金属物が付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがあるため注意してください。

4 ADF を閉じます。

詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

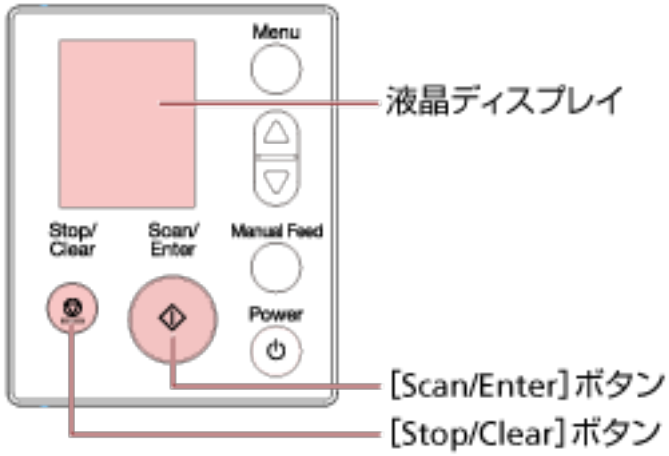
- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。
- 読み取りを終了したりキャンセルしたときに、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF 内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。
- 読み取りを継続するときは、再開ページを確認のうえ、原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に再度セットしてください。

エラーについて

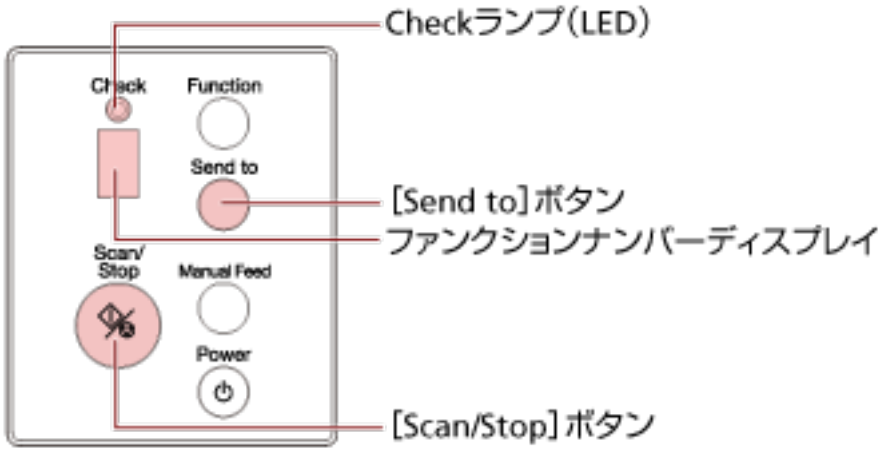
- **エラーの表示**

  スキャナーの使用中にエラーが発生すると、次のようになります。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    スキャナーの使用中にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにエラーコードが表示されます。
    エラー表示中に［Stop/Clear］ボタンを押すと、表示をクリアできます。
    原稿づまりの場合は、スキャナー内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的に表示がクリアされます。



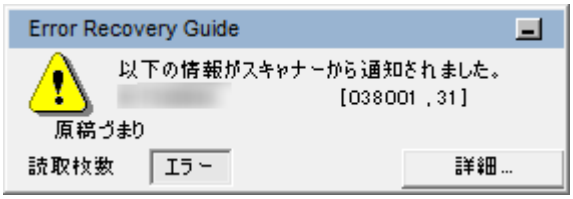
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    スキャナーの使用中にエラーが発生すると、Check ランプ（LED）が橙色に点灯し、ファンクションナンバーディスプレイにエラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。
    エラー表示中に［Scan/Stop］ボタン/［Send to］ボタンを押すと、表示をクリアできます。
    原稿づまりの場合は、スキャナー内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的に表示がクリアされます。



ヒント

Windows にログオンしたときに、Error Recovery Guide が起動され、画面右下の通知領域に Error Recovery Guide のアイコンが表示されます。

スキャナーのエラーが発生すると、エラーの名称やコード番号が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。
画面に表示される情報を書きとめて、［詳細］ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



- **エラーコード一覧**

液晶ディスプレイには、エラーコードが表示されます。
ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード（液晶ディスプレイ）	エラーコード（ファンクションナンバーディスプレイ）	エラー内容	参照先
A1:B3	A1	インプリンタ異常(通信タイムアウト)（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	インプリンタ異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (288 ページ)
A2:B5	A2	インプリンタ異常(印字ヘッド)（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	
A3:B6	A3	インプリンタ異常(EEPROM)（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	
A4:B8	A4	インプリンタ異常(ROM)（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	
C0:E5	C0	メモリー異常(表)	メモリー異常/LSI 異常 (289 ページ)
C0:E6		メモリー異常(裏)	
C0:E9		LSI 異常(表)	
C0:EA		LSI 異常(裏)	
C1:E0	C1	LSI 異常(初期化失敗)	
C8:F2	C8	スキャナー内部通信異常	スキャナー内部通信異常 (290 ページ)

エラーコード(液晶ディスプレイ)	エラーコード(ファンクションナンバーディスプレイ)	エラー内容	参照先
E0:87	E0	フラットベッドキャリア走行異常［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］	フラットベッドキャリア走行異常［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (290 ページ)
E1:7E	E1	光量異常(フラットベッド)［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］	光量異常（フラットベッド）［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (291 ページ)
E2:74	E2	光量異常(ADF 表面)	光量異常（ADF） (291 ページ)
E3:75	E3	光量異常(ADF 裏面)	
E6:D3	E6	操作パネル異常	操作パネル異常 (292 ページ)
E7:D2	E7	EEPROM 異常	EEPROM 異常 (293 ページ)
E9:F5	E9	画像メモリー RW エラー(表)	画像メモリー RW エラー (293 ページ)
E9:F6		画像メモリー RW エラー(裏)	
F4:C2	F4	裏当て切替え異常(ADF 表面)	裏当て切替え異常 (294 ページ)
F4:C3		裏当て切替え異常(ADF 裏面)	
H0:83	H0	モーター系異常	モーター系異常 (294 ページ)
H0:84			
H1:80	H1		
H2:81	H2		
H6:B1	H6	インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (295 ページ)
H7:84	H7	ランプ系異常	ランプ系異常 (296 ページ)
H8:88	H8	モーター系異常	モーター系異常 (294 ページ)
J0:37	J0	原稿保護(つまり音)	原稿保護 (297 ページ)
J0:3F		原稿保護(原稿の傾き)	
J1:31	J1	原稿づまり	原稿づまり/ピックエラー (297 ページ)
J1:40			
J1:50		ピックエラー	
J1:5A		原稿づまり（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	原稿づまり（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/

エラーコード(液晶ディスプレイ)	エラーコード(ファンクションナンバーディスプレイ)	エラー内容	参照先
			fi-8150/fi-8150U］ (298 ページ)
J2:55	J2	マルチフィード(重なり検出)	マルチフィード (299 ページ)
J2:56		マルチフィード(長さ検出)	
J8:01	J8	センサーよごれ	センサーよごれ (300 ページ)
J8:02			
J8:04			
J8:08			
L0:11	L0	センサー異常	センサー異常 (300 ページ)
L2:13	L2		
L5:17	L5		
L5:18	L5		
L6:1B	L6		
M1:D5	n1	モジュール異常	モジュール異常 (301 ページ)
M4:A2	n4	ネットワーク設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	ネットワーク設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (302 ページ)
M4:A3			
M4:A4			
M4:A5			
M4:A6			
M4:A8			
M4:A9			
M4:AA			
M4:AB			
M4:AC		Scanner Central Admin Server 設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	Scanner Central Admin Server 設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (304 ページ)
M5:A2	n5	サーバー設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	サーバー設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (305 ページ)

エラーコード（液晶ディスプレイ）	エラーコード（ファンクションナンバーディスプレイ）	エラー内容	参照先
M5:A3		Scanner Central Admin Server 設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	Scanner Central Admin Server 設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (304 ページ)
M5:A4			
M5:A5			
M5:AC		サーバー設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	サーバー設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (305 ページ)
M6:AE	n6	認証失敗［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］	認証失敗［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (307 ページ)
M6:AF			
U0:10	U0	輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］	輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (307 ページ)
U4:40	U4	ADF オープン	ADF オープン (308 ページ)
U5:4A	U5	インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (309 ページ)
U6:B4	U6	プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (310 ページ)
U7:20	U7	読み取り領域指定異常（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	読み取り領域指定異常（PaperStream NX Manager 運用する場合）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (310 ページ)
U7:B9	U7	印字領域異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］	印字領域異常（インプリンタ搭載時）［fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U］ (311 ページ)
—	—	他で使用中	他で使用中 (312 ページ)

エラーコード（液晶ディスプレイ）	エラーコード（ファンクションナンバーディスプレイ）	エラー内容	参照先
—	—	スキャナーが原稿枚数カウントモードです［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］	スキャナーが原稿枚数カウントモードです［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (312 ページ)
—	—	原稿なし	原稿なし (312 ページ)
—	—	緊急停止	緊急停止 (312 ページ)
—	—	一時停止中	一時停止中 (313 ページ)
—	—	読み取り領域指定異常（コンピューター運用する場合）	読み取り領域指定異常（コンピューター運用する場合） (313 ページ)
—	—	異常コマンド	異常コマンド (314 ページ)
—	—	インターフェイス異常	インターフェイス異常 (314 ページ)
—	—	ユニットアテンション	ユニットアテンション (314 ページ)

インプリンタ異常（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U]

インプリンタに異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
A1:B3	A1:B3 エラー インプリンタ異常(通信タイムアウト) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
A2:B5	A2:B5 エラー インプリンタ異常(印字ヘッド) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
A3:B6	A3:B6 エラー インプリンタ異常(EEPROM) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
A4:B8	A4:B8 エラー インプリンタ異常(ROM) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
A1	インプリンタ異常(通信タイムアウト)
A2	インプリンタ異常(印字ヘッド)
A3	インプリンタ異常(EEPROM)
A4	インプリンタ異常(ROM)

次の対処をしてください。

- fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して、プリントカートリッジが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。
- fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して、EXT ケーブル（インプリンタケーブル）を再接続してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

メモリー異常/LSI 異常

メモリー/LSI に異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
C0:E5	C0:E5 エラー メモリー異常(表) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
C0:E6	C0:E6 エラー メモリー異常(裏) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
C0:E9	C0:E9 エラー LSI 異常(表) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
C0:EA	C0:EA エラー LSI 異常(裏) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
C1:E0	C1:E0 エラー LSI 異常(初期化失敗) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
C0	メモリー異常(表)
	メモリー異常(裏)
	LSI 異常(表)
	LSI 異常(裏)
C1	LSI 異常(初期化失敗)

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

スキャナー内部通信異常

スキャナー内部で通信異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
C8:F2	C8:F2 エラー スキャナー内部通信異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
C8	スキャナー内部通信異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

フラットベッドキャリア走行異常［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

フラットベッドキャリア走行異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
E0:87	E0:87 エラー フラットベッドキャリア走行異常 輸送ロックスイッチを解除してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
E0	フラットベッドキャリア走行異常

輸送ロックスイッチが解除されているかを確認してください。
輸送ロックスイッチが解除されていない場合は、輸送ロックスイッチを解除してください。
詳細は、輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (307 ページ)を参照してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

光量異常（フラットベッド）[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]

フラットベッドで光量異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
E1:7E	E1:7E エラー 光量異常（フラットベッド） 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
E1	光量異常(フラットベッド)

次の対処をしてください。

- 輸送ロックスイッチが解除されているかを確認してください。
  輸送ロックスイッチが解除されていない場合は、輸送ロックスイッチを解除してください。
  詳細は、輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (307 ページ)を参照してください。
- スキャナー内部（フラットベッド内部）の清掃［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (264 ページ)を参考にして、原稿台（ガラス部分）を清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

光量異常（ADF）

ADF で光量異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
E2:74	E2:74 エラー

エラーコード	エラー内容と対処
	光量異常(ADF 表面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
E3:75	E3:75 エラー 光量異常(ADF 裏面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
E2	光量異常(ADF 表面)
E3	光量異常(ADF 裏面)

次の対処をしてください。

- スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合） (257 ページ) を参照して、ガラスを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

操作パネル異常

操作パネルに異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
E6:D3	E6:D3 エラー 操作パネル異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
E6	操作パネル異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

EEPROM 異常

EEPROM 異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
E7:D2	E7:D2 エラー EEPROM 異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
E7	EEPROM 異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

画像メモリー RW エラー

画像メモリーからデータを読み出したり、画像メモリーにデータを書き込んだりするときにエラーが発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
E9:F5	E9:F5 エラー 画像メモリー RW エラー(表) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
E9:F6	E9:F6 エラー 画像メモリー RW エラー(裏) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合

ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
E9	画像メモリー RW エラー(表)
	画像メモリー RW エラー(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

裏当て切替え異常

裏当て切替え異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
F4:C2	F4:C2 エラー 裏当て切替え異常(ADF 表面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
F4:C3	F4:C3 エラー 裏当て切替え異常(ADF 裏面) 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
F4	裏当て切替え異常(ADF 表面)
	裏当て切替え異常(ADF 裏面)

ADF を開けて原稿が残っていないかを確認してから、スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

モーター系異常

モーター回路に異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合

液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
H0:83	H0:83 エラー モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
H0:84	H0:84 エラー モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
H1:80	H1:80 エラー モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
H2:81	H2:81 エラー モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
H8:88	H8:88 エラー モーター系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
H0	モーター系異常
H1	
H2	
H8	

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

インプリンタ系異常（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U]

インプリンタの回路に異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
H6:B1	H6:B1 エラー インプリンタ系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
H6	インプリンタ系異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

ランプ系異常

ランプ回路異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
H7:84	H7:84 エラー ランプ系異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
H7	ランプ系異常

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

原稿保護

原稿を保護する機能（ペーパープロテクション）が働くと、原稿の搬送が中止され、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
J0:37	J0:37 エラー 原稿保護(つまり音) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。
J0:3F	J0:3F エラー 原稿保護(原稿の傾き) 原稿を取り出してください。原稿をセットし直すときに、原稿がつまったり傾いたりしないように注意してください。詳細はオペレーターガイドを参照してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
J0	原稿保護(原稿の傾き)

原稿を保護する機能（ペーパープロテクション）とは、原稿づまりに対する検出レベルを上げて、ADF で原稿を読み取るときに原稿の破損を抑制する機能です。
次の対処をしてください。

- 本エラーが発生したら、まず、使用している原稿が読み取りできる原稿 (149 ページ)の条件を満たしているかを確認してください。
- 読み取りできる原稿の条件を満たした原稿を使用しても本エラーが頻繁に発生する場合は、原稿を保護する機能の検知レベルを低く設定してください。
- ADF 内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照して原稿を取り除いてください。

原稿づまり/ピックエラー

原稿づまり/ピックエラーが発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
J1:31	J1:31 エラー

エラーコード	エラー内容と対処
	原稿づまり 原稿を取り出してください。
J1:40	J1:40 エラー 原稿づまり 原稿を取り出してください。
J1:50	J1:50 エラー ピックエラー 原稿を取り出してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
J1	原稿づまり
	ピックエラー

次の対処をしてください。

- スキャナー内部につまった場合、原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照して原稿を取り除きます。
- 原稿が読み取りに適しているかを、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照して確認してください。
- 原稿づまりが頻繁に発生する場合は、原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる (353 ページ)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

原稿づまり（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U]

インプリンタで原稿づまりが発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
J1:5A	J1:5A エラー 原稿づまり 原稿を取り出してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
J1	原稿づまり

次の対処をしてください。

- インプリンタにつまった場合、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して原稿を取り除きます。
- インプリンタで搬送できる原稿かどうかを、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して確認してください。
- fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してローラーを清掃してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

マルチフィード

原稿が重なって搬送されると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
J2:55	J2:55 エラー マルチフィード(重なり検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。
J2:56	J2:56 エラー マルチフィード(長さ検出) Scan/Enter ボタンを押してください。搬送中の原稿がある場合は排出します。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
J2	マルチフィード(長さ検出)
	マルチフィード(重なり検出)

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照して原稿を取り除きます。
頻繁に原稿が重なって搬送される場合は、頻繁に原稿が重なって搬送される (346 ページ)を参照して対処してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

センサーよごれ

センサーがよごれると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
J8:01	J8:01 エラー センサーよごれ ピックセンサーを清掃してください。
J8:02	J8:02 エラー センサーよごれ スキューセンサー(左)を清掃してください。
J8:04	J8:04 エラー センサーよごれ リードトップセンサーを清掃してください。
J8:08	J8:08 エラー センサーよごれ スキューセンサー(右)を清掃してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
J8	センサーよごれ

次の対処をしてください。

- スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合） (257 ページ)を参照して原稿検知センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

センサー異常

センサー異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
L0:11	L0:11 エラー センサー異常

エラーコード	エラー内容と対処
	電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
L2:13	L2:13 エラー センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
L5:17	L5:17 エラー センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
L5:18	L5:18 エラー センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。
L6:1B	L6:1B エラー センサー異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
L0	センサー異常
L2	
L5	
L6	

次の対処をしてください。

- スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合） (257 ページ)を参照して超音波センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

モジュール異常

モジュールに異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合

液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
M1:D5	M1:D5 エラー 有線 LAN 異常 電源を再投入してください。症状が改善しない場合は、オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
n1	—

スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

ネットワーク設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

ネットワークの設定に異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
M4:A2	M4:A2 エラー ネットワーク異常 ネットワークに接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:A3	M4:A3 エラー ネットワーク異常 プロキシサーバーに接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:A4	M4:A4 エラー ネットワーク異常 PaperStream NX Manager に接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:A5	M4:A5 エラー ネットワーク異常 プロキシサーバーまたは PaperStream NX Manager に接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:A6	M4:A6 エラー

エラーコード	エラー内容と対処
	ネットワーク異常 PaperStream NX Manager との通信でタイムアウトが発生しました。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:A8	M4:A8 エラー ネットワーク異常 PaperStream NX Manager にデータを送信できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:A9	M4:A9 エラー ネットワーク異常 PaperStream NX Manager からデータを受信できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:AA	M4:AA エラー ネットワーク異常 ネットワークに接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M4:AB	M4:AB エラー ネットワーク異常 データを送信できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
n4	—

次の対処をしてください。

- スキャナーのネットワークの設定を確認してください。
  スキャナーのネットワークの設定は、次のようにして確認できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどれかの方法で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)

- fi Series ネットワーク設定で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- fi-8150/fi-8250 の場合
  次のどちらかの方法で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
  - IP アドレス設定ツールで、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
    IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- ネットワークの接続を確認してください。
- プロキシサーバー側の設定を確認してください。
- PaperStream NX Manager 側の設定を確認してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

Scanner Central Admin Server 設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

Scanner Central Admin Server 側の設定に異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
M4:AC	M4:AC エラー ネットワーク異常 Scanner Central Admin Server にスキャナー情報を登録できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M5:A3	M5:A3 エラー サーバー異常 Scanner Central Admin Server に接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M5:A4	M5:A4 エラー サーバー異常 Scanner Central Admin Server にスキャナー情報を登録できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。

エラーコード	エラー内容と対処
M5:A5	M5:A5 エラー サーバー異常 Scanner Central Admin Server のメンテナンス中です。オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
n4（*1）	—
n5	

***1：**Scanner Central Admin Server にスキャナー情報を登録できない場合に表示されます。
次の対処をしてください。

- スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定を確認してください。
  スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定は、次のようにして確認できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定を確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定を確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定を確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
- ネットワークの接続を確認してください。
- Scanner Central Admin Server 側の設定を確認してください。
- しばらく待ってから再度実行してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

サーバー設定異常［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

PaperStream NX Manager 側の設定に異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
M5:A2	M5:A2 エラー サーバー異常 PaperStream NX Manager にファイルを保存できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M5:AC	M5:AC エラー サーバー異常 PaperStream NX Manager に接続できません。オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
n5	—

次の対処をしてください。

- スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を確認してください。
  スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定は、次のようにして確認できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
- ネットワークの接続を確認してください。
- PaperStream NX Manager 側の設定を確認してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

認証失敗［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］

PaperStream NX Manager の認証に失敗すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
M6:AE	M6:AE エラー サーバー異常 入力されたジョブグループコードが正しくありません。オペレーターガイドを参照して対処してください。
M6:AF	M6:AF エラー サーバー異常 PaperStream NX Manager に自動ログインできません。オペレーターガイドを参照して対処してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
n6	—

次の対処をしてください。

- ジョブグループコードが正しいか確認してください。
- スキャナーの「自動ログイン」の設定を確認してください。
  次のどちらかの方法で、スキャナーの「自動ログイン」の設定を確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの「自動ログイン」の設定を確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「自動ログイン」の設定を確認できます。
    詳細は、PaperStream NX Manager (441 ページ)を参照してください。
- ネットワークの接続を確認してください。
- PaperStream NX Manager 側の設定を確認してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］

輸送ロックエラーが発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

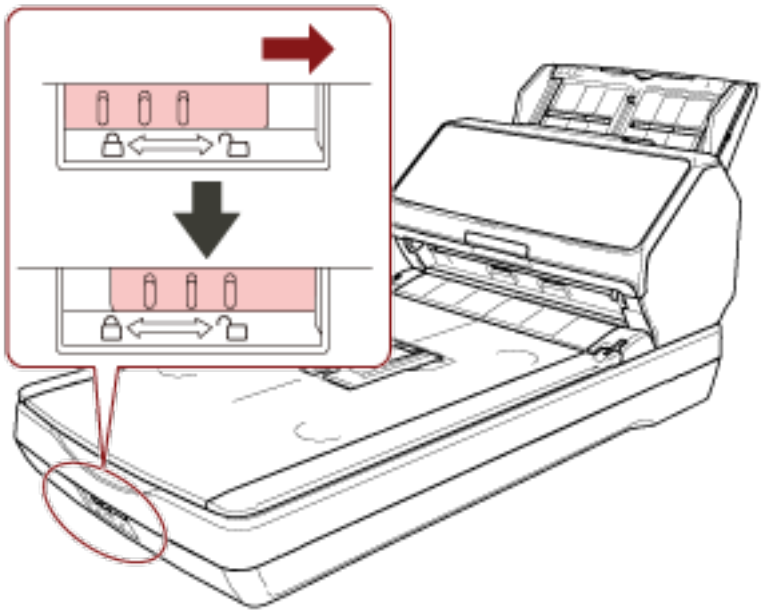
- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
U0:10	U0:10 エラー 輸送ロック 輸送ロックスイッチを解除してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
U0	輸送ロック

輸送ロックスイッチが解除されているかを確認してください。
輸送ロックスイッチが解除されていない場合は、輸送ロックスイッチを解除してください。



ADF オープン

読み取り中に ADF を開けると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
U4:40	U4:40 エラー ADF オープン

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
U4	ADF オープン

ヒント

- 待機中に ADF を開けると、操作パネルの表示が次のようになります。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    液晶ディスプレイにエラーコードは表示されず、エラーメッセージだけ表示されます。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    ファンクションナンバーディスプレイの「c」と Check ランプ（LED）が交互に点滅します。
- ADF が開いている間は、操作パネルの操作はできません。

原稿を取り除いて、ADF を閉じてください。
ADF が確実に閉じていることを確認してください。
確実に閉じていることを確認できない場合は、一度 ADF を開けてから再度 ADF を閉じてください。
ADF の開閉については、ADF の開閉 (110 ページ)を参照してください。

インプリンタカバーオープン（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U]

読み取り中に印字部（インプリンタカバー）を開けると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
U5:4A	U5:4A エラー インプリンタカバーオープン

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
U5	インプリンタカバーオープン

ヒント

待機中に印字部（インプリンタカバー）を開けると、操作パネルの表示が次のようになります。

- fi-8190/fi-8170 の場合
  液晶ディスプレイにエラーコードは表示されず、エラーメッセージだけ表示されます。
- fi-8150/fi-8150U の場合
  ファンクションナンバーディスプレイの「c」と Check ランプ（LED）が交互に点滅します。

原稿を取り除いて、印字部（インプリンタカバー）を閉じてください。

印字部（インプリンタカバー）が確実に閉じていることを確認してください。
確実に閉じていることを確認できない場合は、一度印字部（インプリンタカバー）を開けてから再度印字部（インプリンタカバー）を閉じてください。
印字部（インプリンタカバー）の開閉については、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

プリントカートリッジなし（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U]

インプリンタでプリントカートリッジ取り付け異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
U6:B4	U6:B4 エラー プリントカートリッジなし プリントカートリッジが正しく装着されているか確認してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
U6	プリントカートリッジなし

fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照して、プリントカートリッジを取り付けてください。

読み取り領域指定異常（PaperStream NX Manager 運用する場合）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250]

ADF で読み取りを開始したときに、指定された領域を読み取る前に、原稿の後端が検出されると原稿づまりが発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

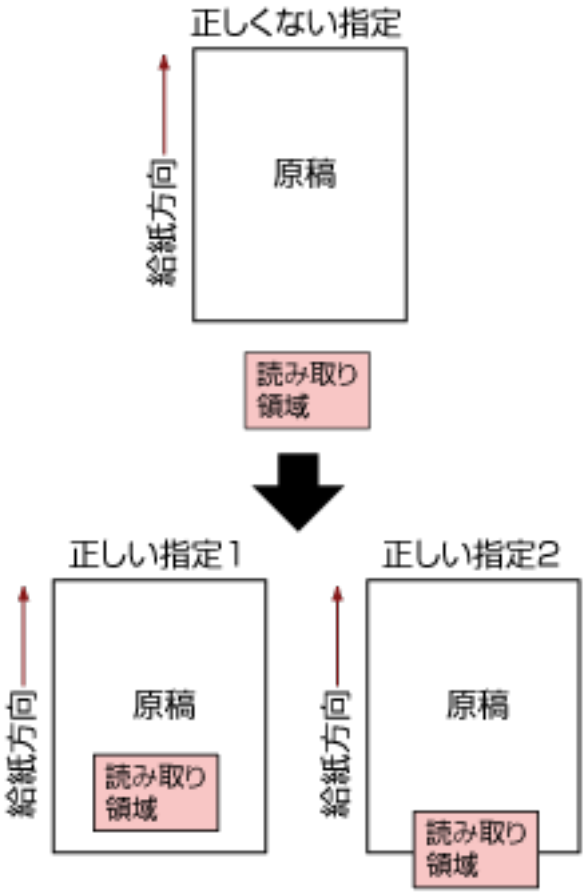
- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
U7:20	U7:20 エラー 読み取り領域指定異常 読み取り開始より前に、用紙の後ろ端が検出されました。 読み取り領域を変更して、再度読み取りを実施してください。

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
U7	読み取り領域指定異常

例：



読み取った原稿が指定された用紙サイズよりも短かったため、読み取り領域が原稿の外部になってしまった可能性があります。
この場合、次のどちらかの対処をして、再度読み取りを開始してください。

- 指定した用紙サイズの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする。
- 読み取り領域が原稿の範囲内になるように、読み取り条件を設定し直す。

重要

読み取り領域の指定方法は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによって異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

印字領域異常（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U]

インプリンタで印字開始位置の異常が発生すると、操作パネルの表示が次のようになります。

- 液晶ディスプレイの場合
  液晶ディスプレイには、エラーコード、エラー内容と対処が表示されます。

エラーコード	エラー内容と対処
U7:B9	U7:B9 エラー 印字領域異常

- ファンクションナンバーディスプレイの場合
  ファンクションナンバーディスプレイには、エラーコードのアルファベットと数字が交互に表示されます。

エラーコード	エラー内容（Error Recovery Guide の画面に表示）
U7	印字領域異常

印字領域が原稿に収まるように印字開始位置、印字文字列を調整してください。
詳細は、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

他で使用中

スキャナーがすでに使用されています。

- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないかを確認してください。
- スキャナーの接続方法が正しいかを確認してください。
- 操作パネルを操作していないかを確認してください。

スキャナーが原稿枚数カウントモードです［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］

スキャナーが原稿枚数カウントモードになっているため、読み取りが開始できません。
操作パネルの「原稿枚数カウントモード（追加）」画面で［Stop/Clear］ボタンを 3 秒以上長押しして原稿枚数カウントモードを終了してください。

原稿なし

原稿がセットされていません。
ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしてください。

緊急停止

読み取り中に、次のスキャナーのボタンを押して、読み取りが中止されました。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  ［Stop/Clear］ボタン
  読み取りを再開する前に、スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照して原稿を取り除いてから、［Stop/Clear］ボタンを押して表示をクリアしてください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ［Scan/Stop］ボタン
  読み取りを再開する前に、スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照して原稿を取り除いてください。

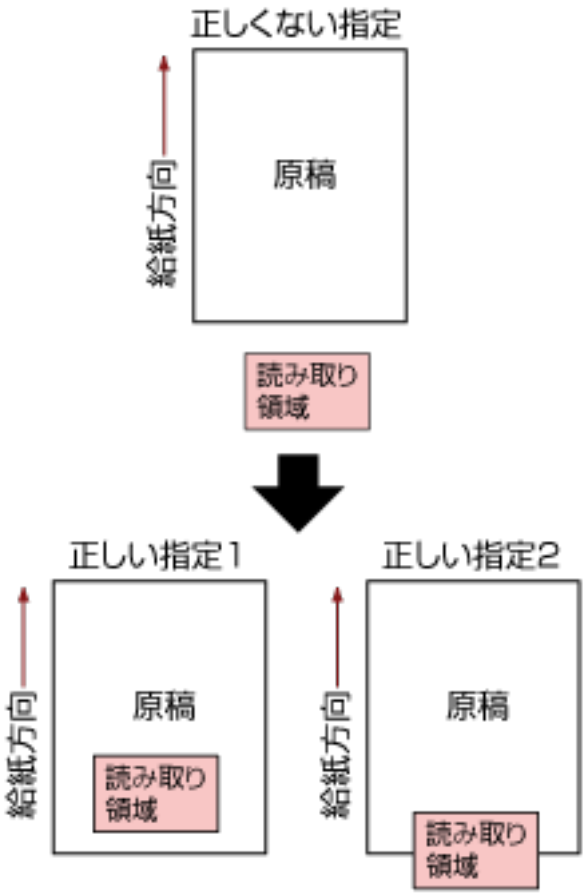
一時停止中

読み取りが一時停止されました。
読み取り中に、次のスキャナーのボタンを押すと、読み取りが一時停止されます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  ［Scan/Enter］ボタン
  読み取りを再開するには、［Scan/Enter］ボタンを押してください。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  ［Send to］ボタン
  読み取りを再開するには、［Scan/Stop］ボタンを押してください。

読み取り領域指定異常（コンピューター運用する場合）

ADF で読み取りを開始したときに、指定された領域を読み取る前に、原稿の後端が検出されると原稿づまりが発生します。
例：



読み取った原稿が指定された用紙サイズよりも短かったため、読み取り領域が原稿の外部になってしまった可能性があります。
この場合、次のどちらかの対処をして、再度読み取りを開始してください。

- 指定した用紙サイズの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする。
- 読み取り領域が原稿の範囲内になるように、読み取り条件を設定し直す。

重要

読み取り領域の指定方法は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによって異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

異常コマンド

コマンドが正常に終了できませんでした。
USB ケーブルの接続に問題がある可能性があります。

- USB ケーブルの接続を確認してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

インターフェイス異常

インターフェイス異常が発生しています。
次の対処をしてください。

- USB ケーブルを正しく接続してください。
- 新しい USB ケーブルを使用して、正しく接続してください。
- スキャナーに添付されている USB ケーブルを使用してください。
- USB ハブを 2 台以上使用している場合は、コンピューターに直接接続されている USB ハブにスキャナーを接続してください。症状が改善されない場合は、USB ハブを使わずに接続してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

ユニットアテンション

再度、読み取りしても、同じメッセージが表示される場合、スキャナーとコンピューターの電源をそれぞれ切断し、再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

トラブルと対処方法

スキャナーの使用中に発生するトラブル事例とその対処方法について説明します。
修理を依頼される前に、トラブル事例とその対処方法を確認し対処をしてください。
症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。
発生するトラブル事例を次に示します。

- **スキャナーの電源**
  - 電源が投入されない (317 ページ)
  - 液晶ディスプレイの表示、［Scan/Enter］ボタンの点灯が消える［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (318 ページ)
  - ファンクションナンバーディスプレイの表示、［Scan/Stop］ボタンの点灯が消える［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ (319 ページ)
- **スキャナーの接続**
  - スキャナーとコンピューターをネットワークで接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (320 ページ)
  - スキャナーとコンピューターを USB で接続できない (325 ページ)
  - PaperStream NX Manager 運用のスキャナーから、IP アドレスで指定したサーバーに接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (327 ページ)
  - PaperStream NX Manager 運用のスキャナーから、ホスト名で指定したサーバーに接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (331 ページ)
- **読み取り操作**
  - 読み取りが開始されない (336 ページ)
  - 原稿の読み取りに時間がかかる (338 ページ)
  - スキャナーに電源が投入されたあとで、液晶ディスプレイにエラーコード「U0:10」、「U4:40」、または「U5:4A」が表示されている［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (344 ページ)
  - スキャナーに電源が投入されたあとで、ファンクションナンバーディスプレイにエラーコード「E」またはそのほかの数字や文字が表示されている［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ (345 ページ)
  - 頻繁に原稿が重なって搬送される (346 ページ)
  - 原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる (349 ページ)
  - 原稿保護が頻繁に起こる (351 ページ)
  - 原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる (353 ページ)
- **読み取り結果**
  - 絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する (339 ページ)
  - 文字や線の読み取り結果が良くない (340 ページ)

- 画像がゆがむまたは鮮明ではない (341 ページ)
- 画像に縦線（縦筋）が出る (343 ページ)
- 画像が間延びする (355 ページ)
- 画像の先端または後端に影がある (357 ページ)
- 原稿に黒い跡が残る (358 ページ)

- **キャリアシート**
  - キャリアシートがうまく送られない/つまる (359 ページ)
  - キャリアシートで読み取ると画像が欠ける (361 ページ)

- **パスワード**
  - 工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる (362 ページ)

電源が投入されない

ここをお調べください

- 電源ケーブルが正しく接続されていますか？ (317 ページ)
- スキャナーの［Power］ボタンを押しましたか？ (317 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **電源ケーブルが正しく接続されていますか？**

対処方法

電源ケーブルを正しく接続してください。
詳細は、次を参照してください。

- スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (47 ページ)
- コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (89 ページ)

- **スキャナーの［Power］ボタンを押しましたか？**

対処方法

スキャナーの［Power］ボタンを押してください。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

液晶ディスプレイの表示、［Scan/Enter］ボタンの点灯が消える［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］

ここをお調べください

- スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？ (318 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？**

対処方法

省電力または自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっています。

- 省電力状態になっている場合
  液晶ディスプレイの表示が消え、［Scan/Enter］ボタンは緑色で点滅します。
  次のどれかを行って、省電力状態から復帰してください。
  - ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
  - スキャナーのボタン（［Power］ボタン以外）を押す。
  - スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る。

  詳細は、省電力モードへの移行と復帰 (108 ページ)を参照してください。
- 自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっている場合
  液晶ディスプレイの表示および［Scan/Enter］ボタンの点灯が消えています。
  スキャナーの電源を投入してください。
  詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

ファンクションナンバーディスプレイの表示、［Scan/Stop］ボタンの点灯が消える［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］

ここをお調べください

- スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？ (318 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？**

対処方法

省電力または自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっています。

- 省電力状態になっている場合
  ファンクションナンバーディスプレイの表示が消え、［Scan/Stop］ボタンは緑色で点滅します。
  次のどれかを行って、省電力状態から復帰してください。
  - ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
  - スキャナーのボタン（［Power］ボタン以外）を押す。
  - スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る。

  詳細は、省電力モードへの移行と復帰 (108 ページ)を参照してください。
- 自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっている場合
  ファンクションナンバーディスプレイの表示および［Scan/Stop］ボタンの点灯が消えています。
  スキャナーの電源を投入してください。
  詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

スキャナーとコンピューターをネットワークで接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

ここをお調べください

- スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？ (320 ページ)
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？ (321 ページ)
- ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？ (321 ページ)
- コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？ (321 ページ)
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？ (321 ページ)
- ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？ (322 ページ)
- ネットワークの状態は安定していますか？ (322 ページ)
- スキャナー選択ツールでスキャナーを選択していますか？ (322 ページ)
- スキャナーとコンピューターの通信状態は安定していますか？ (322 ページ)
- スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？ (323 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (323 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (324 ページ)
- スキャナードライバーは最新になっていますか？ (324 ページ)
- 画像読み取り用アプリケーションで選択しているスキャナー名は正しいですか？ (324 ページ)
- Software Operation Panel で「ネットワーク機能」を無効にしていませんか？ (324 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？**

対処方法

スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）は LAN ケーブルで接続してください。また、LAN ケーブルを正しく接続してください。
LAN ケーブルが正しく接続されている場合は、次の対処をしてください。

- LAN ケーブルを交換する。
- ネットワーク機器に接続している LAN ケーブルの接続先ポートを変更する。
- ネットワーク機器の伝送方法を「全二重」または「半二重」に変更する。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？**

  対処方法

  ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源を入れてください。
  また、ネットワーク機器に異常や故障が発生していないかを確認してください。
  ネットワーク機器の異常については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？**

  対処方法

  ネットワーク機器のファームウェアバージョンが古い場合、予期しない動作をする場合があります。
  ネットワーク管理者に確認のうえ、最新バージョンへアップデートすることを検討してください。
  ネットワーク機器のファームウェアのアップデートについては、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？**

  対処方法

  コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続してください。
  詳細は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？**

  対処方法

  ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

  - プロトコルフィルター機能を設定している。
    通信で使用するプロトコルを許可してください。
  - MAC アドレスフィルタリングを設定している。
    スキャナーの MAC アドレスをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に設定してください。
    スキャナーの MAC アドレスは、次のようにして確認できます。
    - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
      次のどちらかの方法で、スキャナーの MAC アドレスを確認できます。
      - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの MAC アドレスを確認できます。
        詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの MAC アドレスを確認できます。
        詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
        IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
        - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)

- IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）(103 ページ)

- fi-8150/fi-8250 の場合
  IP アドレス設定ツールで、スキャナーの MAC アドレスを確認できます。
  詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
  IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合）(74 ページ)
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）(103 ページ)

ネットワーク機器の設定方法については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？**

  対処方法

  ネットワークにユーザーのアクセス制限が設定されている場合があります。
  詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **ネットワークの状態は安定していますか？**

  対処方法

  ネットワークが安定してから接続してください。
  ネットワークが不安定になる原因には、次のような事象が考えられます。
  - ネットワークモニタープログラムが動作している。
  - ファイル転送が行われている。

  ネットワークが不安定な場合は、ほかの通信への影響がないことを確認してから、ネットワーク機器を再起動してください。ネットワーク機器の動作が不安定になっている場合があります。

- **スキャナー選択ツールでスキャナーを選択していますか？**

  対処方法

  スキャナー選択ツールを起動して、コンピューターと接続するスキャナーが一覧に表示されているかを確認します。
  スキャナー選択ツールの起動方法は、次を参照してください。
  - スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool の場合）(73 ページ)
  - スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合）(102 ページ)

- **スキャナーとコンピューターの通信状態は安定していますか？**

  対処方法

  スキャナーとコンピューターの通信状態を確認してください。
  コンピューターでコマンド プロンプトを起動し、ping コマンドでスキャナーの IP アドレスを指定して通信状態を確認してください。
  スキャナーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合

次のどちらかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
- IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
  IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)

- fi-8150/fi-8250 の場合
  IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
  IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)

- **スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？**

  対処方法

  スキャナーが一度に接続できるコンピューターは 1 台です。ほかのコンピューターからの接続が切断されるのを待ってから、再度接続してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

  対処方法

  スキャナーの IP アドレスを確認してください。
  スキャナーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。

- IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)

- IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)

IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

  対処方法

  同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。
  IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **スキャナードライバーは最新になっていますか？**

  対処方法

  最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

- **画像読み取り用アプリケーションで選択しているスキャナー名は正しいですか？**

  対処方法

  画像読み取り用アプリケーションで、有線 LAN 接続用のスキャナー名を選択していることを確認してください。
  使用するスキャナードライバーによって、選択するスキャナー名が次のように異なります。

  - PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (TWAIN x64)の場合
    PaperStream IP xxx Net
  - PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series の場合
    PaperStream_IP xxx Net

  「xxx」には、スキャナーの機種名が表示されます。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- **Software Operation Panel で「ネットワーク機能」を無効にしていませんか？**

  対処方法

  Software Operation Panel で「ネットワーク機能」を有効にしてください。

スキャナーとコンピューターを USB で接続できない

ここをお調べください

- USB ケーブルは正しく接続されていますか？ (325 ページ)
- USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？ (325 ページ)
- スキャナードライバーは最新になっていますか？ (325 ページ)
- 画像読み取り用アプリケーションで選択しているスキャナー名は正しいですか？ (325 ページ)
- スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？ (326 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **USB ケーブルは正しく接続されていますか？**

  対処方法

  添付の USB ケーブルを使用してください。
  スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。
  詳細は、次を参照してください。

  - スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (47 ページ)
  - コンピューター運用するときにスキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する (89 ページ)

- **USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？**

  対処方法

  新しい USB ケーブルを使用して、正しく接続してください。

- **スキャナードライバーは最新になっていますか？**

  対処方法

  最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

- **画像読み取り用アプリケーションで選択しているスキャナー名は正しいですか？**

  対処方法

  画像読み取り用アプリケーションで、USB 接続用のスキャナー名を選択していることを確認してください。
  使用するスキャナードライバーによって、選択するスキャナー名が次のように異なります。

  - PaperStream IP (TWAIN)/PaperStream IP (TWAIN x64)の場合
    PaperStream IP xxx
  - PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series の場合
    PaperStream_IP xxx

「xxx」には、スキャナーの機種名が表示されます。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- **スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？**

  対処方法

  スキャナーの USB の設定に「自動」を設定している場合、一部のコンピューターでスキャナーが接続できないことがあります。
  USB の設定を USB 2.0 で動作するように設定してください。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    操作パネルの「メニュー選択」画面の「25:USB」で、「2:USB 2.0」に設定してください。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    Software Operation Panel で、「USB」を「USB 2.0」に設定してください。
    詳細は、USB 動作の設定（USB）［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］ (421 ページ)を参照してください。

PaperStream NX Manager 運用のスキャナーから、IP アドレスで指定したサーバーに接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

ここをお調べください

- サーバーの IP アドレスは正しいですか？ (327 ページ)
- スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？ (327 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (328 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (329 ページ)
- 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ (329 ページ)
- スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？ (329 ページ)
- fi Series ネットワーク設定の「サーバー連携」の設定は正しいですか？ (329 ページ)
- サーバー側の設定は正しいですか？ (329 ページ)
- スキャナーとサーバーで「通信の暗号化」の設定が同じですか？ (330 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **サーバーの IP アドレスは正しいですか？**

対処方法

サーバーの IP アドレスが正しいか確認してください。
サーバーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、サーバーの IP アドレスを確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、サーバーの IP アドレスを確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - fi Series ネットワーク設定で、サーバーの IP アドレスを確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250 の場合
  fi Series ネットワーク設定で、サーバーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- **スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？**

対処方法

スキャナーとコンピューターをネットワークで接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (320 ページ)を参照して対処してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

  対処方法

  スキャナーの IP アドレスを確認してください。
  スキャナーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどれかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    次のどちらかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

  IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
  IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
  DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

  対処方法

  同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？**

  対処方法

  過去にスキャナーと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、サーバーの電源を切断しないままスキャナーへ接続し、環境設定を変更した場合は正しく通信できません。サーバーを再起動してください。

- **スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？**

  対処方法

  ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- **fi Series ネットワーク設定の「サーバー連携」の設定は正しいですか？**

  対処方法

  サーバー連携の設定について、次の設定項目を確認してください

  - サーバーの設定が有効になっているか。
  - 「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」が正しいか。
  - プロキシサーバーの「ユーザー認証を使用する」の情報は正しいか。

  サーバー連携の設定は、次のようにして確認できます。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、サーバー連携の設定を確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、サーバー連携の設定を確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - fi Series ネットワーク設定で、サーバー連携の設定を確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    fi Series ネットワーク設定で、サーバー連携の設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- **サーバー側の設定は正しいですか？**

  対処方法

  使用しているサーバーのマニュアルを参照して、設定内容を確認してください。

- **スキャナーとサーバーで「通信の暗号化」の設定が同じですか？**

対処方法

スキャナーの「通信の暗号化」の設定が、PaperStream NX Manager および Scanner Central Admin Server の設定と同じかを確認してください。
スキャナーの「通信の暗号化」の設定は、次のようにして確認できます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどれかの方法で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
    IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250 の場合
  次のどちらかの方法で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
  - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
    IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

PaperStream NX Manager および Scanner Central Admin Server の設定は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドおよび Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

PaperStream NX Manager 運用のスキャナーから、ホスト名で指定したサーバーに接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

ここをお調べください

- サーバーのホスト名は正しいですか？ (331 ページ)
- DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？ (332 ページ)
- DNS サーバーが正常に動作していますか？ (332 ページ)
- スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？ (333 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (333 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (334 ページ)
- 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ (334 ページ)
- スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？ (334 ページ)
- fi Series ネットワーク設定の「サーバー連携」の設定は正しいですか？ (334 ページ)
- サーバー側の設定は正しいですか？ (335 ページ)
- スキャナーとサーバーで「通信の暗号化」の設定が同じですか？ (335 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **サーバーのホスト名は正しいですか？**

対処方法

サーバーのホスト名が正しいか確認してください。
サーバーのホスト名は、次のようにして確認できます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、サーバーのホスト名を確認できます。
  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、サーバーのホスト名を確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - fi Series ネットワーク設定で、サーバーのホスト名を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。
- fi-8150/fi-8250 の場合
  fi Series ネットワーク設定で、サーバーのホスト名を確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

- **DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？**

  対処方法

  スキャナーの DNS サーバーの設定について、次の設定項目を確認してください。

  • DNS サーバーの設定が有効になっているか。

  • プライマリー DNS およびセカンダリー DNS の設定が正しいか。

  スキャナーの DNS サーバーの設定は、次のようにして確認できます。

  • fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認できます。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認できます。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

  • fi-8150/fi-8250 の場合
  fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- **DNS サーバーが正常に動作していますか？**

  対処方法

  DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
  コンピューターでコマンド プロンプトを起動し、ping コマンドで DNS サーバーの IP アドレスを指定して動作しているかを確認してください。
  DNS サーバーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。

  • fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、DNS サーバーの IP アドレスを確認できます。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、DNS サーバーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

  - fi Series ネットワーク設定で、DNS サーバーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

  • fi-8150/fi-8250 の場合
  fi Series ネットワーク設定で、DNS サーバーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- **スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？**

  対処方法

  スキャナーとコンピューターをネットワークで接続できない［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (320 ページ)を参照して対処してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

  対処方法

  スキャナーの IP アドレスを確認してください。
  スキャナーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどれかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    次のどちらかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。

  IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
  IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

  対処方法

  同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？**

  対処方法

  過去にスキャナーと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、サーバーの電源を切断しないままスキャナーへ接続し、環境設定を変更した場合は正しく通信できません。サーバーを再起動してください。

- **スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？**

  対処方法

  ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- **fi Series ネットワーク設定の「サーバー連携」の設定は正しいですか？**

  対処方法

  サーバー連携の設定について、次の設定項目を確認してください

  - サーバーの設定が有効になっているか。
  - 「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」が正しいか。
  - プロキシサーバーの「ユーザー認証を使用する」の情報は正しいか。

  サーバー連携の設定は、次のようにして確認できます。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、サーバー連携の設定を確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、サーバー連携の設定を確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - fi Series ネットワーク設定で、サーバー連携の設定を確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    fi Series ネットワーク設定で、サーバー連携の設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- **サーバー側の設定は正しいですか？**

  対処方法

  使用しているサーバーのマニュアルを参照して、設定内容を確認してください。

- **スキャナーとサーバーで「通信の暗号化」の設定が同じですか？**

  対処方法

  スキャナーの「通信の暗号化」の設定が、PaperStream NX Manager および Scanner Central Admin Server の設定と同じかを確認してください。
  スキャナーの「通信の暗号化」の設定は、次のようにして確認できます。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどれかの方法で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250 の場合
    次のどちらかの方法で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
    - IP アドレス設定ツールで、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
      詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
      IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
      - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーの「通信の暗号化」の設定を確認できます。
      詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

  PaperStream NX Manager および Scanner Central Admin Server の設定は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドおよび Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

読み取りが開始されない

ここをお調べください

- 輸送ロックスイッチを解除しましたか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (336 ページ)
- スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？ (336 ページ)
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？ (336 ページ)
- ADF は完全に閉じていますか？ (336 ページ)
- スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？ (336 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **輸送ロックスイッチを解除しましたか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］**

対処方法

スキャナーの電源を切断し、輸送ロックスイッチを解除してください。
スキャナーの電源の切断方法については、電源の投入/切断 (105 ページ)を参照してください。
輸送ロックスイッチの解除方法については、輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (307 ページ)を参照してください。

- **スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？**

対処方法

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定してください。
詳細は、スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (130 ページ)を参照してください。

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？**

対処方法

原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットし直してください。

- **ADF は完全に閉じていますか？**

対処方法

ADF をしっかり閉じてください。
ADF に原稿がはさまっている場合は、原稿を取り除き、ADF を閉じてください。

- **スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？**

対処方法

- 有線 LAN の場合
  スキャナーがネットワークに接続していることを確認してください。
  - スキャナー選択ツールで、使用するスキャナーが選択されていることを確認してください。

スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。

- スキャナー選択ツールの画面に使用するスキャナーが表示されない場合は、スキャナーのネットワークの設定を確認してください。
  スキャナーのネットワークの設定は、次のようにして確認できます。

  ● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどれかの方法で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。

  - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
  - IP アドレス設定ツールで、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
    IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

  ● fi-8150/fi-8250 の場合
  次のどちらかの方法で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。

  - IP アドレス設定ツールで、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
    IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
    - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
  - fi Series ネットワーク設定で、スキャナーのネットワークの設定を確認できます。
    詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (428 ページ)を参照してください。

- スキャナー選択ツールで、使用するスキャナーが選択されていても接続できない場合は、スキャナーとコンピューターをネットワークで接続できない [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250] (320 ページ)を参照してください。

● USB の場合
スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。
それでも接続できない場合は、スキャナーとコンピューターを USB で接続できない (325 ページ)を参照してください。

原稿の読み取りに時間がかかる

ここをお調べください

- USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？ (338 ページ)
- コンピューター起動直後やログオン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？ (338 ページ)
- 各ローラーはきれいですか？ (338 ページ)
- コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？ (338 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？**

  対処方法

  USB 接続の場合、USB ケーブルを USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/USB2.0 の USB ポートに接続してください。

- **コンピューター起動直後やログオン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？**

  対処方法

  コンピューターの起動直後やログオン直後は、しばらく待ってから原稿の読み取りを開始してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  各ローラーを清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？**

  対処方法

  スキャナー基本仕様 (448 ページ)に記載している測定環境の CPU やメモリー容量の条件を満たしていない場合は、条件を満たしているコンピューターでのご利用をお試しください。

絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する

ここをお調べください

- スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取っていますか？ (339 ページ)
- スキャナードライバーで、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？ (339 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (339 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取っていますか？**

対処方法

スキャナードライバーで、二値化（白黒化）しない設定にして読み取ってください。
絵や写真を二値白黒で読み取ると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。

- **スキャナードライバーで、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？**

対処方法

網点印刷された原稿を読み取った場合、画像に周期的なノイズ（モアレ）が発生することがあります。
スキャナードライバーで、読み取り解像度の設定を高くしてください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

文字や線の読み取り結果が良くない

ここをお調べください

- フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (340 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (340 ページ)
- 解像度は適切ですか？ (340 ページ)
- スキャナードライバーで、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？ (340 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (340 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **解像度は適切ですか？**

  対処方法

  スキャナードライバーで、読み取り解像度の設定を高くしてください。

- **スキャナードライバーで、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？**

  対処方法

  スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取ってください。
  グレースケールまたはカラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

  対処方法

  原稿に付着している異物を取り除いてください。
  原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスまたはフラットベッドの原稿台［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］に異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

画像がゆがむまたは鮮明ではない

ここをお調べください

- フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (341 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (341 ページ)
- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？ (341 ページ)
- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？ (341 ページ)
- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？ (341 ページ)
- 原稿にしわ/カールはありますか？ (342 ページ)
- 冊子を読み取りましたか？ (342 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？**

  対処方法

  ADF の上部を押さえつけたり、上に重いものを置いたりしないでください。

- **不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？**

  対処方法

  安定した場所、振動がない場所で読み取ってください。

- **スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？**

  対処方法

  スキャナーを水平で平らな面に置いてください。

または、ゴム足を取り付けてください。

- **原稿にしわ/カールはありますか？**

  対処方法

  原稿のしわ/カールをのばしてください。

- **冊子を読み取りましたか？**

  対処方法

  冊子を読み取るときは、見開きにしたときにページ数が多い方を下にし、見開きにしたページ（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。異なる向きで読み取ると、原稿が傷ついたり、画像が縦方向に間延びしたりする場合があります。
  冊子は、まっすぐになるようにしっかり開いて、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。しっかり開いていないと、搬送できない場合があります。
  冊子をそのまま読み取った場合に画像がゆがむときは、冊子キャリアシートにはさんで読み取ってください。

画像に縦線（縦筋）が出る

ここをお調べください

- フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (343 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (343 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (343 ページ)
- スキャナードライバーで、「縦筋軽減」を有効にして読み取っていますか？ (343 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **フラットベッドで読み取った場合、原稿押さえパッドおよび原稿台はきれいですか？［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

  対処方法

  原稿に付着している異物を取り除いてください。
  原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスまたはフラットベッドの原稿台［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］に異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

- **スキャナードライバーで、「縦筋軽減」を有効にして読み取っていますか？**

  対処方法

  スキャナードライバーで、「縦筋軽減」を有効にして読み取ってください。

スキャナーに電源が投入されたあとで、液晶ディスプレイにエラーコード「U0:10」、「U4:40」、または「U5:4A」が表示されている [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]

ここをお調べください

- 輸送ロックスイッチを解除しましたか？［fi-8290/fi-8270］ (344 ページ)
- ADF はしっかりと閉じられていますか？ (344 ページ)
- 印字部（インプリンタカバー）はしっかりと閉じられていますか？（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170］ (344 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **輸送ロックスイッチを解除しましたか？［fi-8290/fi-8270］**

対処方法

スキャナーの電源を切断し、輸送ロックスイッチを解除してください。
スキャナーの電源の切断方法については、電源の投入/切断 (105 ページ)を参照してください。
輸送ロックスイッチの解除方法については、輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (307 ページ)を参照してください。

- **ADF はしっかりと閉じられていますか？**

対処方法

ADF をしっかりと閉じてください。
詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

- **印字部（インプリンタカバー）はしっかりと閉じられていますか？（インプリンタ搭載時）[fi-8190/fi-8170]**

対処方法

印字部（インプリンタカバー）をしっかりと閉じてください。
詳細は、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

スキャナーに電源が投入されたあとで、ファンクションナンバーディスプレイにエラーコード「E」またはそのほかの数字や文字が表示されている［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］

ここをお調べください

- 輸送ロックスイッチを解除しましたか？［fi-8250/fi-8250U］ (345 ページ)
- ADF はしっかりと閉じられていますか？ (345 ページ)
- 印字部（インプリンタカバー）はしっかりと閉じられていますか？（インプリンタ搭載時）［fi-8150/fi-8150U］ (345 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **輸送ロックスイッチを解除しましたか？［fi-8250/fi-8250U］**

対処方法

スキャナーの電源を切断し、輸送ロックスイッチを解除してください。
スキャナーの電源の切断方法については、電源の投入/切断 (105 ページ)を参照してください。
輸送ロックスイッチの解除方法については、輸送ロック［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］ (307 ページ)を参照してください。

- **ADF はしっかりと閉じられていますか？**

対処方法

ADF をしっかりと閉じてください。
詳細は、ADF の閉じ方 (111 ページ)を参照してください。

- **印字部（インプリンタカバー）はしっかりと閉じられていますか？（インプリンタ搭載時）［fi-8150/fi-8150U］**

対処方法

印字部（インプリンタカバー）をしっかりと閉じてください。
詳細は、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。

頻繁に原稿が重なって搬送される

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (346 ページ)
- キャリアシートを使用していますか？ (346 ページ)
- 原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？ (346 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (347 ページ)
- 原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？ (347 ページ)
- 原稿の束の高さは 10mm 未満ですか？ (347 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (347 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (347 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (347 ページ)
- 標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？ (348 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

- **キャリアシートを使用していますか？**

対処方法

スキャナードライバーで、キャリアシート用の読み取り設定にしてください。
詳細は、次を参照してください。

- A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき (224 ページ)
- 写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき (227 ページ)
- パスポートなどの冊子を保護して読み取りたいとき (229 ページ)

- **原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？**

対処方法

原稿によっては、原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
詳細は、原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件 (157 ページ)を参照してください。
必要に応じて原稿の重なりを検出する範囲を指定してください。

詳細は、原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） (409 ページ)を参照してください。

- **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

  対処方法

  原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。
  詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 (143 ページ)を参照してください。

- **原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？**

  対処方法

  3、4 回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。
  詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 (143 ページ)を参照してください。

- **原稿の束の高さは 10mm 未満ですか？**

  対処方法

  原稿は 10mm の高さまでセットできます。原稿の束の高さが 10mm 未満になるように、原稿の分量を減らしてください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。
  詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。

- Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
  詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
  詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、「高地モード」を有効にしてください。
詳細は、高地で読み取る機能の設定（高地モード） (403 ページ)を参照してください。
なお、標高 2,000m 未満の平地で、「高地モード」を有効に設定してスキャナーを使用すると、原稿の重なりが検出されないことがあります。

原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (349 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (349 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (349 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (349 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (349 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

- **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

対処方法

原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。
詳細は、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする原稿の準備 (143 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
- Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
  詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

原稿保護が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (351 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (351 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (351 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (351 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (351 ページ)
- 原稿を保護する機能の検知レベルを高く設定していますか？ (352 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

対処方法

ADF を清掃してください。
または、ADF から異物を取り除いてください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合

次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
- Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
  詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

● **原稿を保護する機能の検知レベルを高く設定していますか？**

対処方法

原稿を保護する機能の検知レベルを低く設定してください。

● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
次のどちらかの方法で、原稿を保護する機能の検知レベルを低く設定してください。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:ペーパープロテクション設定」で、「原稿の傾き感度」を「1:通常」、「原稿のつまり音感度」を「1:低い」に設定してください。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
- Software Operation Panel で、「原稿の傾きを検知」を「通常」、「原稿のつまり音を検知」を「低」に設定してください。
  詳細は、原稿を保護する機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル） (400 ページ)を参照してください。

● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
Software Operation Panel で、「原稿の傾きを検知」を「通常」に設定してください。
詳細は、原稿を保護する機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル） (400 ページ)を参照してください。

原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (353 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (353 ページ)
- ADF 内部に原稿が残っていますか？ (353 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (353 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (353 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (354 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

対処方法

ADF を清掃してください。
または、ADF から異物を取り除いてください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部に原稿が残っていますか？**

対処方法

ADF から原稿を取り除いてください。
詳細は、原稿づまりが発生したときは (280 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
  詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

画像が間延びする

ここをお調べください

- 各ローラーはきれいですか？ (355 ページ)
- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (355 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (355 ページ)
- 読み取り倍率を調整しましたか？ (356 ページ)
- 冊子を読み取りましたか？ (356 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  各ローラーを清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

  対処方法

  条件を満たしている原稿を使用してください。
  詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
  詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **読み取り倍率を調整しましたか？**

  対処方法

  Software Operation Panel で、搬送方向の読み取り倍率を調整してください。
  詳細は、読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） (388 ページ)を参照してください。

- **冊子を読み取りましたか？**

  対処方法

  冊子を読み取るときは、見開きにしたときにページ数が多い方を下にし、見開きにしたページ（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。異なる向きで読み取ると、原稿が傷ついたり、画像が縦方向に間延びしたりする場合があります。
  冊子は、まっすぐになるようにしっかり開いて、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。しっかり開いていないと、搬送できない場合があります。
  冊子をそのまま読み取った場合に画像がゆがむときは、冊子キャリアシートにはさんで読み取ってください。

画像の先端または後端に影がある

ここをお調べください

- オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？ (357 ページ)
- 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？ (357 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？**

対処方法

Software Operation Panel で、副走査方向のオフセットを調整してください。
詳細は、読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） (388 ページ)を参照してください。

- **縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？**

対処方法

次のどちらかの方法で、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。

- Software Operation Panel で、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。
  詳細は、画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF）・縁消し（FB）[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]） (390 ページ)を参照してください。
- スキャナードライバーで、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

原稿に黒い跡が残る

ここをお調べください

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？ (358 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (358 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？**

対処方法

鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、こまめに各ローラーを清掃してください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。
詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

キャリアシートがうまく送られない/つまる

ここをお調べください

- キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？ (359 ページ)
- キャリアシートはきれいですか？ (359 ページ)
- ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？ (359 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (360 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (360 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (360 ページ)
- 厚みのある原稿を A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートにはさんでいますか？ (360 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？**

対処方法

PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、キャリアシートを読み取ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。

- **キャリアシートはきれいですか？**

対処方法

次のどちらかを行って、対処してください。

- キャリアシートを清掃してください。
  詳細は、キャリアシートの清掃 (265 ページ)を参照してください。
- 新しいキャリアシートに交換してください。
  キャリアシートの購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (469 ページ)にお問い合わせください。

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？**

対処方法

ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。
詳細は、次を参照してください。

- A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき (224 ページ)
- 写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき (227 ページ)
- パスポートなどの冊子を保護して読み取りたいとき (229 ページ)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

  対処方法

  よごれている箇所を清掃してください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

  対処方法

  ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。

  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    次のどちらかの方法で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    - 操作パネルの「メニュー選択」画面の「5:枚数カウンタ表示/クリア」で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
    - Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
      詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    Software Operation Panel で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認してください。
    詳細は、枚数カウンタの確認 (382 ページ)を参照してください。

  必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
  詳細は、ブレーキローラの交換 (268 ページ)およびピックローラの交換 (272 ページ)を参照してください。

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

  対処方法

  ADF を清掃してください。
  または、ADF から異物を取り除いてください。
  詳細は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

- **厚みのある原稿を A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートにはさんでいますか？**

  対処方法

  厚みのある原稿を A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートにはさんで読み取れません。
  条件を満たしている原稿を使用してください。
  冊子のような厚みのある原稿は、冊子キャリアシートにはさんで読み取ってください。
  キャリアシートを使用する場合の条件は、次を参照してください。

  - A3 キャリアシートを使用する場合の条件 (164 ページ)
  - 写真キャリアシートを使用する場合の条件 (167 ページ)
  - 冊子キャリアシートを使用する場合の条件 (169 ページ)

キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

ここをお調べください

- キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？ (361 ページ)
- 原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？ (361 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？**

対処方法

キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を 1 枚ずつはさんで読み取ってください。

- **原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？**

対処方法

2 つ折りにした原稿の折り曲げ部分が A3 キャリアシートからはみ出ていると、原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。
A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてはさんでください。

工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる

ここをお調べください

- 入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？ (362 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

- **入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？**

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。

お問い合わせの前に

当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)）に連絡する前に、行うことや確認する項目について説明します。

お問い合わせの前に行うこと

スキャナーの使用中になんらかのエラーやトラブルが発生したときは、お問い合わせの前に、次の対処をしてください。

- 電源不足がないか確認してください。延長ケーブルは使用しないでください。
- 添付の AC ケーブルおよび AC アダプターを使用してください。
- 日常のお手入れ (249 ページ)を参照して、スキャナー内部を清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に確認すること (363 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)に連絡してください。

お問い合わせの前に確認すること

- **概要**

調べる項目	調査結果
スキャナー名	例：fi-8190 詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
シリアル番号	例：XXXX000001 詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
製造年月	例：20XX-01（20XX 年 01 月） 詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：fi-819PRB 詳細は、スキャナーのオプション (456 ページ)を参照してください。

- **エラーの状況**

コンピューター接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェイスの種類	例：USB インターフェイス
インターフェイスコントローラーの種類	例：LAN ボード使用
接続形態	例：USB、有線 LAN

搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
操作パネルの状況	

画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナードライバーの種類と版数	
インターフェイスコントローラーの種類	例：LAN ボード使用
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
アプリケーションの種類	例：PaperStream ClickScan
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

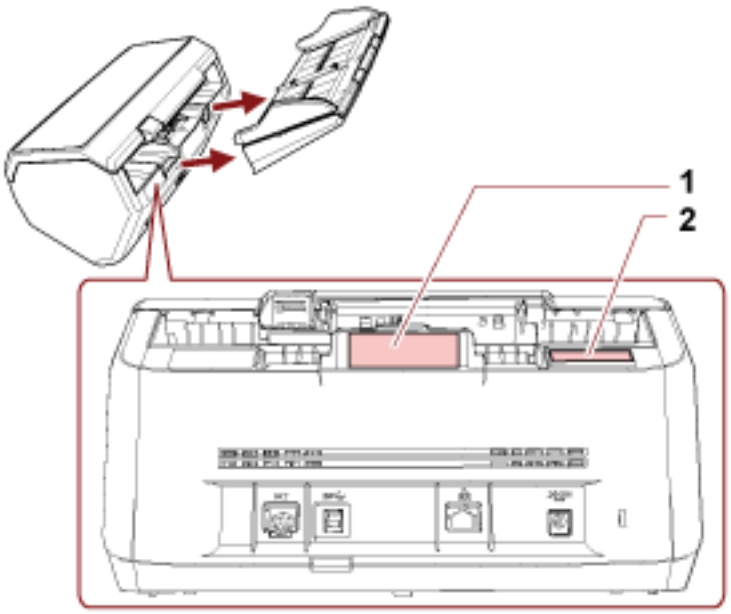
そのほか

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方を E-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

装置ラベルの確認

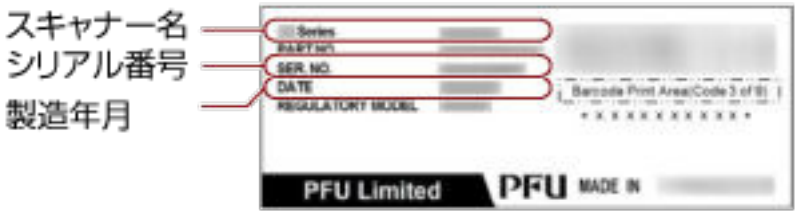
ラベルの確認方法について説明します。

ラベルは、次の図に示す場所に貼付されています。
ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、確認してください。



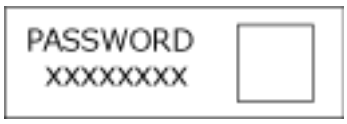
1 のラベル 例

スキャナーの情報を示しています。



2 のラベル 例

工場出荷設定の管理者パスワードを示しています。xxxxxxxx 部分（8 桁の数字）がパスワードです。



ラベルがない場合、工場出荷設定の管理者パスワードは「password」です。

スキャナー設定（Software Operation Panel）

ここでは、Software Operation Panel を使ったスキャナーの設定方法について説明します。
Software Operation Panel を利用すると、スキャナーの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel は、次の手順で起動します。

重要

- 読み取り中に Software Operation Panel を起動しないでください。
- スキャナードライバーの画面を表示しているときに、Software Operation Panel の設定を変更した場合、変更した設定がすぐに反映されない場合があります。その場合は、スキャナードライバーの画面を開き直してください。
- Software Operation Panel の起動中は、操作パネルを操作しないでください。
- PaperStream NX Manager 運用の場合、Software Operation Panel は起動できません。

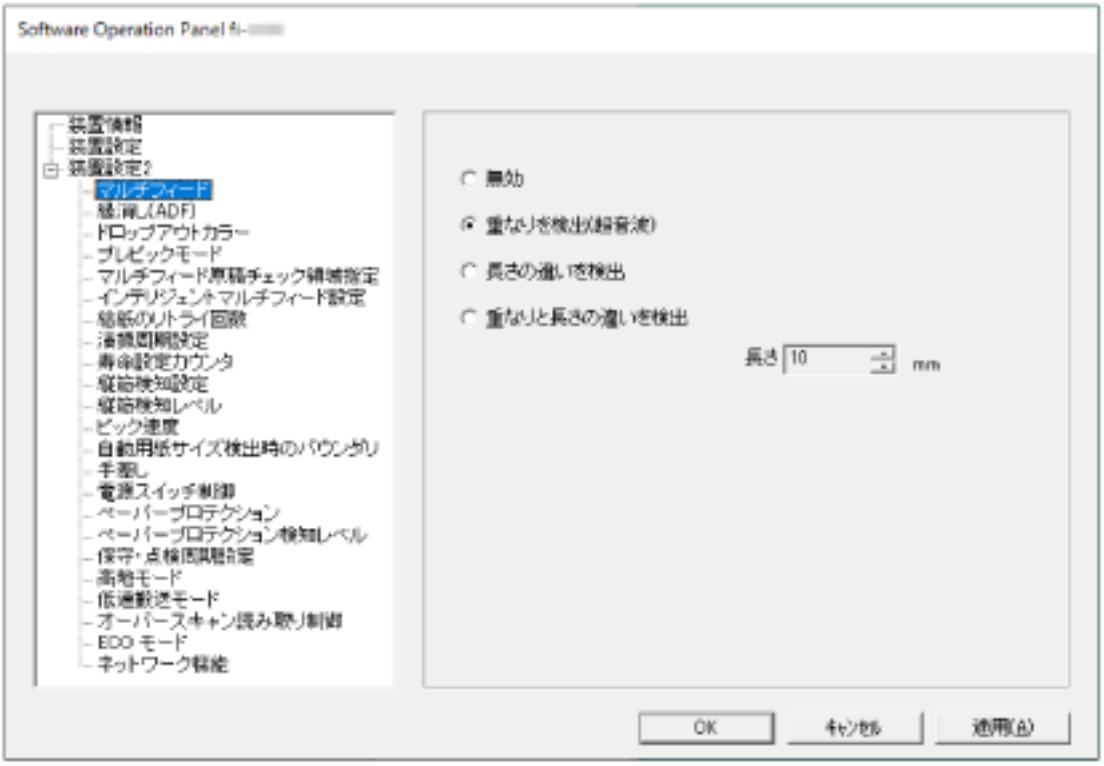
1 コンピューターにスキャナーが接続されていることを確認します。

- USB 接続の場合
  スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
  スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。
  - ネットワーク (434 ページ)
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
    IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)
    DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。
  - スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (73 ページ)
    スキャナー選択ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (102 ページ)

2 「Software Operation Panel」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。



画面右下の通知領域にあるをクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。
通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、アイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



重要

fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合、次のことに注意してください。

- スキャナーを有線 LAN で接続しているときに、スキャナーのセットアップ時またはスキャナー選択ツールでスキャナーを選択していない場合は、メッセージ画面が表示されます。
  メッセージ画面の指示に従って対処してください。
- 装置選択画面が表示された場合は、Software Operation Panel を起動したい装置を選択してください。

Software Operation Panel の閲覧モード設定

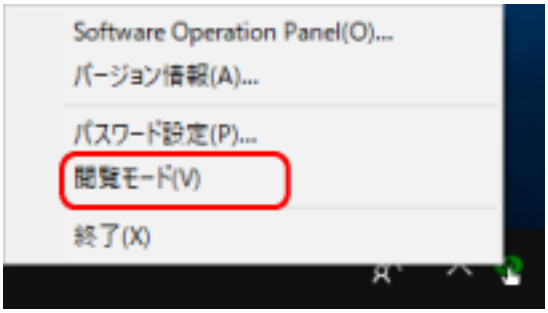
Software Operation Panel にパスワードを設定すると、スキャナーの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。
パスワードを設定していない状態では、スキャナーの設定が可能なモードとして起動します。
パスワードを設定して操作を制限すると、不用意な設定変更を防止できます。

「閲覧モード」の設定

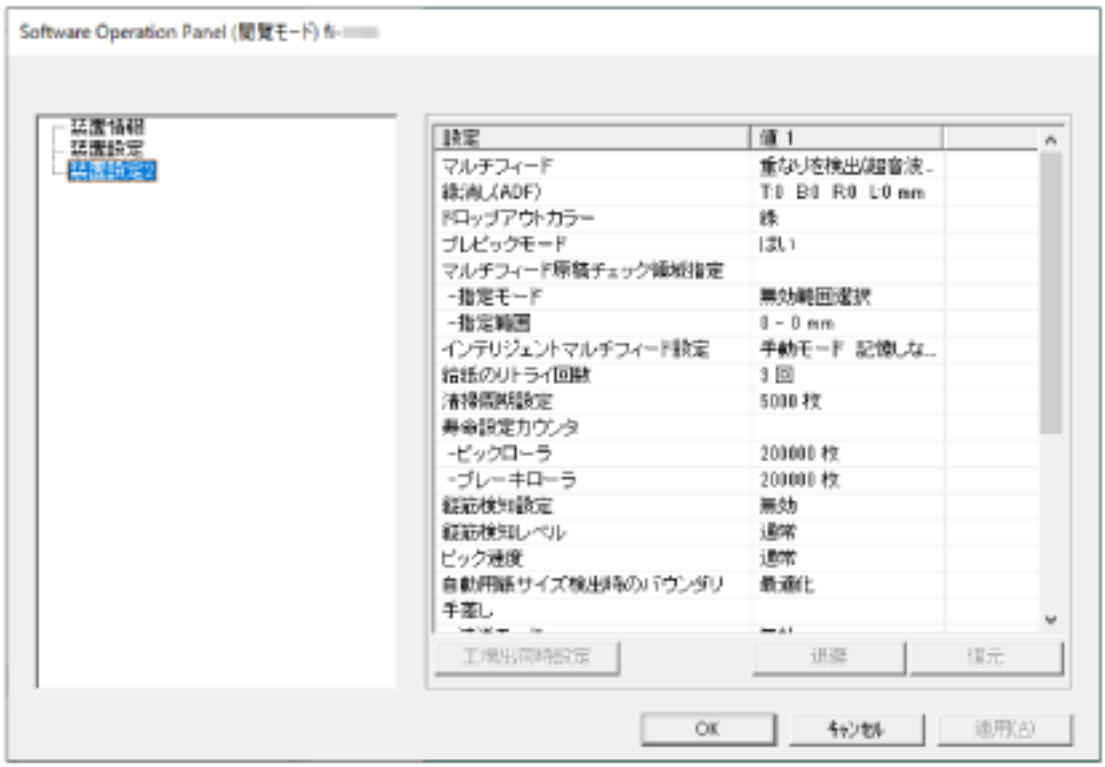
Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

1 **パスワードを設定します。**
詳細は、パスワードの設定 (373 ページ)を参照してください。

2 **画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。**



Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側にチェックマークが表示されます。



「閲覧モード」の設定解除

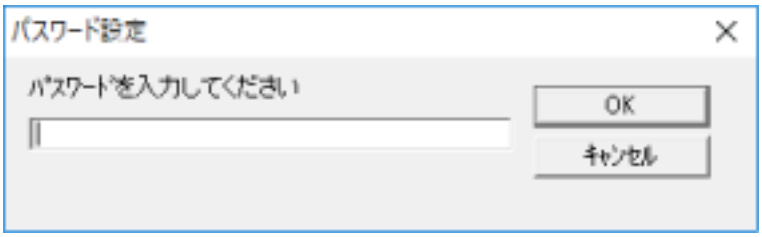
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

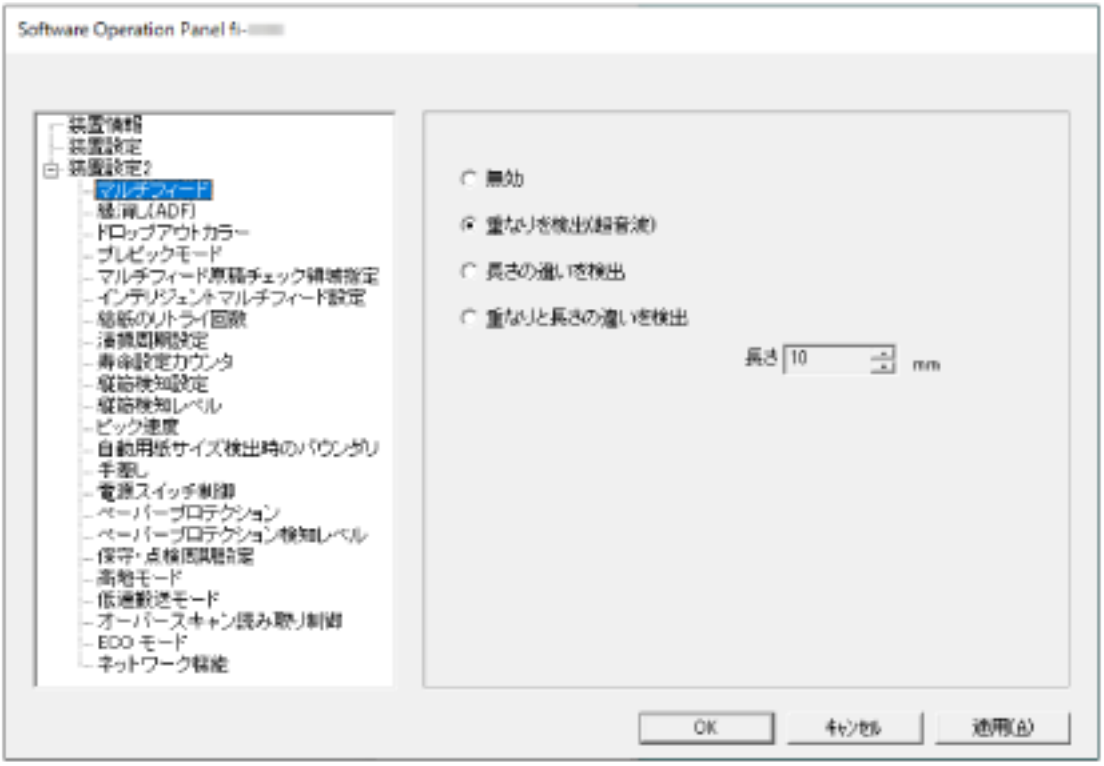


「パスワード設定」画面が表示されます。

2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナー設定可能なモードで起動されます。



ヒント

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側のチェックマークが非表示となります。



パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

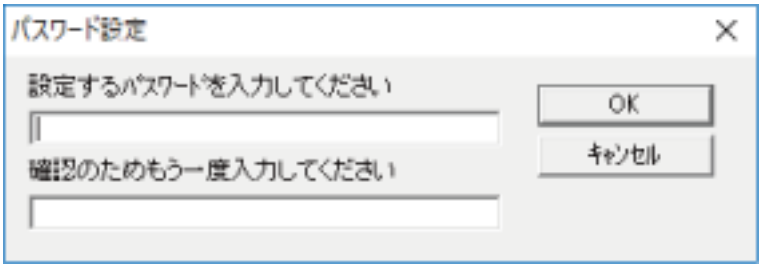
1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

2 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）です。



メッセージ画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが設定されます。

パスワードの変更

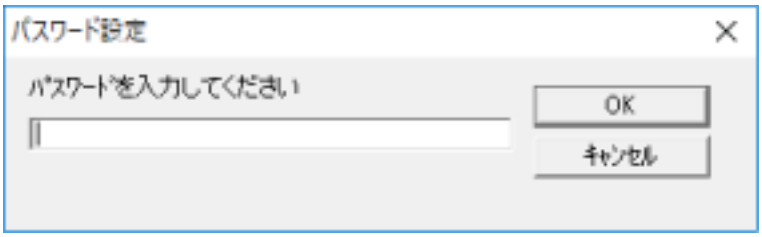
パスワードを変更します。

1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

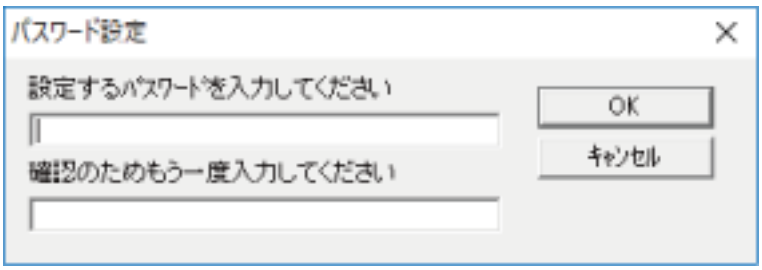
2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

3 設定するパスワードと確認用パスワードに、変更後のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）です。



メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

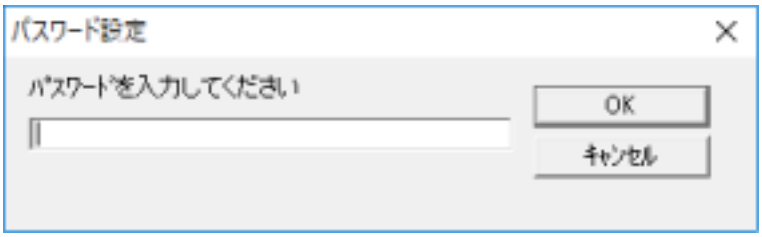
パスワードの設定を解除します。

1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



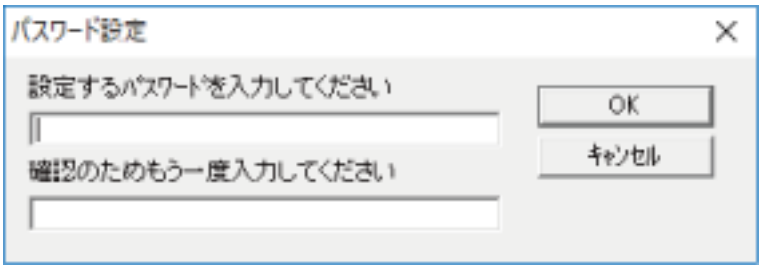
「パスワード設定」画面が表示されます。

2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードの設定が解除されます。

パスワードを紛失したときの対応

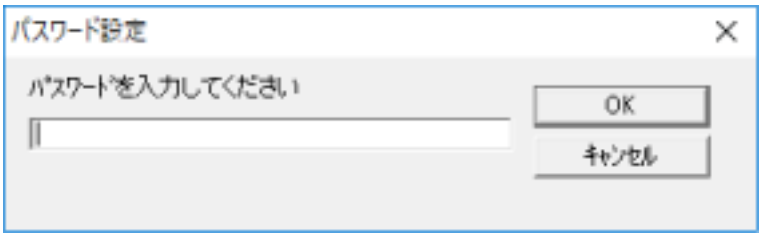
パスワードを紛失した場合は、パスワードを再設定します。

1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

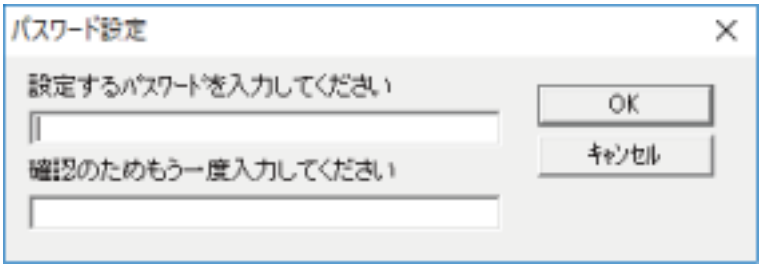
2 工場出荷設定のパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

3 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）です。



メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが再設定されます。

設定項目

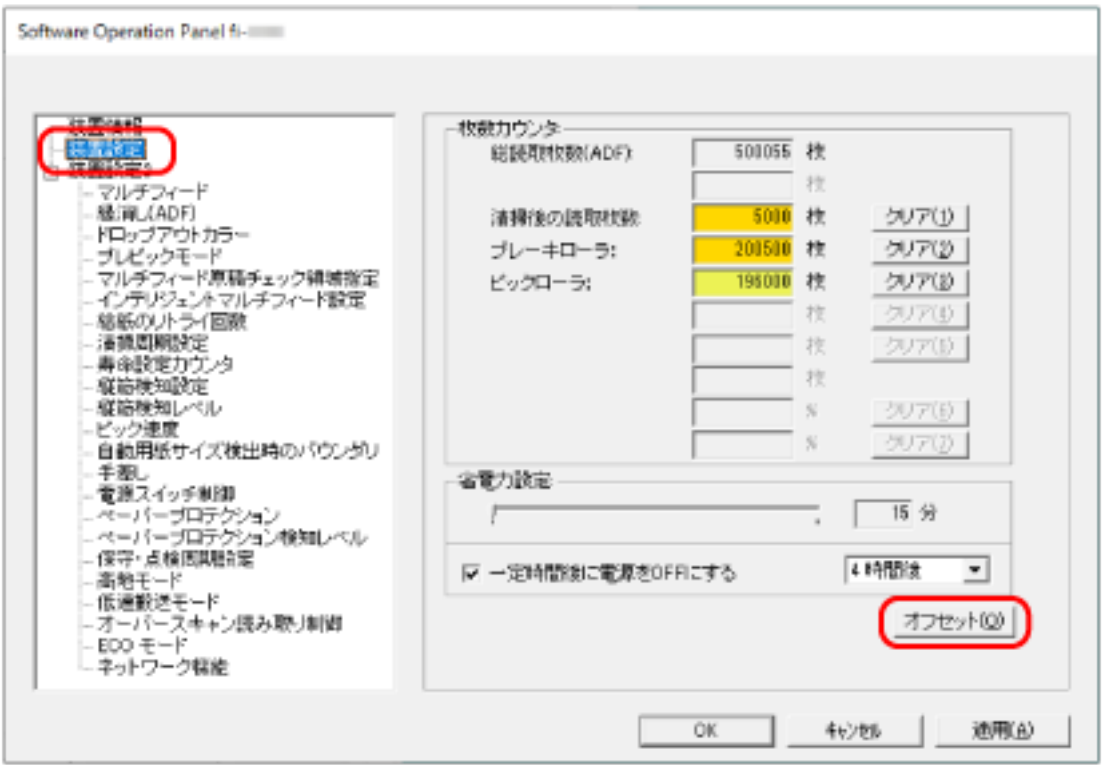
Software Operation Panel では、コンピューターに接続されているスキャナーに対して原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。
設定は、次のリストで行います。

- 「装置設定」
  読み取り枚数や消耗品の管理の設定ができます。また、スキャナーの電源管理、原稿の読み取り開始位置の設定もできます。
- 「装置設定 2」
  原稿を読み取るときの動作に関する設定ができます。

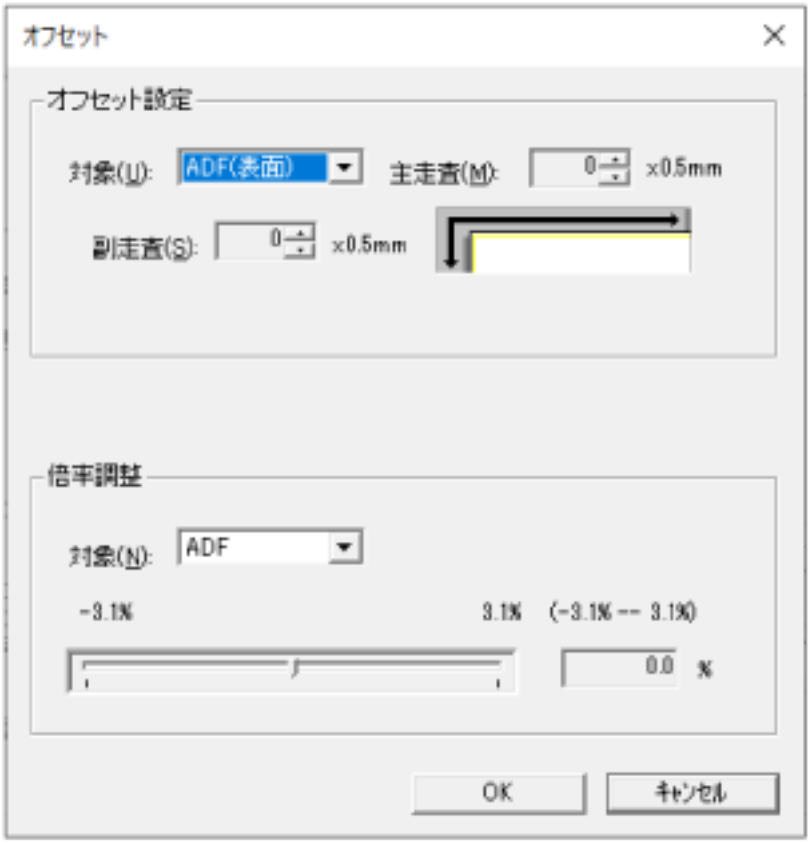
装置設定

1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定」をクリックして、[オフセット] ボタンをクリックします。



「オフセット」画面が表示されます。



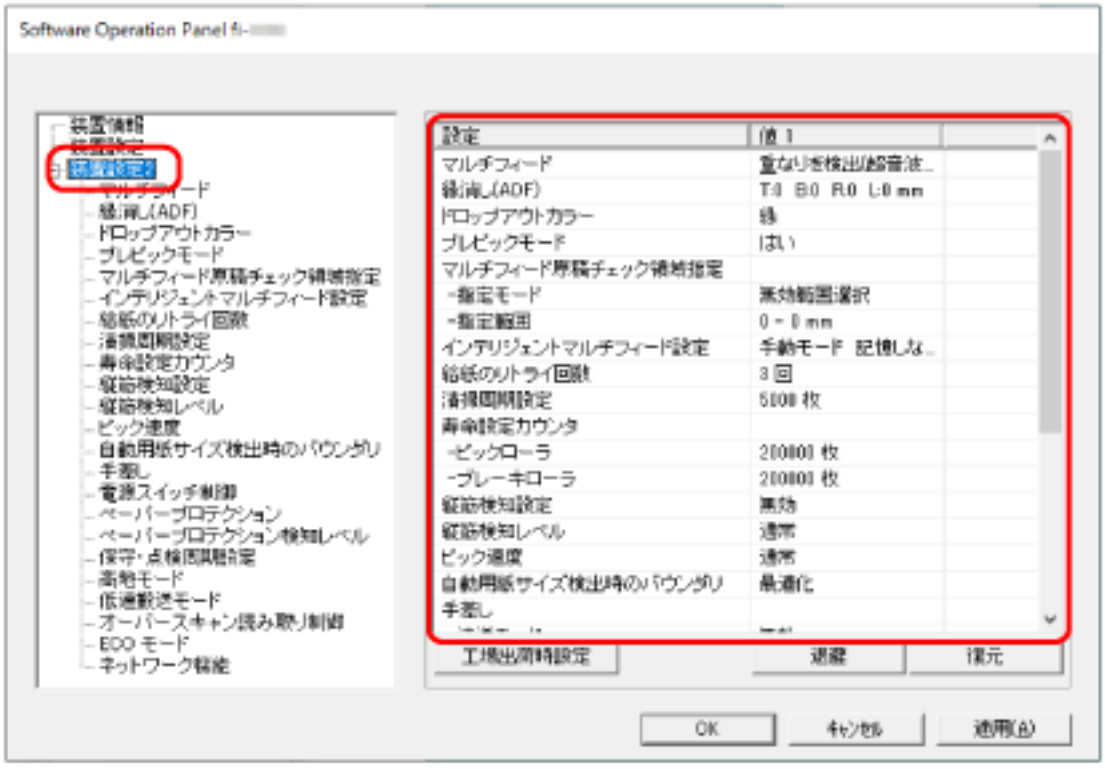
これらの画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
枚数カウンタ （確認/クリア）	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。
省電力設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
オフセット設定	原稿の読み取り開始位置を設定します。
倍率調整	搬送方向の読み取り倍率を設定します。

装置設定 2

1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」をクリックします。



「装置設定 2」で現在設定されている内容が画面右に一覧表示されます。

ヒント

- Software Operation Panel の設定内容を工場出荷の設定に戻せます。
  工場出荷の設定に戻すには、[工場出荷時設定] ボタンをクリックしてください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
  変更した設定内容がクリアされるので、注意してください。
- Software Operation Panel の設定内容をバックアップとして、退避できます。
  退避するには、[退避] ボタンをクリックして表示される画面で、ファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックしてファイルに退避してください。
- Software Operation Panel の設定内容を退避したファイルを使用して、同種のスキャナーに同じ設定内容を復元できます。
  復元するには、[復元] ボタンをクリックして表示される画面で、退避したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックして復元してください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
  なお、異なるスキャナーには復元できません。

「装置設定 2」で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
マルチフィード	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
縁消し（ADF）・縁消し（FB）［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］	画像の端に発生する原稿の影やスジを塗りつぶすための設定をします。
ドロップアウトカラー	赤・緑・青（光の三原色）のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
プレピックモード	連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。
マルチフィード原稿チェック領域指定	原稿の重なりを検出する範囲を設定します。
インテリジェントマルチフィード設定	原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。
給紙のリトライ回数	原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。
清掃周期設定	スキャナー内部の清掃周期を設定します。
寿命設定カウンタ	消耗品の交換周期を設定します。
縦筋検知設定	ガラスのよごれを検知する設定ができます。
縦筋検知レベル	「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれを検知するレベルを設定します。
ピック速度	原稿の搬送を開始するタイミングを設定できます。
自動用紙サイズ検出時のバウンダリ	自動で原稿の用紙サイズを検出する場合に、画像の端の処理方法を設定します。
手差し	原稿を 1 枚ずつセットして読み取るときの設定をします。
電源スイッチ制御	スキャナーの［Power］ボタンの操作で、スキャナーの電源を投入/切断するかどうかを設定します。
ペーパープロテクション	原稿の搬送異常を検出する設定をします。
ペーパープロテクション検知レベル	原稿を保護する機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。
保守・点検周期設定［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］	サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。
高地モード	標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
低速搬送モード	原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る設定をします。

設定項目	説明
画質モード	fi-6x30Z/fi-6x40Z で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。
オーバースキャン読み取り制御［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］	原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する場合に設定します。
ECO モード	低解像度（300dpi 以下）を指定して読み取る場合に、読み取り速度を遅くすることで、スキャナーの消費電力を抑える設定をします。
USB［fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U］	コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。
ネットワーク機能［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］	USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に設定します。

枚数カウンタに関する設定

枚数カウンタの確認

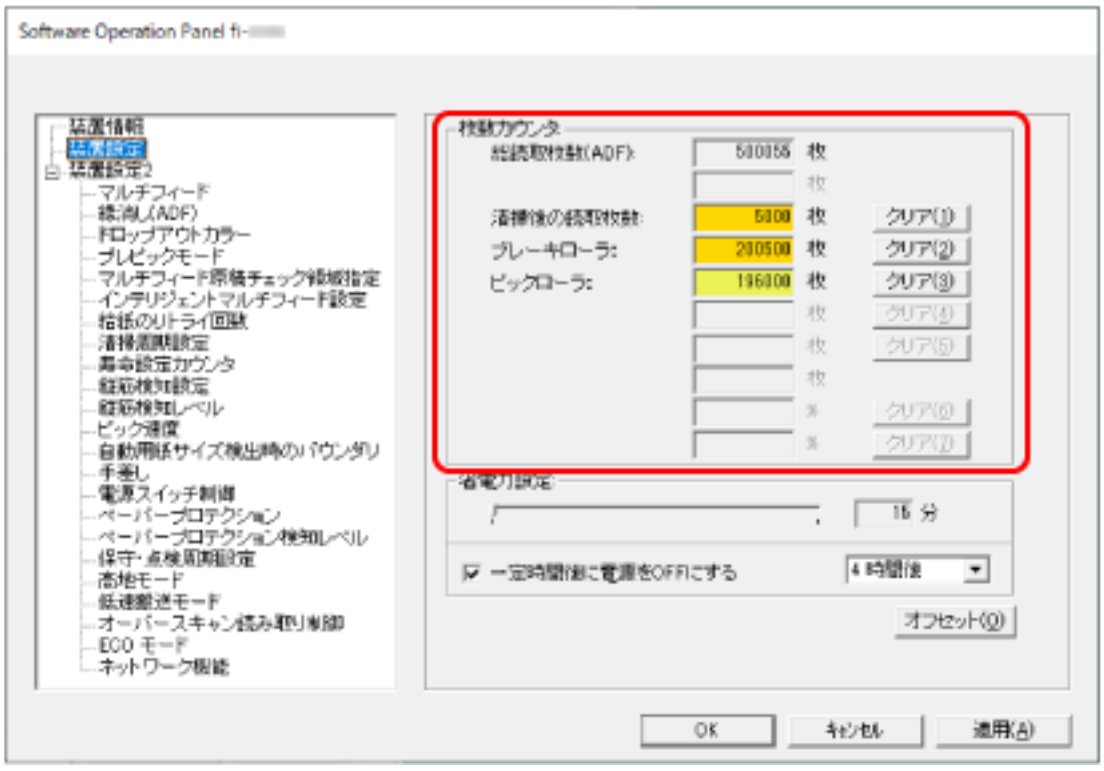
消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。
消耗品の交換時期、清掃が必要な時期が近づくと、カウンターの背景色が変わります。
各カウンターの背景色が変わるタイミングを次に示します。

- ブレーキローラ/ピックローラのカウンター
  消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ） (387 ページ)で設定した値の 95%以上になった場合にカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。
- 清掃のカウンター
  清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定） (386 ページ)で設定した値以上になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります。
- インク残量のカウンター
  インク残量が 33%未満になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります（インプリンタ搭載時だけ表示）。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
  詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定」をクリックします。**

3 **枚数カウンタを確認します。**



総読取枚数(ADF)

ADF でこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

総読取枚数(FB)【fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U】

フラットベッド［fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U］でこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

清掃後の読取枚数

清掃してからこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

ブレーキローラ

ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示）

ピックローラ

ピックローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示）

インク残量

インプリンタに搭載されたプリントカートリッジのインク残量（インプリンタ搭載時だけ表示）

各枚数カウンタの工場出荷設定は「0」です。
インク残量カウンターの工場出荷設定はインプリンタ搭載時だけ表示されます。

重要

電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合や電源スイッチ無効モードを設定している場合には、「総読取枚数」のカウンターが反映されないことがあります。
電源スイッチ無効モードの設定については、電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御） (423 ページ)を参照してください。

枚数カウンタのクリア

消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定」をクリックして、清掃した場合は「清掃後の読取枚数」の［クリア］ボタン、消耗品を交換した場合は交換した消耗品の［クリア］ボタンをクリックします。**
カウンター値が 0 になります。
インク残量の場合は、100 になります。

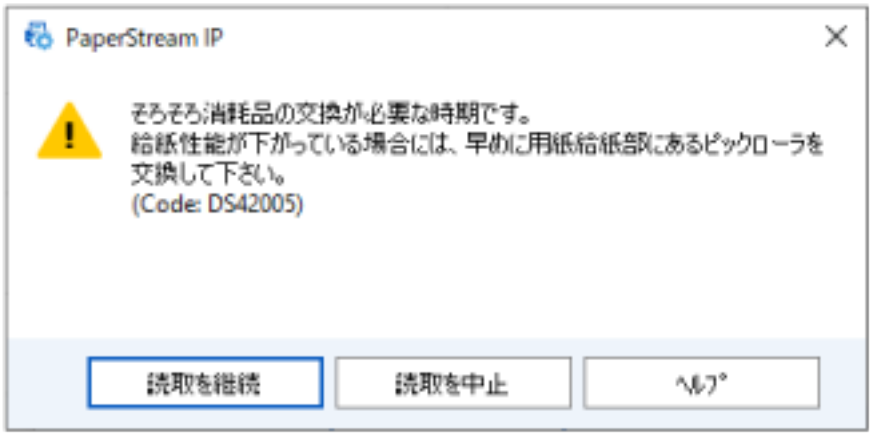
3 **［OK］ボタンをクリックします。**
メッセージ画面が表示されます。

4 **［OK］ボタンをクリックします。**
設定が保存されます。

消耗品交換/清掃指示メッセージ

スキャナーを使用していると、次のようなメッセージがコンピューターに表示されることがあります。

例：消耗品交換メッセージ



例：清掃指示メッセージ



表示されるメッセージに従って、次の対処をしてください。

- 消耗品交換メッセージが表示された場合
  表示内容を確認し消耗品を交換してください。
  ［読取を継続］ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。
  できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。
  読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、［読取を中止］ボタンをクリックします。
  消耗品の交換方法は、次を参照してください。
  - ブレーキローラ
    ブレーキローラの交換 (268 ページ)
  - ピックローラ
    ピックローラの交換 (272 ページ)
- 清掃指示メッセージが表示された場合
  表示内容を確認し清掃してください。
  清掃方法は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）

スキャナー内部の清掃周期を設定します。
清掃後の読み取り枚数が、ここで設定する枚数以上になった場合に「装置設定」の「清掃後の読取枚数」のカウンターの背景色が黄色に変わります。
また、消耗品交換/清掃指示メッセージ (385 ページ)の清掃指示メッセージを表示するようにできます。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「清掃周期設定」をクリックします。**

3 **清掃周期のカウント値を設定します。**
1,000 枚から 255,000 枚まで、1,000 枚単位で設定できます。
工場出荷設定は「5」です。

4 **清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。**
工場出荷設定は「清掃指示メッセージを表示する」チェックボックスのチェックが外れています。

消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）

消耗品の交換周期を設定します。
消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の 95%以上になった場合に「装置設定」の「ブレーキローラ」または「ピックローラ」のカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。
また、消耗品交換/清掃指示メッセージ (385 ページ)の消耗品交換メッセージを表示するようにできます。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンタ」をクリックします。**
3. **各消耗品（ブレーキローラおよびピックローラ）の寿命設定カウント値を設定します。**
   10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。
   工場出荷設定は「20」です。

読み取りに関する設定

読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、オフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

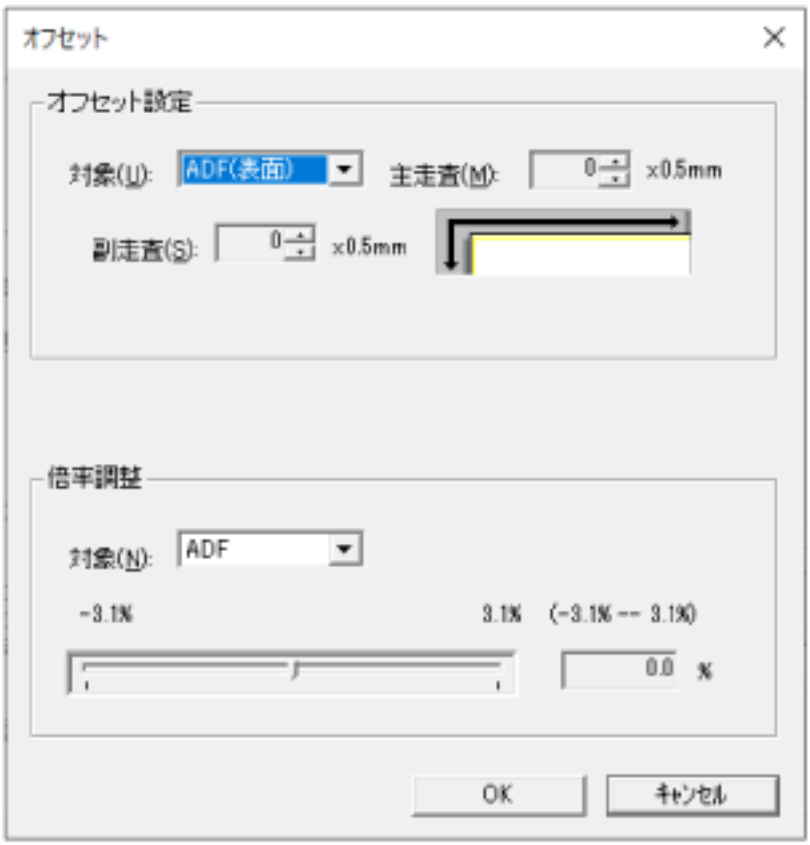
重要

工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。**

3 **必要に応じてオフセット/副走査方向の倍率調整を行います。**



オフセット設定

対象

オフセット調整を行う対象を、「フラットベッド」[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]、「ADF（表面）」、「ADF（裏面）」から選択します。

主走査

主走査（幅）方向のオフセットを指定します。
-2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0」です。

副走査

副走査（長さ）方向のオフセットを指定します。
-2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0」です。

倍率調整

対象

倍率調整を行う対象を、「フラットベッド」[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]または「ADF」から選択します。

倍率調整

副走査（長さ）方向の倍率を指定します。
-3.1～+3.1%の範囲で 0.1%刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0.0」です。

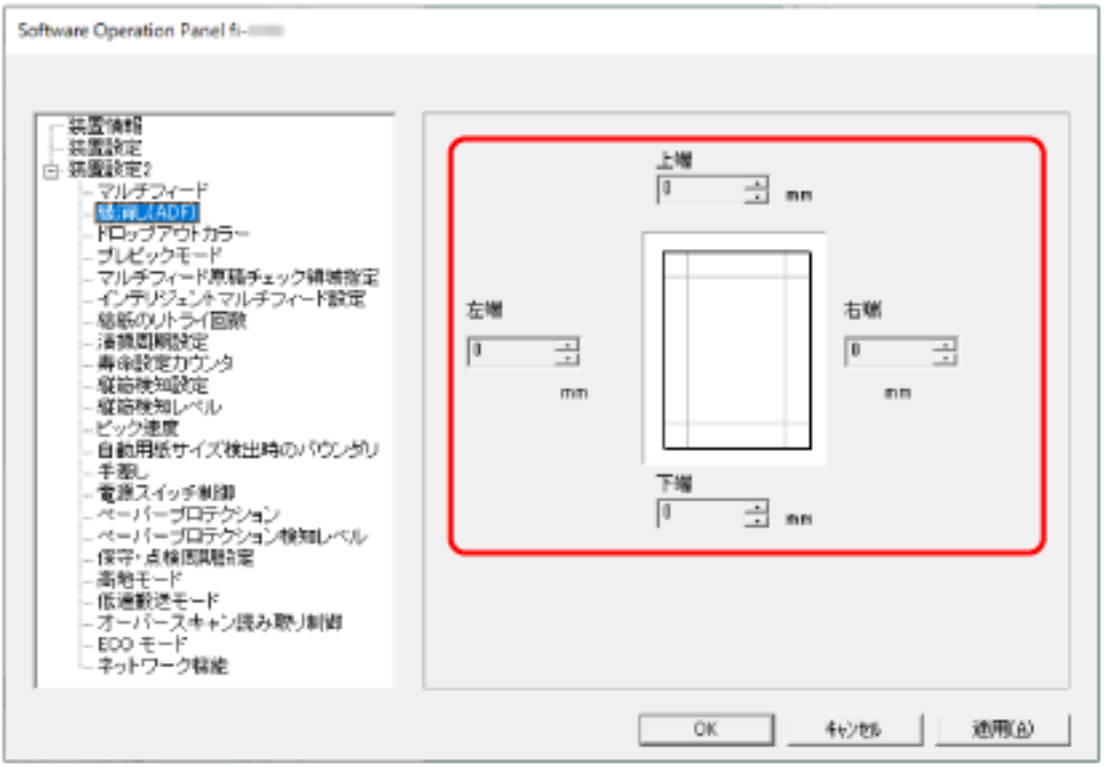
画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF）・縁消し（FB）[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]）

画像の端に発生する原稿の影やスジを塗りつぶすための設定をします。
読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒いスジが発生する場合があります。
このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒いスジを消去します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

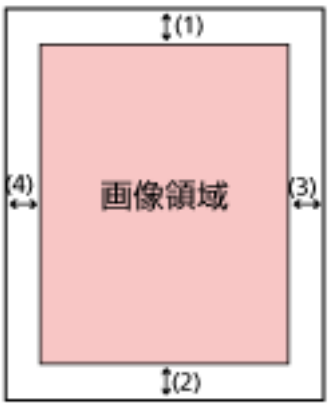
2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「縁消し(ADF)」または「縁消し(FB)」[fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U]をクリックします。**

3 **上端/下端/右端/左端の塗りつぶす幅を設定します。**



工場出荷設定は「0」です。

設定した範囲を、背景色（裏当ての色）が白色の場合は白色で塗りつぶし、黒色の場合は黒色で塗りつぶします。



ADF

(1)：上端=0～15mm
(2)：下端=-7～7mm
(3)：右端=0～15mm
(4)：左端=0～15mm

FB【fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U】

(1)：上端=0～15mm
(2)：下端=0～15mm
(3)：右端=0～15mm
(4)：左端=0～15mm

（1mm 刻み）

重要

用紙の端に文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の文字が消えてしまうことがあるので注意してください。

ヒント

- 背景色は、スキャナードライバーで白色または黒色に変更できます。
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 「縁消し(ADF)」の下端の設定に応じて、縁消し機能は次のように動作します。
  - 1 ～ 7mm
    画像の下端から内側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶします。
  - -1 ～ -7mm
    画像の下端から外側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶさずに出力します（スキャナードライバーで「後端検出」を指定しているときは、指定した範囲分多く画像を出力します）。
- スキャナードライバーでも設定できます。

この場合、スキャナーで縁消しされた画像に対して、スキャナードライバーの縁消し処理が行われます。

指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）

赤・緑・青（光の三原色）のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
どの色も取り除かずに原稿を読み取ることもできます。
例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。**

3 **取り除きたい色を選択します。**

赤、緑、青

選択した色を取り除きます。
工場出荷設定は「緑」です。

なし

どの色も取り除きません。

重要

- 対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。
- 赤、緑、青以外の任意の色は指定できません。
任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナードライバーで設定してください。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

- 二値白黒またはグレースケールで読み取るときだけ有効です。
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

読み取り時間の短縮（プレピックモード）

連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。
連続読み取りをする場合、読み取り中の原稿を排出する前に、次の原稿を ADF 内部まで搬送しておくことを、「プレピック」と呼びます。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「プレピックモード」をクリックします。**

3 **プレピックの設定を行います。**
プレピックを設定する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選択します。
工場出荷設定は「はい」です。

ヒント

- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度取り出して、再度セットする必要があります。
- 本設定は次でも設定できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    スキャナードライバーまたは操作パネルでも設定できます。
    この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    スキャナードライバーでも設定できます。
    この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）

原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。**

3 **給紙のリトライ回数を選択します。**
1～12 回の範囲で選択できます。
工場出荷設定は「3 回」です。

> **ヒント**
> fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

原稿送りの設定（ピック速度）

原稿の搬送を開始するタイミングを設定できます。
原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生する場合に、原稿の搬送を開始するタイミングを遅くすると、改善できることがあります。
この設定は、薄い原稿を読み取る場合に効果があります。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「ピック速度」をクリックします。**
3. **原稿送り速度を選択します。**

   通常

   最適な原稿送り速度です。
   工場出荷設定です。

   遅い

   搬送の開始が「通常」より遅くなります。

重要
原稿の搬送開始が遅くなる分、全体の読み取りにかかる時間が長くなります。

ヒント
fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

画像の端数の設定（自動用紙サイズ検出時のバウンダリ）

自動で原稿の用紙サイズを検出する場合に、画像の端の処理方法を設定します。
用紙サイズを検出するときに、定型サイズに対して端数が発生する場合があります。
この端数の処理に応じて、出力する画像のサイズが変わります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「自動用紙サイズ検出時のバウンダリ」をクリックします。**

3 **端数が発生した場合の処理を選択します。**
情報の欠落を防ぎたい場合は「最適化」を選択します。
工場出荷設定は「最適化」です。

重要

- 「最適化」を選択した場合、情報の欠落を防げますが、画像の端に影が入ることがあります。
- 「切り捨て」を選択した場合、用紙の端ぎりぎりに文字などの情報が書かれているような原稿を読み取ると、情報が欠落した画像が出力されることがあります。
- 自動用紙サイズ検出の設定方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

二値白黒で読み取るときだけ有効です。

原稿を保護する機能の設定（ペーパープロテクション）

原稿の搬送異常を検出する設定をします。
次のどれかの時点で、原稿の搬送異常を検知します。

- 原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常な傾きを検知した時点
- 原稿づまりが発生したときの音を検知した時点

原稿の読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。
原稿の搬送異常を検知して読み取りを中止すれば、原稿の破損を防げます。
本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。

重要
原稿がつまる音の検知は、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合にサポートしています。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション」をクリックします。**

3 **検知方法を選択します。**

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合

無効

原稿の搬送異常を検出しません。

原稿の傾きを検知

原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常な傾きを検知した時点で、読み取りが中止されます。

原稿のつまり音を検知

原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。

原稿の傾きとつまり音を検知

原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常な傾き、または原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。
工場出荷設定です。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合

有効

原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿の異常な傾きを検知した時点で、読み取りが中止されます。
工場出荷設定です。

無効

原稿の搬送異常を検出しません。

重要

- 原稿を保護する機能は、原稿の破損を防ぐための機能ですが、必ずしもすべての原稿の破損防止を保証するものではありません。
- 原稿を保護する機能を有効にする場合、原稿の先端をきちんとそろえて、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにセットしてください（特に長さの異なる原稿を混載する場合）。
  先端がそろっていないまま読み取った場合、またはサイドガイドと原稿の間に隙間がある場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。

ヒント

- 次のような場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。
  - しわが多く寄っている原稿を読み取った場合
  - 四角形ではない原稿を読み取った場合
  - 地色が暗い原稿を読み取った場合
  - 原稿の縁まで文字や模様が印刷されている原稿を読み取った場合
  - 原稿が傾いて搬送された場合

  fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、操作パネルで再度読み取るときだけ原稿を保護する機能を無効にできます。
  詳細は、原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270］ (247 ページ)を参照してください。
- 原稿を保護する機能によって、読み取りが頻繁に中止される場合は、原稿保護が頻繁に起こる (351 ページ)を参照してください。
- スキャナードライバーで、キャリアシートの設定を有効にしている場合、原稿保護機能（ペーパープロテクション）は無効になります。
- 本設定は次でも設定できます。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    スキャナードライバーまたは操作パネルでも設定できます。
    スキャナードライバーで原稿を保護する設定を有効にした場合は、Software Operation Panel の設定に関係なく、「原稿の傾きとつまり音を検出」が有効になります。
    原稿を保護する設定は、次の順で優先されます。

    1 スキャナードライバーの「ペーパープロテクション」

    2 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:ペーパープロテクション設定」（操作パネルの設定を優先している場合）

    3 操作パネルの「メニュー選択」画面の「18:ペーパープロテクション設定」または Software Operation Panel の「ペーパープロテクション」
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    スキャナードライバーでも設定できます。
    この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

原稿を保護する機能の検知レベル設定（ペーパープロテクション検知レベル）

原稿を保護する機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。
原稿が正常に搬送できない場合に、原稿が異常に傾いて搬送されたり、原稿がつまる音がしたりします。
原稿の異常な傾きまたは原稿がつまる音を検知するレベルを設定します。

重要
原稿がつまる音の検知は、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合にサポートしています。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション検知レベル」をクリックします。**

3 **検知レベルを選択します。**

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合

-「原稿の傾きを検知」の検知レベルを選択します。

通常

最適なレベルで原稿の異常な傾きを検知します。
工場出荷設定です。

高

原稿の異常な傾きを検知するレベルを高くします。
原稿の異常な傾きが小さくても検知する場合に指定します。

ヒント
原稿の異常な傾きをより早く検知し、読み取りを中止させたいときは、「高」を選択してください。

-「原稿のつまり音を検知」の検知レベルを選択します。

低

原稿がつまる音を検知するレベルを低くします。
原稿がつまる音が大きいときだけ検知する場合に指定します。

通常

最適なレベルで原稿がつまる音を検知します。
工場出荷設定です。

高

原稿がつまる音を検知するレベルを高くします。
原稿がつまる音が小さくても検知する場合に指定します。

ヒント

- 原稿がつまる音をより早く検知し、読み取りを中止させたいときは、「高」を選択してください。
- 原稿を保護する機能によって、読み取りが頻繁に中止される場合は、「低」を選択してください。
- 本設定は操作パネルでも設定できます。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
「原稿の傾きを検知」の検知レベルを選択します。

通常

最適なレベルで原稿の異常な傾きを検知します。
工場出荷設定です。

高

原稿の異常な傾きを検知するレベルを高くします。
原稿の異常な傾きが小さくても検知する場合に指定します。

ヒント

原稿の異常な傾きをより早く検知し、読み取りを中止させたいときは、「高」を選択してください。

低解像度でゆっくり読み取る機能の設定（低速搬送モード）

原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る設定をします。
低解像度（400dpi 未満）を指定して読み取る場合に、読み取り解像度の設定に関係なく、遅い速度で読み取るようになります。ゆっくり読み取るため、長尺帳票を読み取る場合に効果があります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「低速搬送モード」をクリックします。**

3 **原稿を保護するために、読み取り速度を遅くして読み取る場合は、「有効」を選択します。**
工場出荷設定は「無効」です

> **ヒント**
> fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

高地で読み取る機能の設定（高地モード）

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
高地では気圧が低いため、超音波センサーによる原稿の重なりを検出する精度が低下する場合があります。
高地モードを「有効」に設定すると、原稿の重なりを検出する精度が向上します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「高地モード」をクリックします。**

3 **スキャナーを高地で使用する場合は、「有効」を選択します。**
工場出荷設定は「無効」です。

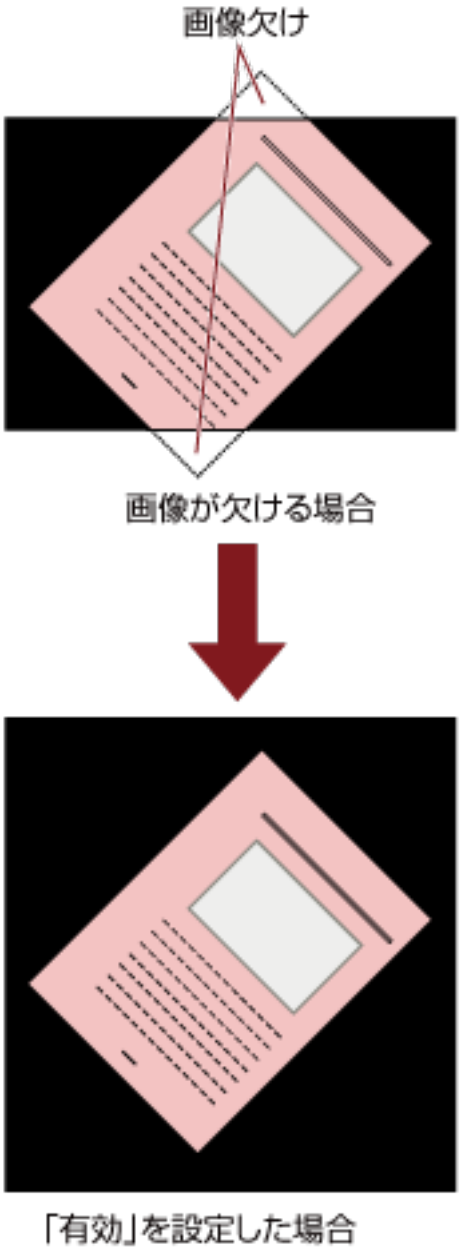
読み取るときの画質の設定（画質モード）

fi-6x30Z/fi-6x40Z で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「画質モード」をクリックします。**
3. **fi-6x30Z/fi-6x40Z の画質に近づけるか、近づけないかを選択します。**
   工場出荷設定は「無効」です。

原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する設定（オーバースキャン読み取り制御）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]

原稿が傾いて搬送されたときに画像欠けを防止する場合に設定します。
オーバースキャン読み取り制御を「有効」に設定すると、原稿が傾いて搬送されたときに、自動的に読み取り範囲を大きくして画像欠けを防止します。



1 **Software Operation Panel を起動します。**
Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「オーバースキャン読み取り制御」をクリックします。**

3 **画像欠けを防止する場合は、「有効」を選択します。**

工場出荷設定は「有効」です。

ヒント

読み取り可能な原稿の最大サイズを指定して読み取ることを推奨します。

原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定

原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）

マルチフィードとは、一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。
ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。
原稿の重なりを検出すると、エラーメッセージを表示して、読み取りを中止します。ただし、搬送方向で、原稿の先端から約 30mm の範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。**

3 **検出方法を選択します。**

無効

原稿の重なりを検出しません。

重なりを検出(超音波)

超音波センサーで原稿の重なりを検出します。
この設定をした場合、さらに次の 2 つの検出オプションを指定できます。

- 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） (409 ページ)を参照して、指定します。
- 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。
決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (240 ページ)を参照して、指定します。

工場出荷設定です。

長さの違いを検出

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出します。
同じ長さの原稿を読み取る場合に設定してください。
長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

重なりと長さの違いを検出

「重なりを検出(超音波)」と「長さの違いを検出」によって、原稿の重なりを検出します。
この設定をした場合、さらに次の 2 つの検出オプションを指定できます。

- 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定） (409 ページ)を参照して、指定します。
- 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。

決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (240 ページ)を参照して、指定します。
ただし、長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

長さ

重なりと判断する原稿の長さの差を設定します。
原稿の長さの差が設定した長さよりも長い場合に、長さの違いによる重なりを検出します。
「長さの違いを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。
選択された長さ以下は、誤差とみなされて、原稿の重なりを検出しません。
10/15/20mm から選択します。工場出荷設定は「10」です。

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択してください。
- 原稿の上に付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択すると、紙片が貼ってある部分を重なりと検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を選択してください。
  または、重なりを検出する範囲に紙片の貼り付け部分以外を設定すれば、重なりを検出しません。

ヒント

- スキャナードライバーでも設定できます。
  この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。
- スキャナードライバーで、キャリアシートの設定を有効にしている場合、スキャナードライバーからエラーが通知されます。

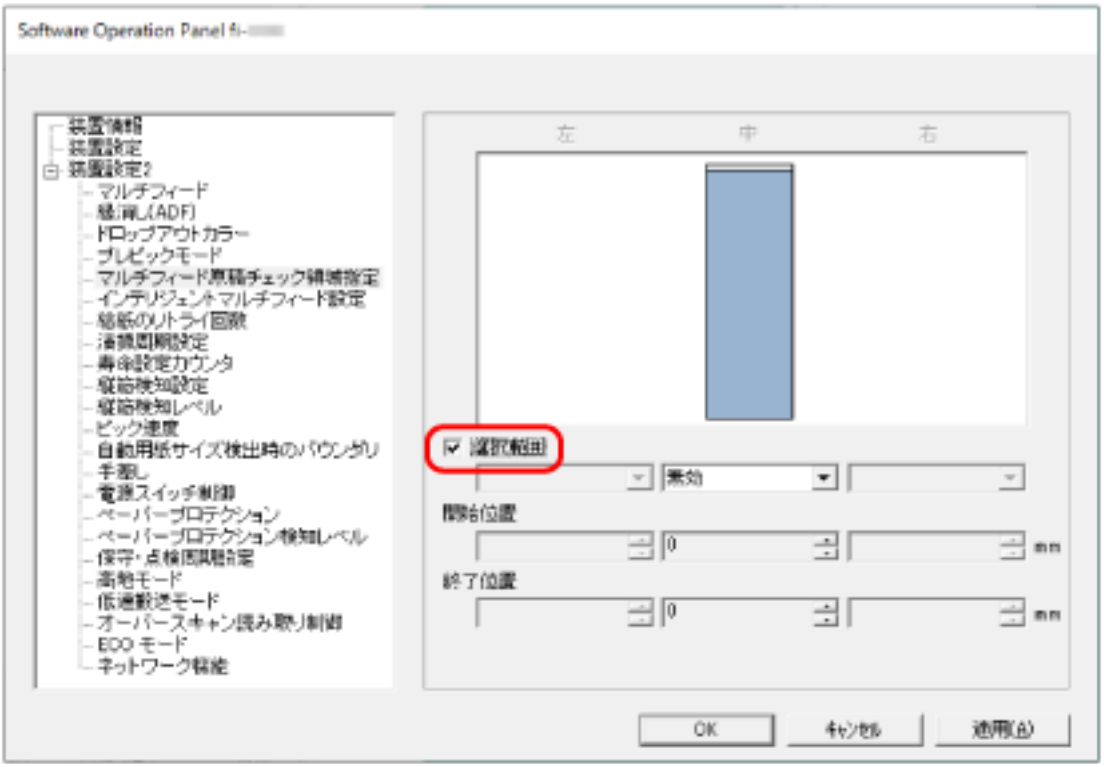
原稿の重なりを検出する範囲の設定（マルチフィード原稿チェック領域指定）

原稿の重なりを検出する範囲を設定します。
「マルチフィード」に「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

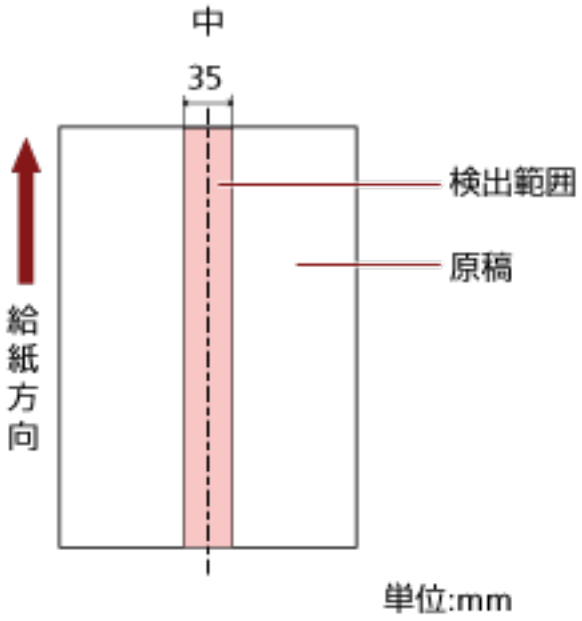
2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。**

3 **検出範囲を設定します。**
「選択範囲」チェックボックスをチェックします。



「選択範囲」チェックボックス

次の図にある薄桃色の検出範囲を指定する場合にチェックします。



工場出荷設定はチェックが外れています。
チェックが外れていると、開始位置=0 終了位置=0 となり、全範囲について原稿の重なりを検出します。
この条件は、原稿がピックローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。
搬送方向で、原稿の先端から約 30mm の範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

無効（中）

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けた場合に選択できます。
指定した範囲の重なりを検出しません。
工場出荷設定です。

有効（中）

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けた場合に選択できます。
指定した範囲の重なりを検出します。

開始位置（中）

搬送方向に、検出範囲の開始位置を、原稿の先端からの長さで指定します。
設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置
工場出荷設定は「0」です。

終了位置（中）

搬送方向に、検出範囲の終了位置を、原稿の先端からの長さで指定します。
設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置
工場出荷設定は「0」です。

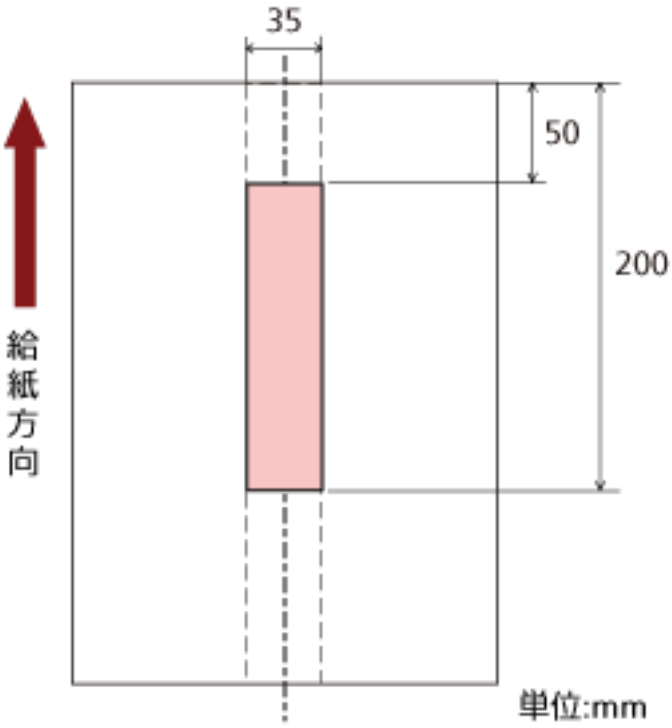
ヒント

- 開始位置=0、終了位置=0 に設定した場合は、「選択範囲」の設定に関係なく、原稿の全範囲で重なりを検出します。
- 原稿の全範囲で重なりの検出を無効にしたい場合は、「選択範囲」で「無効」を選択し、開始位置=0、終了位置 ≧ 原稿の長さを設定してください。
- 開始位置を原稿の長さを超えた位置に設定すると、「選択範囲」が「無効」の場合は全範囲で重なりを検出し、「選択範囲」が「有効」の場合は全範囲で重なりの検出を無効にします。
- 原稿の重なりを検出するには、範囲の長さが 5mm 以上必要です。
  範囲を指定する場合は、終了位置 – 開始位置 ≧ 6mm になるように指定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定できます。
  - 検出範囲を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
  - 検出範囲を示す画面上で、開始位置/終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。
- 原稿の重なりを検出する範囲の設定例は、原稿の重なりを検出する範囲の設定例 (412 ページ)を参照してください。

■ 原稿の重なりを検出する範囲の設定例

設定例 1

次の場合の設定例について説明します。
検出範囲：有効領域を指定、開始位置：50mm、終了位置：200mm

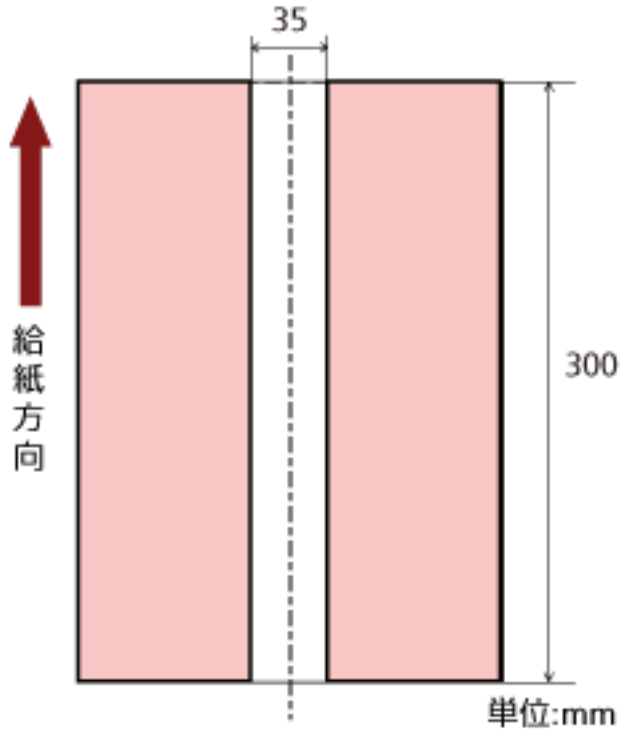


薄桃色の範囲内だけ原稿の重なりを検出します。

設定例 2

次の場合の設定例について説明します。

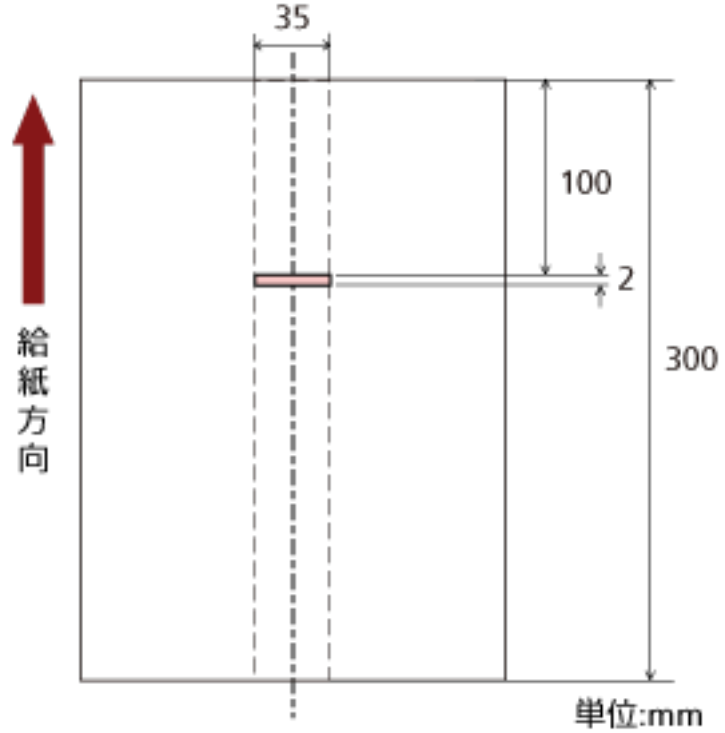
検出範囲：無効領域を指定、開始位置：0mm、終了位置：300mm



薄桃色の範囲内だけ原稿の重なりを検出します。

設定例 3（悪い例）

次の場合の設定例について説明します。
検出範囲：有効領域を指定、開始位置：100mm、終了位置：102mm



検出範囲（長さ）が 5mm に満たないため、原稿の重なりを正しく検出できません。

決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）

原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。
この設定を行うには、事前に、スキャナードライバーおよび Software Operation Panel の 原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード） (407 ページ)で、「重なりを検出(超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定しておく必要があります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「インテリジェントマルチフィード設定」をクリックします。**

3 **動作モードを選択します。**

標準モード

重なりが検出された原稿を再度読み取るときだけ、重なりを検出するか、検出しないかを指定できます。
原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。
搬送方向にある 80mm 以下の原稿の重なり部分（付箋紙などの紙片の貼り付け）は検出しません。
重なりが検出された時点で、読み取りが中止されます。
ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
工場出荷設定です。

手動モード

重なりが検出された原稿を再度読み取るときだけ、重なりを検出するか、検出しないかを指定できます。
原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。
重なりが検出された時点で、読み取りが中止されます。
ただし、スキャナードライバーで、読み取りを中断して画像を確認する設定にしている場合は、重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。

自動モード 1

重なりが検出された原稿に貼ってある紙片の長さと位置を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。
重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ重なりパターンの原稿は、重なりを検出しません。
重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
重なりパターンは、最大で 32 枚まで記憶できます（重なりパターンは、原稿 1 枚当たり 4 個まで記憶できます）。
32 枚を超えた場合は、最初に記憶された重なりパターンから順に上書きされます。
ただし、スキャナーの電源を切断/再投入した場合は、Software Operation Panel の「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」に従います。

詳細は、決まったパターンの重なりを検出しない設定（インテリジェントマルチフィード設定）(415 ページ)を参照してください。

> **ヒント**
> 原稿 1 枚当たり 5 個以上の重なりを記憶させたい場合は、1 度記憶させたあと、再度読み取って記憶させることで、次の読み取りから重なりを検出しないようにできます。

自動モード 2

重なりが検出された原稿に貼ってある最も長い紙片を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。
重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ長さかそれよりも短い紙片が貼ってある原稿は、重なりを検出しません。
重なりが検出された原稿を排出してから、読み取りが中止されます。
本動作モードで記憶できる重なりパターンは 1 個です。

「重なりパターンのクリア」チェックボックス

自動モードで記憶した重なりパターンをクリアする場合にチェックを付けます。
チェックを付けると、自動モードで記憶した重なりパターンをクリアできます。
誤って記憶された重なりパターンを消去できますが、記憶している重なりパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。
工場出荷設定はチェックが外れています。

「重なりパターンを自動で記憶する」チェックボックス

自動モード 1 または自動モード 2 の場合、重なりが検出されたときに、重なりパターンの記憶機能を有効にするか無効にするかを手動で切り替えます。
このときのデフォルトを有効にする場合にチェックを付けます。
工場出荷設定はチェックが外れています。
重なりパターンの記憶機能については、決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき(240 ページ)を参照ください。

電源切断時の重なりパターン記憶の設定

電源を切断するときに、重なりパターンを記憶するか、記憶しないかを指定できます。
「記憶する」を指定すると、電源を切断するときに記憶された最新の重なりパターン 8 個分を、次に電源を投入したときに使用できます。
工場出荷設定は「記憶しない」です。

> **ヒント**
> - スキャナードライバーで、キャリアシートの設定を有効にしている場合、「インテリジェントマルチフィード設定」は無効になります。
> - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。
> - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合、重なりパターンのクリアは、操作パネルのファンクションナンバーが点滅した状態で、［Function］ボタンを 5 秒以上押すことでもできます。

待機時間に関する設定

手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し）

原稿を 1 枚ずつセットして読み取るときの設定をします。
手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る場合（手差し）に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておくと、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、連続して読み取りができます。
設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「手差し」をクリックします。**

3 **「タイムアウト時間」を設定します。**
「タイムアウト時間」は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされていないと判断するまでの時間（最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間）です。
工場出荷設定は「10 秒」です。

- 複数枚の原稿を、手差しで連続して読み取るとき
  1.「連送モード」を「有効」にして、手差し・連送モードに切り替えます。
  2.「タイムアウト時間」を選択します。
- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙、パスポートなどの冊子を、手差しで 1 枚ずつ読み取るとき
  1.［Manual Feed］ボタンを押して、手差し・単送モードに切り替えます。
  2.「タイムアウト時間」を選択します。

ヒント

- 「単送モード」で、連続して手差し・単送モードで原稿を読み取るかどうかを選択できます。
  「継続しない」を選択した場合、原稿の読み取りが終了すると、手差し・単送モードは解除されます。
  「継続する」を選択した場合、［Manual Feed］ボタンを押すまで、連続して手差し・単送モードで原稿を読み取ります。
  工場出荷設定は「継続しない」です。
- 手差し・連送モードまたは手差し・単送モードに切り替えると、読み取りを開始したあとや、原稿が排出されたあと、タイムアウト時間が経過するまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされるのを待ちます。
  タイムアウト時間が経過するまで、原稿がセットされなければ、読み取りを終了します。
  すぐに読み取りを終了する場合は、次のスキャナーのボタンを押します。
  - fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
    ［Stop/Clear］ボタン
  - fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
    ［Send to］ボタン

- 手差し・単送モードへの切り替えは、スキャナードライバーでも設定できます。
  詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

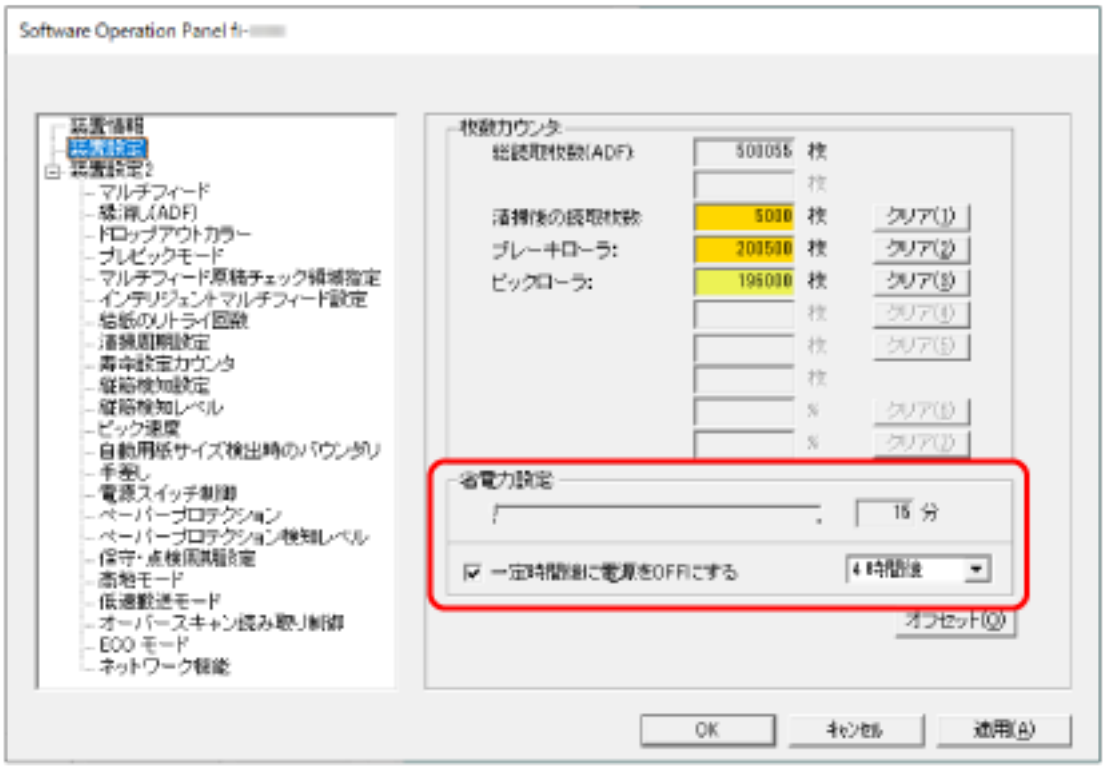
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定」をクリックします。**

3 **省電力モードの待機時間を設定します。**



省電力設定

省電力状態に移行するまでの時間を、スライダーを使って、5～115 分の範囲で設定（5 分刻みで設定）します。
工場出荷設定は「15」分です。

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックス

自動でスキャナーの電源を切断する場合にチェックを付けます。
チェックを付けると、スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しなかったときに、自動でスキャナーの電源が切断されます。
工場出荷設定はチェックボックスにチェックが付いています。
自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間は、1 時間後/2 時間後/4 時間後/8 時間後から選択できます。
工場出荷設定は「4 時間後」です。

ヒント

- 「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナーの消費電力が増加します。
- Software Operation Panel で「装置設定 2」の「電源スイッチ制御」を「電源スイッチ無効モード」に設定していると、自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間が経過しても、スキャナーの電源は切断されません。
  スキャナーの消費電力が増加します。
- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

スキャナーとコンピューターの接続に関する設定

USB 動作の設定（USB）[fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U]

コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。
設定を変更するとスキャナーが再起動します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「USB」をクリックします。**

3 **USB の動作を設定します。**

自動

接続環境に従って動作します。工場出荷設定です。

USB 2.0

USB 2.0 で動作します。

USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に設定します。
次に示す理由から USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に、有線 LAN 接続を無効にする設定をします。

- 消費電力を抑えたい
- セキュリティを強化したい

設定を変更するとスキャナーが再起動します。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「ネットワーク機能」をクリックします。**
3. **USB 接続だけでスキャナーを使用する場合は、「無効」を選択します。**
   工場出荷設定は「有効」です。

ヒント

- ネットワーク機能を「有効」にすると、USB 接続および有線 LAN 接続の両方でスキャナーを使用できます。
- ネットワーク機能は、Software Operation Panel を USB 接続で起動している場合に表示されます。

電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定

電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）

スキャナーの［Power］ボタンの操作で、スキャナーの電源を投入/切断するかどうかを設定します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「電源スイッチ制御」をクリックします。**

3 **電源の投入/切断方法を選択します。**

電源スイッチ有効モード

スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断します。
工場出荷設定です。

電源スイッチ無効モード

コンピューターの電源に合わせて、スキャナーなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用する場合に選択します。
スキャナーの［Power］ボタンでスキャナーの電源を投入/切断しません。

USB-電源連動モード

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続している場合に選択できます。
スキャナーの［Power］ボタンのほかに、コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断します。
USB ケーブルの抜き差しでもスキャナーの電源を投入/切断します。

重要

- Software Operation Panel の「装置設定 2」の「ネットワーク機能」が「有効」の場合、「USB-電源連動モード」は「電源スイッチ有効モード」として動作します。
- コンピューターや USB ハブの種類によって、コンピューターの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。
そのような環境では、「USB-電源連動モード」が正しく機能しない場合があります。

ヒント

「電源スイッチ無効モード」を設定すると、スキャナーの消費電力が増加します。

スキャナーの消費電力を抑える設定（ECO モード）

低解像度（300dpi 以下）を指定して読み取る場合に、読み取り速度を遅くすることで、スキャナーの消費電力を抑える設定をします。
読み取り速度は、次のようになります。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  600dpi を指定して読み取るときと同じ速度で読み取ります。
- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  400dpi を指定して読み取るときと同じ速度で読み取ります。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「ECO モード」をクリックします。**

3 **スキャナーの消費電力を抑える場合は、「有効」を選択します。**
工場出荷設定は「無効」です。

> **ヒント**
> fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

スキャナーの保守に関する設定

縦筋を検知する機能の設定（縦筋検知設定）

ガラスのよごれを検知する設定ができます。
ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。
縦筋を検知する設定を「有効」にすると、ADF での読み取り画像に縦筋が発生する可能性がある場合に、次のようにメッセージが通知されます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のようにメッセージが通知されます。

  - 液晶ディスプレイに Menu が点滅表示されます。
    このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「ガラス清掃」が点滅表示されます。
    インフォメーションを確認しガラスを清掃してください。
    インフォメーションの確認方法は、インフォメーションの確認 (184 ページ)を参照してください。
  - メッセージがコンピューターに表示されます。
    メッセージを確認しガラスを清掃してください。

- fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合
  メッセージがコンピューターに表示されます。
  メッセージを確認しガラスを清掃してください。

清掃方法は、日常のお手入れ (249 ページ)を参照してください。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「縦筋検知設定」をクリックします。**
3. **ガラスのよごれ（縦筋）を検知するかどうかを選択します。**
   「有効」を選択すると、ガラスのよごれ（縦筋）を検知します。
   工場出荷設定は「無効」です。

> **ヒント**
> fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

縦筋を検知する機能の感度設定（縦筋検知レベル）

「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれを検知するレベルを設定します。
ガラスのよごれ具合に応じて検知する感度を変更します。

1 **Software Operation Panel を起動します。**
詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。

2 **画面左のリストから「装置設定 2」→「縦筋検知レベル」をクリックします。**

3 **ガラスのよごれの検知レベルを選択します。**

感度-低

ガラスのよごれを検知する感度を低くします。
ガラスのよごれがひどい場合だけ検知したいときに設定します。

通常

最適な感度でガラスのよごれを検知します。
工場出荷設定です。

感度-高

ガラスのよごれを検知する感度を高くします。
ガラスのよごれが少なくても検知したいときに設定します。

ヒント

- 「読み取り可能」画面の 2 行目に「ガラス清掃」が頻繁に点滅表示される場合は、「感度-低」を選択してください。
- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、本設定は操作パネルでも設定できます。

スキャナーの保守・点検周期の設定（保守・点検周期設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]

サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。

保守・点検を実施した日から、周期に設定した期間が経過したときに、液晶ディスプレイに

が点滅表示されます。
このとき、「読み取り可能」画面の 2 行目には、「定期保守」が点滅表示されます。
インフォメーションを確認しサービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検を行ってください。
インフォメーションの確認方法は、インフォメーションの確認 (184 ページ)を参照してください。
サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検方法は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (468 ページ)）にお問い合わせください。

1. **Software Operation Panel を起動します。**
   詳細は、Software Operation Panel の起動 (366 ページ)を参照してください。
2. **画面左のリストから「装置設定 2」→「保守・点検周期設定」をクリックします。**
3. **保守・点検の時期が近づいたときに、液晶ディスプレイにメッセージを通知する場合は、「有効」を選択します。**
   工場出荷設定は「無効」です。
4. **メッセージを通知する周期を選択します。**
   工場出荷設定は「12 ヶ月」です。

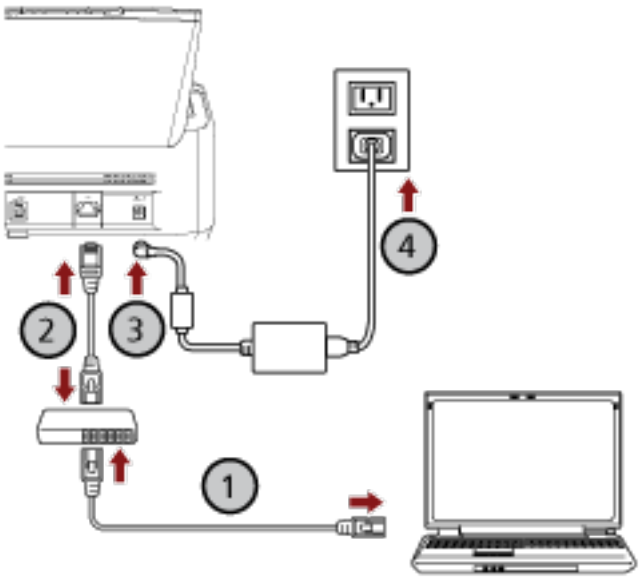
ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250]

ここでは、fi Series ネットワーク設定を使ったネットワークの設定方法について説明します。
fi Series ネットワーク設定を利用すると、スキャナーのネットワーク情報を設定できます。

fi Series ネットワーク設定の起動

fi Series ネットワーク設定は、次の手順で起動します。

1 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



a コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN または無線 LAN で接続します（①）。
ここでは、例としてコンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

b スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します（②）。

c 電源ケーブルをスキャナーおよびコンセントに、それぞれ接続します（③、④）。

d スキャナーの電源を投入します。
詳細は、電源の投入 (105 ページ)を参照してください。

2 スキャナーの IP アドレスを確認します。
スキャナーの IP アドレスは、次のようにして確認できます。

- fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合
  次のどちらかの方法で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

- 操作パネルの「メニュー選択」画面の「1:スキャナー情報」で、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、メニュー選択の操作方法 (179 ページ)を参照してください。
- IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
  詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
  IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
  - IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)

● fi-8150/fi-8250 の場合
IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。
詳細は、Network Setup Tool のヘルプまたは Network Setup Tool for fi Series のヘルプを参照してください。
IP アドレス設定ツールの起動方法は、次を参照してください。

- IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool の場合） (74 ページ)
- IP アドレス設定ツールを起動する（Network Setup Tool for fi Series の場合） (103 ページ)

3 コンピューターの電源を投入して、ブラウザーの URL 入力域に次の URL を入力してスキャナーに接続します。
http または https（*1）://スキャナーの IP アドレス

例

IPv4 アドレスの場合
http://xxx.xxx.xxx.xxx/（xxx は、0～255 の値）

例

IPv6 アドレスの場合
http://[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx]/（xxxx は、0～ffff の値）

***1：**「通信の暗号化」が「暗号化しない (HTTP)」の場合は http を、「暗号化する (HTTPS)」の場合は https を指定します。

fi Series ネットワーク設定のログインの画面が表示されます。

4 管理者パスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。
管理者パスワードの詳細は、管理者パスワード (443 ページ)を参照してください。
fi Series ネットワーク設定のスキャナー情報の画面が表示されます。

5 各メニューをクリックして設定します。

各メニューの詳細は、スキャナー情報 (433 ページ)、ネットワーク (434 ページ)、セキュリティ (438 ページ)、サーバー連携 (439 ページ)、およびメンテナンス (443 ページ)を参照してください。



重要

画面を正常に動作させるには、ブラウザーの設定で、次のような設定になっていることを確認してください。

- Cookie が有効
- JavaScript が有効

設定項目

ネットワークの設定は、fi Series ネットワーク設定の画面で変更できます。
ここでは、設定できる項目を一覧で示します。

重要

ネットワークの設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。
管理者パスワードは、「メンテナンス」の「管理者パスワード」で表示される画面で設定できます。

- **スキャナー情報**

設定項目	説明
スキャナー情報 (433 ページ)	スタンダード情報、スキャナー名、ネットワークなどのスキャナーに関する情報が表示されます。

- **ネットワーク**

設定項目	説明
スキャナー名 (434 ページ)	スキャナーの名前を設定します。
スキャナーコード (435 ページ)	スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。 スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
有線 LAN (436 ページ)	スキャナーに IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを設定します。 **重要** PaperStream NX Manager 運用は、IPv6 アドレスをサポートしていません。

- **セキュリティ**

設定項目	説明
通信の暗号化 (438 ページ)	ネットワークの通信データを暗号化するかどうかを設定します。

- **サーバー連携**

設定項目	説明
プロキシサーバー (439 ページ)	PaperStream NX Manager 運用する場合で、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
PaperStream NX Manager (441 ページ)	PaperStream NX Manager 運用する場合に設定します。
Scanner Central Admin Server (442 ページ)	PaperStream NX Manager 運用する場合で、Scanner Central Admin Server を使用するときに設定します。

- **メンテナンス**

設定項目	説明
管理者パスワード (443 ページ)	管理者パスワードを変更したり、無効にしたりします。
スキャナー設定情報の移出 (444 ページ)	スキャナーの設定情報を移出します。
スキャナー設定情報の移入 (445 ページ)	スキャナーの設定情報を移入します。
工場出荷設定に戻す (446 ページ)	スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。
ライセンス (447 ページ)	ライセンス情報が表示されます。

スキャナー情報

スキャナー情報

スタンダード情報、スキャナー名、ネットワークなどのスキャナーに関する情報が表示されます。
「スキャナー情報」の「スキャナー情報」をクリックして画面を表示します。

ネットワーク

スキャナー名

スキャナーの名前を設定します。
「ネットワーク」の「スキャナー名」をクリックして画面を表示します。

スキャナー名

スキャナー名を 64 文字以内で入力します。
スキャナー名に使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- スペース
  先頭と末尾のスペースは削除されます。
- 記号
  -_

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

スキャナーコード

スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。
スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューター/モバイル機器/シンクライアントから、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
「ネットワーク」の「スキャナーコード」をクリックして画面を表示します。

スキャナーコード

スキャナーコードを 64 文字以内で入力します。
スキャナーコードに使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- スペース
  先頭と末尾のスペースは削除されます。
- 記号

  -/:;()¥&@".,?!'#%^*+=_|~<>$[]`{}
- 発音区別符号
  èéêëÈÉÊËùúûüÙÚÛÜìíîïıÌÍÎÏİòóôõöœÒÓÔÕÖŒàáâãäæÀÁÂÃÄÆşŞğĞçÇßñÑ

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

有線 LAN

スキャナーに IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを設定します。
「ネットワーク」の「有線 LAN」をクリックして画面を表示します。

重要
PaperStream NX Manager 運用は、IPv6 アドレスをサポートしていません。

IPv4 構成

IPv4 アドレスを設定します。

- 自動
  工場出荷設定です。
- 手動
  「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。
  - IP アドレス
  - サブネットマスク
  - デフォルトゲートウェイ

DNS サーバー

DNS サーバーを設定します。

- 自動
  工場出荷設定です。
- 手動
  「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。
  - プライマリー DNS
  - セカンダリー DNS

IPv6 構成

IPv6 アドレスを設定します。

- 自動
  工場出荷設定です。
- 手動
  「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。
  - 「RA パケットを受信する」チェックボックス
    自動生成された IPv6 アドレスを有効にしたい場合は、「RA パケットを受信する」チェックボックスにチェックを付けます。
    自動生成された IPv6 アドレスは、スキャナー情報の画面で確認できます。
    工場出荷設定はチェックボックスにチェックが付いています。
  - IP アドレス

重要

次の IPv6 アドレスは、手動の IP アドレスとして設定できません。

- ループバックアドレス
- リンクローカルアドレス
- サイトローカルアドレス
- マルチキャストアドレス
- IPv4 互換アドレス
- IPv4 射影アドレス
- 2001:0000 で始まるアドレス
- 2002 で始まるアドレス
- 3FFE で始まるアドレス

  - サブネットプレフィックス長
  - デフォルトゲートウェイ

- 無効

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

セキュリティ

通信の暗号化

ネットワークの通信データを暗号化するかどうかを設定します。
「セキュリティ」の「通信の暗号化」をクリックして画面を表示します。

> **ヒント**
> PaperStream NX Manager 運用の場合、PaperStream NX Manager および Scanner Central Admin Server の設定と同じ設定にする必要があります。
> 詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドおよび Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

暗号化しない (HTTP)

読み取り速度を優先した転送方法です。
工場出荷設定です。

暗号化する (HTTPS)

セキュリティを優先した転送方法です。読み取り速度は遅くなります。

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

サーバー連携

プロキシサーバー

PaperStream NX Manager 運用する場合で、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
「サーバー連携」の「プロキシサーバー」をクリックして画面を表示します。

「有効にする」チェックボックス

プロキシサーバーを経由するかどうかを設定します。
工場出荷設定はチェックボックスのチェックが外れています。
チェックボックスにチェックを付けた場合は、次の項目も設定します。

- ホスト名 / IP アドレス

> **重要**
> IPv4 アドレスをサポートしています。
> IPv6 アドレスはサポートしていません。

- ポート番号
  工場出荷設定は「8080」です。
- 「ユーザー認証を使用する」チェックボックス
  プロキシサーバーにユーザー認証機能がある場合に設定します。
  チェックボックスにチェックを付けた場合は、次の項目も設定します。
  - ユーザー名
    ユーザー名を 256 文字以内で入力します。
    ユーザー名に使用できる文字は、次のとおりです。
    - 英数字
    - スペース
      先頭と末尾のスペースは削除されます。
    - 記号

      -/:;()¥&@".,?!'#%^*+=_|~<>$[]`{}
    - 発音区別符号
      èéêëÈÉÊËùúûüÙÚÛÜìíîïìÌÍÎÏòóôõöœÒÓÔÕÖŒàáâãäæÀÁÂÃÄÆŞŞğĞçÇßñÑ
  - パスワード
    パスワードを 256 文字以内で入力します。
    パスワードに使用できる文字は、次のとおりです。
    - 英数字
    - スペース
    - 記号

      -/:;()¥&@".,?!'#%^*+=_|~<>$[]`{}
    - 発音区別符号

èéêëÈÉÊËùúûüÙÚÛÜìíîïıÌÍÎÏİòóôõöœÒÓÔÕÖŒàáâãäæÀÁÂÃÄÆŞŞğĞçÇßñÑ

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

PaperStream NX Manager

PaperStream NX Manager 運用する場合に設定します。
「サーバー連携」の「PaperStream NX Manager」をクリックして画面を表示します。

「有効にする」チェックボックス

PaperStream NX Manager 運用するかどうかを設定します。
工場出荷設定はチェックボックスのチェックが外れています。
チェックボックスにチェックを付けた場合は、次の項目も設定します。

- ホスト名 / IP アドレス

> **重要**
> IPv4 アドレスをサポートしています。
> IPv6 アドレスはサポートしていません。

- ポート番号
  工場出荷設定は「20447」です。
- 自動ログアウト時間（分）[fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]
  PaperStream NX Manager にログインしている場合で、スキャナーを一定時間何も操作しないときに、自動的にログアウトする時間（分）を設定します。
  - 無効
    工場出荷設定です。
  - 1
  - 2
  - 3
- 自動ログイン [fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270]
  PaperStream NX Manager の自動ログイン方法を設定します。
  - 無効
    工場出荷設定です。
  - ジョブグループコード
  詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。
- 「アプリケーション（インターネット）を有効にする」チェックボックス
  PaperStream NX Manager がインターネットに構築されている場合に、コンピューターやモバイル機器から、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに設定します。
  工場出荷設定はチェックボックスのチェックが外れています。

[接続確認] ボタン

PaperStream NX Manager に接続できるかどうかを確認できます。

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

Scanner Central Admin Server

PaperStream NX Manager 運用する場合で、Scanner Central Admin Server を使用するときに設定します。
Scanner Central Admin Server からスキャナーの遠隔監視や一括設定ができます。
「サーバー連携」の「Scanner Central Admin Server」をクリックして画面を表示します。

「有効にする」チェックボックス

Scanner Central Admin Server を使用するかどうかを設定します。
工場出荷設定はチェックボックスのチェックが外れています。
チェックボックスにチェックを付けた場合は、次の項目も設定します。

- ホスト名 / IP アドレス

> **重要**
> IPv4 アドレスをサポートしています。
> IPv6 アドレスはサポートしていません。

- ポート番号
  工場出荷設定は「20444」です。

[接続確認] ボタン

Scanner Central Admin Server に接続できるかどうかを確認できます。

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

メンテナンス

管理者パスワード

管理者パスワードを変更したり、無効にしたりします。
管理者パスワードを無効にするかどうかは、運用に合わせて設定してください。
管理者パスワードは定期的に見直してください。
「メンテナンス」の「管理者パスワード」をクリックして画面を表示します。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。管理者パスワードを設定していない場合は、何も入力しないでください。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、装置ラベルの確認 (365 ページ)を参照してください。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを 16 文字以内で入力します。管理者パスワードを設定しない場合は、何も入力しないでください。
新しいパスワードに使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- スペース
- 記号

  -/:;()¥&@".,?!'#%^*+=_|~<>$[]`{}
- 発音区別符号

  èéêëÈÉÊËùúûüÙÚÛÜìíîïıÌÍÎÏòóôõöœÒÓÔÕÖŒàáâãäæÀÁÂÃÄÆŞŞğĞçÇßñÑ

確認パスワード

パスワードを変更する場合に、「新しいパスワード」に入力したパスワードを、確認のため再度入力します。

[スキャナーに反映] ボタン

設定した内容を反映します。

スキャナー設定情報の移出

スキャナーの設定情報を移出します。
「メンテナンス」の「スキャナー設定情報の移出」をクリックして画面を表示します。

版数/識別名

スキャナーの設定情報を識別するための名前を、31 文字以内で入力します。
入力した名前は、移出するファイル名に使用されます。

［移出］ボタン

スキャナーの設定情報を移出します。
「版数/識別名」で入力した文字列を含むファイル名で出力されます。
例：ScannerSettings_［版数/識別名］.cab

スキャナー設定情報の移入

スキャナーの設定情報を移入します。
「メンテナンス」の「スキャナー設定情報の移入」をクリックして画面を表示します。

[ファイルを選択] ボタン

スキャナー設定情報の移出 (444 ページ)で移出したファイルを選択します。

[移入] ボタン

ファイルを選択した場合に有効になります。
スキャナーの設定情報を移入します。
スキャナーが再起動します。

工場出荷設定に戻す

スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。
「メンテナンス」の「工場出荷設定に戻す」をクリックして画面を表示します。

[工場出荷設定に戻す] ボタン

工場出荷設定に戻します。
スキャナーが再起動します。

ライセンス

ライセンス情報が表示されます。
「メンテナンス」の「ライセンス」をクリックして画面を表示します。

付録

スキャナー基本仕様

項目		仕様
スキャナータイプ		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 ADF（自動給紙機構） ADF は、手差し（単送/連送）可能 ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 ADF（自動給紙機構）＋フラットベッド ADF は、手差し（単送/連送）可能
イメージセンサー		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 モノクロ CIS×2（表面×1、裏面×1） ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 モノクロ CIS×2（表面×1、裏面×1）＋カラー CCD×1
光源		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 RGB LED 3 色光源切り替え（表面、裏面） ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 RGB LED 3 色光源切り替え（表面、裏面）＋白色 LED（フラットベッド部）
読み取り可能原稿サイズ（幅×長さ）	最小サイズ	ADF：48×50mm
	最大サイズ（*1）（*2）	● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 ADF：A4 縦（210×297mm）、リーガル縦（8.5×14 インチ） フラットベッド：なし ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 ADF：A4 縦（210×297mm）、リーガル縦（8.5×14 インチ） フラットベッド：215.9×297mm
原稿の厚さ		20～465g/m^2（17～400kg/連） A8 サイズは 128～209g/m^2（110～180kg/連） プラスチックカードは 1.4mm 以下（エンボス付き可（ISO7810 ID-1 タイプ準拠）） パスポートは 7mm 以下（ISO/IEC 7810 ID-3 準拠）（*3）
読み取り速度（A4、縦、300dpi）（*4）	バイナリー（二値白黒）	● fi-8190/fi-8290 の場合 片面 90 枚/分、両面 180 面/分（*5） ● fi-8170/fi-8270 の場合
	グレースケール	
	カラー	

項目		仕様
		片面 70 枚/分、両面 140 面/分 ● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合 片面 50 枚/分、両面 100 面/分
原稿搭載容量（*6）		100 枚 厚さ 80g/m^2（69kg/連）の原稿 原稿の総厚みが 10mm 以下
光学解像度		600dpi
出力解像度	バイナリー（二値白黒）	50～600dpi（1dpi ごとに設定可能） 1200dpi はスキャナードライバーで設定可能
	グレースケール	
	カラー	
読み取り階調		8,192 階調（13bit）
インターフェイス		● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合 - USB USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/USB2.0/USB1.1（*7） タイプ B - 有線 LAN IEEE802.3 Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45type8-pole connector ● fi-8150U/fi-8250U の場合 - USB USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/USB2.0/USB1.1（*7） タイプ B - 有線 LAN なし
ネットワークプロトコル（有線 LAN）		● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合 TCP/IP(IPv4/IPv6)、DHCP、HTTP/HTTPS、DNS、UDP、ICMP ● fi-8150U/fi-8250U の場合 なし
液晶ディスプレイ		● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合 表示形態：カラー 表示ドット数：16 表示行列：7 行×半角 16 文字 ● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合

項目	仕様
	なし
そのほかの機能	ハードリアルタイム JPEG 圧縮

***1：**サイドガイド拡張スイッチをボールペンで手前に引き出してから ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けると、最大の幅 240mm まで搬送できます。
詳細は、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (211 ページ)を参照してください。

***2：**長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 6,096mm（240 インチ）まで読み取りできます。
なお、条件に応じて、次の解像度を指定する必要があります。

- 863.6mm より大きく 2,700mm 以下の場合
  600dpi 以下
- 2,700mm より大きく 4,064mm 以下の場合
  400dpi 以下
- 4,064mm より大きく 5,461mm 以下の場合
  300dpi 以下
- 5,461mm より大きく 6,096mm 以下の場合
  200dpi 以下

***3：**fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270 の場合、厚さ 7mm 以内のパスポートはキャリアシートなしで読み取れます。
fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合、パスポートはキャリアシートを使用して読み取ります。
キャリアシートを使用する場合、キャリアシートを含めて厚さは 7mm 以内としてください。

***4：**読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
USB 接続したときと有線 LAN 接続したときの読み取り速度は同じです。
読み取り速度の測定環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 11
CPU	Intel® Core™ i3-13100 最大 4.5GHz
メモリー容量	8GB
ストレージ	SSD

***5：**fi-8190 のインプリンタ搭載時の読み取り速度は、片面 80 枚/分、両面 160 面/分となります。

***6：**最大枚数は原稿の厚さによって変わります。
詳細は、読み取りできる原稿 (149 ページ)を参照してください。

***7：**添付の USB ケーブルを使用してください。
USB ハブに接続する場合、必ずコンピューターの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。
USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/USB2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB3.2 Gen 1x1（USB3.0）/USB2.0 に対応している必要があります。

また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。
スキャナーに USB ケーブルを接続するときは、USB マークを上にして接続してください。

設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）（*1）		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 300×170×163mm ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 300×577×234mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）（*2）		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 400×700×440mm ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 400×800×570mm
質量		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 4kg ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 8.8kg
入力電源	電圧範囲	AC100～240V ±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60Hz ±3Hz
消費電力	動作時	● fi-8190/fi-8290 の場合 30W 以下（ECO モード時：17W） ● fi-8170/fi-8270 の場合 28W 以下（ECO モード時：17W） ● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合 21W 以下（ECO モード時：17W）
	省電力時	● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/ fi-8150/fi-8250 の場合 有線 LAN 接続時：2.0W 以下 USB 接続時：1.4W 以下 ● fi-8150U/fi-8250U の場合 有線 LAN 接続時：なし USB 接続時：1.4W 以下
	電源切断時	0.2W 以下

項目		仕様
操作環境	温度	動作時：5～35℃ 非使用時：-20～60℃
	湿度	動作時：15～80% 非使用時：8～95%
発熱量	動作時	● fi-8190/fi-8290 の場合 25.8kcal/h 以下 ● fi-8170/fi-8270 の場合 24kcal/h 以下 ● fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U の場合 18.9kcal/h 以下
	省電力時	● fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 の場合 有線 LAN 接続時：1.7kcal/h 以下 USB 接続時：1.2kcal/h 以下 ● fi-8150U/fi-8250U の場合 有線 LAN 接続時：なし USB 接続時：1.2kcal/h 以下
	電源切断時	0.17kcal/h 以下
出荷時質量（*3）		● fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U の場合 6.5kg ● fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U の場合 14kg
サポート期間		5 年

***1：**奥行きは、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを除きます。

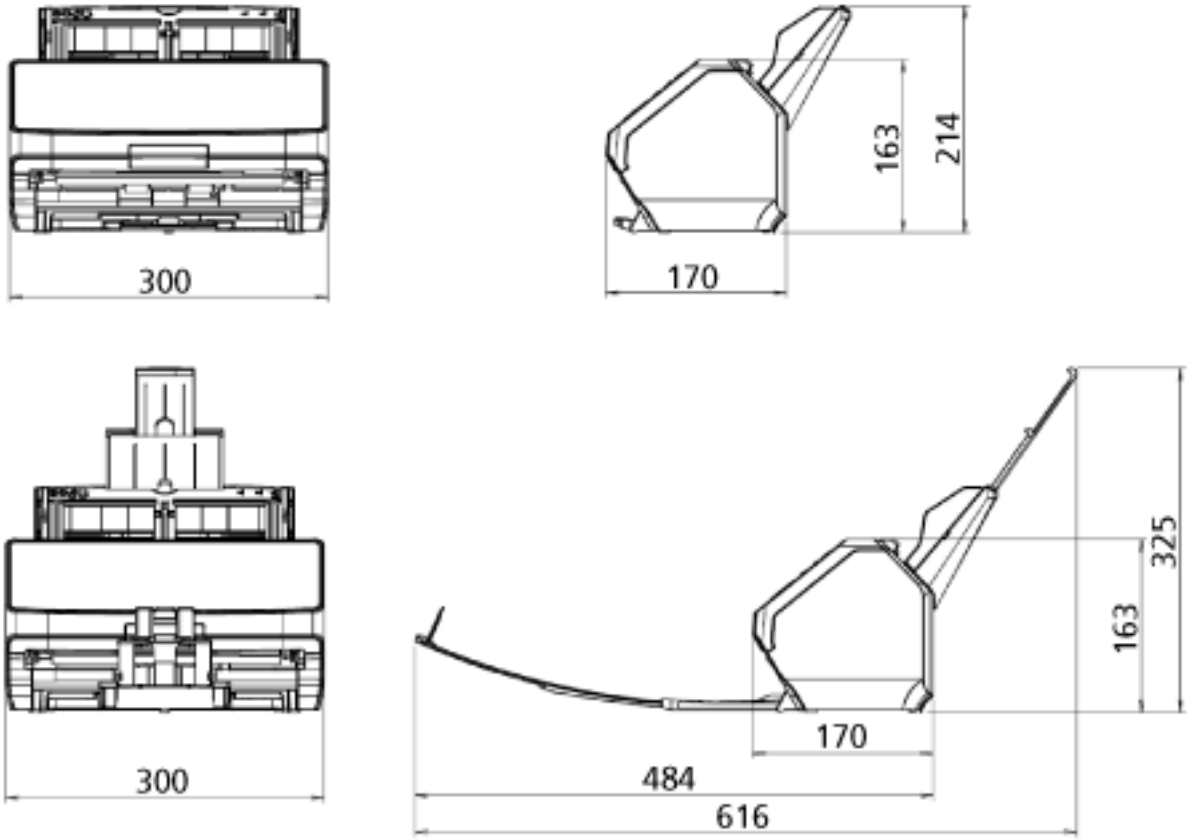
***2：**設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

***3：**梱包品を含めた質量です。

外形寸法

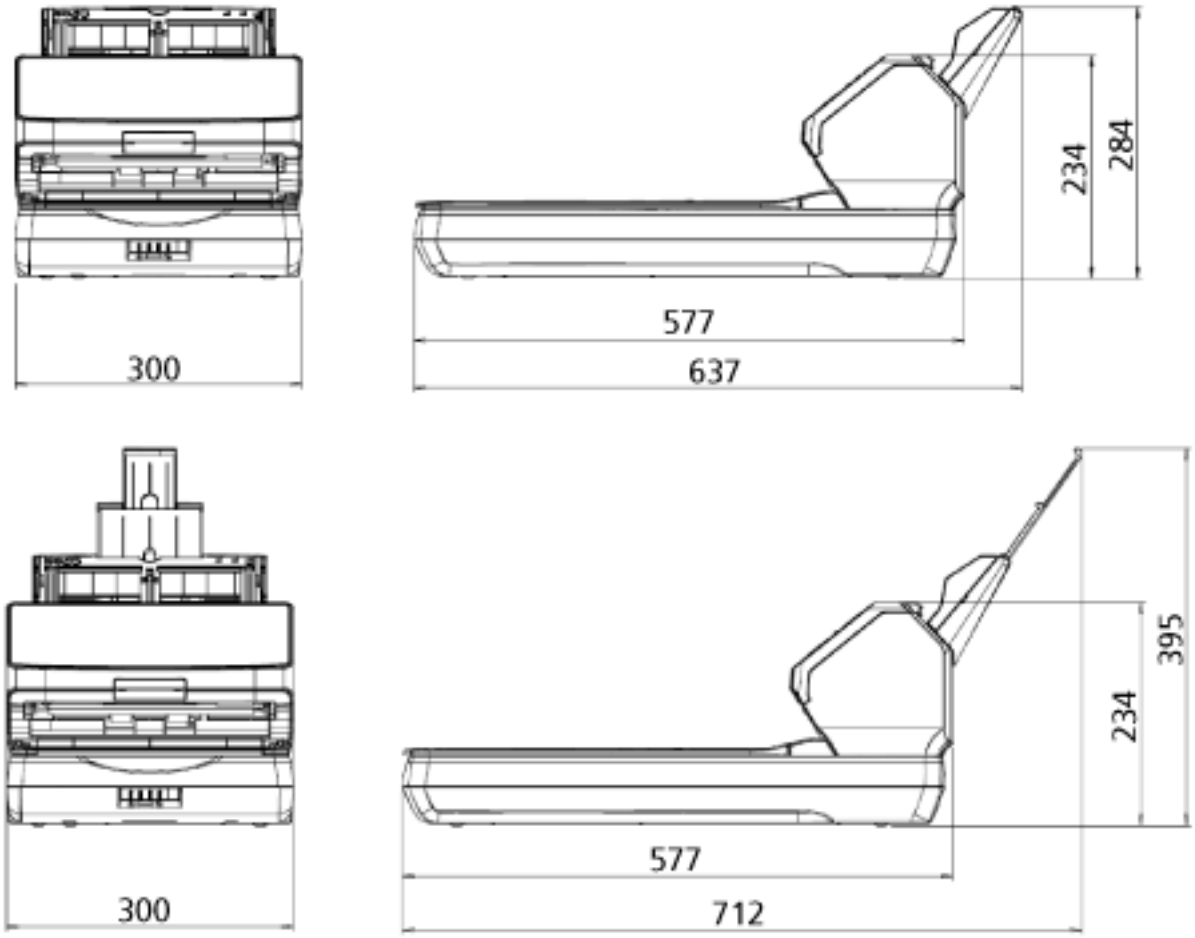
外形寸法は次のとおりです。

外形寸法【fi-8190/fi-8170/fi-8150/fi-8150U】



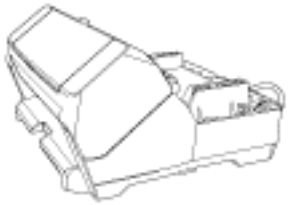
（単位：mm）

外形寸法【fi-8290/fi-8270/fi-8250/fi-8250U】



（単位：mm）

スキャナーのオプション

品名	型名	対応機種	説明
fi-819PRB 	FI-819PRB	fi-8190/fi-8170/ fi-8150/fi-8150U	fi-819PRB は、読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印字するためのオプションです。 読み取った原稿の裏面に名前や日付、連番を印字して、原稿を管理できます。 詳細は、fi-819PRB インプリンタ オペレーターガイドを参照してください。
黒色原稿押さえパッド 	FI-829BK	fi-8290/fi-8270/ fi-8250/fi-8250U	黒色原稿押さえパッドは、フラットベッドで黒背景読み取りを行うためのオプションです。 原稿押さえパッド部分が黒色のドキュメントカバーで、標準添付のドキュメントカバー（白色）と交換して使用します。 黒色原稿押さえパッドを使用すると、フラットベッドで読み取った原稿の傾きを自動補正したり、原稿サイズを認識して同じサイズで出力したりできます。
A3 キャリアシート 	FI-X15ES	全機種	A3 キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿や、切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取りできます。 A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

品名	型名	対応機種	説明
写真キャリアシート 	FI-X15CP	全機種	写真キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 写真や切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取りできます。 写真キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
冊子キャリアシート 	FI-F850CB	全機種	冊子キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 写真が貼り付けられたパスポートなどの冊子を、傷つけずに読み取りできます。 冊子キャリアシートは、目安として、2,500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
ScanAid	FI-829SA	全機種	ScanAid は、スキャナーに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。 ScanAid を購入すると、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、ScanAid の梱包品 (458 ページ)を参照してください。

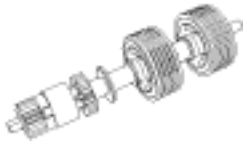
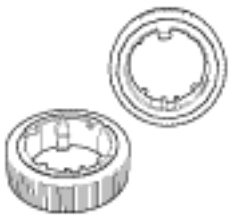
スキャナーのオプションの購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (469 ページ)にお問い合わせください。
スキャナーのオプションの詳細は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージングサービス & サポートセンター (468 ページ)にお問い合わせください。

- **ScanAid の梱包品**

  - 清掃用品

品名	備考
クリーナ F1（1 本） 	容量：50ml
クリーニングペーパー（1 パック） 	10 枚入り/1 パック
クリーニングクロス（1 パック） 	20 枚入り/1 パック
綿棒（2 パック） 	50 本入り/1 パック

  - 消耗品

品名	備考
ブレーキローラ（1 個） 	200,000 枚ごとに変換
ピックローラ（1 組） 	200,000 枚ごとに変換

ソフトウェアのアンインストール手順

1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。

2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。

3 「コントロール パネル」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
  「スタート」メニュー→「Windows システムツール」→「コントロール パネル」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Windows ツール」をクリックし、「コントロール パネル」をダブルクリックします。

4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

5 削除するソフトウェアをクリックします。

- PaperStream IP ドライバーを削除する場合
  次のどれかをクリックしてください。
  - PaperStream IP (TWAIN)
  - PaperStream IP (TWAIN x64)
  - PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series
- Network Setup Tool を削除する場合
  「Network Setup Tool」をクリックしてください。
- Network Setup Tool for fi Series を削除する場合
  「Network Setup Tool for fi Series」をクリックしてください。
- Software Operation Panel/Error Recovery Guide を削除する場合
  「Software Operation Panel」をクリックしてください。
- Error Recovery Guide（マニュアル）を削除する場合
  「Error Recovery Guide for fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U」をクリックしてください。
- PaperStream ClickScan を削除する場合
  「PaperStream ClickScan」をクリックしてください。
- PaperStream ClickScan Searchable PDF Option を削除する場合
  「PaperStream ClickScan Searchable PDF Option」をクリックしてください。
- PaperStream Capture を削除する場合
  「PaperStream Capture」をクリックしてください。
- マニュアルを削除する場合
  「fi Series manuals for fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250/fi-8150U/fi-8250U」をクリックしてください。
- fi Series Online Update を削除する場合

「fi Series Online Update」をクリックしてください。

6 ［アンインストール］ボタン/［アンインストールと変更］ボタンをクリックします。

7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、［OK］ボタン/［はい］ボタンをクリックします。

アンインストールが実行されます。

e-文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e-文書法（*1）の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。
次に、本製品を使用して e-文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- 2 つ折りの原稿を読み取る場合や両面印刷された原稿を読み取って表裏の画像を合成する場合は、文書の種類によって次の点に注意してください。
  - 国税関係書類の場合
    表裏の画像を合成することは、推奨しません。
  - 国税関係書類以外の場合
    表裏の画像を合成した場合、折り目にある情報が欠けていないかを確認してください。
    情報が欠けていた場合は、次の対処をしてから、再度原稿を読み取ってください。
    - 文字などの情報がない部分に折り目を変更する
    - 原稿をしっかりと折り曲げる

***1：** e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。
e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

- **e-文書法に対応する要件**

  e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ると、次の法令要件に対応した画像を作成できます。

  財務省の省令（電子帳簿保存法）に定められた要件

  解像度：200dpi（8 ドット/mm）以上
  カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上またはグレー（256 階調以上）（*1）
  非可逆圧縮での画質規定：JIS X6933 または ISO12653 テストチャートの 4 ポイントの文字が認識できること

  ***1：** 国税関係書類の文書でグレー（256 階調以上）での保存が認められるのは、資金や物の移動に関連しない国税関係書類や定型的な約款が定められた契約申込書などの文書です。
  例：見積書控、注文書控、定型的な約款が定められた保険契約申込書

  厚生労働省の省令に定められた要件

  診療等の用途に差し支えない精度

重要

- 電子帳簿保存法に対応するには、スキャナードライバーの e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ってください。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 本製品は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、紙原本に代えて画像で保存することはできません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプを画像に付与し、管理および運用していく必要があります。詳細は、当社にお問い合わせください。
  https://www.pfu.ricoh.com/rm/anshinrm/
- レシート、見積書などの国税関係書類は、税法で確実な保存が規定されている重要な文書です。これらの文書を画像として保存し、紙原本を廃棄するためには、電子帳簿保存法の要件に対応したシステム、業務規程の作成、および運用管理などの法定要件を満たして、所轄税務署長の承認が必要です。詳細は、省令を必ず参照してください。

- **原稿を読み取ったあとの検証**

  紙文書を電子化する場合、原稿を読み取ったあとに原稿の情報が正しく読み取られているかどうかを、次の観点で検証しなければなりません。

  - ページの抜けがないか
  - 文字がつぶれて読めない箇所がないか
  - ごみ、スジなどで不鮮明な箇所がないか
  - 割り印などの、原稿の端にある情報が欠けていないか

  画像の検証で問題があった場合、再度原稿を読み取って検証します。
  検証で問題なければ、画像を登録、保存します。

  重要

  画像は、一切の修正を行ってはいけません。

IPv6 を使用する場合の留意事項［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

- **IPv6 に対応していないスキャナーの設定**

  次の設定項目は IPv6 に対応していません。

  - DNS サーバー
  - プロキシサーバー
  - PaperStream NX Manager
  - Scanner Central Admin Server

PaperStream NX Manager 運用する場合の補足事項［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］

スキャナー設定情報の移出

PaperStream NX Manager 運用するスキャナーは、Scanner Central Admin Server で管理できます。
また、Scanner Central Admin Server からスキャナーにスキャナーの設定情報を配付して適用できます。
ここでは、スキャナーに配付するスキャナーの設定情報を、スキャナーから移出する方法について説明します。
Scanner Central Admin Server からスキャナーにスキャナーの設定情報を配付する方法は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

ヒント

スキャナーの設定情報は、fi Series ネットワーク設定の「スキャナー設定情報の移入」で、スキャナーに移入することもできます。
詳細は、スキャナー設定情報の移入 (445 ページ)を参照してください。

スキャナーの設定情報の内容と移出手順を次に示します。

スキャナー設定情報の内容

スキャナー設定情報には、次の情報が含まれます。

- fi Series ネットワーク設定で設定した情報
  ただし、次に示す設定項目の情報は対象外です。
  - スキャナー名
  - 有線 LAN
  fi Series ネットワーク設定の詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。
- Software Operation Panel の退避内容
- インテリジェントマルチフィード検出機能で記憶している重なりパターン

スキャナー設定情報の移出手順

スキャナー設定情報は、次の手順で移出します。

1. **fi Series ネットワーク設定で、スキャナーを設定します。**
   詳細は、ネットワーク設定（fi Series ネットワーク設定）［fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250］ (428 ページ)を参照してください。
2. **fi Series ネットワーク設定の「スキャナー設定情報の移出」で移出します。**
   詳細は、スキャナー設定情報の移出 (444 ページ)を参照してください。

Scanner Central Admin Server からアップデートモジュールを配付するときの留意事項

Scanner Central Admin Server から、PaperStream NX Manager 運用をしているスキャナーに、スキャナーの設定情報やファームウェアなどのアップデートモジュールを配付するときの留意事項について説明します。
Scanner Central Admin Server からスキャナーにアップデートモジュールを配付する方法は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- ネットワーク環境によっては、ネットワーク負荷により Scanner Central Admin Server とスキャナーの間の通信に失敗する場合があります。
  この場合は、Scanner Central Admin Console で、配付するスキャナーの台数や同時に接続できるスキャナーの最大台数などの調整を行ってください。
  詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- スキャナーの設定情報やファームウェアなどのアップデートモジュールの配付および適用は、次のタイミングで実施されます。

  - スキャナーの電源を投入したとき

  - PaperStream NX Manager からログアウトしたとき

  スキャナーの電源を投入したときは、業務中にアップデートモジュールの配付および適用が実施されないように、スキャナーの電源投入から業務開始までに十分な時間を確保してください。
  Scanner Central Admin Console で、アップデートモジュールを配付する時間帯を設定できます。
  詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 困ったときには (280 ページ)
- サポート & サービスのホームページ
  （https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html）

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。
該当する項目がないか、確認してください。原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- よくあるご質問
  （https://faq.pfu.jp/?site_domain=fi）

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナー fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。
購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

> **ヒント**
> 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。
> 保証期間については、保証書を参照してください。

- **契約サービス（有償）**

  事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

  - 定額定期保守サービス
    年に 1 度サービスエンジニアが予防保守を行います。
    万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。
  - 定額訪問修理サービス
    万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

- **スポットサービス（有償）**

  必要なときに、その都度ご利用いただけます。

  - 訪問修理
    本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。
  - 持込/ センドバック修理（*1）

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

- 付加サービス
  センドバック修理には、次の付加サービスがあります。
  (1) 引き取り修理サービス
  (2) 代替機貸出サービス（*2）

***1：**センドバック修理で診断を行い交換部品が高額などの理由で修理をキャンセルされた場合は診断料が必要になりますので注意してください。

***2：**代替機貸出サービスは、引き取り修理サービスとの併用でご利用できます。代替機貸出サービスだけではご利用いただけません。

詳細はホームページをご覧ください。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/

サービス内容は、予告なく変更される場合がございます。
詳細は、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後 5 年間です。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナー fi シリーズ全般に関する操作や故障･トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。
故障・トラブルのお問い合わせのときは、お問い合わせの前に確認すること (363 ページ)を参考に必要事項を確認してください。

- **株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター**

  お問い合わせ先
  次のホームページをご覧ください。
  https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html

サプライ用品の購入先

スキャナーの清掃方法と消耗品の交換方法については、日常のお手入れ (249 ページ)および消耗品の交換 (266 ページ)を参照してください。
清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- **株式会社 PFU PFU ダイレクト**

  ホームページ

  https://www.pfudirect.jp/